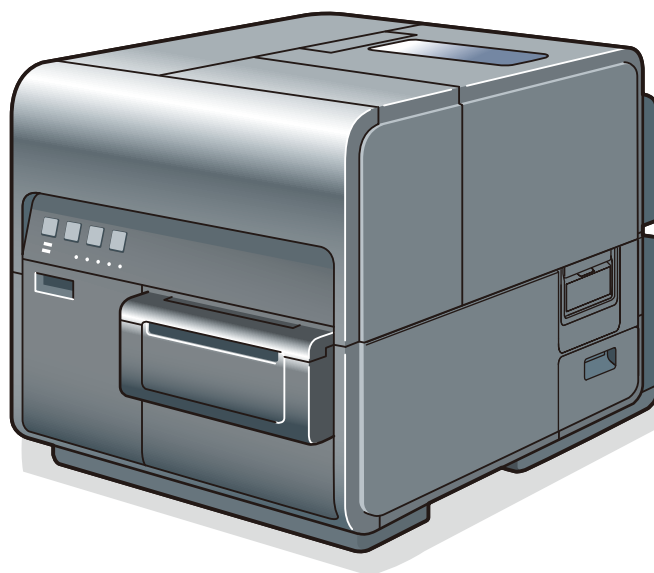




LX-P5500 LX-D5500

カラーラベルプリンター

ユーザーズガイド



安全にお使いいただくための注意事項は、「スタートガイド」に記載されています。
本製品をご使用前に必ずお読みください。

* 本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

ガイドと CD-ROM の使いかた

スタートガイド（同梱の冊子）

本製品を初めてお使いになるときは必ずお読みください。

スタートガイドは、本製品を安全にお使いいただくための注意事項や、プリンターを使用するまでに必要な準備（ソフトウェアのインストール方法など）について説明しています。

プリンターソフトウェア（同梱の CD-ROM）

プリンタードライバー、ユーザーズガイドが収録されています。

■ プリンタードライバー

本製品を Windows 11 / Windows 10 で使用するための付属ソフトウェアです。

プリンタードライバーのインストール方法については、スタートガイドをお読みください。

■ ユーザーズガイド

本製品の具体的な操作方法を説明した電子マニュアルです。

基本的な印刷手順、メンテナンスの方法、困ったときの対処方法、そして、プリンター本体やプリンタードライバーに関するすべての機能を説明しています。

目次および索引から、目的の項目を表示させることができます。

ヘルプ機能

本製品では、スタートガイドやユーザーズガイドのほかにも、プリンタードライバーの操作中にヘルプ機能によってプリンターの機能や操作、困ったときの対処方法などを見ることができます。

ヘルプ機能は、プリンタードライバーの画面にある「ヘルプ」（またはメニューの「ヘルプ」）でご利用になります。

また、文字列を右クリックして表示する「コンテキストヘルプ」にも対応しています。

目次

ガイドと CD-ROM の使いかた

スタートガイド（同梱の冊子）	ii
プリンターソフトウェア（同梱の CD-ROM）	ii
ヘルプ機能	ii

はじめに

オンライン登録について	1
本書の見かた	1
商標について	2
お客様へのお願い	2
安全データシートについて	3

第 1 章 お使いになる前に

1-1 各部の名称とはたらき	4
前面 / 右側面	4
背面	5
本体内部	7
ロールホルダー	8
操作パネル	9
オンラインとスリープ	11
1-2 コンピューターと接続する	12
USB ケーブルで接続する	13
LAN ケーブルで接続する	14
1-3 電源を入れる / 切る	15
電源を入れる	15
電源を切る	16
1-4 用紙をセットする	17
用紙をロールホルダーにセットする	17

プリンターにセットする	20
1-5 ファンフォールド紙を使用する場合	26
1-6 用紙を交換する	28
1-7 用紙の後端処理をする.....	32
1-8 手動カッターを使う	35

第2章 印刷のしかた

2-1 印刷を行う	38
2-2 印刷を中止する	40
印刷を中止する	40
印刷を一時停止する	41
一時停止中にクリーニングを行う	42

第3章 プリンタードライバの使いかた

3-1 印刷設定画面を表示する	44
アプリケーションソフトウェアから表示する.....	44
[プリンターとスキャナー] から表示する.....	46
3-2 [ページ設定] シートを利用する.....	48
[お気に入り] を登録する.....	50
[お気に入り] を削除する.....	55
[お気に入り] に登録している印刷設定を使う	57
用紙サイズを選ぶ.....	59
用紙サイズを自由に設定する	62
用紙の種類を選ぶ.....	68
印刷の向きを選ぶ.....	69
選択した縦横の向きで印刷する	71
設定内容を確認する	73
バージョン情報を確認する	74
3-3 [色設定] シートを利用する	75

原稿に合った色調整を選ぶ	77
グラデーションを簡易で印刷する	80
印刷品質設定を使う	81
単色で印刷する	82
3-4 [詳細設定] ダイアログボックスを使用する	84
カラーバランスを調整する	85
明るさを調整する	86
濃度を調整する	87
コントラストを調整する	88
ハーフトーン処理を選ぶ	89
レベル補正を行う	90
シャープネスをかける	91
カラーインク節約を行う (LX-P5500 (顔料モデル) のみ)	92
エコノミー印刷を行う (LX-P5500 (顔料モデル) のみ)	93
3-5 [カッター設定] シートを利用する	94
3-6 [オーバーレイ] シートを利用する	96
フォームをファイルに印刷する	98
オーバーレイ印刷をする	102
3-7 [アドバンスド設定] シートを利用する	104
割り付け印刷を行う	106
枠線を印刷する	107
印刷順を設定する	108
印刷速度を設定する	109
3-8 [ユーティリティー] シートを利用する	112
スリープ状態に切り替える	117
スリープタイマーとオフタイマー	118
用紙の停止位置を調整する	121
ピンポイント色合わせを行う	123
特殊な設定を行う	132

第4章 ステータスマニターの使いかた

4-1 ステータスマニターを表示する	138
ステータスマニターを起動する	138
ステータスマニターの起動と表示方法	140
4-2 ステータスマニターを利用する	143
印刷状況を見る	144
ステータス情報を見る.....	145
インク情報を見る.....	149
メンテナンスカートリッジ情報を見る	150

第5章 メンテナンスのしかた

5-1 プリントヘッドをクリーニングする	152
クリーニング（弱、中、強）を行う	152
5-2 ヘッド位置調整を行う.....	154
5-3 詳細なヘッド位置調整を行う	168
5-4 設定値を確認する.....	176
5-5 インクタンクを交換する	179
5-6 使用済みインクタンク回収のお願い	186
5-7 メンテナンスカートリッジを交換する	187
5-8 プリンターの清掃.....	192
5-9 インクリフレッシュを行う（LX-P5500（顔料モデル）のみ）.....	196
インクリフレッシュ（その1）	198
インクリフレッシュ（その2）	208
インクリフレッシュ（その3）	212
5-10 最新のソフトウェアを入手する.....	216

第6章 困ったときは

6-1 ステータスマニターにメッセージが表示されたとき	217
-----------------------------------	-----

6-2 用紙がつまったとき	226
6-3 プリンターが思ったとおりに動作しないとき	231
6-4 思ったとおりの印刷結果にならないとき	238

第7章 オートカッター（オプション）

7-1 各部の名称とはたらき	246
7-2 オートカッターの設定	247
7-3 カット位置の調整を行う	253
7-4 用紙がつまったら	256

付録

付録-1 屋内移動について	262
付録-2 輸送について	266
付録-3 プリントヘッドの上手な使い方	270
付録-4 プリンタードライバーのアンインストール	271
付録-5 設定内容をインポート / エクスポートする	274
設定内容を保存する（エクスポート）	274
設定内容を読み込む（インポート）	285
付録-6 ネットワークユーティリティについて	297
ツールバーから設定する	298
プリンターの設定を行う	299
プリンターの LAN 状態を確認する	302
MAC アドレスフィルターを設定する	303
ネットワーク設定を初期化する	305
プリンターの再検索を行う	306
環境設定を行う	306
タイムアウト値を設定する	308
ヘルプを表示する	309
バージョン情報を表示する	309

仕様	310
索引	312

はじめに

このたびは、カラーラベルプリンター LX-P5500（顔料モデル）/ LX-D5500（染料モデル）をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本製品の機能を十分にご理解いただき、効果的にご利用いただくため、ご使用になる前に本書をひととおりお読みください。本書では、本製品をご活用いただくための情報が説明されています。

オンライン登録について

保証登録サイト（canon.jp/biz-regists）にて保証登録ができます。保証登録をしていただくと、以下のようなサービス（情報）をお受け取りになることができます。

- ・ お買い上げ日から1年間の無償保証および「保証書」電子発行（ウェブサイト上での閲覧および印刷）
- ・ 登録機器の「機器情報」の確認、および保証期間の確認
- ・ キヤノンサービスパック（キヤノン製品パッケージ型保守サービス。以下、CSP）をご購入のお客さまの「お客さま登録」および更新

ご使用中の機器情報を一覧で閲覧できるほか、登録機器の保証期間の有無をご確認いただくことができます。また、お客さまがご使用中の製品、その他キヤノンからの最新情報をご提供いたします。保証登録の際は、本製品に付属されている「保証登録のお願い」の内容を併せてご確認ください。

本書の見かた

■ マークについて

本書では、次のようなマークを使用しています。



警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負うおそれのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、かならずこの警告事項をお守りください。



注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負うおそれや物的損害が発生するおそれのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、かならずこの注意事項をお守りください。



重要

守っていただきたい重要事項が書かれています。製品の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、かならずお読みください。



メモ

操作の参考になることや補足説明が書かれています。



製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止することを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。

■ 記載について

- 本書では、Windows 10 を使用する環境を例に記載しています。ご使用の OS によっては操作手順が一部異なる場合があります。

■ 掲載画面について

- 本書では、プリンタードライバーの設定画面は LX-D5500（染料モデル）/ Windows の画面を使用しています。
- プリンタードライバーの画面の表示内容や操作のしかたは、特に記載がない限り LX-P5500（顔料モデル）でも同様です。

■ 略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

- Microsoft Windows 11 日本語版を Windows 11 と表記しています。
- Microsoft Windows 10 日本語版を Windows 10 と表記しています。
- Microsoft Windows を Windows と表記しています。

商標について

- Canon、Canon ロゴは、キヤノン株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されている会社名、商品名は各社の商標です。

お客様へのお願い

- 本書の一部または全部を無断で転載する事は、禁止されています。
- 本装置および付属ソフトウェアの仕様や本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更される場合があります。
- 本書は内容について万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれなどでお気づきの点がございましたら、お客様相談センターまでご連絡ください。
- 本装置および付属ソフトウェアを運用した結果につきましては、上記に関わらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

安全データシートについて

- 化学製品を安全かつ適切に取扱っていただくために、本製品で使用するインクタンク内のインクに含まれる物質名やその危険有害性情報、取扱上の注意、環境への影響などに関する情報を記載しています。
- 安全データシート (SDS) は、その内容が変更される場合があります。最新版はキャノンのホームページ (<http://canon.jp/ecology>) にて提供しております。併せてご確認ください。

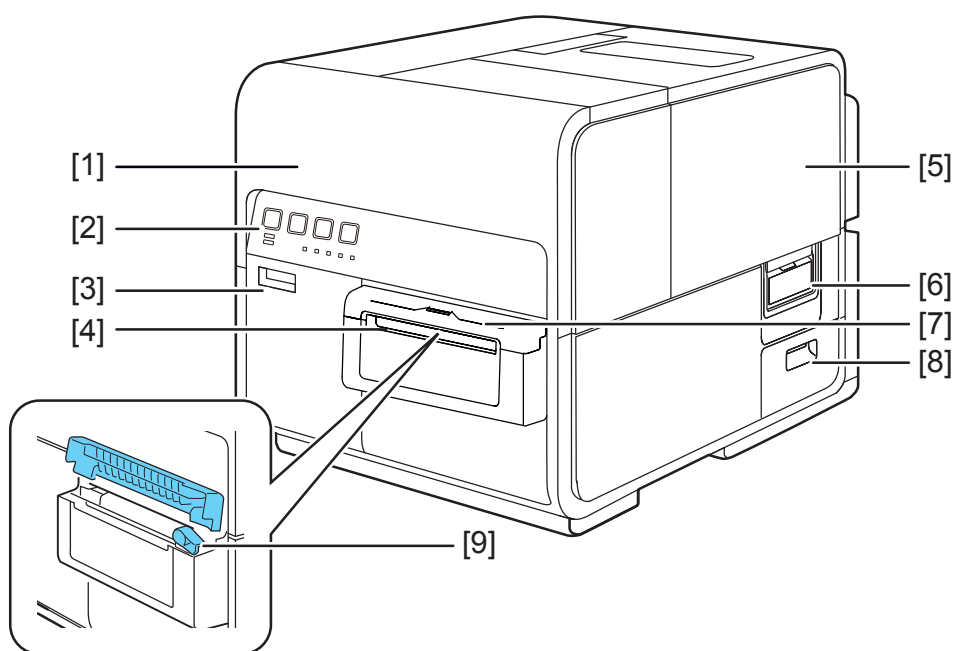
第1章 お使いになる前に

本製品をお使いになる前に、必要な準備や、覚えていただきたい基本的な事柄について説明します。

1-1 各部の名称とはたらき

本プリンターの各部の名称とはたらきを説明します。

■ 前面 / 右側面



[1] 上ユニット

搬送路につまった用紙を取り除くときや、内部を清掃するときに開きます。
内部にはプリントヘッドが収納されています。

[2] 操作パネル

プリンターの動作を切り替えるキーとプリンターの状態を示すランプがついています。

[3] インクタンクドア

インクタンクを交換する場合に開閉します。

[4] 排紙口

印刷された用紙が排紙されます。

[5] ロールカバー

給紙部を保護するためのカバーです。

[6] ロールカバー取っ手

ロールカバーを開くときに使います。

[7] カッターカバー

手動カッターを操作するときに開きます。

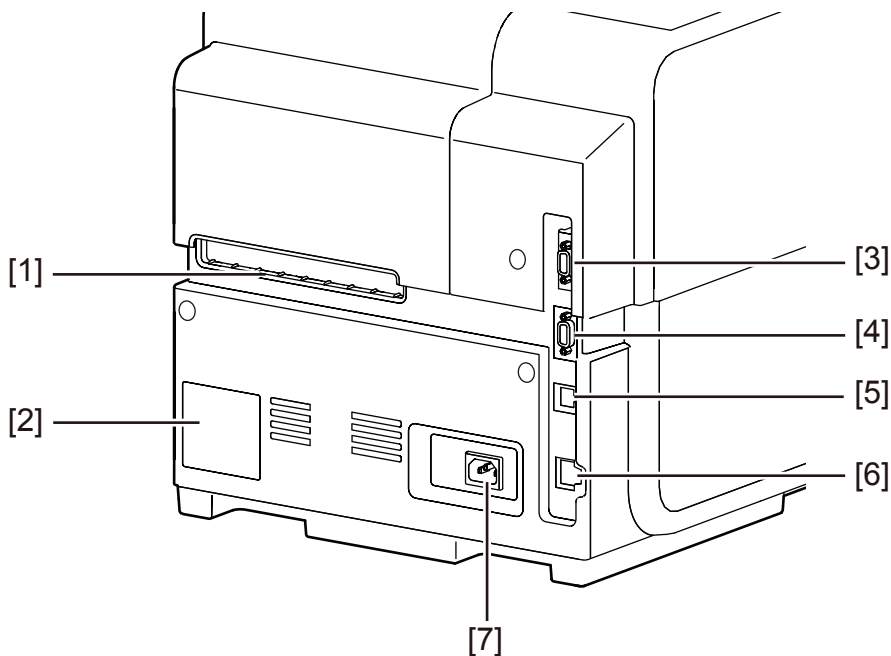
[8] メンテナンスカートリッジドア

メンテナンスカートリッジを交換するときに開閉します。

[9] 手動カッター

排紙された用紙を手動でカットします。

■ 背面



[1] 背面給紙口

ファンフォールド紙を使用するときの給紙口です。

[2] 定格銘板ラベル

プリンター識別のためのシリアル番号が記載されています。(プリンターの修理を受ける場合やユーザー登録を行う場合に必要になります)

[3] RS232C コネクタ

拡張用インターフェイスです。

[4] RS232C コネクタ

外部機器接続用インターフェイスです。

[5] USB コネクタ

USB ケーブルを接続します。

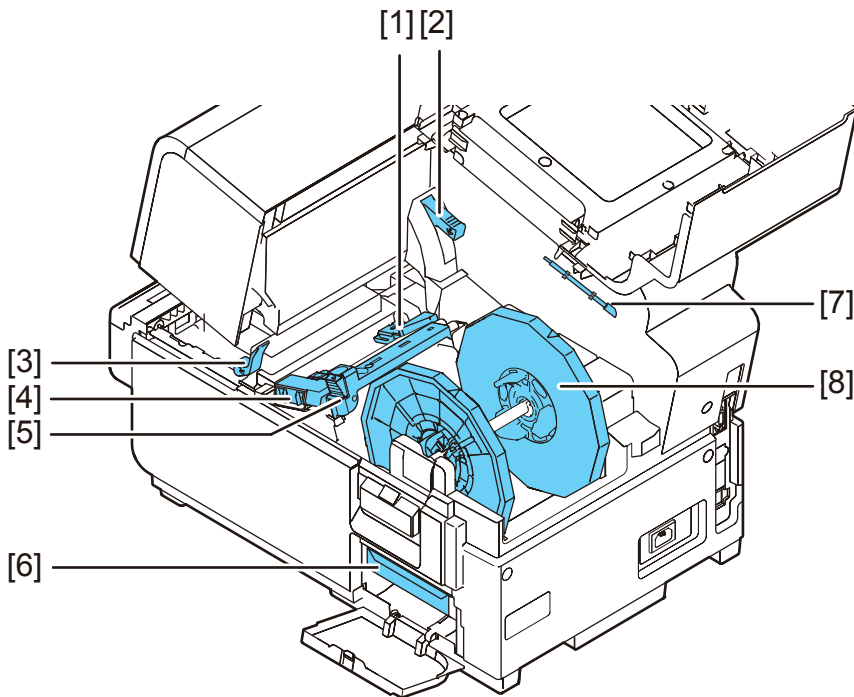
[6] LAN コネクタ

LAN ケーブルを接続します。

[7] 電源コネクタ

電源コードを接続します。

■ 本体内部



[1] 搬送ガイド（左）

用紙をまっすぐ搬送させる固定ガイドです。

[2] 上ユニットオープンレバー

上ユニットを開くときに押し下げます。

[3] ピンチローラー圧解除レバー

用紙がつまったときに手前に倒します。

[4] 搬送ガイド（右）

用紙をまっすぐ搬送させます。用紙をセットするときに、用紙の幅に合わせて動かします。

[5] 用紙ガイド

用紙を浮き上がらせないようにします。

[6] メンテナンスカートリッジ

クリーニングなどで不用になったインクを貯めておくためのカートリッジです。

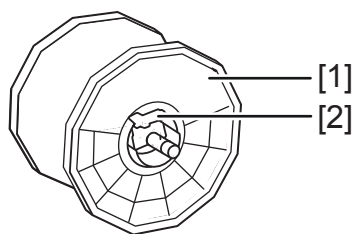
[7] クリーニングスティック

搬送部の清掃用スティックです。

[8] ロールホルダー

用紙をセットするためのホルダーです。

■ ロールホルダー



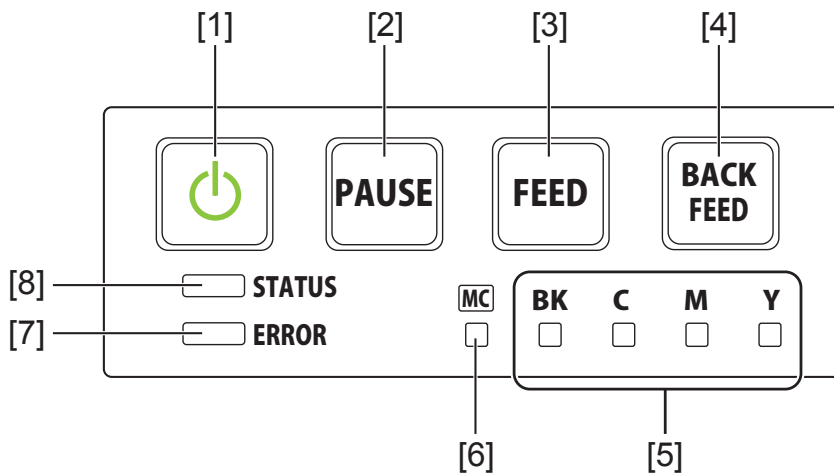
[1] ホルダーstopper

用紙をロールホルダーに固定します。

[2] ホルダーstopper固定 / 解除レバー

ホルダーstopperの取り外し / 取り付けを行うときにレバーを押します。

■ 操作パネル



[1] 電源キー / 電源ランプ

点灯	電源オン状態です。
点滅	スリープ状態です。
消灯	電源オフ状態です。

[2] ポーズキー

印刷中	押すと印刷の一時停止を行います。
一時停止中	押すと印刷を再開します。

[3] フィードキー

短く押すと用紙を 1 ページ送ります。押し続けるとキーを押している間、用紙を排紙方向に送ります。

[4] バックフィードキー

押し続けるとキーを押している間、用紙を入口方向に戻します。累積 300 mm 未満の用紙を戻すことができます。(オートカッターがある場合は累積 330 mm 未満)

[5] インク警告ランプ

左から、Bk（ブラック）、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）のインク残量を、以下のLED表示状態により示します。

点灯	インクなしまたはインクタンク未装着です。
点滅	インク残量が少なくなりました。
消灯	インクは十分あります。

[6] メンテナンスカートリッジ警告ランプ

点灯	満杯状態です。
点滅	もうすぐ満杯です。
消灯	十分な余裕があります

[7] エラーランプ

点灯	オペレーターコールエラーが発生しています。（ステータスマonitorをご確認ください。）
点滅	サービスマンコールエラーが発生しています。（ステータスマonitorをご確認ください。）
消灯	正常に動作しています。

[8] ステータスランプ

点灯	オンライン状態です。
点滅	動作中を示します。（ステータスマonitorをご確認ください。）
消灯	オフライン状態です。（ステータスマonitorをご確認ください。）

重要

- プリンターが動作中にインクタンクドアおよびメンテナンスカートリッジドアを開けないでください。印刷が中断されて、故障の原因になることがあります。
- 上ユニットに無理な力を加えたり強い衝撃を与えないでください。故障の原因になったり印刷品質に悪影響を与えることがあります。また上ユニットはゆっくりと開閉してください。

■ オンラインとスリープ

オンライン状態： コンピューターから印刷を行える状態です。ステータスランプが点灯します。

スリープ状態　： コンピューターからの指示や印刷データは受け付けますが電源ランプは点滅状態となり、ステータスランプは消灯します。

1-2 コンピューターと接続する

コンピューターとプリンターの接続方法について説明します。
本プリンターは Hi-Speed USB と LAN に対応しています。

重要

- USB ケーブルは、コンピューターやプリンターの電源オンの状態でも抜き差しすることはできませんが、次の場合はケーブルを抜き差ししないでください。正しく動作しなくなる場合があります。
 - ・ コンピューターの起動中（デスクトップ画面が表示されるまでの間）
 - ・ プリンターの印刷中
 - ・ プリンタードライバーのインストール中
- コンピューターやプリンターが電源オン状態のときにケーブルを外す場合は、コンピューター側のコネクタを抜くようにしてください。また、ケーブルを差し直す場合は、5 秒以上間隔を空けて差し込んでください。間隔が短いと正しく動作しない場合があります。

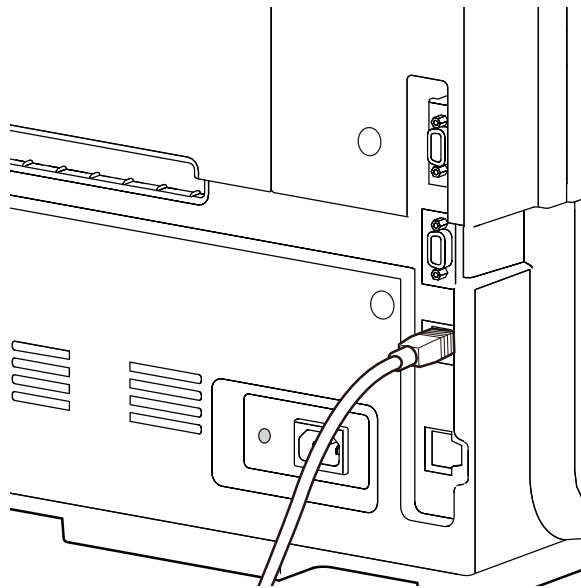
メモ

- USB ケーブルや LAN ケーブルなどは同梱されていません。お使いのコンピューターに合わせて、市販のケーブルをご用意ください。

■ USB ケーブルで接続する

1 プリンターとコンピューターを USB ケーブルで接続します。

USB ケーブルのシリーズ B タイプのコネクタを本プリンター背面の USB コネクタへ接続し、次にコンピューター側を接続します。

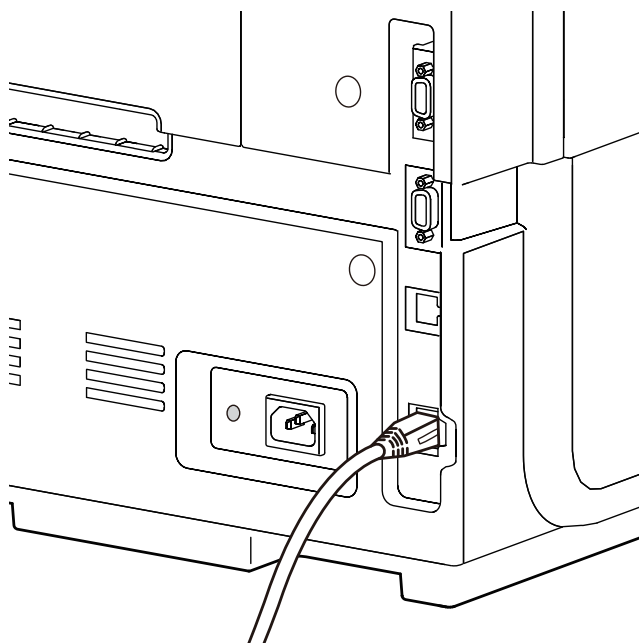


📖 メモ

- 接続するコンピューターにプリンタードライバーがインストールされていない場合は、USB ケーブルを接続する前にプリンタードライバーのインストールを行ってください。
- プリンタードライバーのインストールについては、付属のスタートガイドをお読みください。

■ LAN ケーブルで接続する

- 1 プリンターを LAN ケーブルでネットワークに接続します。



📖 メモ

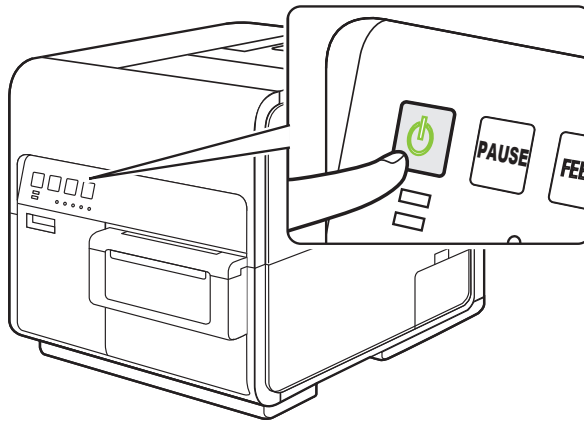
- カテゴリー 5e 以上のツイストペアケーブルをご使用ください。
- 社内の LAN に接続する場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
- 接続するコンピューターにプリンタードライバーがインストールされていない場合は、プリンタードライバーのインストールを行ってください。
- プリンタードライバーのインストールおよびネットワーク接続については、付属のスタートガイドをお読みください。

1-3 電源を入れる / 切る

電源の入れかたと切りかたについて説明します。

■ 電源を入れる

電源ケーブルが差し込まれているのを確認して、プリンターの電源を入れます。



1 電源キーを押します。

しばらくして、印刷できる状態になります。

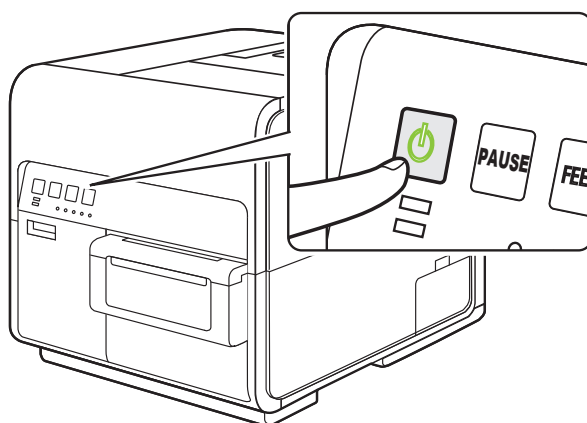
オンライン状態のときは、STATUSランプが点灯します。

📖 メモ

- プリンターがスリープ状態（電源ランプ点滅）のときは、電源キーを押すとオンライン状態になります。なお、印刷を行う場合は、スリープ状態のまま、コンピューターから印刷データを送るとオンライン状態に切り替わり、印刷が開始されます。

■ 電源を切る

- 1 電源キーを 1 秒以上長押しします。



電源ランプがゆっくり点滅して、電源オフになります。

📖 メモ

- 印刷を行わずに一定の時間が経過した場合に、自動的にスリープ状態から電源オフへ切り替えることができます。

➡ 「スリープタイマーとオフタイマー (P.118)」

重要

- プリンターを長期間で使用にならない場合
 - ・ 用紙の変色等を防ぐために用紙をプリンターから外して、付属のビニール袋または箱の中に入れて、高温、多湿および直射日光を避けて保管してください。
 - ・ 本体に差し込まれている電源コード、インターフェースケーブルを外してください。

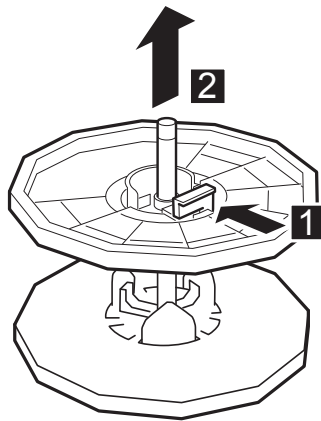
1-4 用紙をセットする

用紙をロールホルダーにセットしてから、プリンターにセットするまでの手順を説明します。

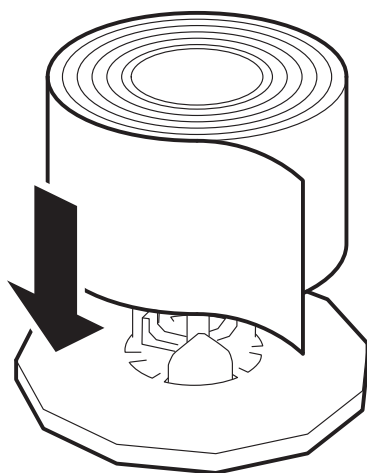
■ 用紙をロールホルダーにセットする

用紙をロールホルダーにセットする手順を説明します。

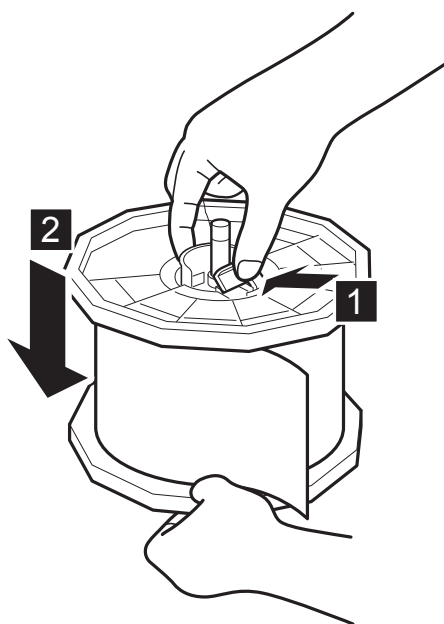
- 1 ホルダーストッパー解除レバーを押しながらロールホルダーからホルダーストッパーを取り外します。



- 2** ロール紙を図のような向きにして、ロールホルダーに隙間なく突き当たるまで、しっかりとセットします。



- 3** ホルダーストッパー解除レバーを押しながらホルダーストッパーを突き当たるまでしっかりと差し込みます。



ホルダーストッパー解除レバーから指を離してセット完了です。

メモ

- 本プリンターで使用できる用紙の種類は次のとおりです。

用紙の種類	LX-D5500 (染料モデル)	LX-P5500 (顔料モデル)	内容
[マットコート紙]	○	○	通常の印刷用紙のように幅広い用途に使用できる無光沢の用紙です。
[光沢紙]	○	○	光沢性を有する用紙です。
[合成紙]	○	○	耐久性や耐水性に優れた用紙です。
[薄紙マットコート紙]	○	○	薄紙タイプのコート紙です。
[白 PET]	○	×	素材の伸び縮みが少なく破れにくいフィルムタイプのメディアです。

- 用紙についての詳細や用紙の入手方法については、ご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。
- ロールホルダーをオプションでご用意しています。入手方法については、ご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。
 - 複数のロール紙を使用する場合、オプションのロールホルダーを用意しておくと、ロール紙を差し替える手間が省けます。
 - ご購入の際は、以下の型番が記載されていることをご確認ください。
LX-P5500/LX-D5500 用ロールホルダー：型式名 RH-L01

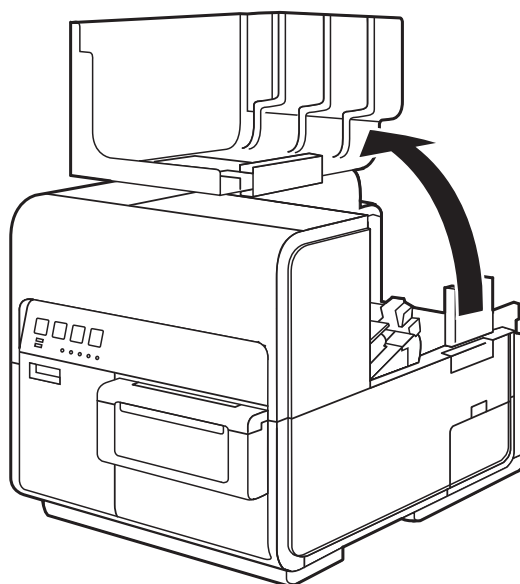
■ プリンターにセットする

用紙をプリンターにセットする方法を説明します。

1 電源ランプが点灯していることを確認します。

ランプが点灯または点滅していない場合は、電源キーを押して電源オンにしてください。

2 ロールカバーを開きます。

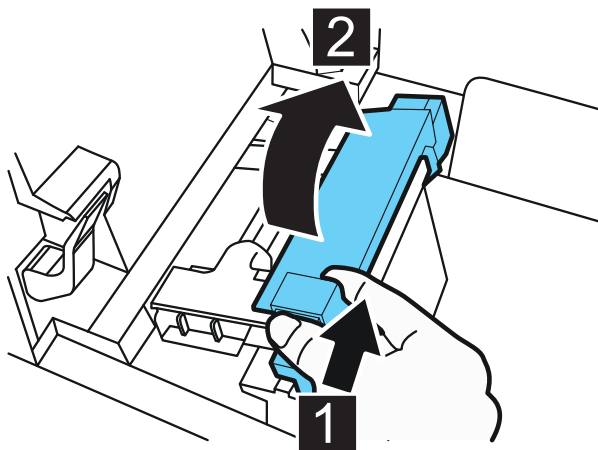


📖 メモ

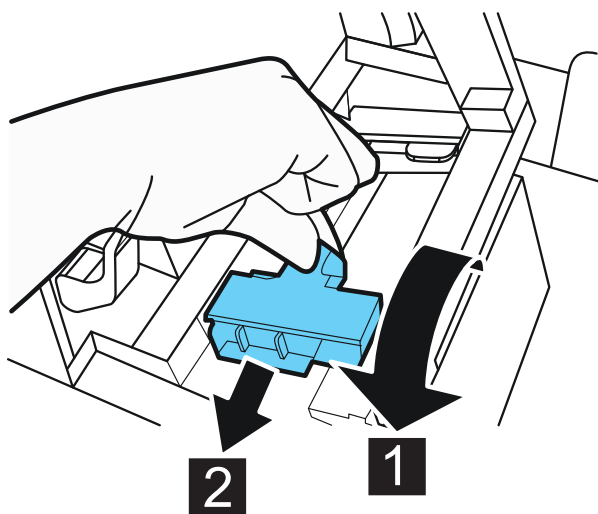
- 用紙セット手順内の「搬送ガイド（右）」「搬送ガイド（左）」は、プリンター正面から見た位置を示しています。

➡ 「本体内部（P.7）」

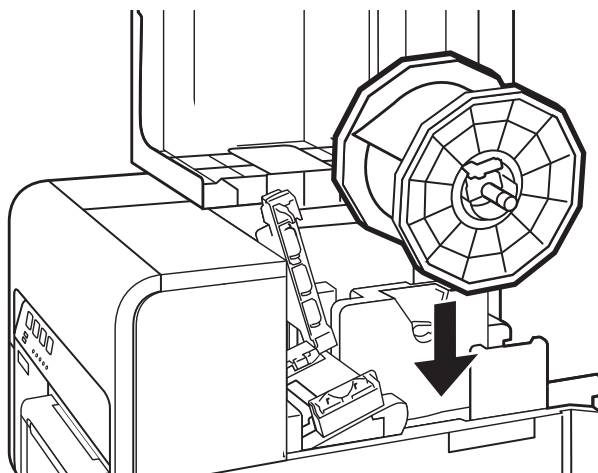
- 3** 用紙ガイドのレバーを押して、ガイドを開きます。



- 4** 搬送ガイド(右)を開いて、右側に止まる位置までスライドさせます。

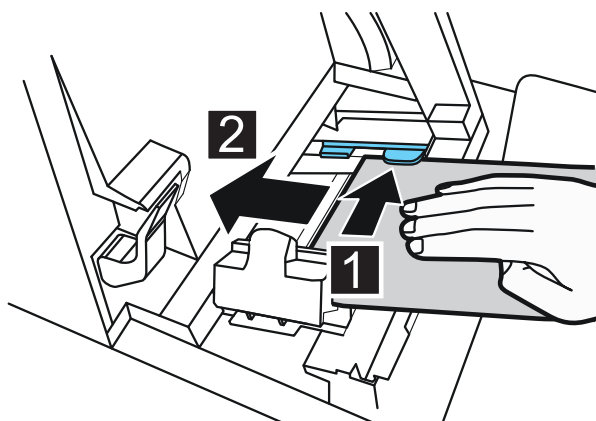


5 ロールホルダーを本体にセットします。



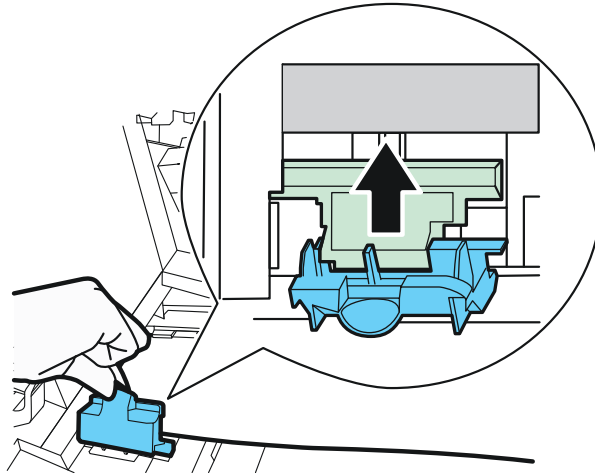
6 用紙をセットします。

用紙を搬送ガイド(左)の下を通して、左側面のガイドに沿わせながら、給紙口の奥のローラーに突き当たるようにセットします。



給紙口の奥のローラーに突き当たったら、自動的に用紙が少し引き込まれます。

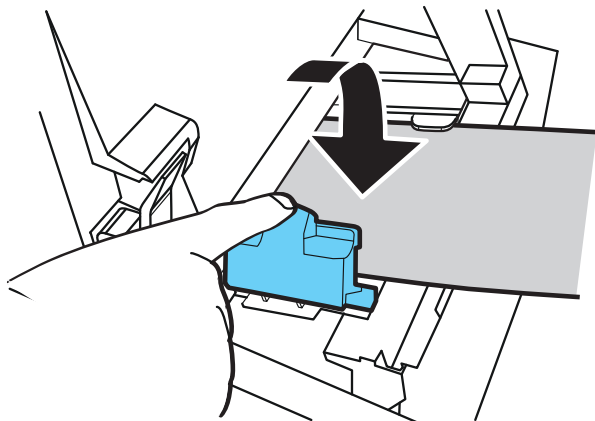
- 7** 搬送ガイド(右) を用紙の台紙部の幅に合わせて突き当てます。



重要

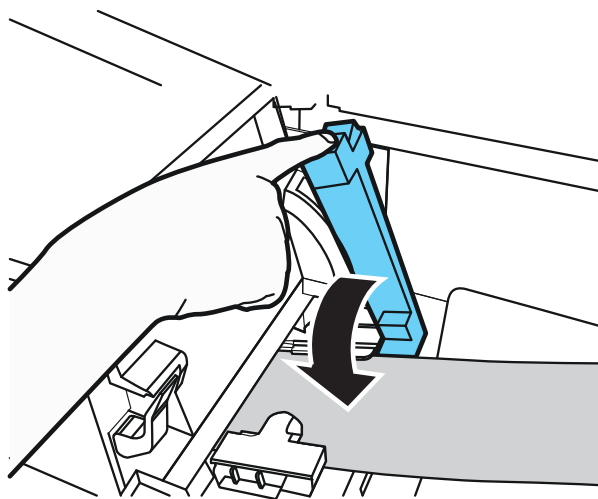
- 紙づまりの原因となりますので、搬送ガイド(右) を用紙端面に強く押しつけしないでください。

- 8** 搬送ガイド(右) をゆっくり倒してロックします。

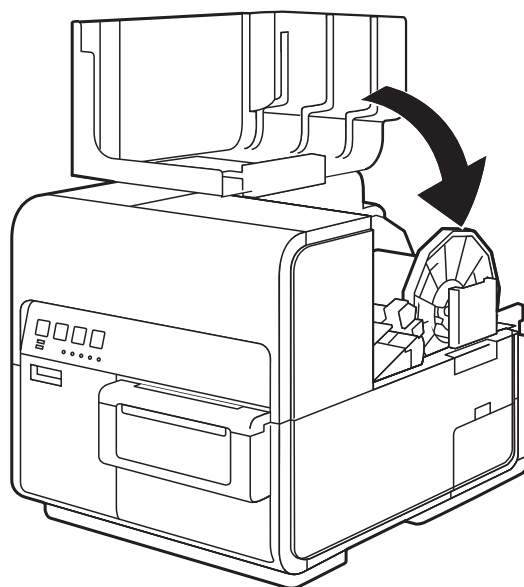


9 カチッと音がするまで、用紙ガイドをゆっくり倒してロックします。

ロックされると、用紙の搬送が自動的に行われます。



10 ロールカバーを閉じます。



メモ

- 用紙に大きなたるみがあるとロールカバーと干渉しますので、大きくたるんでいたら用紙を巻いて適度にたるみを取ってください。
- 用紙がうまくセットされていなかった場合やジャムが発生した場合は、印刷を開始した時点でコンピューター画面のステータスマニターに「用紙サイズ違い」や「用紙なし」「用紙ジャム」というメッセージが表示され、印刷が停止します。その場合は、用紙を正しくセットしなおしてください。エラーが解除され、印刷が開始されます。
- オートカッター使用時にカット位置がずれてしまう恐れがありますので、タグ紙をお使いになるときは、ミシン目の部分を折らないようにしてください。

重要

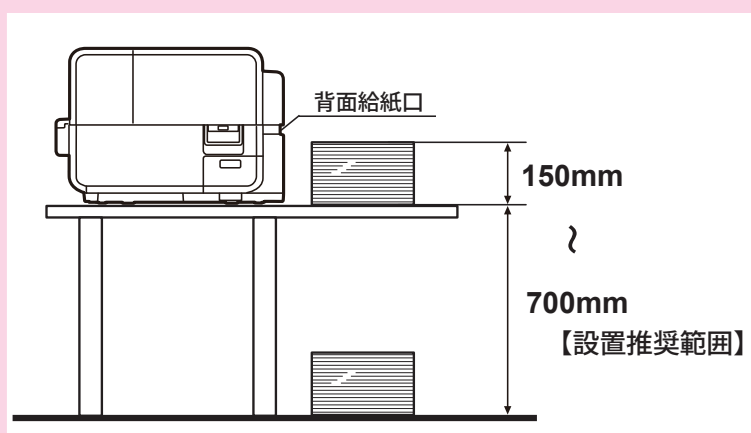
- 印刷する場合、ロールカバーは必ず閉じてください。
- 用紙はカラーラベルプリンター専用紙を使用することをおすすめします。専用紙以外の用紙を使用すると、にじみやかすれが生じたり、プリンター本体に悪影響を与え故障の原因となることがあります。
- プリンターを長期間で使用にならない場合は、用紙の変色等を防ぐために用紙をプリンターから外してください。また、取り外した用紙は、付属のビニール袋または箱の中に入れ、高温、多湿および直射日光を避けて保管してください。
- 開封した用紙は、できる限り短期間で使い切ることをおすすめします。
- カラーラベルプリンター専用紙の印刷可能領域外には、印刷しないでください。
➡ 「用紙サイズを自由に設定する (P.62)」
- 実際にセットした用紙と、プリンタードライバーに設定されている用紙が、同じ用紙（サイズ）に設定されていることを確認してください。

1-5 ファンフォールド紙を使用する場合

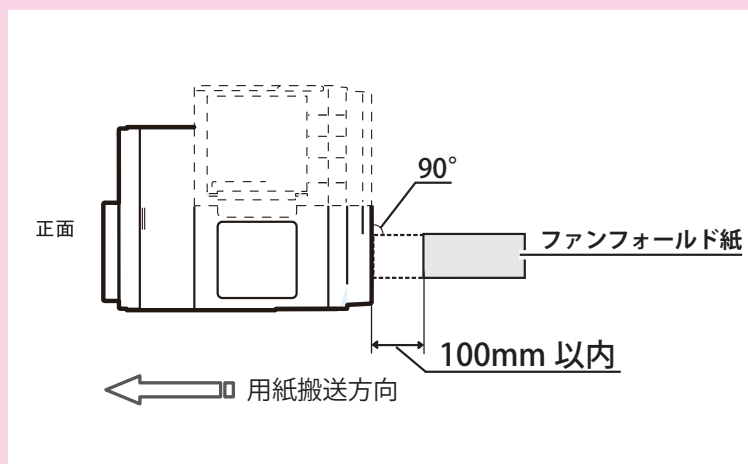
用紙にファンフォールド紙を使用するときは、以下の点を守ってください。

重要

- ファンフォールド紙の用紙束上面が、プリンターの背面給紙口より低い位置になるようにしてください。

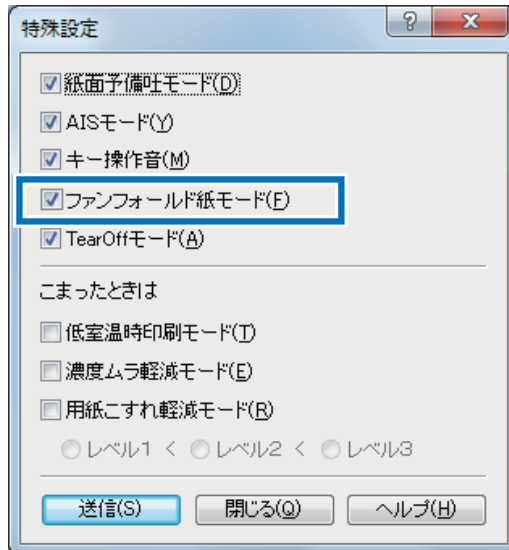


- 背面給紙口から 100mm 以内の間隔にして、ファンフォールド紙が、斜めにならないように用紙束を置いてください。



- 1** プリンタードライバーの[ユーティリティ] シートの[特殊設定] で、[ファンフォールド紙モード] にチェックを付けて[送信] ボタンを押してください。

➡ 「特殊な設定を行う (P.132)」



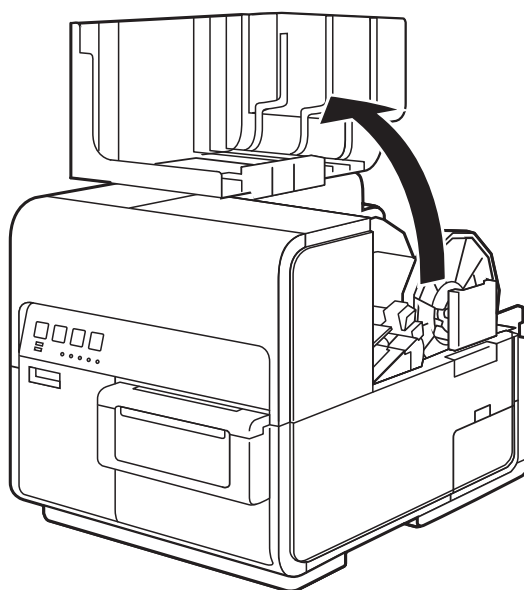
重要

- ファンフォールド紙をお使いになる場合は、ロールホルダーを外してください。
- 用紙のセット方法は、ロール紙と同じです。
➡ 「プリンターにセットする (P.20)」
- 印刷する場合、ロールカバーは必ず閉じてください。
- ファンフォールド紙からロール紙へ変更するときは、[ファンフォールド紙モード] のチェックをはずしてください。
- 画像に影響がでる恐れがありますので、ファンフォールド紙をお使いになる場合は、設置環境温度を 15℃以上、湿度を 40% 以上でお使いください。

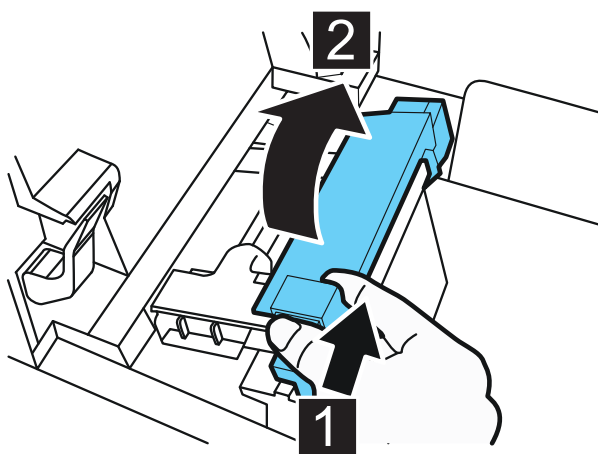
1-6 用紙を交換する

用紙の交換のしかたを説明します。

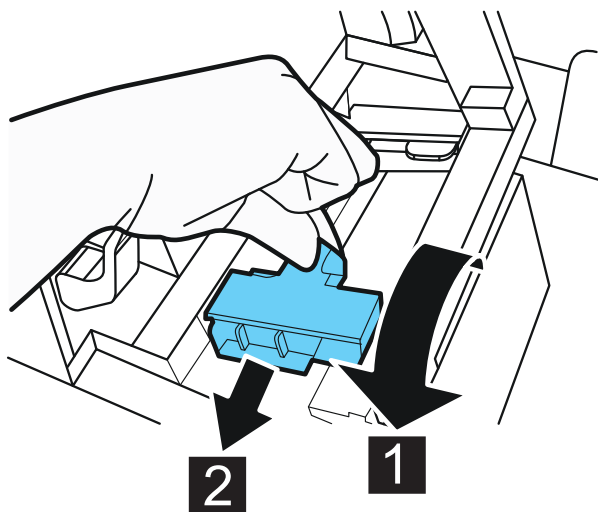
- 1 ロールカバーを開きます。



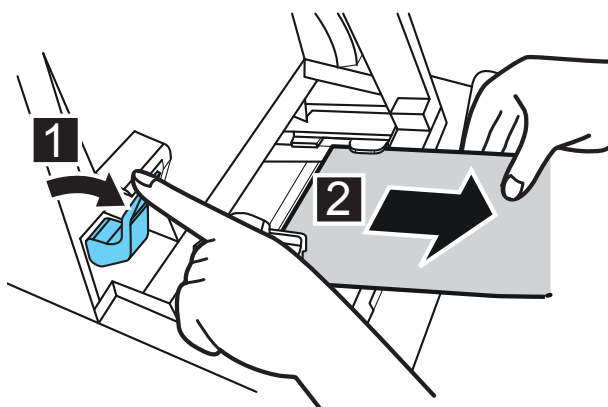
- 2** 用紙ガイドのレバーを押して、ガイドを開きます。



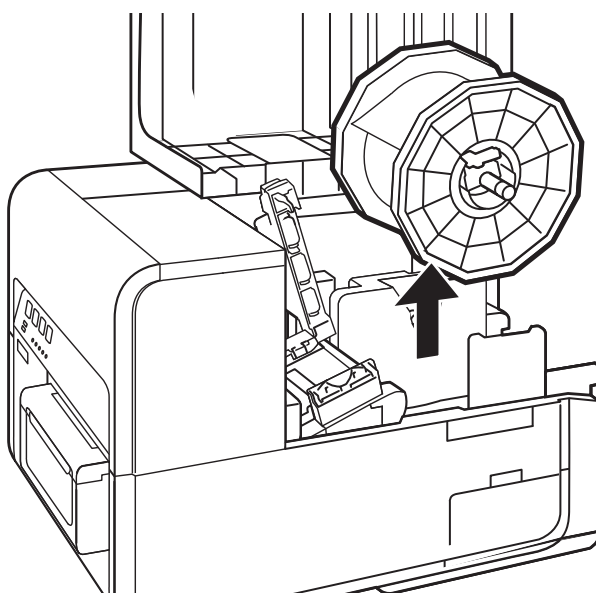
- 3** 搬送ガイド(右)を開いて、右側に止まる位置までスライドさせます。



- 4** ピンチローラー圧解除レバーを押しながら用紙を抜き取ります。



- 5** ロールホルダーを取り外します。



6 新しい用紙をセットします。

➡ 「1-4 用紙をセットする (P.17)」

 メモ

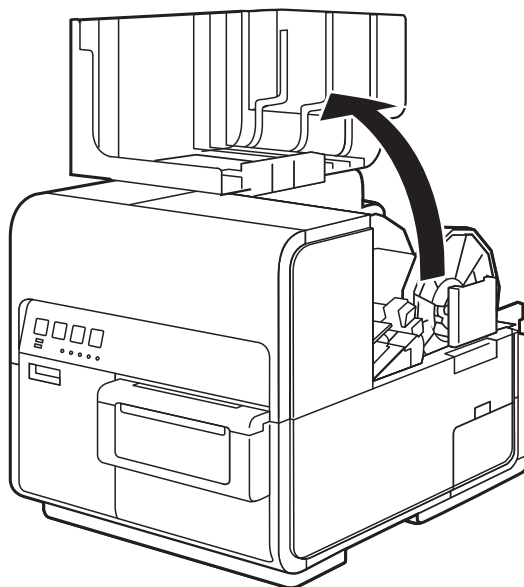
- 用紙残量が少ない状態でバックフィードキーを押すと、ロールホルダーが空転する場合があります。

1-7 用紙の後端処理をする

用紙を最後まで使い切ったときの説明をします。

用紙を使い終わると、ステータスモニターに「用紙なし」と表示されて、プリンターが停止します。印刷を続けるには、次の手順で新しい用紙をセットしてください。

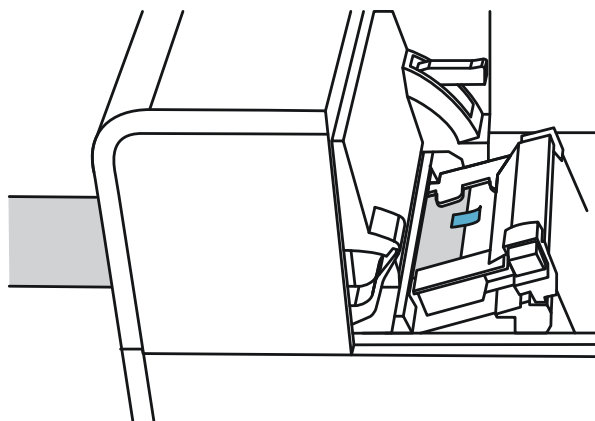
1 ロールカバーを開きます。



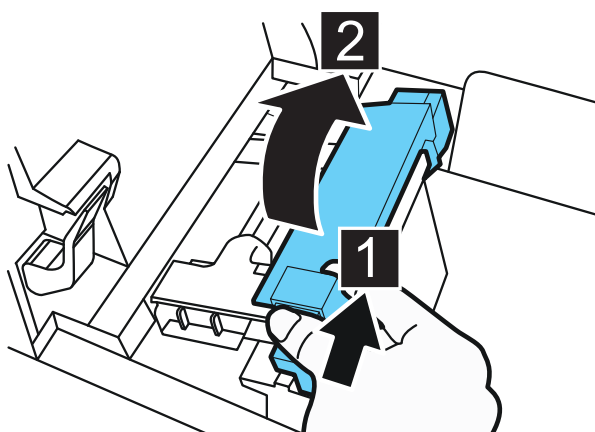
メモ

- 用紙残量が少ない状態で印刷が実行された場合、ロールホルダーが空転する場合があります。

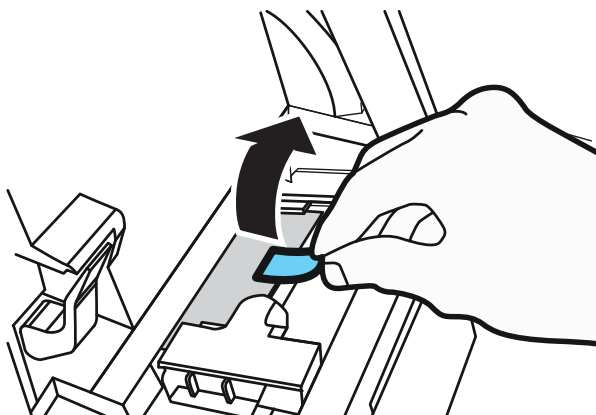
- 2** 用紙の後端部に貼ってあるテープを確認します。



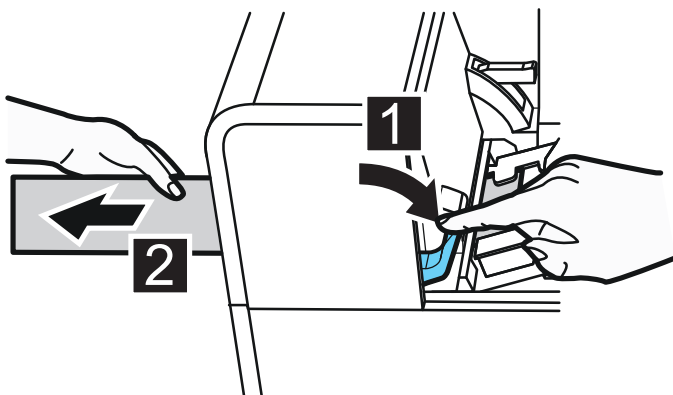
- 3** 用紙ガイドのレバーを押して、ガイドを開きます。



- 4** 用紙の後端部をとめているテープを剥がします。



- 5** ピンチローラー圧解除レバーを押しながら、排紙口より用紙を引き出してください。



- 6** 新しい用紙をセットします。

➡ 「1-4 用紙をセットする (P.17)」

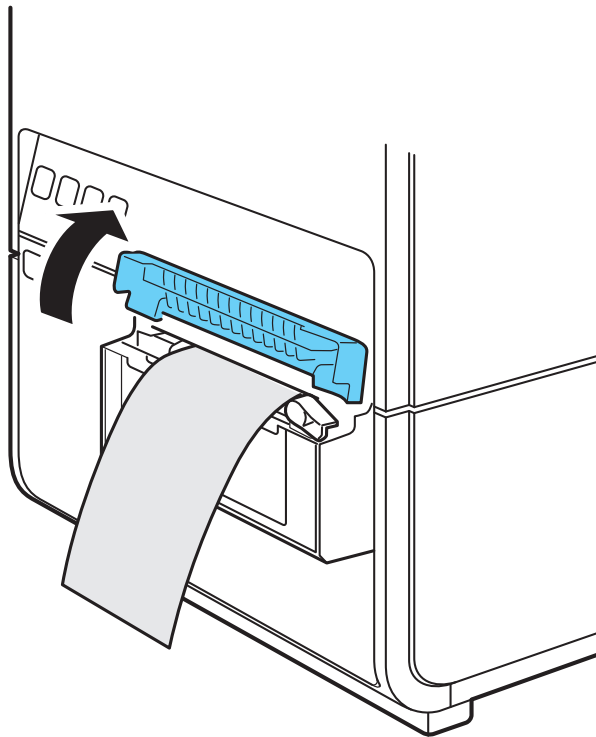
1-8 手動カッターを使う

印刷後の手動カッターの使い方を説明します。

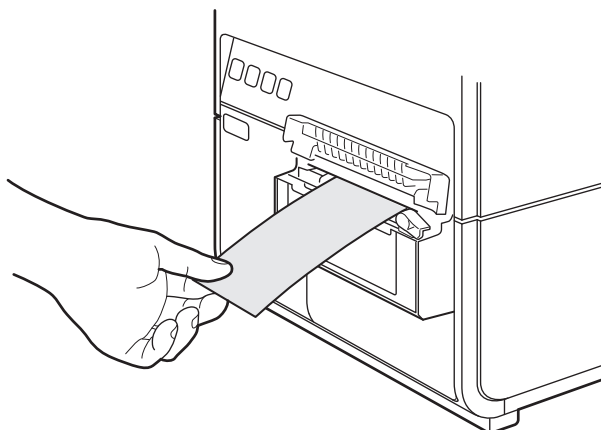
! 注意

- 手動カッターに手や顔をぶつけないように注意してください。けがの原因となります。また、ラベルの印刷が終了したことを確認してから切り離すようにしてください。

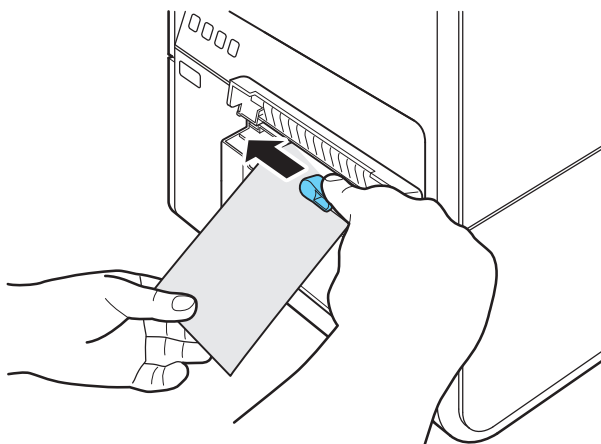
1 カッターカバーを開きます。



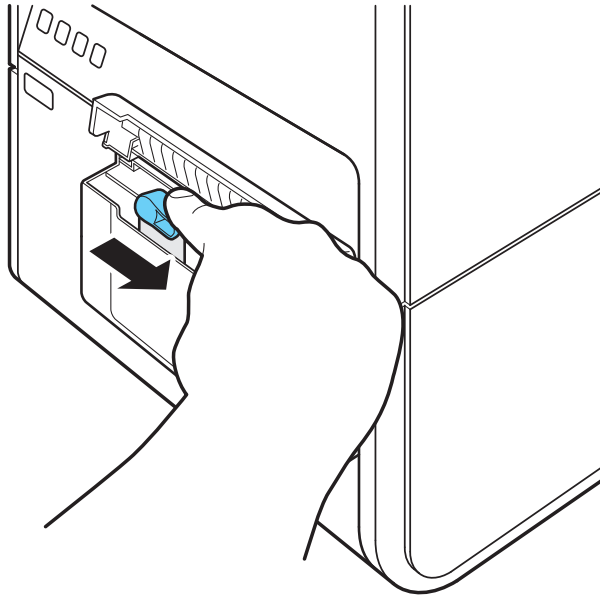
- 2** 印刷されたラベルを図のように持ちます。



- 3** カッターを図のように軽くスライドさせて、ラベルを切り離します。



4 カッターを元の位置に戻して、カッターカバーを閉じます。



 メモ

- カッターの切れ味が著しく落ちたときは、分解等せずにお買い求めの販売店またはサービス店にご連絡ください。

第2章 印刷のしかた

印刷の準備ができれば、各種のアプリケーションソフトウェアなどで原稿を作成し、印刷を行います。ここでは Windows で「LabelCreate SE」を使用した印刷方法を例に説明しています。

2-1 印刷を行う

原稿が作成できたら、アプリケーションソフトウェアから印刷を開始します。

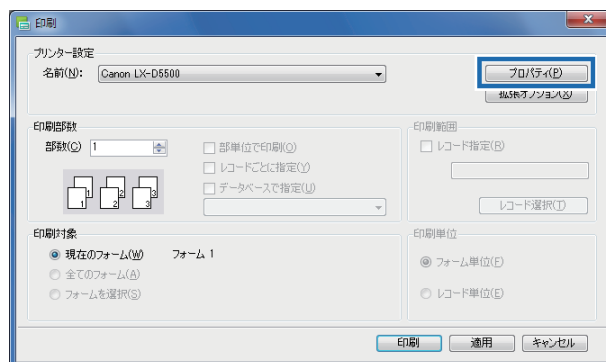
重要

- 印刷中にプリンターに対して振動や衝撃を与えないようにしてください。紙づまりや印刷不良の原因となります。

メモ

- お使いのアプリケーションソフトウェアによって、印刷の手順や画面のボタン名などが異なります。お使いのアプリケーションソフトウェアの説明書を併せてご覧ください。
- コンピューターの休止状態およびスリープ状態になる時間を「適用しない」（または「なし」）に設定してください。コンピューターが休止状態またはスリープ状態から復帰操作したときは、コンピューターから送信したデータが破棄されるようになっています。コンピューターの休止状態およびスリープ状態の時間は［電源とスリープ］（または［電源とバッテリー］）で設定します。詳しくは、Windows のヘルプをご覧ください。

- 1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューを開き、［印刷］をクリックします。
印刷のダイアログボックスが表示されます。



2 [プリンター設定] にて、本プリンター名が表示されていることを確認します。

別のプリンター名が表示されている場合は、本プリンターを選択してください。

メモ

- お使いのアプリケーションソフトウェアにプリンターの設定を行うボタン（[詳細設定]、[プロパティ] など）がある場合は、ここで用紙の種類や色設定などの印刷設定を行います。

3 部数を指定します。

ここで指定した部数は、プリンタードライバの印刷設定ダイアログボックスの設定よりも優先されます。

4 用紙の準備ができていることを確認し、[印刷] をクリックします。

印刷が開始されます。

メモ

- 目的に合わせて印刷の設定を変えたい場合は、「プリンタードライバの使いかた」をご覧ください。
➡ 「第3章 プリンタードライバの使いかた (P.44)」
- 用紙サイズ、印刷の向き、印刷部数など、アプリケーションソフトウェアとプリンタードライバで同じ設定項目がある場合、アプリケーションソフトウェアの設定の方が優先されることがあります。
- アプリケーションソフトウェアの中で設定した印刷設定は、そのアプリケーションソフトウェアだけで使用されます。いろいろなアプリケーションソフトウェアで共通して使用する印刷設定は、Windows の [プリンターとスキャナー] から設定します。

2-2 印刷を中止する

コンピュータから印刷しているときに印刷を中止、または一時停止する方法を説明します。

■ 印刷を中止する

印刷を中止したいときは、ステータスマニターの「印刷中止」をクリックします。



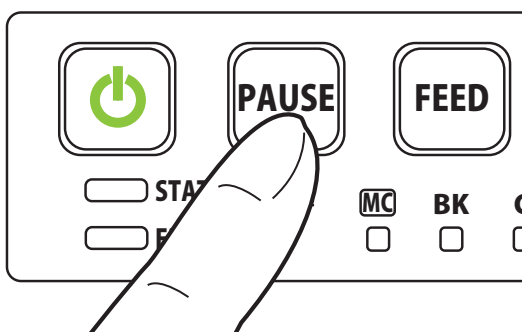
印刷が中止され、現在印刷中のジョブとプリンターにてデータ処理中または受信中のジョブ、およびコンピュータにてデータ処理中のすべての印刷データを破棄します。

📖 メモ

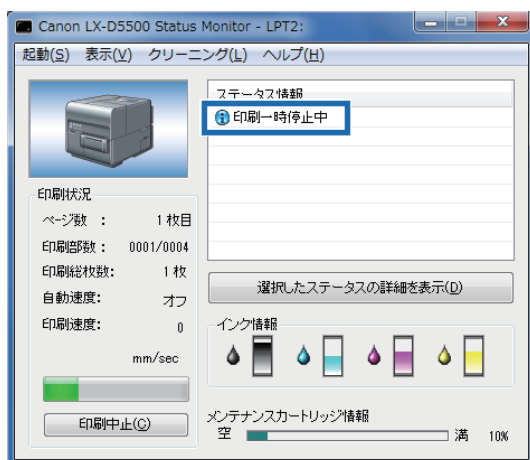
- ステータスマニターが表示されていない場合は、タスクバーに最小化されているか、またはタスクトレイに入っています。それぞれクリックすると、ステータスマニターが表示されます。
➡ 「4-1 ステータスマニターを表示する (P.138)」
- ステータスマニター以外にも印刷キューウィンドウ（印刷ジョブの一覧が表示されるウィンドウ）で印刷を中止できます。印刷キューウィンドウは次の手順で表示できます。
 - 1) タスクバーの「検索」アイコンをクリックし、検索ボックスに「プリンターとスキャナー」と入力します。
 - 2) 「プリンターとスキャナー」アイコンをクリックします。
 - 3) 本プリンターをクリックし、「キューを開く」を選びます。

■ 印刷を一時停止する

印刷を一時停止したいときは操作パネルのポーズキーを押します。
再度ポーズキーを押すと、印刷を再開します。



(ステータスモニターの表示)

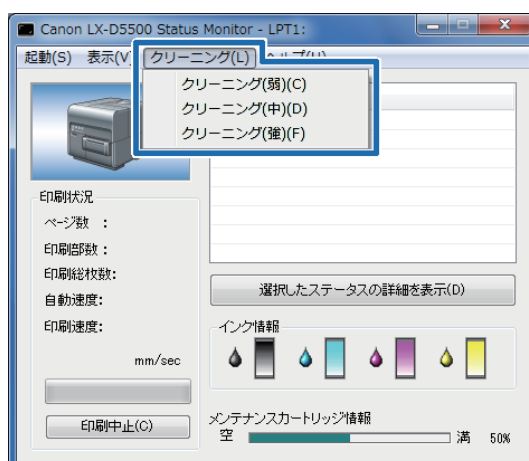


■ 一時停止中にクリーニングを行う

重要

- ステータスモニターからのクリーニングは、一時停止中のみ有効です。
- 一時停止中は、[ユーティリティー] シートを使用することができません。

ステータスモニターの [クリーニング] メニューから [クリーニング (弱)]、[クリーニング (中)]、[クリーニング (強)] のいずれかを選びます。



インクの噴出し口(ノズル) の目づまりをクリーニングします。
印刷結果の状態に合わせて、弱、中、強から選んでクリーニングを行ってください。

クリーニング (弱)	印刷のかすれが発生したときに行ってください。
------------	------------------------

クリーニング (中)	クリーニング (弱) を行っても印刷のかすれが発生するときに行ってください。
------------	--

クリーニング (強)	クリーニング (中) を行っても印刷のかすれが発生するときに行ってください。
------------	--

重要

- クリーニング中は、その他の動作を行わないでください。
- 印刷中やエラーが発生している状態のときは、クリーニングはできません。
- クリーニングによって状況が改善されない場合は、プリントヘッドの消耗など、別の原因が考えられます。ご購入の販売店やサービス店、お客さま相談センターにお問い合わせください。
- クリーニングはインクを消費します。

第3章 プリンタードライバーの使いかた

プリンタードライバーのダイアログボックスにある各項目の機能を説明します。

3-1 印刷設定画面を表示する

印刷設定画面について説明をします。

いろいろな印刷機能の設定を行う場合は、プリンタードライバーの印刷設定画面を表示します。この印刷設定画面は、アプリケーションソフトウェアから表示する方法と、Windowsの「[プリンターとスキャナー]」から表示する方法があります。

メモ

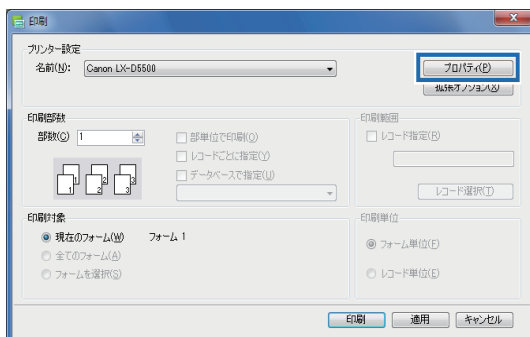
- アプリケーションソフトウェアから表示する印刷設定画面（「プロパティ」ダイアログボックス）で設定した印刷設定は、そのアプリケーションソフトウェアだけで使用されます。
 - いろいろなアプリケーションソフトウェアで共通して使用する印刷設定は、Windowsの「[プリンターとスキャナー]」から設定します。
- ➡ 「[プリンターとスキャナー]」から表示する（P.46）」

■ アプリケーションソフトウェアから表示する

使用しているアプリケーションソフトウェアから印刷設定画面を表示して設定を行います。ここでは、Windowsで「LabelCreate SE」を使用した場合を例に説明しています。

- 1 「LabelCreate SE」の「[ファイル]」メニューを開き、「[印刷]」をクリックします。

2 「プリンター設定」で本プリンターを選択して「プロパティ」をクリックします。



印刷設定画面（「プロパティ」ダイアログボックス）が表示されます。



メモ

- 印刷設定画面を表示する方法は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。詳しくは、お使いのアプリケーションソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。
- 印刷設定画面の「ユーティリティ」シートからプリントヘッドのクリーニングなどを行うことができます。
- 「ユーティリティ」シートは、表示のしかたによって設定できる項目が異なります。

➡ 「3-8 「ユーティリティ」シートを利用する (P.112)」

■ 「プリンターとスキャナー」 から表示する

Windows の「プリンターとスキャナー」 から印刷設定画面を表示して設定を行います。
アプリケーションソフトウェアによらず共通の印刷設定を登録する場合は、この方法で表示します。

- 1 タスクバーの「検索」 アイコンをクリックし、検索ボックスに「プリンターとスキャナー」と入力します。
- 2 「プリンターとスキャナー」 アイコンをクリックします。
- 3 本プリンターの「印刷設定」 を選びます。

- Windows 11 のとき

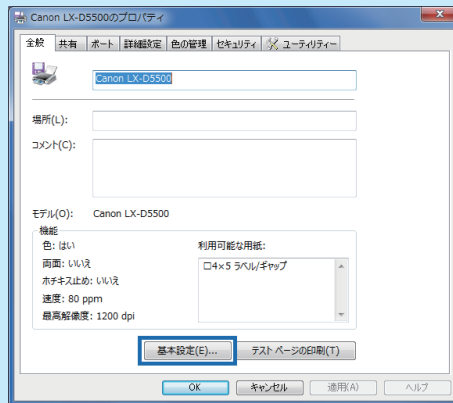
本プリンターをクリックし、「印刷設定」 を選びます。

印刷設定画面（「印刷設定」 ダイアログボックス）が表示されます。



メモ

- 印刷設定画面は、次の手順を使って表示することもできます。
 - 1) タスクバーの「検索」アイコンをクリックし、検索ボックスに「プリンターとスキャナー」と入力します。
- Windows 11 のとき
 - 本プリンターをクリックし、[プリンターのプロパティ] を選択します。
 - 2) [プリンターとスキャナー] アイコンをクリックします。
 - 3) 本プリンターのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選択します。
 - 4) [全般] シートの [基本設定] をクリックします。



3-2 [ページ設定] シートを利用する

[ページ設定] シートについて説明します。

[ページ設定] シートでは、用紙に関する設定や印刷部数、印刷の向きなどを設定することができます。



[1] 用紙サイズのプレビュー

現在設定されている用紙サイズがプレビュー表示されます。

[2] 印刷の向きのプレビュー

現在設定されている印刷の向きがプレビュー表示されます。

[3] お気に入り

よく使う印刷設定を登録します。

➡ 「[お気に入り] に登録している印刷設定を使う (P.57)」

[4] [登録 / 削除]

お気に入りの登録または削除を行います。

➡ 「[お気に入り] を登録する (P.50)」

➡ 「[お気に入り] を削除する (P.55)」

[5] 用紙サイズ

用紙サイズを設定します。

➡ 「標準ラベル用紙（登録されている用紙）（P.60）」

[6] ユーザー用紙サイズ設定

用紙サイズを自由に設定します。

➡ 「用紙サイズを自由に設定する（P.62）」

[7] 用紙種類

用紙の種類を設定します。

➡ 「用紙の種類を選ぶ（P.68）」

[8] 印刷部数

印刷する部数を設定します。

[9] 印刷の向き

用紙に対する印刷の向きを設定します。

➡ 「印刷の向きを選ぶ（P.69）」

[10] 選択した縦横の向きで印刷する

[印刷の向き] で選択した縦横の向きで印刷するときに設定します。

➡ 「選択した縦横の向きで印刷する（P.71）」

[11] 設定内容確認

現在の印刷設定の内容が表示されます。

➡ 「設定内容を確認する（P.73）」

バージョン情報

プリンタードライバーのバージョン情報と現在接続しているプリンターの情報が表示されます。

➡ 「バージョン情報を確認する（P.74）」

標準に戻す

[ページ設定] シートの設定を標準の設定に戻します。

[12] ファンフォールド紙モード

〔特殊設定〕でファンフォールド紙を使用する設定になっていれば、チェックが入った状態を表示します。

➡ 「特殊な設定を行う (P.132)」

メモ

- アプリケーションソフトウェアから印刷設定画面を表示した場合は、設定の登録や削除ができません。設定の登録や削除を行う場合は、Windows の〔プリンターとスキャナー〕から印刷設定画面を開いてください。

➡ 「〔プリンターとスキャナー〕から表示する (P.46)」

- ファンフォールド紙に印刷するときは、〔ユーティリティ〕シートの〔特殊設定〕をクリックして、〔ファンフォールド紙モード〕にチェックを入れてください。

➡ 「特殊な設定を行う (P.132)」

■ 「お気に入り」を登録する

お気に入りは、最大 10 個まで登録しておくことができます。登録したお気に入りは、リストから選ぶだけで読み込まれ、いつでも同じ設定で印刷することが可能です。

メモ

- アプリケーションソフトウェアから印刷設定画面を表示した場合は、設定の登録や削除ができません。設定の登録や削除を行う場合は、Windows の〔プリンターとスキャナー〕から印刷設定画面を開いてください。

➡ 「〔プリンターとスキャナー〕から表示する (P.46)」

- 1** [ページ設定] シート、[色設定] シート、[カッター設定] シート、[オーバーレイ設定] シート、および [アドバンスド設定] シートで登録する内容を設定します。

[ページ設定] タブ、[色設定] タブ、[カッター設定] タブ、[オーバーレイ設定] タブ、[アドバンスド設定] タブをクリックし、それぞれのシートを表示して設定を行ってください。

メモ

- [ページ設定] シートで、既定の用紙サイズとは異なったサイズを登録したい場合は、ユーザー用紙設定で任意の用紙設定を行い、予め登録をしておいてください。

➡ 「用紙サイズを選ぶ (P.59)」

- 2** [ページ設定] シートに戻ります。

[お気に入り] で [現在の設定] が選ばれていることを確認してください。



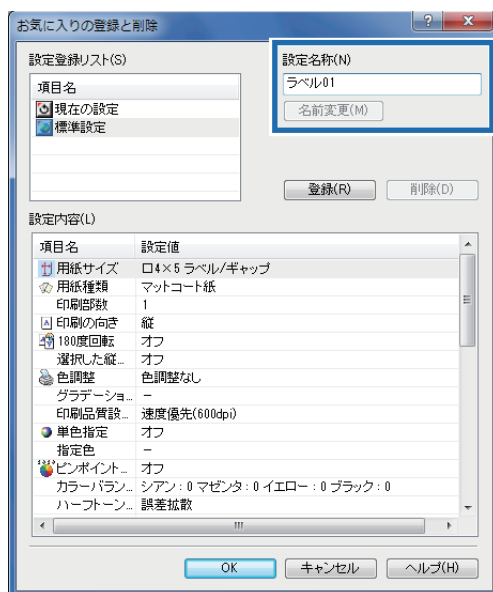
3 「登録 / 削除」 をクリックします。



「お気に入りの登録と削除」ダイアログボックスが表示されます。

4 「設定名称」 に任意の名称を入力し、「設定内容」を確認します。

ここでは、「ラベル 01」という名称で登録します。



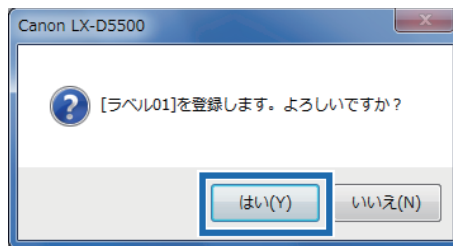
メモ

- 名前の入力省略できません。また、名前にはスペースやタブは使用できません。名前は半角、全角ともに16文字まで入力できます。
- [現在の設定]、[標準設定]の位置には登録できませんので、入力した新しい名称が追加されます。

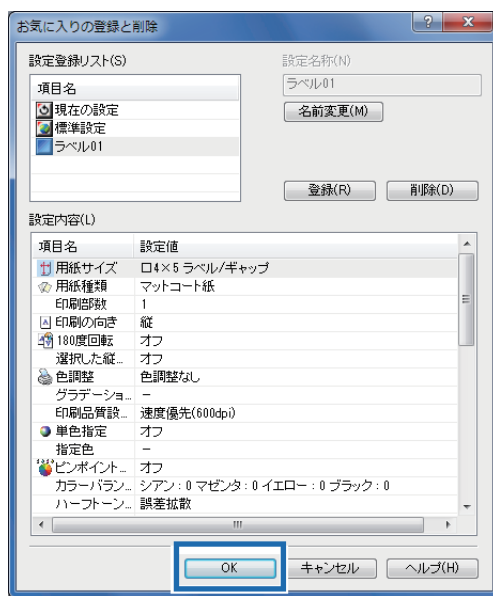
5 [登録] をクリックします。

確認のメッセージが表示されます。

6 [はい] をクリックします。



7 「設定内容」を確認したあと、「OK」をクリックします。



「お気に入り」に登録した設定が追加されます。



メモ

● 登録されているお気に入りの名称を変更するときは次の手順で行います。

- ① 「お気に入り」で変更したい項目名を選び、「登録 / 削除」をクリックします。
- ② 「設定名称」で名前を変更し、「登録」をクリックします。

■ 「お気に入り」を削除する

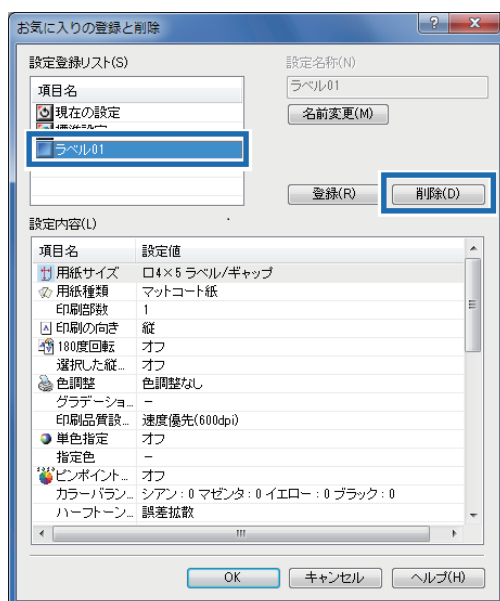
お気に入りに登録した設定を削除します。

1 「お気に入り」の「登録/削除」をクリックします。



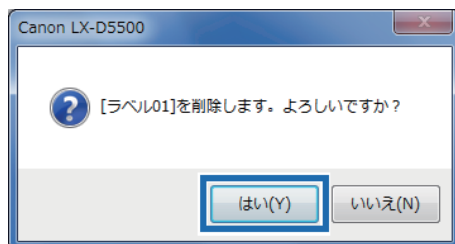
「お気に入りの登録と削除」ダイアログボックスが表示されます。

2 「設定登録リスト」から削除したい設定を選択し、「削除」をクリックします。



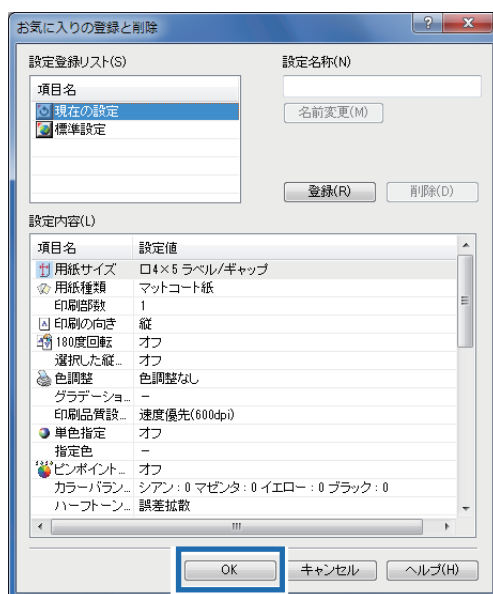
確認のメッセージが表示されます。

3 [はい] をクリックします。



[設定登録リスト] から設定が削除されます。

4 [OK] をクリックします。



■ 「お気に入り」に登録している印刷設定を使う

お気に入りに登録されている印刷設定を使って印刷します。

登録されている印刷設定は、リストから選ぶだけで読み込まれるので、いつでも目的に合った設定で印刷できます。

1 「お気に入り」から使用したい印刷設定を選択します。



印刷設定が読み込まれます。

メモ

- 「設定内容確認」をクリックすると、現在の印刷設定の内容が表示されます。
- 「標準設定」を選択すると、プリンタードライバーをインストールしたときの状態（設定を変更していない状態）に設定されます。

● 標準設定では、次のような設定状態になります。

シート名	項目	設定	
		LX-D5500 (染料モデル)	LX-P5500 (顔料モデル)
ページ設定	用紙サイズ	□ 4x5 ラベル / ギャップ	
	用紙の種類	マットコート紙	
	印刷部数	1	
	印刷の向き	縦	
	180 度回転	オフ (チェックなし)	
	選択した縦横の向きで印刷する	オフ (チェックなし)	
色設定	色調整	色調整なし	
	グラデーションを簡易で印刷する	オン (チェックあり)	
	印刷品質設定	速度優先 (600dpi)	
	単色指定	オフ (チェックなし)	
	ピンポイント色合わせ	オフ (チェックなし)	
	カラーバランス *	Bk/C/M/Y すべて 0	
	ハーフトーン処理 *	誤差拡散	
	明るさ調整 *	通常	
	シャープネス *	0 (しない)	
	濃度 *	0	
	コントラスト *	0	
	レベル補正 *	オフ (チェックなし)	
	カラーインク節約 *	-	オフ (チェックなし)
	エコノミー印刷 *	-	オフ (チェックなし)
オーバーレイ設定	オーバーレイ	オフ (チェックなし)	
カッター設定 **	オートカッター	オフ	
アドバンスド設定	割付印刷	しない	
	枠線印刷	オフ	
	印刷順	昇順	
	印刷速度	200mm/sec	150mm/sec

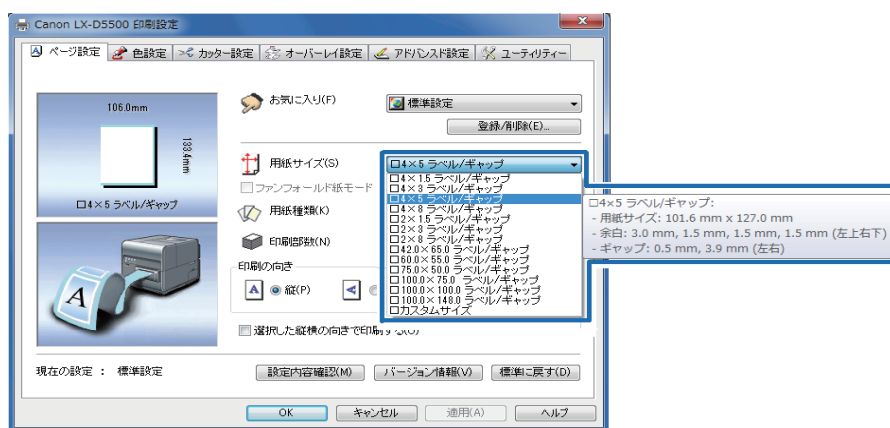
*：[詳細設定] ダイアログボックスの項目です。

**：カッター設定シートは、オプションのオートカッターを装着した時に使用します。

■ 用紙サイズを選ぶ

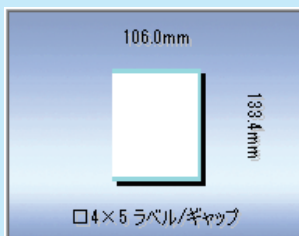
〔用紙サイズ〕では、印刷する用紙のサイズを選びます。

〔用紙サイズ〕は、次の中から選べます。



メモ

- 現在の用紙サイズは、プレビュー表示で確認できます。



第3章 プリンタードライバの使いかた

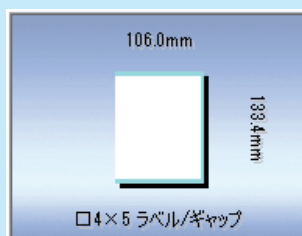
● 標準ラベル用紙（登録されている用紙）

13 種類の用紙サイズがあらかじめ登録されています。

用紙サイズの 名称	用紙の形状	サイズ (幅×長さ) mm	余白量 mm				ギャップ/ マーク長 mm	ギャップ mm	
			上 余白	下 余白	左 余白	右 余白		左	右
4 X 1.5 ラベル / ギャップ	ラベル / ギャップ	97.3 × 38.1	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	2.0	2.3
4 X 3 ラベル / ギャップ		97.3 × 76.2	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	2.0	2.3
4 X 5 ラベル / ギャップ		101.6 × 127	1.5	1.5	3.0	1.5	6.4	0.5	3.9
4 X 8 ラベル / ギャップ		97.3 × 203.2	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	2.0	2.3
2 X 1.5 ラベル / ギャップ		46.5 × 38.1	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	2.0	2.3
2 X 3 ラベル / ギャップ		46.5 × 76.2	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	2.0	2.3
2 X 8 ラベル / ギャップ		46.5 × 203.2	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	2.0	2.3
42.0 X 65.0mm ラベル / ギャップ		42 × 65	1.5	1.5	1.5	1.5	4.8	2.0	6.0
60.0 X 55.0mm ラベル / ギャップ		60 × 55	1.5	1.5	1.5	1.5	5.3	2.0	2.0
75.0 X 50.0mm ラベル / ギャップ		75 × 50	1.5	1.5	1.5	1.5	4.8	2.0	2.0
100.0 X 75.0mm ラベル / ギャップ		100 × 75	1.5	1.5	2.5	2.5	5.5	1.0	1.0
100.0 X 100.0mm ラベル / ギャップ		100 × 100	1.5	1.5	2.5	2.5	4.8	1.0	1.0
100.0 X 148.0mm ラベル / ギャップ		100 × 148	1.5	1.5	2.5	2.5	6.0	1.0	1.0

メモ

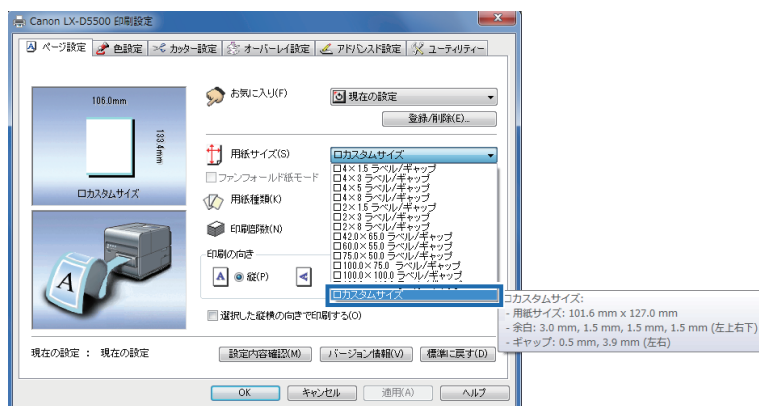
- 現在の用紙サイズは、プレビュー表示で確認できます。



● カスタムサイズ

任意の用紙サイズを設定できます。

同じく任意の用紙サイズを設定できるユーザー定義サイズとは異なり、アプリケーションソフトウェアから印刷設定画面を表示した場合に一時的な用紙サイズの設定を行うことができます。



用紙サイズの名称	用紙の形状	サイズ (幅×長さ) mm	余白量 mm				ギャップ / マーク長 mm	ギャップ mm	
			上 余白	下 余白	左 余白	右 余白		左	右
カスタムサイズ	ラベル / ギャップ	101.6 × 127	1.5	1.5	3.0	1.5	6.4	0.5	3.9

メモ

- カスタムサイズは、用紙の名称は変更できません。
- アプリケーションソフトウェアから印刷設定画面を表示して「カスタムサイズ」を設定した場合は、そのアプリケーションソフトウェアを閉じると「カスタムサイズ」の設定情報も消去されます。

■ 用紙サイズを自由に設定する

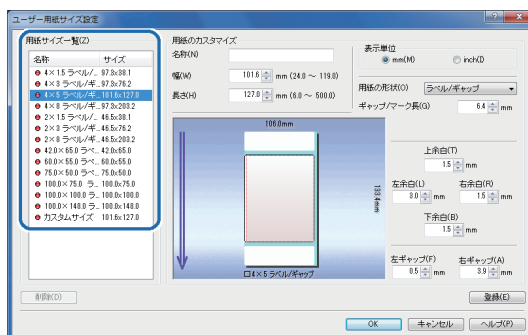
使用したい用紙のサイズが「用紙サイズ」に無い場合は、「ユーザー用紙サイズ設定」で新しい用紙設定を行います。

用紙サイズの登録は「ユーザー用紙サイズ設定」に 50 種類まで登録できるほか、あらかじめ登録されている標準ラベル用紙のサイズを自由に変更して登録することもできます。

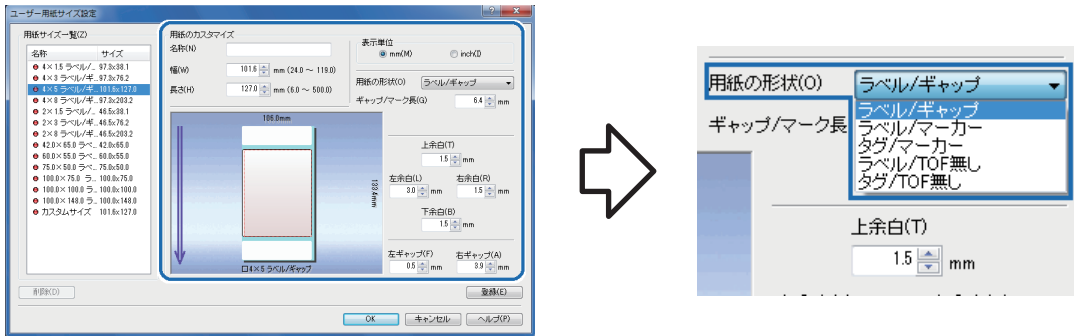
メモ

- 「用紙サイズの名称」「幅」「長さ」「表示単位」「用紙の形状」「ギャップ / マーク長」「余白」「ギャップ」が登録できます。
- 標準ラベル用紙名称は、変更できません。

1 「用紙サイズ一覧」から、基本にする用紙サイズを選びます。



2 「名称」「幅」「長さ」「余白」「ギャップ」「表示単位」「用紙の形状」の各項目を入力または選択します。



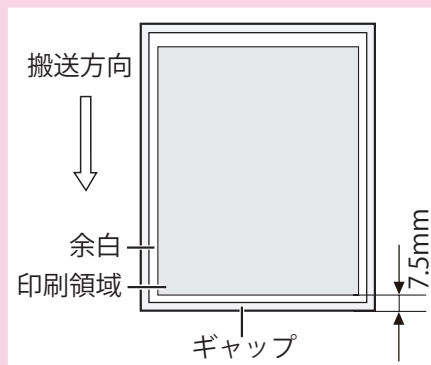
[名称]	新しい用紙の名称を入力します。 名称は半角、全角ともに 15 文字まで入力できます。										
[幅] [長さ]	設定できる範囲内で数値を入力します。										
[表示単位]	mm または inch を選択します。										
[用紙の形状]	印刷に使用する用紙の形状を選択します。 <table border="1"> <tr> <td>[ラベル / ギャップ]</td><td>通常のラベル用紙です。 ラベル間のギャップを検知して用紙の先端を認識します。</td></tr> <tr> <td>[ラベル / マーカー]</td><td>裏側に TOF マークが印刷してあるラベル用紙です。 TOF マークで用紙の先端を認識します。</td></tr> <tr> <td>[タグ / マーカー]</td><td>裏側に TOF マークが印刷してあるタグ用紙です。 TOF マークで用紙の先端を認識します。</td></tr> <tr> <td>[ラベル / TOF 無し]</td><td>裏側に TOF マークがないラベル用紙です。</td></tr> <tr> <td>[タグ / TOF 無し]</td><td>裏側に TOF マークがないタグ用紙です。</td></tr> </table>	[ラベル / ギャップ]	通常のラベル用紙です。 ラベル間のギャップを検知して用紙の先端を認識します。	[ラベル / マーカー]	裏側に TOF マークが印刷してあるラベル用紙です。 TOF マークで用紙の先端を認識します。	[タグ / マーカー]	裏側に TOF マークが印刷してあるタグ用紙です。 TOF マークで用紙の先端を認識します。	[ラベル / TOF 無し]	裏側に TOF マークがないラベル用紙です。	[タグ / TOF 無し]	裏側に TOF マークがないタグ用紙です。
[ラベル / ギャップ]	通常のラベル用紙です。 ラベル間のギャップを検知して用紙の先端を認識します。										
[ラベル / マーカー]	裏側に TOF マークが印刷してあるラベル用紙です。 TOF マークで用紙の先端を認識します。										
[タグ / マーカー]	裏側に TOF マークが印刷してあるタグ用紙です。 TOF マークで用紙の先端を認識します。										
[ラベル / TOF 無し]	裏側に TOF マークがないラベル用紙です。										
[タグ / TOF 無し]	裏側に TOF マークがないタグ用紙です。										
[ギャップマーク長]	カスタムサイズに対するギャップ長、またはマーク長を入力します。										
[用紙余白]	上下余白、左右余白、左右ギャップを入力します。										

【ユーザー用紙サイズ 設定可能範囲】

用紙の形状	ラベル / ギャップ		ラベル / マーカー		タグ / マーカー		ラベル・タグ TOF 無し	
	最小値	最大値	最小値	最大値	最小値	最大値	最小値	最大値
用紙の幅 mm (inch)	24.0 (0.94)	119.0 (4.68)	25.0 (0.98)	120.0 (4.72)	25.0 (0.98)	120.0 (4.72)	25.0 (0.98)	120.0 (4.72)
用紙の長さ mm (inch)	6.0 (0.24)	500 (19.69)	6.0 (0.24)	500 (19.69)	6.0 (0.24)	500 (19.69)	6.0 (0.24)	500 (19.69)
上余白 mm (inch)	1.5 (0.06)	用紙長－3 (0.12)－下余白	1.5 (0.06)	用紙長－3 (0.12)－下余白	1.5 (0.06)	用紙長－3 (0.12)－下余白	1.5 (0.06)	用紙長－3 (0.12)－下余白
下余白 mm (inch)	1.5 (0.06)	用紙長－3 (0.12)－上余白	1.5 (0.06)	用紙長－3 (0.12)－上余白	1.5 (0.06)	用紙長－3 (0.12)－上余白	1.5 (0.06)	用紙長－3 (0.12)－上余白
左余白 mm (inch)	1.5 (0.06)	用紙幅－3 (0.12)－右余白	2.5 (0.10)	用紙幅－3 (0.12)－右余白	2.5 (0.10)	用紙幅－3 (0.12)－右余白	2.5 (0.10)	用紙幅－3 (0.12)－右余白
			AISモード ON 2.7 (0.11)		AISモード ON 2.7 (0.11)		AISモード ON 2.7 (0.11)	
右余白 mm (inch)	1.5 (0.06)	用紙幅－3 (0.12)－左余白	2.5 (0.10)	用紙幅－3 (0.12)－左余白	2.5 (0.10)	用紙幅－3 (0.12)－左余白	2.5 (0.10)	用紙幅－3 (0.12)－左余白
			AISモード ON 2.7 (0.11)		AISモード ON 2.7 (0.11)		AISモード ON 2.7 (0.11)	
ギャップ/マーク長 mm (inch)	2.5 (0.1)	9.5 (0.37)	3.0 (0.12)	10.0 (0.39)	3.0 (0.12)	10.0 (0.39)	—	—
左ギャップ mm (inch)	0.5 (0.02)	2.5 (0.10)	—	—	—	—	—	—
右ギャップ mm (inch)	0.5 (0.02)	95.5 (3.76)	—	—	—	—	—	—

重要

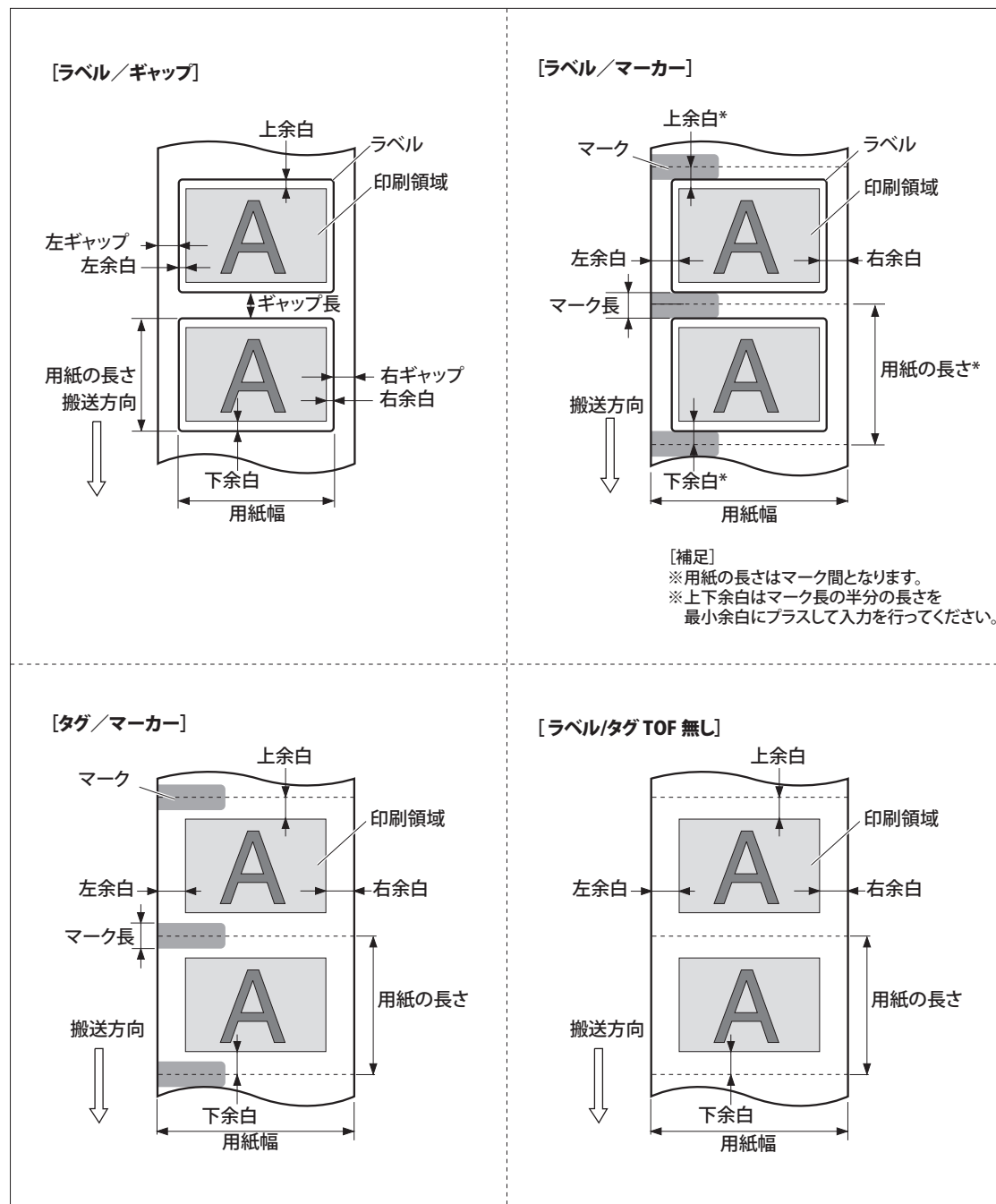
- 標準ラベル用紙以外をお使いになる場合は、本製品をご購入の販売店にお問い合わせください。
 - 用紙の形状が「ラベル/ギャップ」の場合、以下の条件を満たすようにしてください。
 - ・ 用紙の幅と左ギャップと右ギャップの合計が 25.0mm (1inch) 以上
 - ・ 左余白と左ギャップまたは右余白と右ギャップの合計が 2.5mm (0.10inch) 以上 (AIS モード設定がオンのときは 2.7 mm (0.11inch) 以上)
 - 「AIS モード」は、同じノズルを連続して使用することによるプリントヘッドの消耗を軽減するために一定枚数ごとに印刷画像を左または右に 0.2 mm 移動させて印刷する機能です。設定がオン (初期設定はオン) のときは、左右最小余白が 2.7 mm となります。(用紙の形状が「ラベル/ギャップ」の場合は左余白と左ギャップまたは右余白と右ギャップの合計が 2.7 mm)
- ➡ 「特殊な設定を行う (P.132)」
- 文字や線が太くなる場合がありますので、ギャップの先端から 7.5mm 以上空けて入力を行ってください。



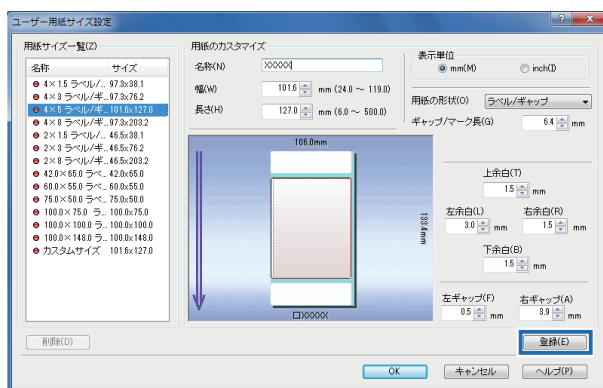
メモ

- ギャップとは、セパレーター (台紙部分) とラベル部分 (上紙) との空き部分です。
- TOF とは「Top Of Form (用紙の先端)」という意味です。
- タグとは、シール加工していない用紙のことです。
- 「ラベル/マーカー」および「タグ/マーカー」での「用紙長」は、マークの中心からマークの中心までの長さです。

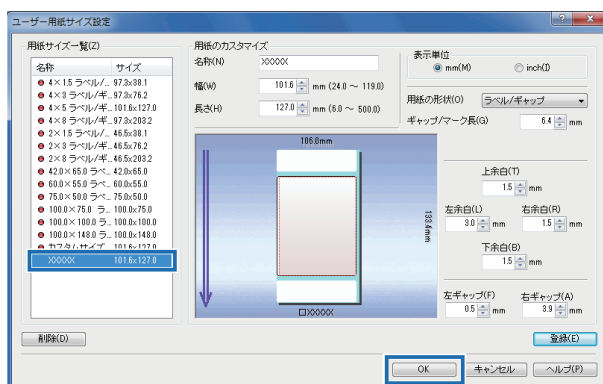
● 用紙を設定する項目の確認図



3 すべての入力完了したら「登録」をクリックします。



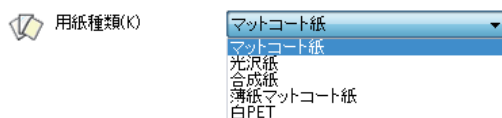
4 「用紙サイズ一覧」に入力した用紙名称が登録されていることを確認して、「OK」をクリックします。



■ 用紙の種類を選ぶ

[用紙種類] では印刷する用紙の種類を選びます。

[用紙種類] は、次の中から選べます。



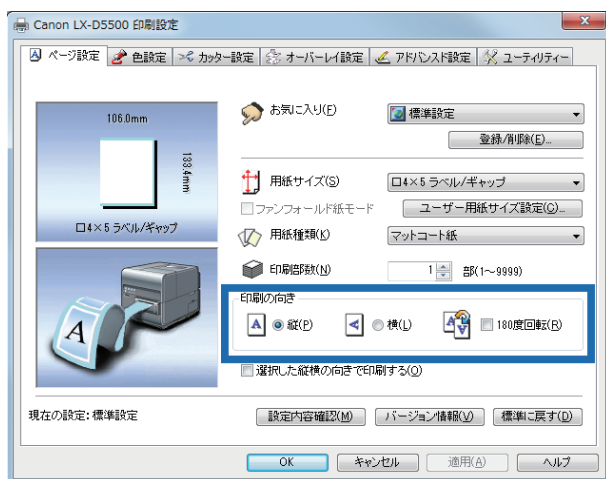
用紙の種類	LX-D5500 (染料モデル)	LX-P5500 (顔料モデル)	内容
[マットコート紙]	○	○	通常の印刷用紙のように幅広い用途に使用できる無光沢の用紙です。
[光沢紙]	○	○	光沢性を有する用紙です。
[合成紙]	○	○	耐久性や耐水性に優れた用紙です。
[薄紙マットコート紙]	○	○	薄紙タイプのコート紙です。
[白 PET]	○	×	素材の伸び縮みが少なく破れにくいフィルムタイプのメディアです。 ※ LX-D5500 のみ対応

📖 メモ

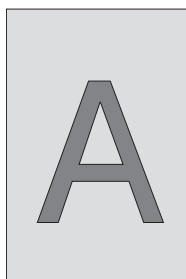
- プリンターにセットしている用紙と異なる用紙種類を設定した場合は、正しい印刷結果が得られない場合がありますので注意してください。

■ 印刷の向きを選ぶ

〔印刷の向き〕では、原稿の印刷する向きを選びます。

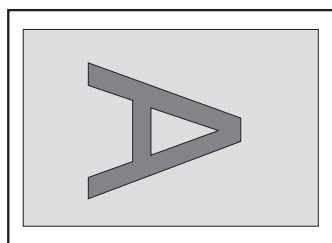


各設定の説明では、以下の原稿を印刷した場合の印刷結果を表わしています。

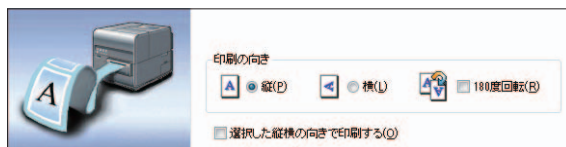


〔縦〕

用紙の送り方向に対して、原稿を 90° 右に回転させて印刷するときに選びます。

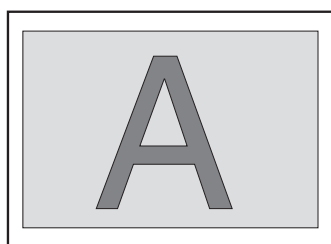


用紙の送り方向

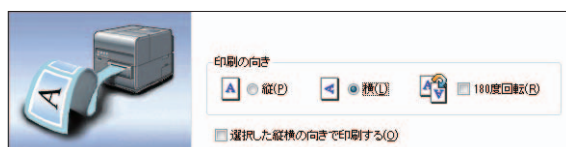


〔横〕

用紙の送り方向に対して、原稿を水平にして印刷するときを選びます。



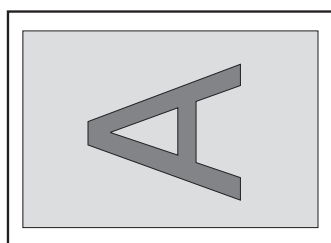
用紙の送り方向



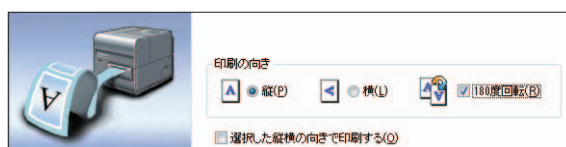
〔180度回転〕

〔縦〕 または 〔横〕 で設定した原稿を 180 度回転して印刷する場合にチェックをつけます。

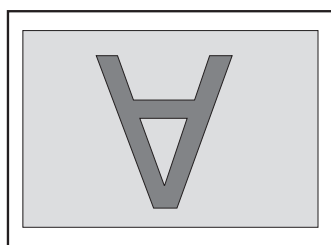
・ 縦 / 180 度回転



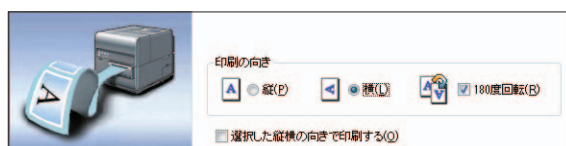
用紙の送り方向



・ 横 / 180 度回転

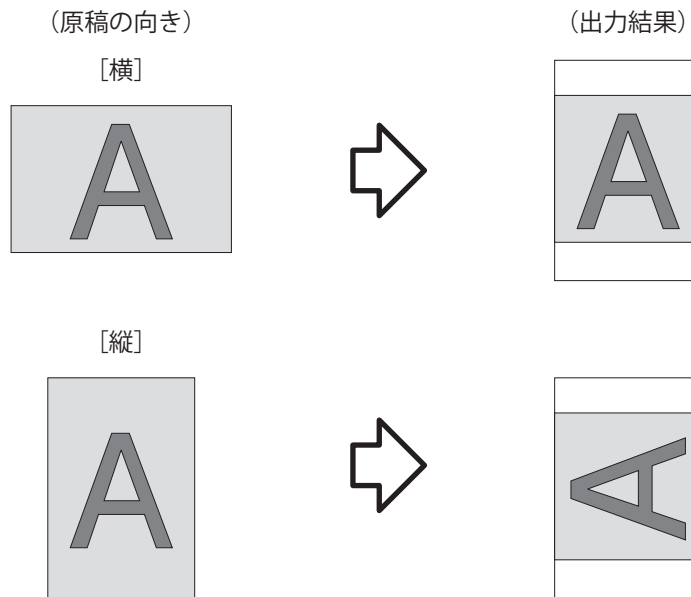


用紙の送り方向



■ 選択した縦横の向きで印刷する

名刺などの横長の用紙に印刷する場合、アプリケーションソフトウェアによっては、原稿の向きを自動的に回転させてしまい、下図のように正しく印刷できないことがあります。このような場合は、プリンタードライバーの「印刷の向き」の設定に合わせて正しく印刷できるように、「選択した縦横の向きで印刷する」を設定する必要があります。



📖 メモ

- ご使用のアプリケーションソフトで正しく印刷できない場合に設定してください。通常、設定する必要はありません。
- 「選択した縦横の向きで印刷する」を設定してもアプリケーションソフトによっては正しく印刷できないことがあります。
- 「選択した縦横の向きで印刷する」の設定は、「180度回転」の設定には影響ありません。

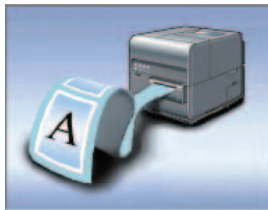
1 「選択した縦横の向きで印刷する」にチェックマークを入れます。



2 「印刷の向き」を設定します。

原稿の向き「横」のとき：

プリンタードライバの「印刷の向き」を「縦」に設定します。

原稿の向き	プリンタードライバの「印刷の向き」
「横」 	「縦」 

原稿の向き「縦」のとき：

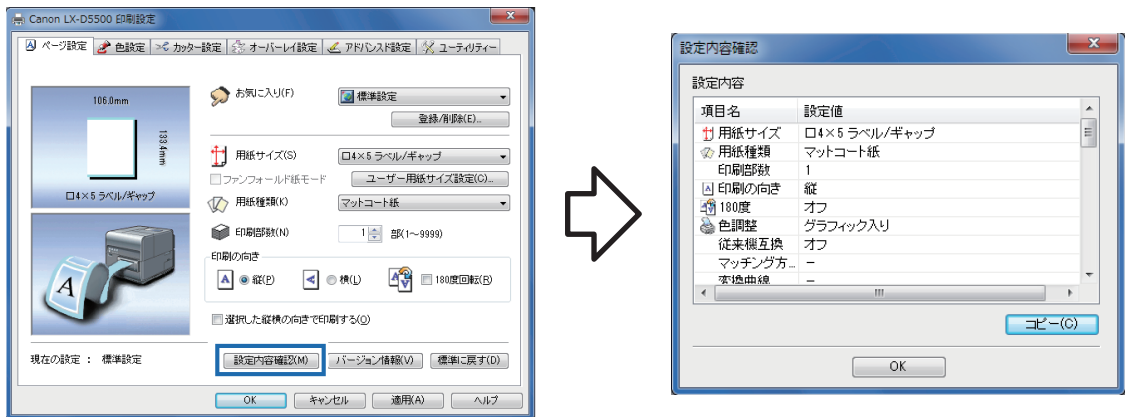
プリンタードライバの「印刷の向き」を「横」に設定します。

原稿の向き	プリンタードライバの「印刷の向き」
「縦」 	「横」 

3 「OK」をクリックします。

■ 設定内容を確認する

「設定内容確認」をクリックすると、現在の用紙の設定内容が確認できます。



メモ

- 「設定内容確認」の「コピー」をクリックすると、現在の設定内容を OS のクリップボードにコピーすることができます。

■ バージョン情報を確認する

[バージョン情報] をクリックすると、プリンタードライバのバージョンや著作権などの情報を確認できます。

[プリンター情報取得] をクリックして、接続しているプリンターの情報を取得します。



📖 メモ

- シリアルナンバー：プリンターの製造番号
- ROM Version：プリンターの ROM バージョン
- プリンター情報は、プリンター本体の接続状態により取得ができない場合があります。
 - ・ プリンターと接続していないとき
 - ・ 通信、ネットワークが混雑しているとき

3-3 [色設定] シートを利用する

[色設定] シートについて説明します。

[色設定] シートでは、印刷するときの画質や色に関する設定を行います。



[1] 用紙サイズのプレビュー

現在設定されている用紙サイズがプレビュー表示されます。

[2] 設定変更後の印刷イメージ

色調整を行った後の印刷イメージがプレビュー表示されます。

[3] 色調整

ドライバーの色補正を使って、最適な色処理方法を指定します。

➡ 「原稿に合った色調整を選ぶ (P.77)」

[4] グラデーションを簡易で印刷する

グラデーションをきれいに印刷するか、はやく印刷するかを選択します。

➡ 「グラデーションを簡易で印刷する (P.80)」

[5] 印刷品質設定

入力解像度きれい（1200dpi）または、速度優先（600dpi）を選択します。

➡ 「印刷品質設定を使う（P.81）」

[6] 単色指定

カラー画像データを指定の単色で印刷します。

➡ 「単色で印刷する（P.82）」

[7] ピンポイント色合わせ設定

「ユーティリティ」で「ピンポイント色合わせ」を行っていないと読み込めません。

➡ 「ピンポイント色合わせを行う（P.123）」

詳細設定

〔詳細設定〕ダイアログボックスを表示します。より詳細な色調整が行えます。

➡ 「3-4〔詳細設定〕ダイアログボックスを使用する（P.84）」

標準に戻す

〔色設定〕を標準の設定に戻します。

■ 原稿に合った色調整を選ぶ

〔色調整〕では、原稿の内容に合った色合いの調整を行います。

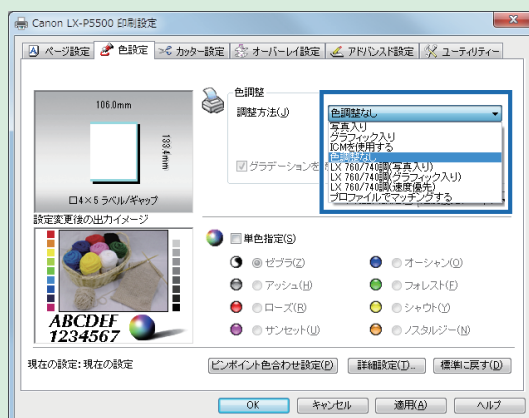
次の3項目から選べます。



[写真入り]	本プリンターに最適な色調整を行います。
[ICM を使用する]	プリンタードライバーでの色調整を行わず、ICM を使用して色調整を行います。 Windows の色補正機能である ICM (Windows Image Color Management) を使用します。
[色調整なし]	色調整を行いません。

■ LX-P5500（顔料モデル）のとき

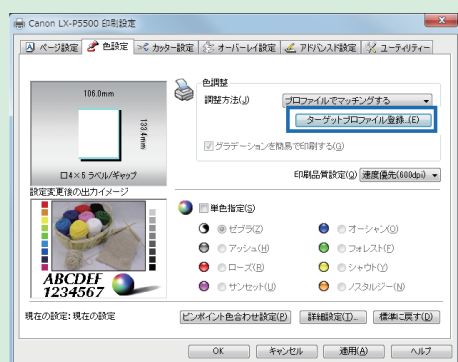
次の8項目から選べます。



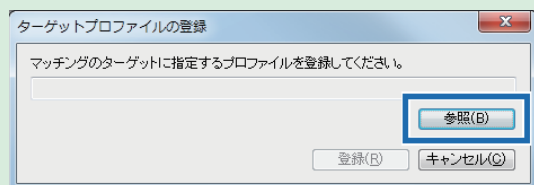
[写真入り]	本プリンターに最適な色調整を行います。写真画像入りの印刷をする場合に選べます。
[グラフィック入り]	本プリンターに最適な色調整を行います。グラフィック画像の印刷をする場合に選べます。
[ICM を使用する]	プリンタードライバーでの色調整を行わず、ICM を使用して色調整を行います。 Windows の色補正機能である ICM（Windows Image Color Management）を使用します。
[色調整なし]	色調整を行いません。
[LX 760/740 調 (写真入り)]	Canon LX 760/Canon LX 740 に合わせた色調整を行います。写真画像入りの印刷をする場合に選べます。
[LX 760/740 調 (グラフィック入り)]	Canon LX 760/Canon LX 740 に合わせた色調整を行います。グラフィック画像の印刷をする場合に選べます。
[LX 760/740 調 (速度優先)]	Canon LX 760/Canon LX 740 に合わせた色調整を行います。印刷内容によらず、速く印刷したい場合に選べます。
[プロファイルでマッチングする]	ICM を使用せず、登録したカラープロファイルを使用して色調整を行います。 (→ P.79)

- [プロファイルでマッチングする] は、次のように設定します。

1. [プロファイルでマッチングする] を選びます。
2. [ターゲットプロファイル登録] をクリックします。



3. [参照] をクリックし、プロファイル (*.ICC; *.ICM) を指定します。



メモ

- 指定可能なファイルは、「Color Profile (*.ICC; *.ICM)」のみです。
- カラープロファイルは、プロファイルの分類が「出力装置プロファイル」かつ、データ色空間型が「RGB」に設定されたプロファイルにのみ対応します。
- サーバークライアント環境の場合は、次のように設定する必要があります。
 - ・プロファイル (*.ICC; *.ICM) は、サーバ側とクライアント側の双方から参照できる共有フォルダーに保存する。
 - ・[ファイル名] (プロファイル (*.ICC; *.ICM) の保存場所) は、ネットワーク上から双方が参照できるパス名で指定する。
(例: ¥¥PC-Common¥profile¥file.icc)

4. [登録] をクリックします。

重要

- [色調整] を [ICM を使用する] に設定すると、ユーティリティの [ピンポイント色合わせ] は設定できません。

➡ 「ピンポイント色合わせを行う (P.123)」

メモ

- 印刷内容に写真とグラフィックの両方が含まれている場合は、「写真入り」を選んでください。
- [色調整] を [ICM を使用する] に設定した場合、「詳細設定」の [明るさ調整] はグレー表示になり、設定は無効になります。

■ グラデーションを簡易で印刷する

グラデーションをきれいに印刷するか、はやく印刷するかを選択できます。
調整方法の「写真入り」の設定を行ったときに設定できます。



チェックなし	グラデーションをきれいに印刷します。
チェックあり	グラデーションをはやく印刷します。

■ LX-P5500（顔料モデル）のとき

調整方法を [写真入り] または [グラフィック入り] に選択している場合に設定できます。

■ 印刷品質設定を使う

印刷するときの、印刷品質を設定します。



[きれい (1200dpi)]

データを 1200 dpi × 1200 dpi の解像度で処理して印刷します。

[速度優先 (600dpi)]

データを 600 dpi × 600 dpi の解像度で処理して印刷します。

■ 単色で印刷する

「単色指定」では、カラーの原稿を単色にして印刷できます。



単色で印刷する場合は、「単色指定」チェックボックスをクリックし、使用する色を選んでチェックを入れます。

単色の指定を解除する場合は、「単色指定」のチェックを外します。

「ゼブラ」	印刷内容を白黒で印刷します。	ブラックインクだけを使って印刷します。
「アッシュ」	印刷内容をグレー系の単色で印刷します。	4色すべてのインクを使って印刷します。
「ローズ」	印刷内容を赤色系の単色で印刷します。	
「サンセット」	印刷内容を紫色系の単色で印刷します。	
「オーシャン」	印刷内容を青色系の単色で印刷します。	
「フォレスト」	印刷内容を緑色系の単色で印刷します。	
「シャウト」	印刷内容を黄色系の単色で印刷します。	
「ノスタルジー」	印刷内容をセピア色系の単色で印刷します。	

メモ

- [ゼブラ] を選んだ場合、「色設定」シートの [色調整]、「詳細設定」の [カラーバランス] [濃度] [コントラスト] [レベル補正] はグレー表示になり、設定できません。
- [単色指定] チェックボックスのチェックを外すと、単色設定値はすべてグレー表示になり、設定できません。

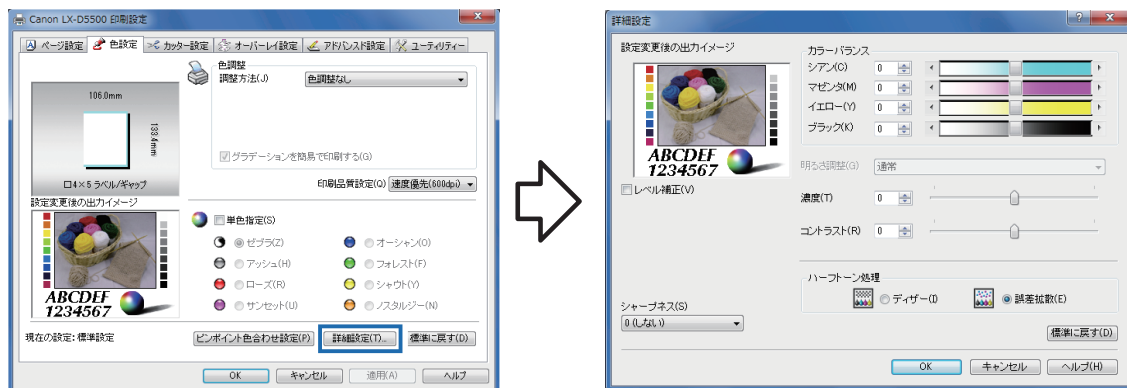
重要

- [単色指定] に設定すると、ユーティリティの [ピンポイント色合わせ] は設定できません。
➡ 「ピンポイント色合わせを行う (P.123)」

3-4 [詳細設定] ダイアログボックスを使用する

[詳細設定] ダイアログボックスの説明をします。

[色設定] シートで、より細かい設定を行いたい場合に使用します。

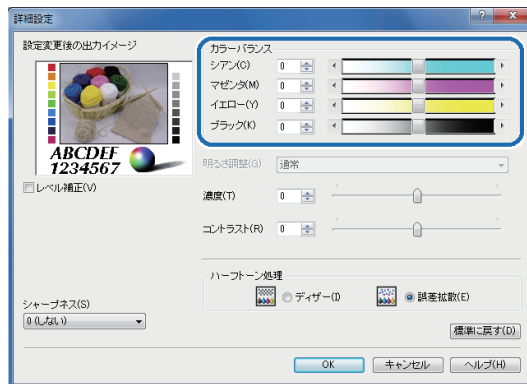


メモ

- [詳細設定] ダイアログボックスの設定を初期設定に戻す場合は、[詳細設定] ダイアログボックスの「標準に戻す」をクリックします。

■ カラーバランスを調整する

[カラーバランス] では、シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック各色の濃度を調整します。



カラーバランスは-50 ~ +50 の範囲で、スライダーをドラッグするか直接入力して調整します。中央が標準 (0) の位置で、左にスライドさせるほど淡くなり、右にスライドさせるほど濃くなります。調整後、[OK] をクリックします。

メモ

- スライダーの左側の入力ボックスをクリックし、キーボードから設定値を入力することもできます。また、スライダーの両端のボタンをクリックすると、現在の設定値から 1 ずつ増減します。

■ 明るさを調整する

「明るさ調整」では、印刷した結果を見て、全体的に暗すぎたり、明るすぎたりする場合は、明るさを調整します。

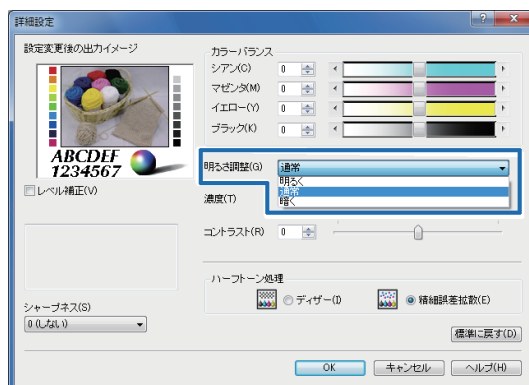
この調整では、もっとも暗い部分と明るい部分の濃淡は変えずに、中間色の明るさを調整できます。

📖 メモ

- 「明るさ調整」を行うときは、「色設定」シートの「色調整」を「写真入り」または「グラフィック入り」に設定してください。「色調整なし」または「ICMを使用する」に設定したときは、明るさを調整できません。

「明るさ調整」は、次の3つから選べます。

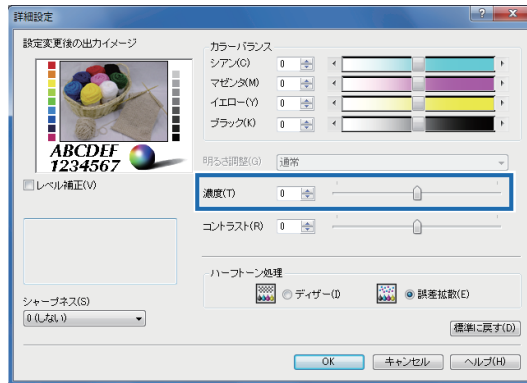
設定後、「OK」をクリックします。



「明るく」	ガンマ係数 1.4 のモニターに近づけます。 印刷内容を明るく印刷します。印刷結果が暗く感じた場合に選びます。
「通常」	ガンマ係数 1.8 のモニターに近づけます。 通常の明るさで印刷します。最初はこの設定で印刷し、印刷結果を見て必要に応じて「明るく」または「暗く」を選択します。
「暗く」	ガンマ係数 2.2 のモニターに近づけます。 印刷内容を暗く印刷します。印刷結果が明るすぎると感じた場合に選びます。

■ 濃度を調整する

「濃度」では、全体の濃度を調整します。



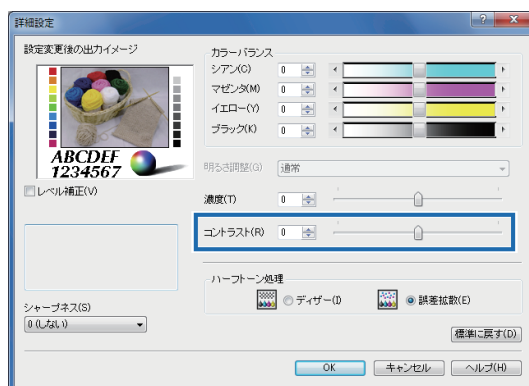
濃度は－50～+50の範囲で、スライダーをドラッグするか直接入力して調整します。
中央が標準（0）の位置で、左にスライドさせるほど淡くなり、右にスライドさせるほど濃くなります。
調整後、「OK」をクリックします。

メモ

- スライダーの左側の入力ボックスをクリックし、キーボードから設定値を入力することもできます。

■ コントラストを調整する

〔コントラスト〕では、全体のコントラストを調整します。



コントラストは-50～+50の範囲で、スライダーをドラッグするか直接入力して調整します。中央が標準（0）の位置で、左にスライドさせるほど暗い部分から明るい部分までの幅が広くなり、黒から白までの滑らかなトーン表現ができますが、下げすぎるとはっきりしない画像になってしまいます。右にスライドさせるほど白いものはより白く、黒いものはより黒くなりますが、色の諧調は失われます。調整後、〔OK〕をクリックします。

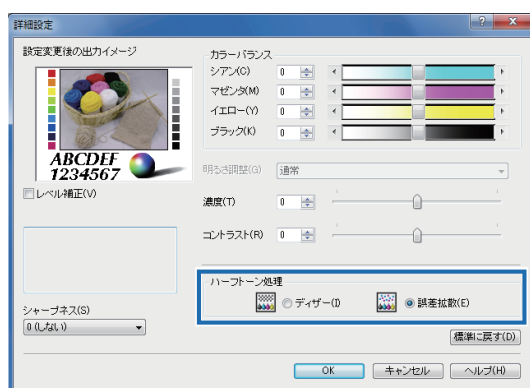
📖 メモ

- コントラストとは、画像の黒い部分から白い部分までの幅（許容量）のことです。
- スライダーの左側の入力ボックスをクリックし、キーボードから設定値を入力することもできます。

■ ハーフトーン処理を選ぶ

ハーフトーン処理の方法を選択します。

設定後、[OK] をクリックします。



[デザイナー]

ドットを一定の法則に従って並べてハーフトーンを表現します。色の境界をくっきり見せたいグラフィックスなどの印刷に適しています。

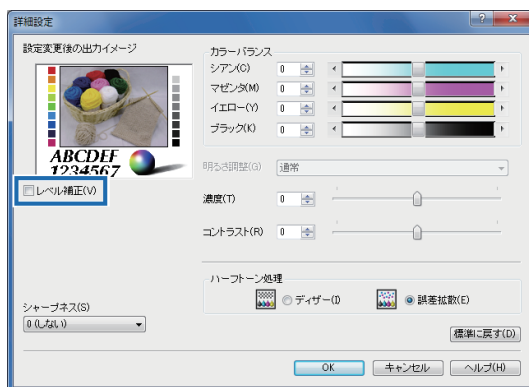
[誤差拡散]

ドットをランダムに配置してハーフトーンを表現します。微妙なグラデーション表現が必要な写真の印刷に適しています。

■ レベル補正を行う

印刷した結果を見て、コントラストが弱い（明暗にメリハリがない）と感じた場合は、コントラストを強くなるようにレベル補正を設定します。

レベル補正を行うと、原稿の明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗く印刷されます。

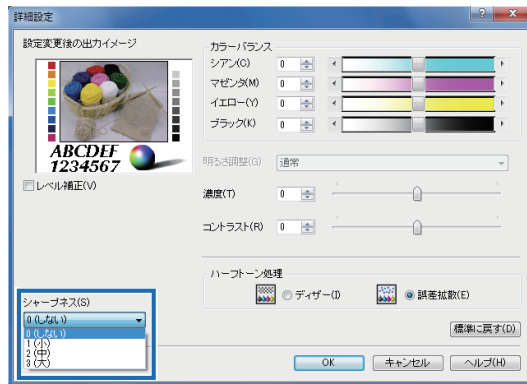


レベル補正を行う場合は、[レベル補正] のチェックボックスにチェックを入れます。設定した後 [OK] をクリックします。

■ シャープネスをかける

〔シャープネス〕では、印刷した結果を見て、全体的にぼやけていると感じた場合に、シャープネス処理を行ってくっきり見せることができます。

シャープネスは、プルダウンメニューから、0（しない）、1（小）、2（中）、3（大）の4段階で行います。選択後、〔OK〕をクリックします。

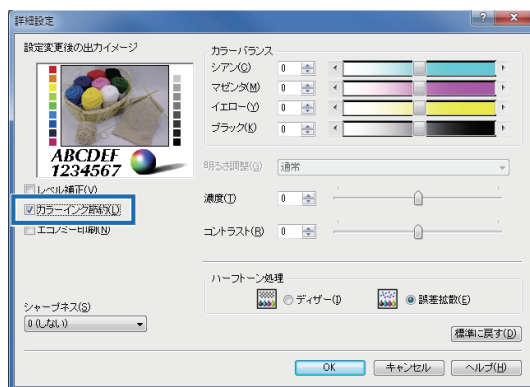


0（しない）	シャープネスを使用しません。
1（小）	シャープネスの処理を行います。
2（中）	シャープネスの処理を行います。
3（大）	シャープネスの処理を行います。

■ カラーインク節約を行う（LX-P5500（顔料モデル）のみ）

[カラーインク節約] にチェックを入れると、カラーインク（シアン/マゼンタ/イエロー）の使用量を低減した印刷を行います。

通常の印刷よりも印刷品位は下がりますが、カラーインクの使用量を抑えることができます。データの確認用として印刷する場合や印刷コストを下げたい場合に設定してください。



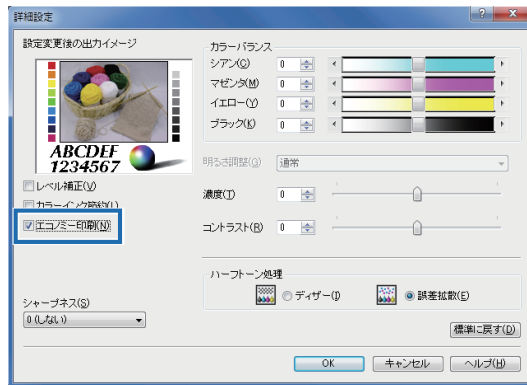
メモ

- カラーインク（シアン/マゼンタ/イエロー）の使用量を抑えます。ブラックインクの使用量は変わりません。

■ エコノミー印刷を行う（LX-P5500（顔料モデル）のみ）

〔エコノミー印刷〕にチェックを入れると、すべてのインク（ブラック／シアン／マゼンタ／イエロー）の使用量を低減した印刷を行います。

通常の印刷よりも印刷品位は下がりますが、すべてのインクの使用量を抑えることができます。データの確認用として印刷する場合や印刷コストを下げたい場合に設定してください。



メモ

- すべてのインク（ブラック／シアン／マゼンタ／イエロー）の使用量を抑えます。
- 〔カラーインク節約〕と併せて設定すると、カラーインクの使用量をさらに抑えることができます。

3-5 [カッター設定] シートを利用する

[カッター設定] シートについて説明します。

用紙のカット位置やカット間隔を設定し、自動で用紙をカットします。

初期設定は、[ジョブの始めにカットする] および [ジョブの終わりにカットする] が設定されています。

メモ

- [カッター設定] シートは、オプションのオートカッターを装着した場合のみ使用可能です。
- LabelCreate SE/LabelCreate LITE（オプション）をお使いの場合は、LabelCreate SE/LabelCreate LITE のカッター設定が優先されます。



[1] オートカッター

オートカッターの動作を設定します。

[2] カット間隔設定

カットする間隔を設定します。

● カット間隔を設定したときのカットイメージ

設定項目	カットイメージ
・ [ジョブの始めにカットする] ・ [ジョブの終わりにカットする]	
・ [ジョブの始めにカットする] ・ [ジョブの終わりにカットする] ・ [ジョブの途中でカットする] – [連続印刷又は繰り返し印刷時]	
・ [ジョブの始めにカットする] ・ [ジョブの終わりにカットする] ・ [ジョブの途中でカットする] – [グループ印刷カット]	
・ [ジョブの始めにカットする] ・ [ジョブの終わりにカットする] ・ [ジョブの途中でカットする] – [グループ印刷カット] – [グループ内でカットする]	

📖 メモ

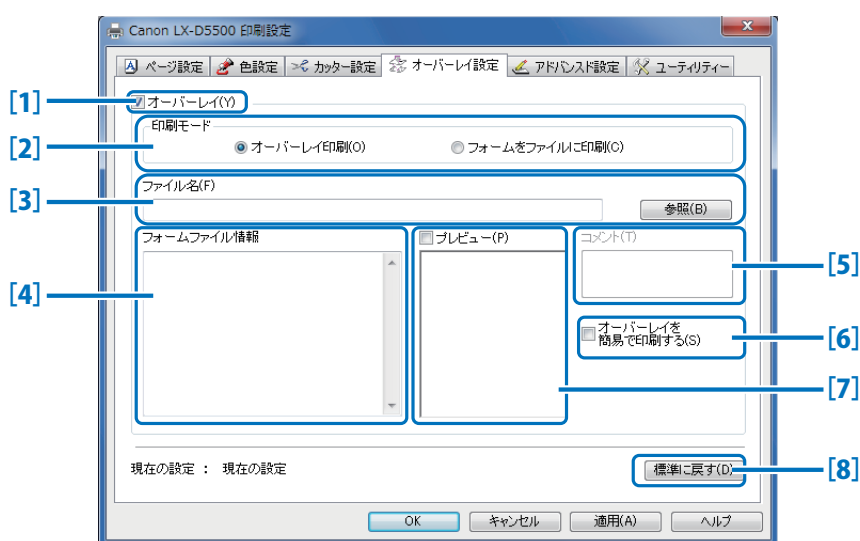
- カットを行う位置に赤ライン（点線）が表示されます。
- 詳しくは「第7章オートカッター」をご覧ください。

➡ 「第7章 オートカッター（オプション）(P.246)」

3-6 [オーバーレイ] シートを利用する

[オーバーレイ] シートについて説明します。

オーバーレイ印刷では、あらかじめ背景画像をフォームファイルとして作成しておき、印刷時に前景となる画像や文字と合成することができます。



[1] オーバーレイ

チェックを入れるとオーバーレイ印刷が可能になります。

[2] 印刷モード

オーバーレイ印刷またはフォームファイル作成の設定を行います。

[3] ファイル名

オーバーレイに使用するフォームファイルのファイルパス、またはフォームファイルの保存先を設定します。

[4] フォームファイル情報

[ファイル名] で選択したフォームファイルの印刷設定情報が表示されます。

[5] コメント

〔ファイル名〕で選択したフォームファイルのタイトルが表示されます。

[6] オーバーレイを簡易で印刷する

フォームファイルと印刷データをマスク処理または上掛け処理するかを設定します。

[7] プレビュー

チェックボックスにチェックを入れると、〔ファイル名〕で選択したファイルをプレビュー表示します。

[8] 標準に戻す

オーバーレイ設定を標準の設定に戻します。

■ フォームをファイルに印刷する

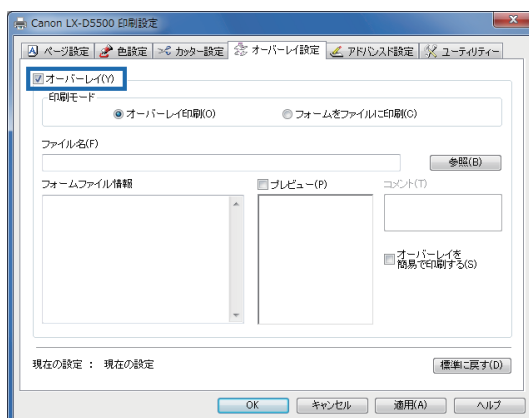
フォームファイルを作成する場合は、プリンターがオンライン状態になっていることを確認してください。

オーバーレイ印刷で使用するフォームファイル（背景になる画像）を作成します。

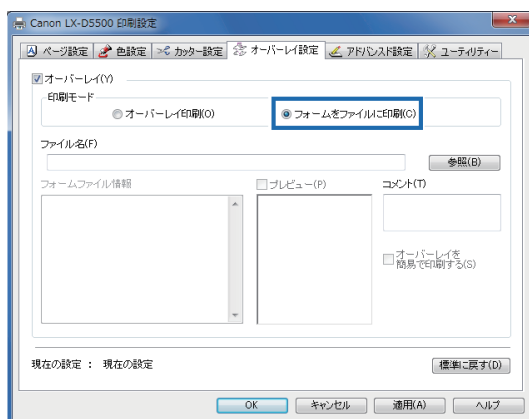
📖 メモ

- アプリケーションで画像データを作成して印刷を行います。

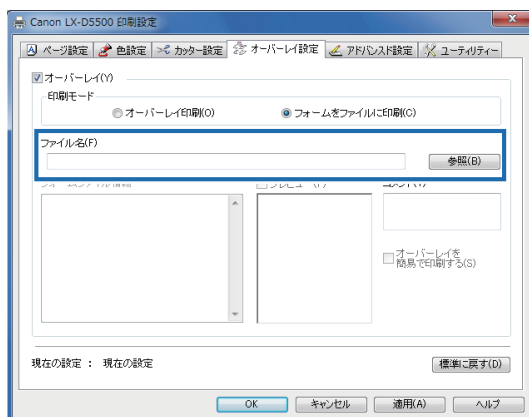
- 1 画像データを作成したアプリケーションから[印刷] または[プリント] などを選択し、本プリンターを選択します。
- 2 [プロパティ] または[詳細設定]などをクリックします。
印刷設定画面が表示されます。
- 3 [オーバーレイ] タブをクリックし、[オーバーレイ] にチェックを入れます。



4 「印刷モード」の「フォームをファイルに印刷」にチェックを入れます。

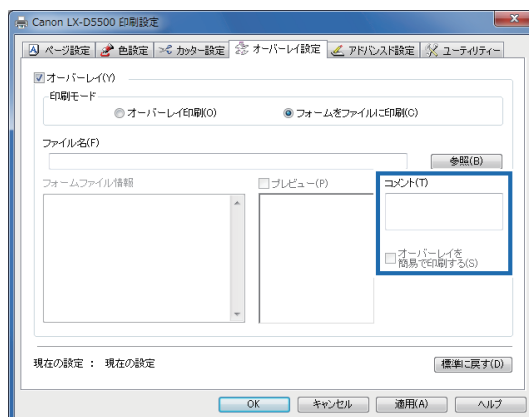


5 「参照」をクリックして、フォームファイルのファイル名と保存場所を指定します。



6 [コメント] を入力します。

半角、全角ともに 31文字まで入力できます。(未入力でも可)



7 設定が終わったら、[OK] をクリックします。

アプリケーションソフトの印刷画面に戻ります。

8 [印刷] または[プリント]などをクリックします。

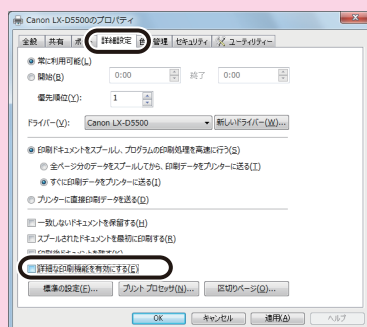
印刷を実行すると、手順 5で作成した場所にフォームファイル(*.ofe) が保存されます。

📖 メモ

- 複数ページの印刷データをフォームファイルとして作成した場合でも、1つのファイルとして保存します。

重要

- サーバークライアント環境でオーバーレイ印刷する場合は、次のように設定する必要があります。
 - ・ フォームファイル (*.ofe) は、サーバー側とクライアント側の双方から参照できる共有フォルダーに保存する
 - ・ [ファイル名] (フォームファイル (*.ofe) の保存場所) は、ネットワーク上から双方が参照できるパス名で指定する (例: ¥¥PC-Commom¥FormFolder¥file.ofe)
- 上記を設定してもオーバーレイ印刷ができない場合は、プリンタードライバーのスプール形式を次のような手順で「RAW モード」に設定してください。
 1. タスクバーの [検索] アイコンをクリックし、検索ボックスに「プリンターとスキャナー」と入力します。
 2. [プリンターとスキャナー] アイコンをクリックします
 3. 本プリンターをクリックし、[管理] → [プリンターのプロパティ] を選びます。
Windows 11 のとき：
本プリンターをクリックし、[プリンターのプロパティ] を選びます。
プリンターのプロパティ画面が表示されます。
 4. [詳細設定] タブをクリックし、「詳細な印刷機能を有効にする」のチェックマークを外します。



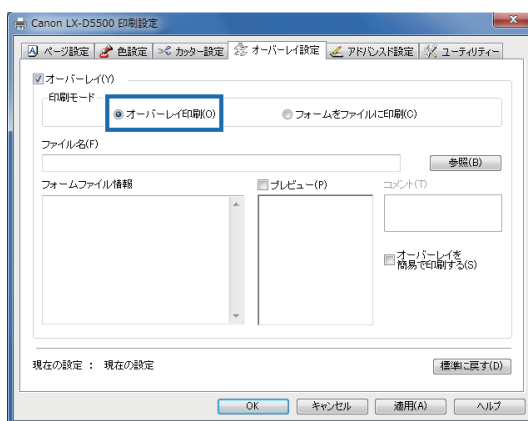
スプール形式が RAW モードに設定されます。

- LabelCreate SE/LabelCreate LITE (オプション) をお使いの場合は、LabelCreate SE/LabelCreate LITE のオーバーレイ設定が優先されます。

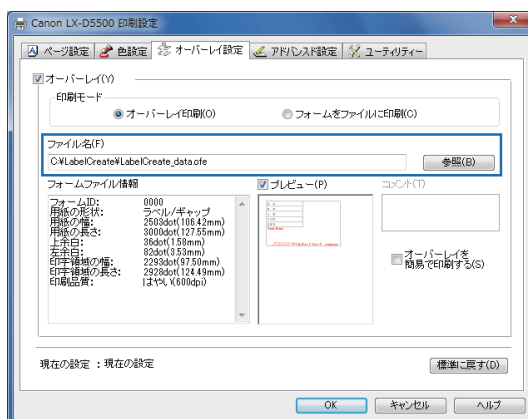
■ オーバーレイ印刷をする

作成したフォームファイルを使って、オーバーレイ印刷をします。

- 1 「印刷モード」の「オーバーレイ印刷」にチェックを入れます。



- 2 「参照」をクリックして作成したフォームファイル(*.ofe)を選択します。
「フォームファイル情報」と「プレビュー」を確認します。

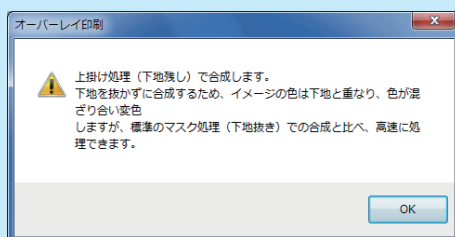


メモ

- [オーバーレイを簡易で印刷する] にチェックマークを入れて印刷すると、通常のオーバーレイ印刷（チェックマークが入っていないとき）よりも高速に印刷処理を行うことができます。ただし、フォームファイルと原稿が重なる部分も印刷するため、重なった部分は色が混ざり合っ

て印刷されます。
通常のオーバーレイ印刷（チェックマークが入っていないとき）では、フォームファイルと原稿の重なる部分は印刷しないため、原稿のイメージどおりに印刷されます。

- [オーバーレイを簡易で印刷する] を選択すると、次のメッセージが表示されます。内容を確認して [OK] をクリックしてください。



3 [OK] をクリックします。

4 印刷を実行します。

印刷データがフォームファイルと重なって印刷されます。

メモ

- 印刷設定情報が印刷データとフォームファイルとで異なっている場合、オーバーレイ印刷はできません。
ただし、原稿を単色のゼブラで印刷する場合は、フォームデータと色数が異なっても、オーバーレイ印刷を行うことができます。
- フォームファイルを作成したプリンタードライバのバージョン等が異なっているとオーバーレイ印刷ができないことがあります。その場合は、オーバーレイ印刷を行うプリンタードライバで再度フォームファイルを作成してください。
- フォームファイルによっては、[フォームファイル情報] や [プレビュー] が表示されないことがあります。

3-7 [アドバンスド設定] シートを利用する

[アドバンスド設定] シートについて説明します。

[アドバンスド設定] シートでは、印刷するときのレイアウトや印刷速度などの設定を行います。



[1] 用紙サイズのプレビュー

現在設定されている用紙サイズがプレビュー表示されます。

[2] 設定変更後の印刷イメージ

割付印刷、枠線印刷設定を行った後の印刷イメージがプレビュー表示されます。

[3] 割付印刷

1 ページに割り付ける面数を設定します。

➡ 「割り付け印刷を行う (P.106)」

[4] 枠線印刷

複数面の割り付け印刷を行うとき、ページの枠線を印刷する場合にチェックを入れます。

➡ 「枠線を印刷する (P.107)」

[5] 印刷順

印刷する順序を設定します。

➡ 「印刷順を設定する (P.108)」

[6] 印刷速度

印刷するスピードを設定します。

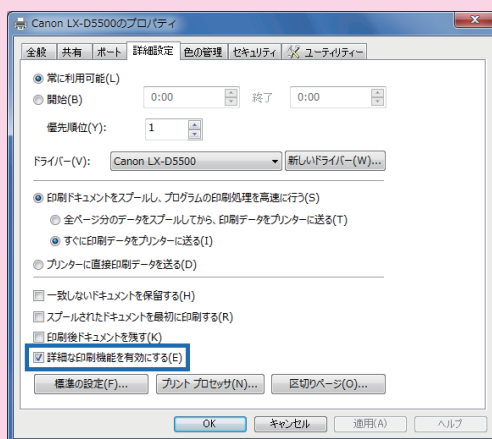
➡ 「印刷速度を設定する (P.109)」

[7] 標準に戻すボタン

アドバンスド設定を標準の設定に戻します。

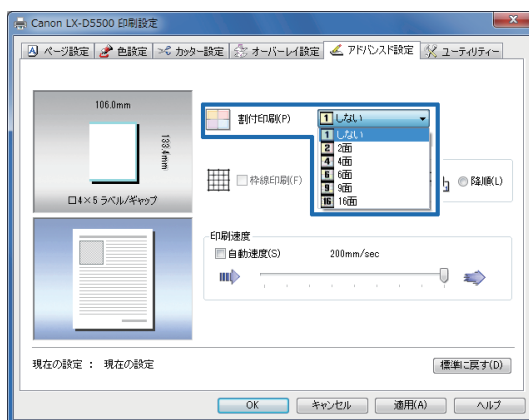
重要

- プリンターのプロパティ画面で表示される [詳細設定] シートの [詳細な印刷機能を有効にする] にチェックマークが入っていないときは、[割り付け印刷]、[枠線印刷]、[印刷順] の設定が有効になりません。

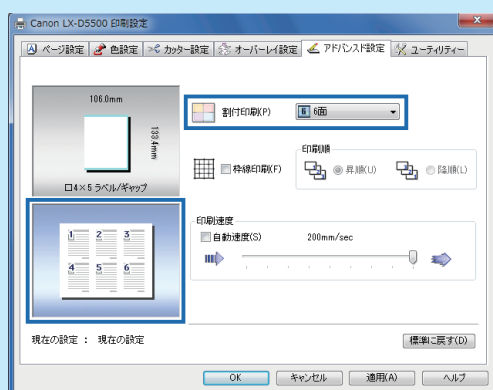


■ 割り付け印刷を行う

1 ページに割り付ける面数を [しない]、[2 面]、[4 面]、[6 面]、[9 面]、[16 面] から選びます。



- 割り付け印刷の印刷イメージは、プレビューで確認できます。

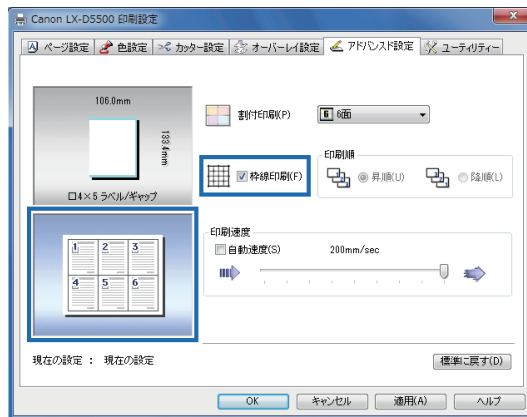


- [しない] を選んだ場合、[枠線印刷] は設定できません。
- [割り付け印刷] を行う場合 ([しない] 以外を選択)、[印刷順] は設定できません。昇順で印刷されます。

■ 枠線を印刷する

割り付け印刷をする場合に、面ごとの枠線を印刷することができます。

枠線を設定するときは、割り付け印刷の面数を選んだあと、[枠線印刷] にチェックを入れてください。



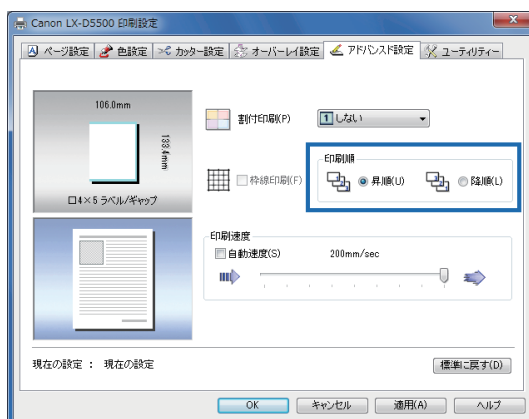
メモ

- 枠線の印刷イメージは、プレビューで確認できます。
- 割り付け印刷の印刷イメージは、プレビューで確認できます。[割り付け印刷] で [しない] を選んだ場合、[枠線印刷] は設定できません。

■ 印刷順を設定する

印刷する順序を設定します。

先頭ページから印刷する場合には「昇順」、最終ページから印刷する場合は「降順」を選びます。



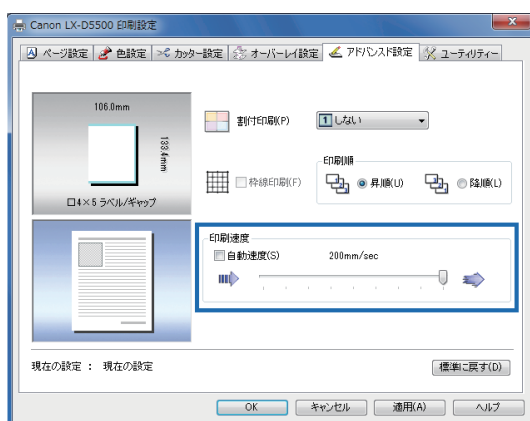
メモ

- 「割り付け印刷」を行う場合（「しない」以外を選択）、「印刷順」は設定できません。昇順で印刷されます。

■ 印刷速度を設定する

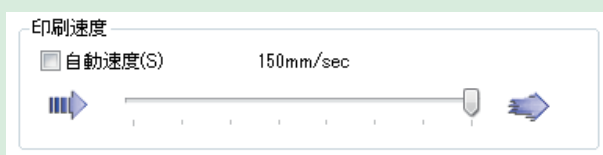
印刷する速度を変更して印刷することができます。

初期設定は、[200mm/sec] に設定されています。



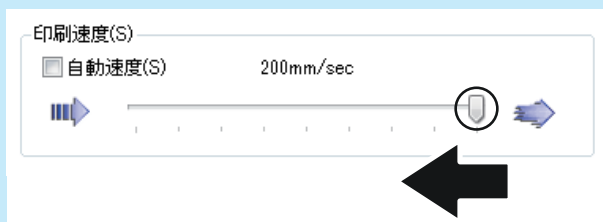
■ LX-P5500 (顔料モデル) のとき

印刷速度は、[150mm/sec] に設定されています。

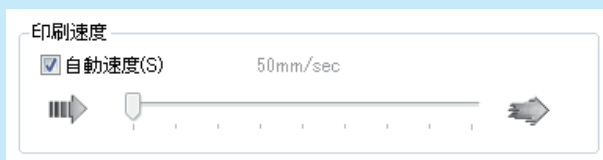


📖 メモ

- 通常は一番右端の位置にスライダーがあります。右から左へスライダーを動かすことにより、段階的に遅い印刷速度へ変更することが可能です。用紙巻取装置などの後工程装置とタイミングを合わせたい場合や、速度によって画像に影響が出る場合に調整してください。



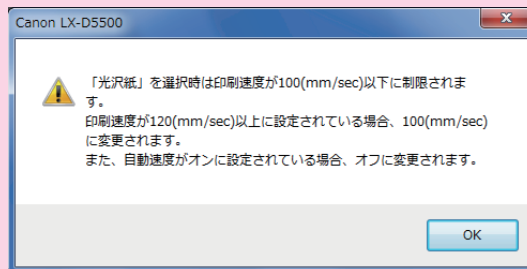
- [自動速度] にチェックを入れると、印刷データの送信状況に合わせて自動的に速度が変化します。



重要

■ 光沢紙に印刷するとき

- [用紙種類] が [光沢紙] の場合は、印刷速度が最高 100 mm/sec に制限されます。
[ページ設定] シートの [用紙種類] で光沢紙を選択すると、次の確認のメッセージが表示されます。[OK] をクリックしてください。



- ・ [アドバンスド設定] の [印刷速度] の表示



- ・ [自動速度] が設定されている場合は、設定が解除されます。
- [光沢紙] から他の用紙へ変更した場合は、印刷速度を [自動速度] にチェックを入れるか、または手動で変更してください。

■ LX-P5500（顔料モデル）のとき

光沢紙と同時にオートカッターをご使用になる場合、高密度印刷を行うときは、[印刷速度] を 100mm/sec から 70mm/sec にしてください。

3-8 [ユーティリティ] シートを利用する

[ユーティリティ] シートについて説明します。

[ユーティリティ] シートでは、プリンターのメンテナンス、ステータスマニターの起動、プリンターの節電機能などに関する設定を行います。

- 1** タスクバーの[検索] アイコンをクリックし、検索ボックスに「プリンターとスキャナー」と入力します。
- 2** [プリンターとスキャナー] アイコンをクリックします。
- 3** 本プリンターのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選びます。
 - ・ Windows 11 のとき
本プリンターをクリックし、[プリンターのプロパティ] を選びます。
- 4** [ユーティリティ] タブをクリックします。

● LX-D5500（染料モデル）のとき



● LX-P5500（顔料モデル）のとき



[1] クリーニング（弱）

プリントヘッドをクリーニングします。

➡ 「5-1 プリントヘッドをクリーニングする（P.152）」

[2] クリーニング（中）

クリーニング（弱）よりも少し強めのクリーニングを行います。

➡ 「5-1 プリントヘッドをクリーニングする (P.152)」

[3] クリーニング（強）

クリーニング（中）よりも強力なクリーニングを行います。

➡ 「5-1 プリントヘッドをクリーニングする (P.152)」

[4] ヘッド位置調整

プリントヘッドの位置を調整します。

➡ 「5-2 ヘッド位置調整を行う (P.154)」

[5] 設定値出力

プリンターの現在の設定値を印刷します。

➡ 「5-4 設定値を確認する (P.176)」

[6] スリープ

スリープ状態に切り替えます。

➡ 「スリープ状態に切り替える (P.117)」

[7] スリープタイマー設定

スリープ状態と電源オフ状態に切り替える時間を設定します。

➡ 「スリープタイマーとオフタイマー (P.118)」

[8] マゼンタインク切り替え（LX-D5500(染料モデル)のみ）

新タイプのマゼンタインク [BJI-P512M] へ切り替えるときに使用します。

（お使いのマゼンタインクの商品名が「BJI-P512M」になっていれば、この機能は使用しません）

[9] インクリフレッシュ（LX-P5500(顔料モデル)のみ）

インクの循環動作を実行するためのボタンです。

循環動作の為にプリンターが停止してしまいますので、インクリフレッシュの警告が出るまでは、ボタンを押さないようにしてください。

➡ 「5-9 インクリフレッシュを行う（LX-P5500（顔料モデル）のみ） (P.196)」

[10] ステータスマニター起動

ステータスマニターを表示します。

➡ 「ステータスマニターを起動する (P.138)」

[11] 特殊設定

プリンター本体の特殊な設定を行います。

➡ 「特殊な設定を行う (P.132)」

[12] カッター調整

印刷された用紙を、手動カッターで切り離すときの停止位置の調整とオートカッターのカット位置の調整を行います。

➡ 「用紙の停止位置を調整する (P.121)」

[13] ピンポイント色合わせ

希望する色に近づけることができます。

➡ 「ピンポイント色合わせを行う (P.123)」

[14] 屋内移動準備

本プリンターを同一フロア内または別の階のフロアなどに移動するときの準備を行います。

➡ 「付録 -1 屋内移動について (P.262)」

[15] 輸送準備

トラックや航空機など長距離の輸送を行う場合の準備を行います。

➡ 「付録 -2 輸送について (P.266)」

重要

- ユーティリティシート各项の設定を行うときは、プリンターの電源が入っていて、コンピュータと接続されている必要があります。
- 本プリンターの管理者権限が必要な「ユーティリティ」シートの設定について
ユーティリティシートの「ヘッド位置調整」「スリープタイマー設定」「特殊設定」「カッター調整」「ピンポイント色合わせ」「屋内移動準備」「輸送準備」を設定する場合は、本プリンターの管理者権限を持つユーザーがログインし、操作してください。
管理者権限を持たないユーザーが設定を行う場合は、管理者権限を持つユーザーにお問い合わせの上、次の手順で操作を進めてください。

1. タスクバーの「検索」アイコンをクリックし、検索ボックスに「プリンターとスキャナー」と入力します。
2. 「プリンターとスキャナー」アイコンをクリックします。
3. 本プリンターをクリックし、「管理」→「プリンターのプロパティ」を選びます。

Windows 11 のとき：

本プリンターをクリックし、「プリンターのプロパティ」を選びます。
プリンターのプロパティ画面が表示されます。

4. 「全般」シートの「プロパティの変更」をクリックします。
「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたときは、本プリンターの管理者のパスワードを入力してください。



■ スリープ状態に切り替える

本プリンターをスリープ状態に切り替えます。

メモ

- 印刷中のときは、スリープ状態に切り替えることができません。
- 通常状態で一定時間印刷が行われないと、自動的にスリープ状態に切り替わります。
- スリープ状態では、次のような場合に自動的に通常状態（印刷できる状態）に切り替わります。
 - ・ 電源キーが押されたとき
 - ・ 印刷データを受信したとき
 - ・ クリーニングなどの操作が行われたとき

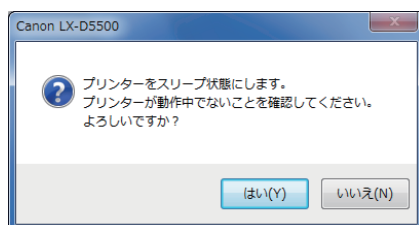
1 プリンターがオンライン状態になっていることを確認します。

ステータスランプが点灯していることを確認してください。

2 [スリープ] をクリックします。

確認のメッセージが表示されます。

3 [はい] をクリックします。



電源ランプが点滅して、スリープ状態になります。

■ スリープタイマーとオフタイマー

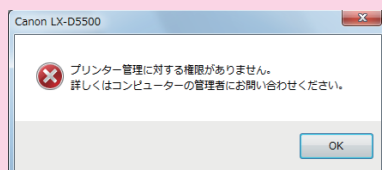
〔スリープタイマー設定〕では、プリンターが一定時間操作されない場合や、コンピューターから印刷データが送られていない場合に、自動的にスリープ状態に移行させる時間と、その後に電源オフにする時間を設定します。

📖 メモ

- 印刷中やエラーが発生している状態のときは、スリープタイマーの設定時間を変更できません。
- 〔スリープタイマー設定〕の初期設定は4分です。
- 「オフタイマー設定」の初期設定は240分です。
- オフタイマーは、スリープモードに移行してから電源が切れるまでの時間を設定します。

重要

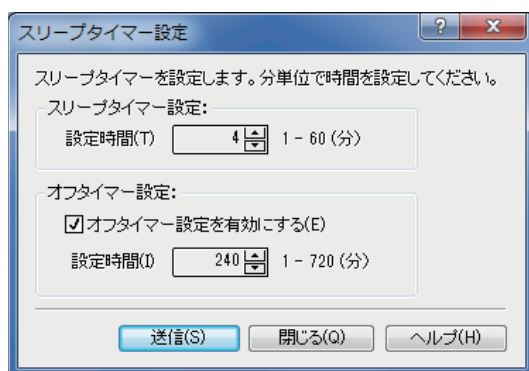
- 設定には、本プリンターの管理者権限が必要です。(→ P.116)



- 1 本体がオンライン状態(電源キーが緑色の点灯)になっていることを確認します。
オンライン状態になっていない場合は、電源キーを押してオンライン状態にします。

2 「スリープタイマー設定」をクリックします。

「スリープタイマー設定」ダイアログボックスが表示されます。



3 設定時間を入力します。

キーボードまたは入力ボックスの右にある 、 ボタンを使用して、スリープタイマーおよびオフタイマーの設定時間を入力します。

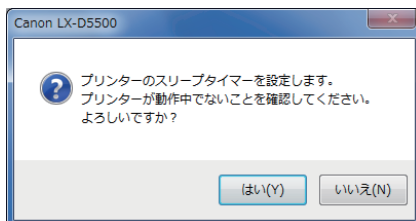
名称	設定範囲 (分)	設定単位 (分)	機能
スリープタイマー設定	1 ～ 60	1 分	スリープ状態に入るための設定
オフタイマー設定	1 ～ 720	1 分	電源オフの状態に入るための設定

メモ

- 「オフタイマー設定」は、必要に応じて「チェックあり（有効にする）」、「チェックなし（有効にしない）」の切りかえを行うことができます。
- オフタイマーは、スリープモードに移行してから電源が切れるまでの時間を設定します。

4 [送信] をクリックします。

確認のメッセージが表示されます。



5 [はい] をクリックします。

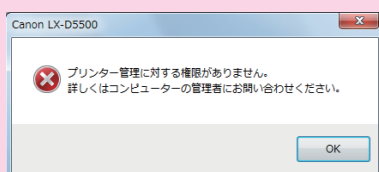
スリープタイマーの設定時間が変更されます。

■ 用紙の停止位置を調整する

印刷された用紙を、手動カッターで切り離すときの停止位置を調整することができます。

重要

- 設定には、本プリンターの管理者権限が必要です。(→P.116)



1 「カッター調整」をクリックします。

「カッター調整」ダイアログボックスが表示されます。



2 「停止位置」のスライダーをドラッグして、用紙の停止位置を調整します。

メモ

- 中央が標準（0.0mm）の位置で、左にスライドさせると停止位置は給紙方向に設定され、右にスライドさせると排紙方向に設定されます。
- 設定できる範囲は、－10.0～＋10.0mm までで、0.5mm 間隔で設定できます。
- 停止位置の設定を標準の設定に戻す場合は、「標準に戻す」をクリックします。

3 [送信] をクリックします。

確認のメッセージが表示されます。

4 [はい] をクリックします。

調整した停止位置がプリンターに送信されます。

5 テスト印刷を行い、用紙間の中央で停止していることを確認したあと、実際の印刷を行ってください。

メモ

- [停止位置] の設定は、手動カッターでカットするときの用紙位置についてのみ機能します。オプションのオートカッター使用時は機能しません。
- オプションのオートカッターが取り付けられている場合、[カット位置] の調整ができますようになります。調整方法は、停止位置設定の場合と同じです。



■ ピンポイント色合わせを行う

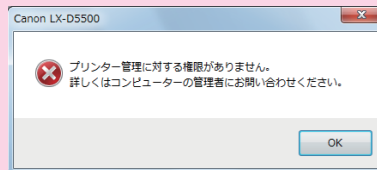
ピンポイント色合わせでは、ロゴマークなどの特別に色合わせをしたい色を登録することができます。

メモ

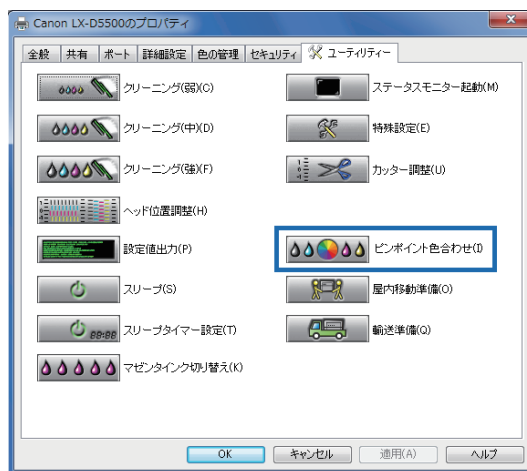
- ターゲット色は、必ず単色にしてください。グラデーションなどで作成している画像はピンポイント色合わせができません。
- ターゲット色と同じ RGB 値で作られている画像が、同じデータ内にあった場合は、その画像にも「ピンポイント色合わせ」で登録した色が反映されます。

重要

- 設定には、本プリンターの管理者権限が必要です。(→P.116)



1 「ピンポイント色合わせ」をクリックします。



「ピンポイント色合わせ」ダイアログボックスが表示されます。

重要

- 色調整にて [ICM を使用する] または、単色指定 [ゼブラ] に設定していると、[ピンポイント色合わせ] が設定できません。
 - ➡ 「原稿に合った色調整を選ぶ (P.77)」
 - ➡ 「単色で印刷する (P.82)」

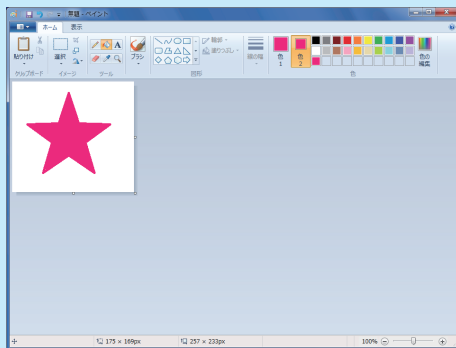
2 [ピンポイント色合わせ] を行いたい色の元になる画像から、R/G/Bの値を読み取ります。

メモ

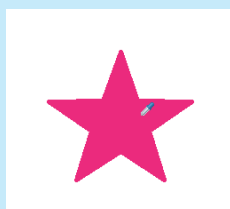
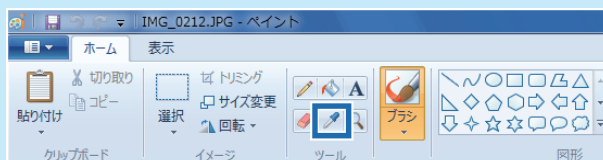
- R/G/B の値の読み取りは、Windows 標準搭載の「ペイント」などの画像処理ソフトウェアを使って行います。ここでは、「ペイント」を使用した場合の手順を例に説明します。

【R/G/B 値読み取り手順（「ペイント」を使用する場合）】

- 1) 色合わせを行いたい画像を「ペイント」で開きます。



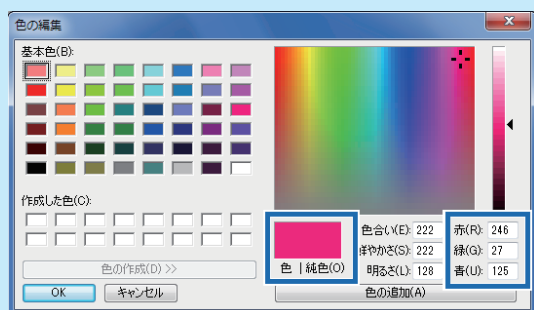
- 2) [スポイト] ツールを選択したあと、対象の色をクリックします。



- 3) [色の編集] をクリックします。



[色の編集] ダイアログボックスが表示され、対象の色のプレビュー表示および R/G/B 値が確認できます。



[色 / 純色]：プレビュー表示

[赤 / 緑 / 青]：R/G/B 値

3 R/G/Bの値を Red(R)/Green(G)/Blue(B)にそれぞれ入力します。

ピンポイント色合わせ

ピンポイント色合わせの登録を行います。
「入力色」にピンポイント色合わせをする元の色の値(RGB)を設定してください。

入力色
レッド(R) 248
グリーン(G) 27
ブルー(B) 125

確認パターン
印刷階調(Y) 2 階調 パターン数 25 変化量(A) 標準

印刷(P)

再印刷
パターン内に希望色が無い場合、一番近い色を基準として再印刷することで、
基準の近似色を再印刷することができます。

基準色(T) 0 パターン選択(J) RG 再印刷(V) キャンセル(O)

ピンポイント色合わせ登録
登録色(N) 0 コメント(O)

登録(S)

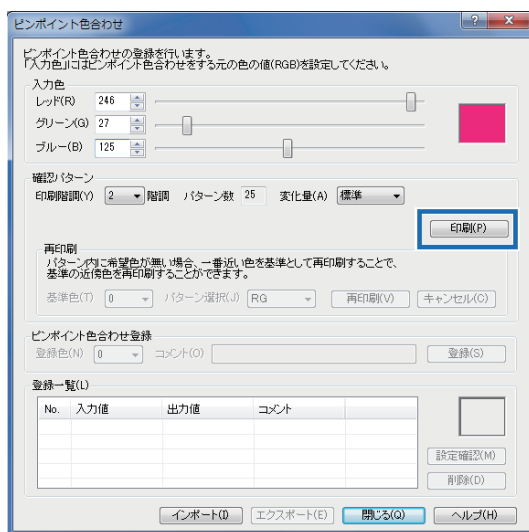
登録一覧(L)

No.	入力値	出力値	コメント

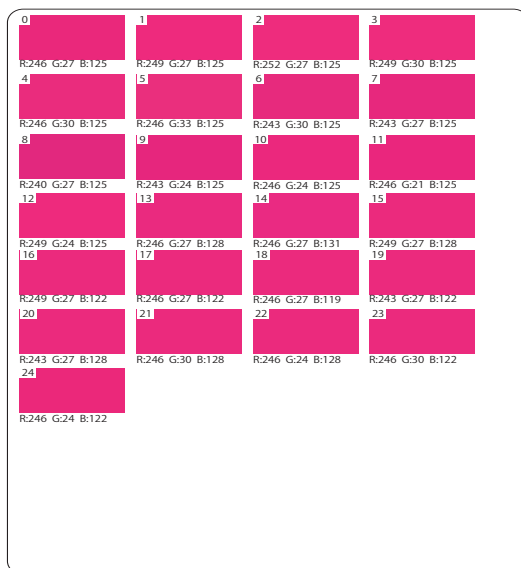
設定確認(M) 削除(D)

インポート(I) エクスポート(E) 閉じる(O) ヘルプ(H)

4 「印刷」をクリックします。

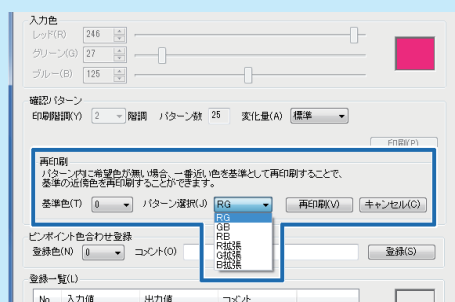


0～24番までの近似値となる色見本(カラーパレット)が印刷されます。



メモ

- 色見本に目標とする色がなかったときは、近似値を登録し、再度色見本を印刷します。

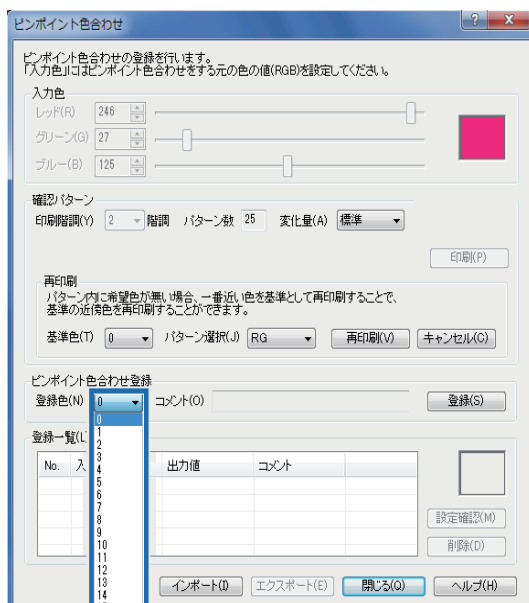


- 1) 目標とする色に一番近い色の番号を「基準色」に入力します。
- 2) 「パターン選択」を行います。
目標とする色に対して RGB どの色を強調したいかを判断してパターンを選択します。

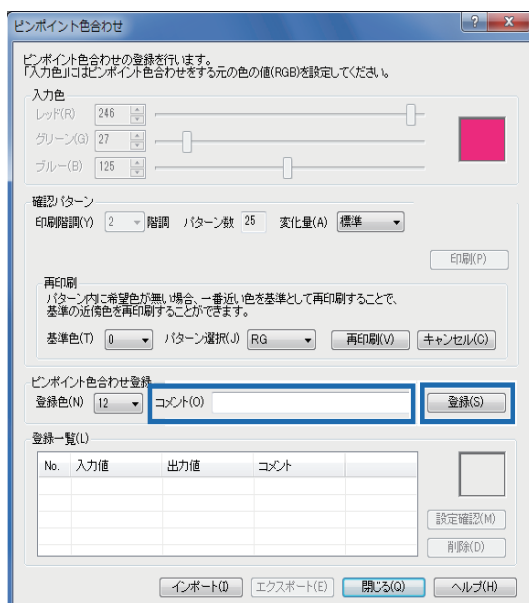
RG	Red(赤)、Green(緑)の2色に対して値を変化させます。Blue(青)に関しては同一です。
GB	Green(緑)、Blue(青)の2色に対して値を変化させます。Red(赤)に関しては同一です。
RB	Red(赤)、Blue(青)の2色に対して値を変化させます。Green(緑)に関しては同一です。
R 拡張	3色一律に値を変化させて、Red(赤)に関してさらに値を増減します。
G 拡張	3色一律に値を変化させて、Green(緑)に関してさらに値を増減します。
B 拡張	3色一律に値を変化させて、Blue(青)に関してさらに値を増減します。

- 3) 「再印刷」をクリックします。
色見本（カラーパレット）が再度印刷されます。

- 5** 印刷された色見本から「入力色」に一番近い色を確認し、[登録色] のプルダウンリストからその番号を選択します。

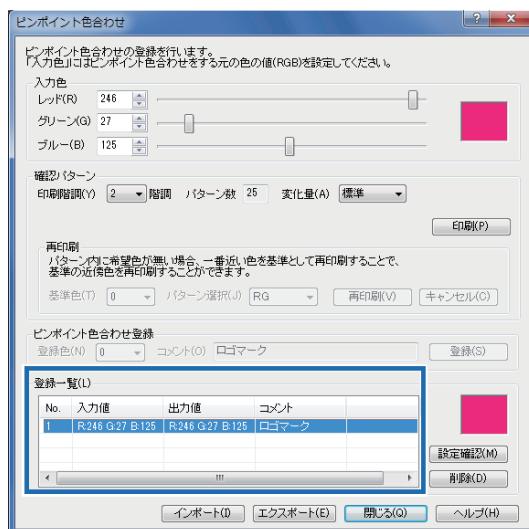


- 6** [コメント] に任意の名称を記入したあと、[登録] をクリックします。



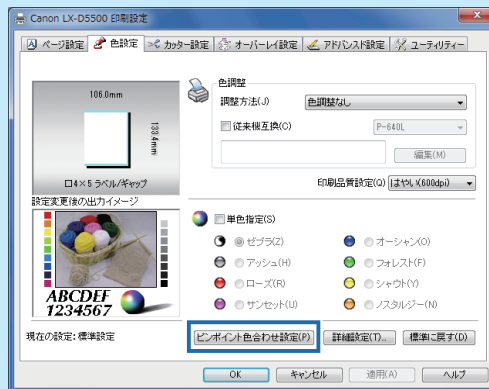
登録した色が「登録一覧」に表示されます。

リスト上の登録色をクリックすると、右側にプレビュー表示されます。

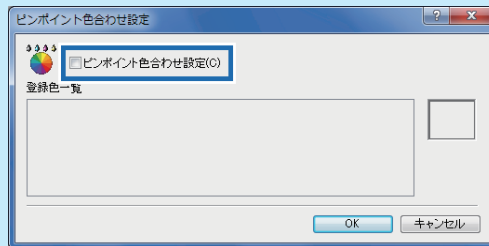


メモ

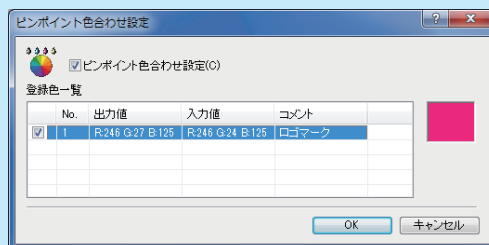
- [インポート] [エクスポート] は、作成した登録色を他のコンピュータで印刷したい場合や他のコンピュータで作成したものを印刷したい場合に使用します。
- 登録色は、次のように確認できます。
 - 1) [色設定] シートの [ピンポイント色合わせ設定] をクリックします。



- 2) [ピンポイント色合わせ設定] にチェックを入れます。



登録色が表示されます。

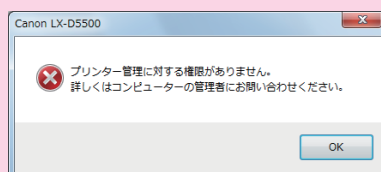


■ 特殊な設定を行う

本プリンターを特殊な環境でご利用になる場合や、ファンフォールド紙をご使用になる場合などに限り設定してください。通常、設定は必要ありません。

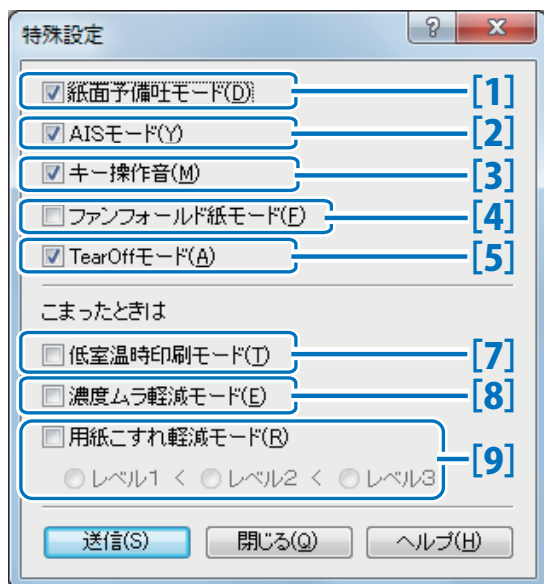
重要

- 設定には、本プリンターの管理者権限が必要です。(→ P.116)

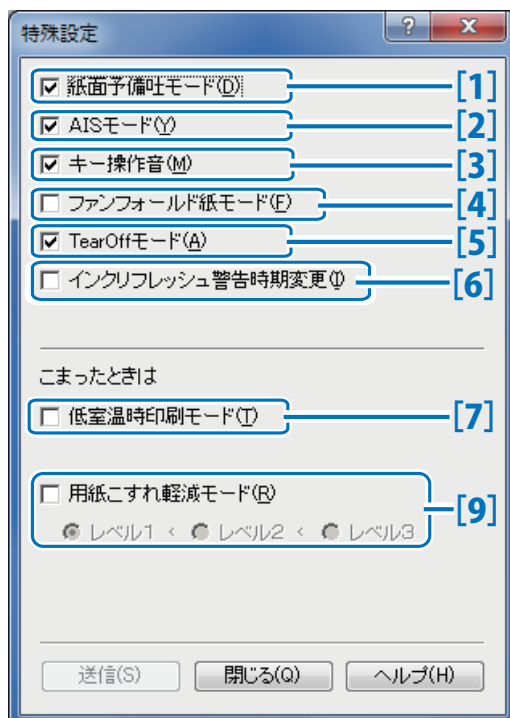


初期設定は、次のようになっています。

● LX-D5500（染料モデル）のとき



● LX-P5500（顔料モデル）のとき



[1] 紙面予備吐モード

一定間隔で極微量のインクを用紙面に放出することにより、未使用色のプリントヘッド（ノズル）でインクが固着してしまわないように常に動作させて、プリントヘッドの性能を保持します。

初期設定は、設定オンの状態（チェックマークあり）です。設定をオフにした場合は、クリーニング動作が追加されるので印刷時間が長くなります。

[2] AIS モード（Auto Image Shift）

同じノズルを連続して使用することによるプリントヘッドの消耗を軽減させるために一定枚数ごとに印刷画像を左または右に 0.2 mm 移動させて印刷する機能です。

初期設定は、設定オンの状態（チェックマークあり）です。

設定がオンのときは、左右最小余白が 2.7 mm となります。（用紙の形状が「ラベル / ギャップ」の場合は、左余白と左ギャップまたは右余白と右ギャップの合計が 2.7 mm）

設定をオフ（チェックマークなし）すると、左右最小余白を 2.5mm に設定できますが、ノズルの負荷を軽減するために設定オンの状態（チェックマークあり）の使用をおすすめします。

[3] キー操作音

プリンターのブザー音を設定します。

初期設定は、設定オン（音あり）の状態（チェックマークあり）です。

[4] ファンフォールド紙モード

ファンフォールド紙に印刷するときに設定します。ロール紙に印刷するときは設定をオフにしてください。

初期設定は、設定オフの状態（チェックマークなし）です。

➡ 「1-5 ファンフォールド紙を使用する場合（P.26）」

[5] TearOff モード

印刷したあとのプリンターの動作について設定します。

初期設定は、設定オンの状態（チェックマークあり）です。

TearOff モードの設定	オートカッター	動作
オン	あり	用紙をカットしたあと、用紙の先端を印刷位置まで戻します。
	なし	印刷したあと、用紙をカット位置まで送ります。次の印刷データを受信すると、印刷位置まで用紙を戻します
オフ	あり	用紙をカットしたあと、用紙の先端を印刷位置まで戻します。
	なし	印刷したあとは、すぐに印刷位置まで用紙を戻します。

[6] インクリフレッシュ警告時期変更 (LX-P5500 (顔料モデル) のみ)

インクリフレッシュ警告メッセージの表示時期を設定します。

初期設定は、設定オフの状態 (チェックマークなし) となっており、55 日目から警告メッセージを表示します。

設定オンの状態 (チェックあり) にすると 85 日目から警告メッセージを表示します。

➡ 「5-9 インクリフレッシュを行う (LX-P5500 (顔料モデル) のみ) (P.196)」

[7] 低室温時印刷モード

低室温時印刷モードを固定に設定します。

本プリンターは、室温 13 度未満で使用している場合、自動的に紙面予備吐の量を通常よりも増やして印刷します。そのため、室温が変動しやすい場所に設置されていると、印刷時の室温によっては自動的にモードが切り替わり、印刷品位にばらつきがでます。

印刷品位を一定に保ちたい場合は設定してください。

初期設定は、設定オフの状態 (チェックマークなし) です。

設定をオンするとインクを多く消費するため、必要な場合のみご使用ください。

[8] 濃度ムラ軽減モード (LX-D5500 (染料モデル) のみ)

オンにすると指定速度に関わらず搬送速度が 80mm/sec に制限されますが、印刷ムラを少なくすることができます。また、印刷を開始するまでに約 20 秒かかります。

初期設定は、設定オフの状態 (チェックマークなし) です。

濃度ムラ軽減モードの設定をオフにすると、印刷設定で指定した印刷速度が反映されます。

[9] 用紙こすれ軽減モード

プリントヘッドと用紙の接触を軽減します。設定は、レベル 1 からレベル 3 の 3 段階に調整できます。

初期設定は、設定オフの状態 (チェックマークなし) です。

レベル 1	用紙とプリントヘッドの間隔を広げます。
レベル 2	用紙の吸引力を最大に設定します。
レベル 3	レベル 1 とレベル 2 を同時に設定します。

重要

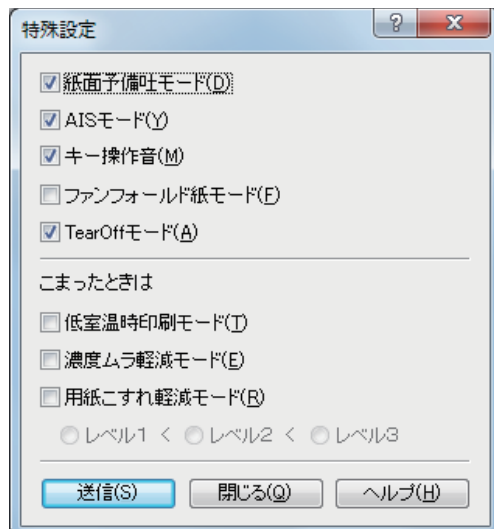
- ロール紙を使用するときは、ロールホルダーが自動的に回転しないため、必ず「ファンフォールド紙モード」のチェックを外してください。
- ファンフォールド紙に印刷するときは、設置環境温度を 15℃、湿度を 40% 以上でお使いください。画像に影響がでるおそれがあります。

メモ

- 「特殊設定」は、印刷中やエラーが発生している状態のときは設定できません。

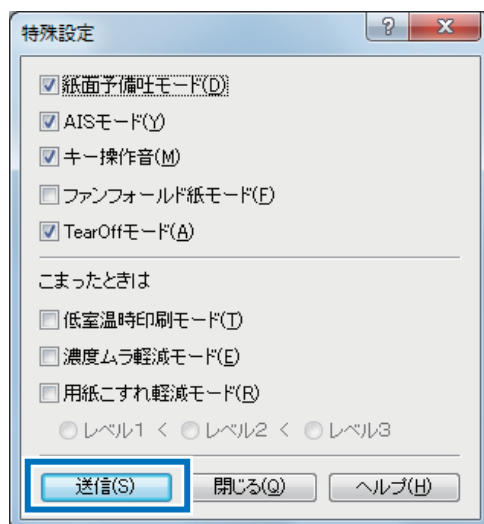
1 「特殊設定」をクリックします。

「特殊設定」ダイアログボックスが表示されます。



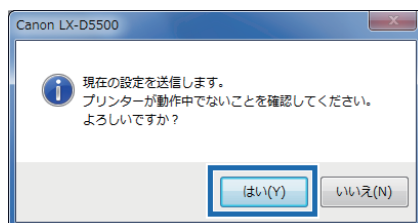
2 必要に応じて、設定を変更します。

3 「送信」をクリックします。



確認のメッセージが表示されます。

4 「はい」をクリックします。



設定した内容をプリンターへ送信します。

5 「閉じる」をクリックします。

第4章 ステータスマニターの使いかた

ステータスマニターを使用すると、プリンターの状態や印刷の状況を知ることができます。

4-1 ステータスマニターを表示する

ステータスマニターの起動方法および表示方法を説明します。

■ ステータスマニターを起動する

ステータスマニターを起動します。

メモ

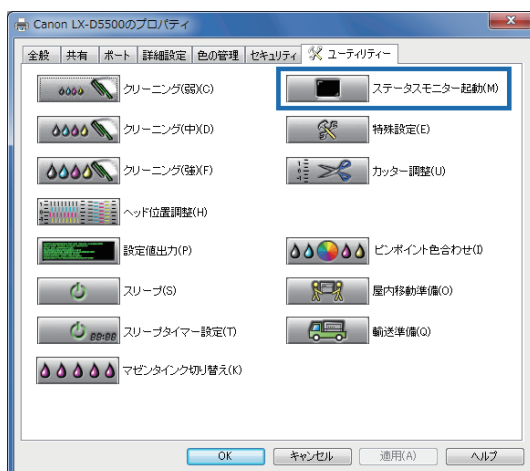
- ステータスマニターは、印刷が開始されたときに自動的に起動し、表示される設定になっています。
- ステータスマニターは、メニューの設定によって Windows を起動したときに自動的に起動させることもできます。
- 起動したステータスマニターのウィンドウは、通常はタスクバーやタスクトレイに入れ、エラーなどが発生した場合にウィンドウを表示させることもできます。

➡ 「第4章 ステータスマニターの使いかた (P.138)」

1 [ユーティリティ] シートを表示します。

➡ 「3-8 [ユーティリティ] シートを利用する (P.112)」

2 「ステータスマニター起動」をクリックします。



ステータスマニターが起動します。



■ ステータスマニターの起動と表示方法

ステータスマニターの起動方法および表示方法について説明します。
起動および表示方法は次の手順で設定します。

1 [起動] をクリックしてプルダウンメニューを開き、起動方法を選びます。

[印刷中に起動] または [Windowsと同時に起動] をクリックします。
設定された項目の先頭に「●」が付きます。



[印刷中に起動]

印刷を開始したときに、ステータスマニターが自動的に起動して表示されます。ステータスマニターは、印刷が終わると自動的に閉じます。(初期状態の設定)

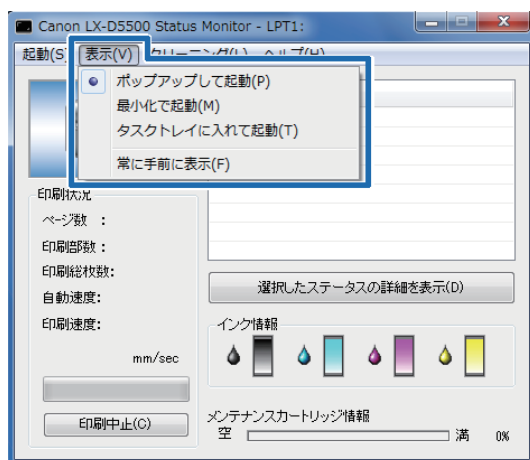
[Windows と同時に起動]

Windows を起動したときに、ステータスマニターが自動的に起動します。

2 [表示] をクリックしてプルダウンメニューを開き、表示方法を選びます。

[ポップアップして起動]、[最小化で起動] または [タスクトレイに入れて起動] をクリックします。

設定された項目の先頭に「●」が付きます。



[ポップアップして起動]

ステータスマニターのウィンドウを画面に表示します。(初期状態の設定)

[最小化で起動]

起動したステータスマニターのウィンドウを、最小化してタスクバーに収納します。

[タスクトレイに入れて起動]

起動したステータスマニターを、タスクトレイの中にアイコン化された状態で表示します。

[常に手前に表示]

他のアプリケーションソフトウェアなどのウィンドウを開いても、ステータスマニターのウィンドウを常に手前に表示します。

メモ

- ウィンドウが表示されたときに常に手前に表示させる場合は、[常に手前に表示] をクリックし、先頭にチェックを付けます。この設定は、[表示] メニューの他の項目とは無関係に設定できます。
- [常に手前に表示] にチェックを付けると、ステータスマニターのウィンドウが半透明で表示されます。
- [最小化で起動] または [タスクトレイに入れて起動] に設定しても、プリンターにエラーが発生すると自動的にポップアップし、メッセージを表示します。ポップアップされたウィンドウの最小化ボタンをクリックすると、再びタスクバーに収納できます。

4-2 ステータスマニターを利用する

ステータスマニターでは、現在の印刷状況を確認できるほか、プリンターの状態やインクの消費状態、メンテナンスカートリッジのインク回収量を確認できます。



[1] プリンター状態のイメージ

現在のプリンターの状態をプレビュー表示します。

[2] 印刷状況

現在の印刷状況を数値とインジケータで表示します。

➡ 「印刷状況を見る (P.144)」

[3] 印刷中止

印刷を中止します。

[4] クリーニング

プリンターのポーズキーを押して一時停止しているときのみ有効になります。

[5] ステータス情報

現在のプリンターの状態を知らせるメッセージを表示します。

➡ 「ステータス情報を見る (P.145)」

[6] 詳細なステータス表示

プリンターの状態を詳しく説明する別ウィンドウを開きます。

[7] インク情報

インクタンクの消費状況を表示します。

➡ 「インク情報を見る (P.149)」

[8] メンテナンスカートリッジ情報

メンテナンスカートリッジ内のインク回収量を表示します。

➡ 「メンテナンスカートリッジ情報を見る (P.150)」

■ 印刷状況を見る

印刷の進行状況を確認できます。



[ページ数]

印刷を指定した原稿のページ数が表示されます。

[印刷部数]

指定した部数の印刷の進行状況が表示されます。

例えば、3 ページ原稿を 10 部ずつ印刷する設定を行った場合、1 ページ目を印刷する間は「0001/0010」～「0010/0010」と順に表示されます。

プログレスバーは、各ページの部数の処理状況を表しています。

[印刷総枚数]

指定した印刷総枚数が表示されます。

[自動速度]

自動速度設定のオン / オフを表示します。

[印刷速度]

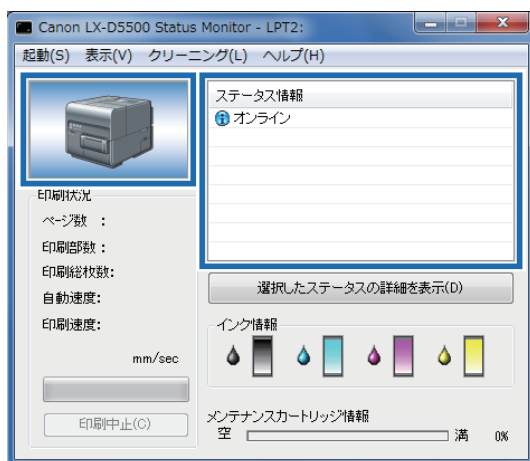
現在設定されている速度を表示します。

[印刷中止]

印刷を途中で中止する場合にクリックします。現在の印刷を行った後、中止します。

■ ステータス情報を見る

プリンターの状態を確認します。



- 現在のプリンターの状態を4つのイメージで表示します。



オンラインの状態であることを示します。(背景はブルー)
印刷を行うことができます。



オフライン状態であることを示します。(背景はグレー)



警告が発生していることを示します。(背景はイエロー)
[ステータス情報] に警告メッセージが表示されますが、印刷を続けることができます。
必要に応じて対処を行ってください。



エラーが発生していることを示します。(背景はレッド)
[ステータス情報] にエラーメッセージが表示され、印刷を行うことができません。
必要な対処を行ってください。

📖 メモ

- ステータスマニターが最小化されている場合、またはタスクトレイに入っている場合は、エラーが発生した時点でステータスマニターのウィンドウが表示されます。

● ステータス情報を見る

ステータス情報には、4つのアイコンとメッセージで、現在のプリンターの状態が表示されます。

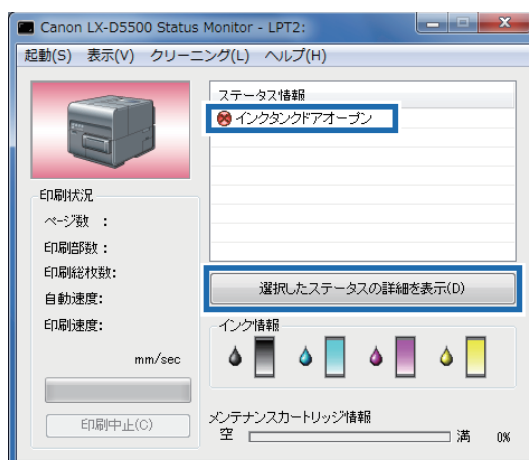
	インフォメーション
	プリンターに関する情報が表示されます。メッセージ内容を確認してください。
	警告メッセージ
	警告が発生しています。警告の内容をメッセージで確認してください。 この場合、印刷を行うことはできます。
	オペレーターコールエラー
	お客様の操作が必要なエラーが発生しています。 エラー内容をメッセージで確認し、必要な対処を行ってください。
	サービスマンコールエラー
	お客様の操作では復帰不可能なエラーが発生しています。 電源をオフにしてください。再度、電源をオンにしてもエラーが発生する場合は、エラー番号（4桁の英数字）を控えてご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。

メモ

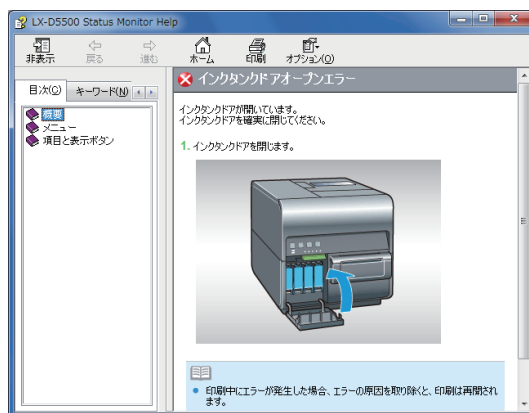
- 複数のエラーが同時に発生した場合は、重要度の高いエラーから順に「ステータス情報」に表示されます。

ステータス情報に表示されたメッセージについて、さらに詳しく知りたい場合は、次の手順で説明ウィンドウを表示して確認することができます。

- 1 説明を見るメッセージを選び、[選択したステータスの詳細を表示] をクリックします。



説明ウィンドウが開き、メッセージの説明と対処方法を確認できます。



メモ

- [ステータス情報] の項目をダブルクリックしても、同様に説明ウィンドウを表示できます。

■ インク情報を見る

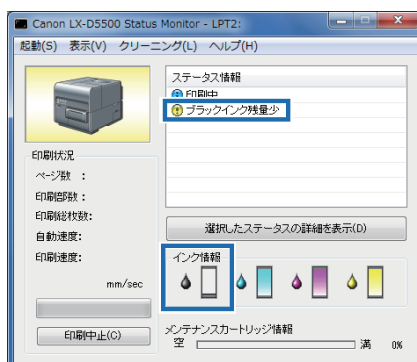
インクの消費状況を確認します。

インクタンクの種類は、左からブラック（Bk）、シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）です。それぞれのインクタンクのインク残量をイメージで表示します。

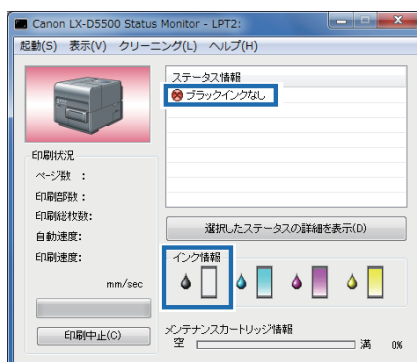
・ インクあり



・ インク残量約 20%



・ インクなし



➡ 「5-5 インクタンクを交換する (P.179)」

重要

- インクタンクは、交換するとき以外は抜き差ししないでください。部材の消耗を早める原因となります。
- インクタンク交換の際は、インクタンクを抜いたまま長時間放置しないでください。
- 「XXXX インク残量少」が表示されたら、新しいインクタンクを用意してください。新しいインクタンクの入手方法については、ご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。

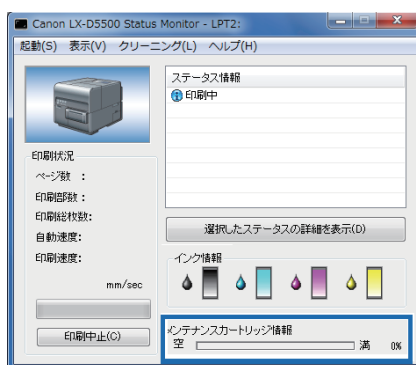
■ メンテナンスカートリッジ情報を見る

メンテナンスカートリッジのインク回収量を確認します。

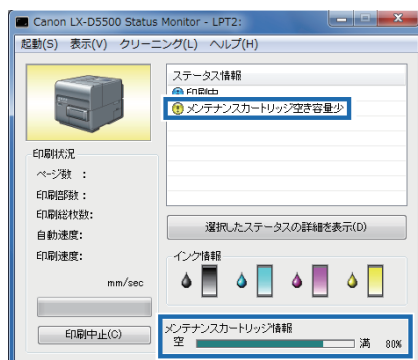
メモ

- メンテナンスカートリッジは、プリントヘッドのクリーニングなどを行った際に使用したインクを回収するカートリッジです。
- ステータスモニター内の下段にあるメンテナンスカートリッジ情報のインジケーターに現在の空き情報が表示されています。

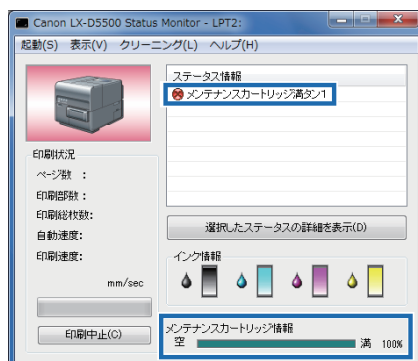
- ・ 空き容量が十分にある状態



- 空き容量 約 20%



- 空き容量なし



➡ 「5-7 メンテナンスカートリッジを交換する (P.187)」

重要

- 「メンテナンスカートリッジ空き容量少」が表示されたら、新しいメンテナンスカートリッジを用意してください。新しいメンテナンスカートリッジの入手方法については、本製品をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。

第5章 メンテナンスのしかた

プリンターをよい状態でお使いいただくためのメンテナンスについて説明します。

5-1 プリントヘッドをクリーニングする

印刷結果がかすれている場合は、プリントヘッドにホコリや紙粉が付着しノズルがつまっていることが考えられます。ノズルがつまったときはクリーニングを行ってください。

■ クリーニング（弱、中、強）を行う

インクの噴出し口（ノズル）の目づまりをクリーニングします。

印刷結果の状態に合わせて、弱、中、強から選んでクリーニングを行ってください。

クリーニング（弱）	印刷のかすれが発生したときに行ってください。
クリーニング（中）	クリーニング（弱）を行っても印刷のかすれが発生するときに行ってください。
クリーニング（強）	クリーニング（中）を行っても印刷のかすれが発生するときに行ってください。

重要

- クリーニング中は、その他の動作を行わないでください。
- 印刷中やエラーが発生している状態のときは、クリーニングはできません。
- [クリーニング] によって状況が改善されない場合は、別の原因が考えられます。ご購入の販売店やサービス店、お客さま相談センターにお問い合わせください。
- クリーニングは、インクを消費しますので、必要な場合のみ行ってください。
- プリンターを長期間使用しなかった場合、ノズルがつまることがあります。ノズルがつまることを防ぐために、定期的に印刷することをおすすめします。

1 [ユーティリティ] シートを表示します。

➡ 「3-8 [ユーティリティ] シートを利用する (P.112)」

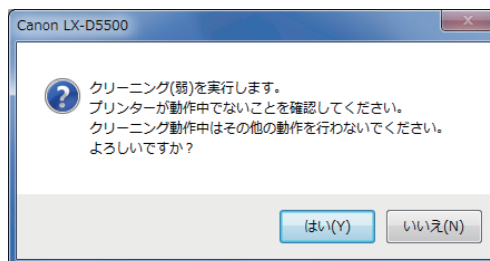
2 [クリーニング(弱)] (または、[クリーニング(中)]、[クリーニング(強)]) をクリックします。

印刷結果の状態に合わせて、弱、中、強のいずれかを選択します。



確認のメッセージが表示されます。

2 [はい] をクリックします。



クリーニングを開始します。

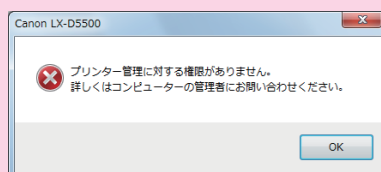
5-2 ヘッド位置調整を行う

本プリンターは、設置時に最良の状態で開催できるように調整されていますが、印刷結果に色ずれが見られるなどの場合は、ヘッド位置調整を行ってください。

ヘッド位置調整パターンを印刷して、そのパターンを見ながら調整します。

重要

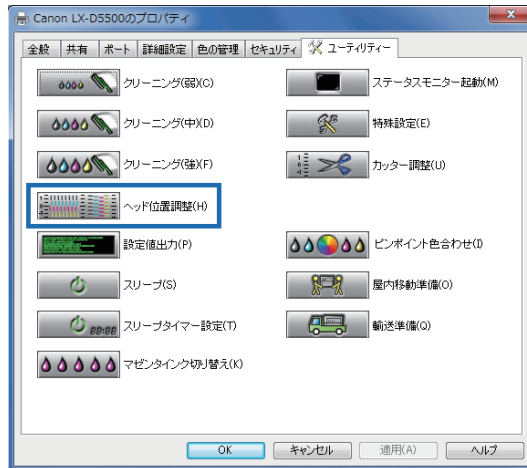
- プリンターにセットしている用紙サイズにより調整パターンは変化しますが、調整方法は同じです。
- 印刷中やエラーが発生している状態のときは、ヘッド位置調整はできません。
- 設定には、本プリンターの管理者権限が必要です。(→ P.116)



1 [ユーティリティ] シートを表示します。

➡ 「3-8 [ユーティリティ] シートを利用する (P.112)」

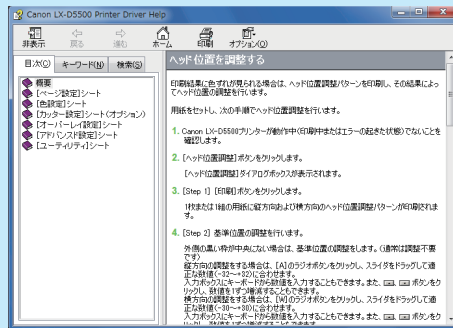
2 [ヘッド位置調整] をクリックします。



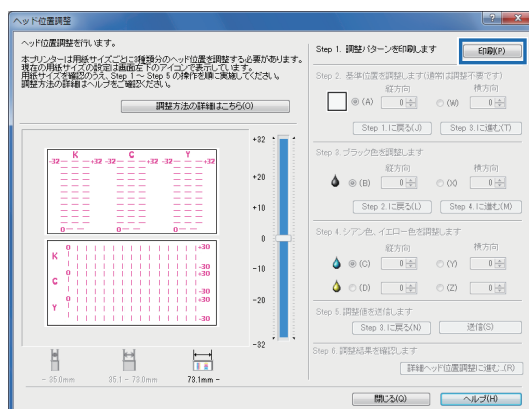
[ヘッド位置調整] ダイアログボックスが表示されます。

メモ

- [ヘッド位置調整] ダイアログボックスの[調整方法の詳細はこちら]をクリックすると、調整方法に関するヘルプ画面を表示します。

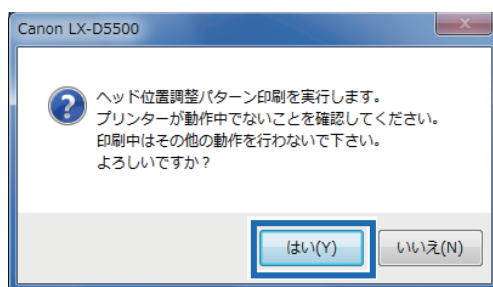


3 プリンターが動作中でないことを確認して、[印刷] をクリックします。

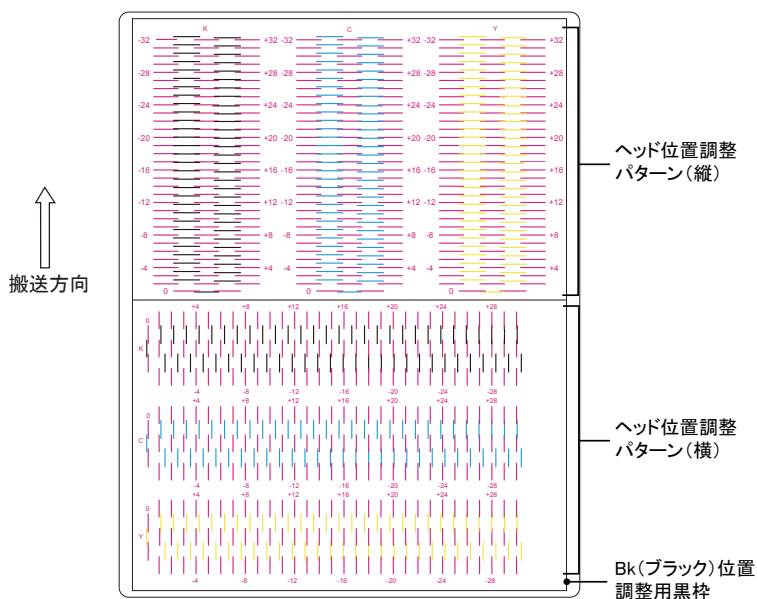


確認のメッセージが表示されます。

4 [はい] をクリックします。

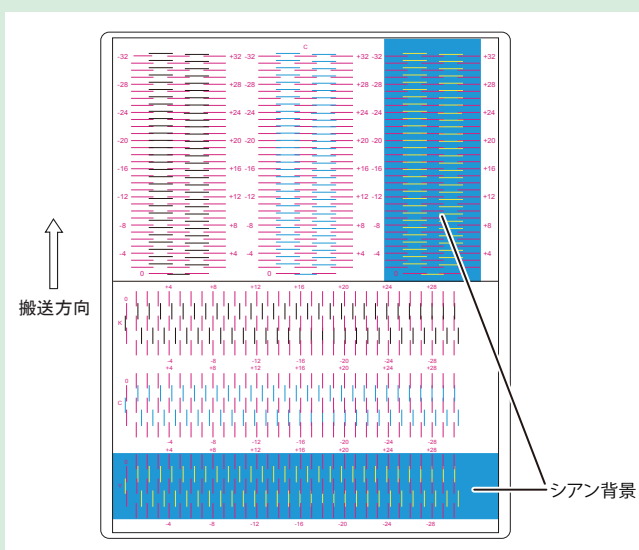


調整パターンが印刷されます。

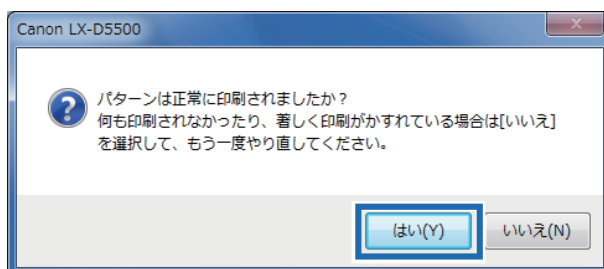


■ LX-P5500（顔料モデル）のとき

イエローのパターンは、調整値を見やすくするために背景をシアン色で印刷します。

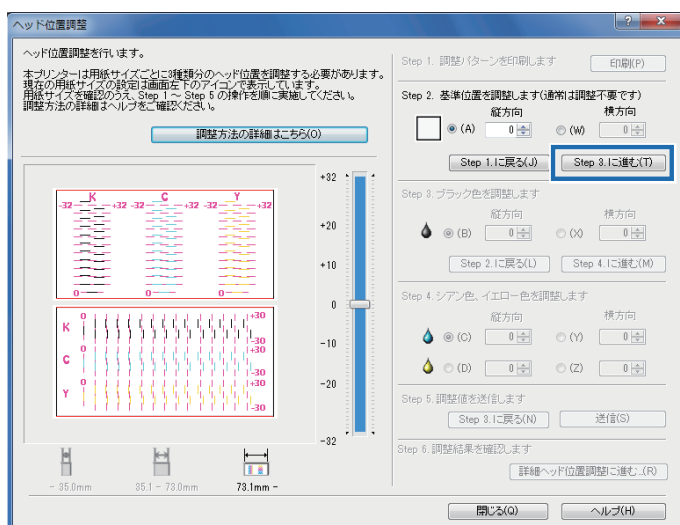


5 調整パターンが正常に印刷されたときは、[はい] をクリックします。



[いいえ] を選ぶと、再度、調整パターンを印刷します。

6 [Step 3に進む] をクリックします。



メモ

- [Step 2] は、ブラックヘッドの基準位置調整（枠線）ですが、通常は変更する必要はありません。基準位置は、ヘッド位置調整パターンの外周に描かれた枠線で確認できます。通常は用紙の上端から 1.5mm、左端から 1.5mm の位置にこの枠線が描かれますが、著しくずれている場合に調整してください。

メモ

● Step 2 ブラックヘッドの基準位置調整（枠線）を行う場合

【縦方向の調整】

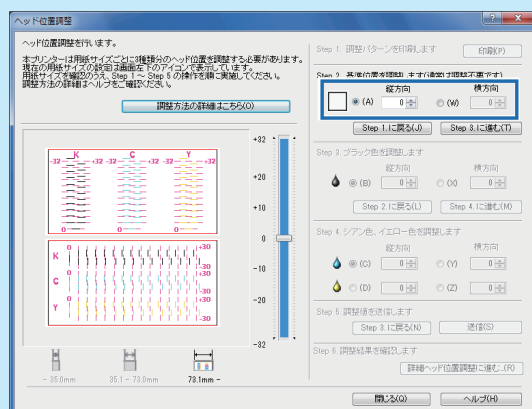
K（ブラック）基準位置調整用黒枠が上寄りになっている場合は数値をマイナス（-）に、下寄りになっている場合は数値をプラス（+）にします。

[縦方向] の [A]（ブラック）をクリックし、中央のスライダーをドラッグして数値を増減します。

【横方向の調整】

K（ブラック）基準位置調整用黒枠が左寄りになっている場合は数値をプラス（+）に、右寄りになっている場合は数値をマイナス（-）にします。

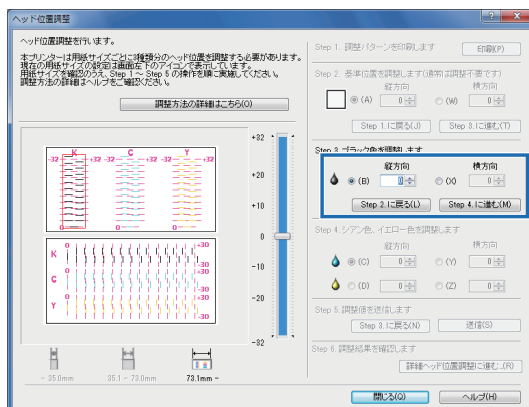
[横方向] の [W]（ブラック）をクリックし、中央のスライダーをドラッグして数値を増減します。



- 入力ボックスをクリックし、キーボードから数値を入力することもできます。
- 、 ボタンをクリックすると、現在の数値は 1 ずつ増減します。
- 数値を 1 増減させると、黒枠は左右に 0.0425mm 移動します。
- 調整範囲は縦（-32 ~ +32）、横（-30 ~ +30）ですが、現在の設定状態によっては、すべての範囲から選ばない場合があります。スライダーの目盛りに表示される ▲、▼ の間で設定してください。

7 Step 3. ブラック色の調整を行います。

調整パターンの[K] (ブラック) の[B] 縦方向、[X] 横方向を確認して、それぞれ赤い線と重なっている数値を読み取り、入力します。



メモ

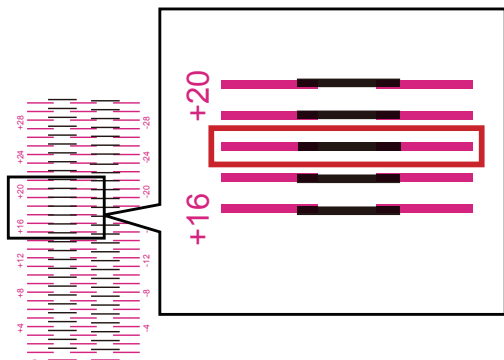
- [B] 縦方向や [X] 横方向を選択すると、調整パターンの確認位置が赤枠で示されます。
- ひとつ前の設定を見直したい場合は、「～に戻る」をクリックしてください。

● 縦方向の調整

ヘッド位置調整パターンのマゼンタの線とブラックの線が最もなめらかに（段差がなく）つながって見える線の数値を読みとります。

例えば、次のような場合は、調整値が「+18」になります。

ヘッド位置調整シートの Step 3 の「縦方向」(B) をチェックして、「18」を入力します。

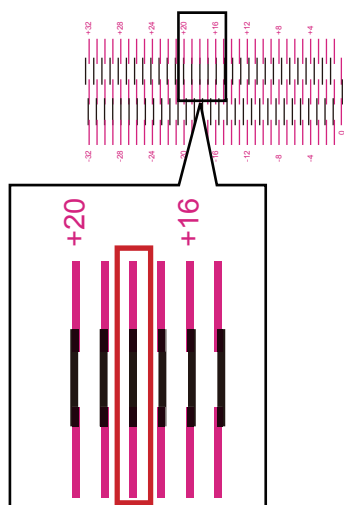


横方向の調整

ヘッド位置調整パターンのマゼンタの線とブラックの線が最もなめらかに（段差がなく）つながって見える線の数値を読みとります。

例えば、次のような場合は、調整値が「+18」になります。

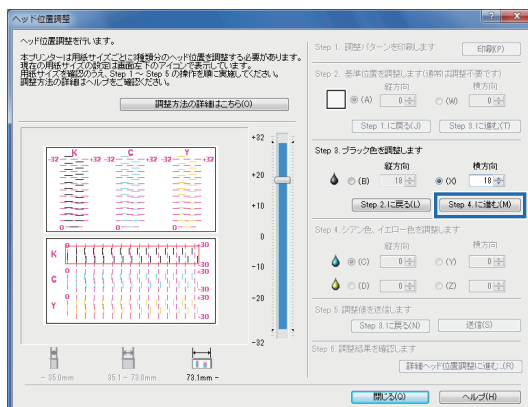
ヘッド位置調整シートの Step 3 の「横方向」(X) をチェックして、「18」を入力します。



メモ

- 、 ボタンをクリックすると、現在の数値は1ずつ増減します。
- 調整範囲は縦（-32～+32）、横（-30～+30）ですが、現在の設定状態によっては、すべての範囲から選べない場合があります。スライダーの目盛りに表示される▲、▼の間で設定してください。

8 数値を入力したら、[Step 4.に進む] をクリックします。



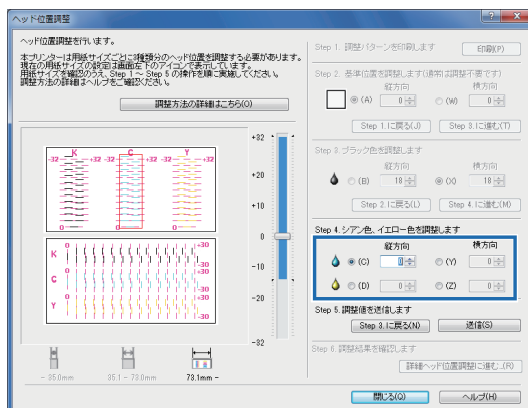
9 Step 4. シアン色、イエロー色の調整を行います。

● シアン色

調整パターンの [C] の縦方向、[Y] 横方向を確認して、それぞれマゼンタの線と重なっている数値を読み取り、入力します。

● イエロー色

調整パターンの [D] の縦方向、[Z] 横方向を確認して、それぞれマゼンタの線と重なっている数値を読み取り、入力します。



メモ

- [C] [D] 縦方向や [Y] [Z] 横方向を選択すると、調整パターンの確認位置が赤枠で示されます。
- ひとつ前の設定を見直したい場合は、「～に戻る」をクリックしてください。

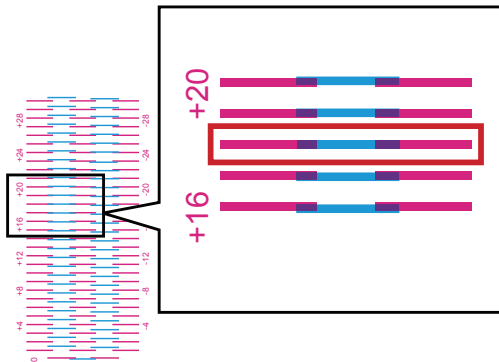
● 縦方向の調整

シアン、イエローの各色について、それぞれヘッド位置調整パターンの赤色の線と各色の線が最もなめらかに（段差がなく）つながって見える線の数値を読みとります。

例えば、次のような場合は、シアン調整値が「+18」になります。

ヘッド位置調整シートの Step 4 の [縦方向] (C) をチェックして「18」を入力します。

同じようにイエローも行います。([縦方向] (D))



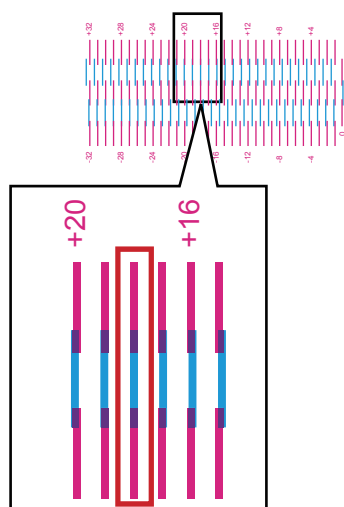
● 横方向の調整

シアン、イエローの各色について、それぞれヘッド位置調整パターンの赤色の線と各色の線が最もなめらかに（段差がなく）つながって見える線の数値を読みとります。

例えば、次のような場合は、シアン調整値が「+18」になります。

ヘッド位置調整シートの Step 4 の「横方向」(Y) をチェックして、「18」を入力します。

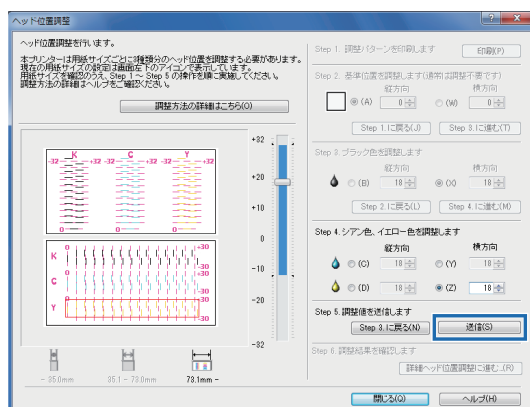
同じようにイエローも行います。（「横方向」(Z)）



📖 メモ

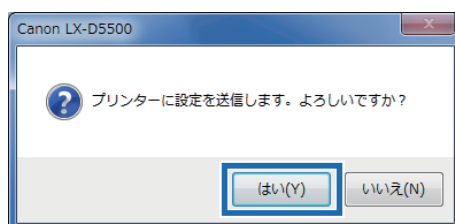
- 、 ボタンをクリックすると、現在の数値は 1 ずつ増減します。
- 調整範囲は縦（- 32 ～ +32）、横（- 30 ～ +30）ですが、現在の設定状態によっては、すべての範囲から選べない場合があります。スライダーの目盛りに表示される ▲、▼ の間で設定してください。

10 入力が終わったら、「送信」をクリックします。



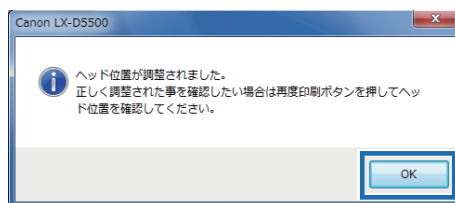
確認のメッセージが表示されます。

11 「はい」をクリックします。



調整値がプリンターへ送信されて、ヘッド位置が調整されます。

12 「OK」をクリックします。



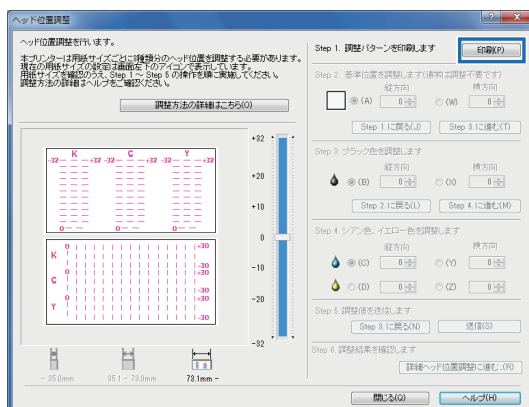
メモ

- より詳細な調整を行いたい場合は、「詳細ヘッド位置調整に進む」をクリックしてください。

➡ 「5-3 詳細なヘッド位置調整を行う (P.168)」

13 [印刷] をクリックします。

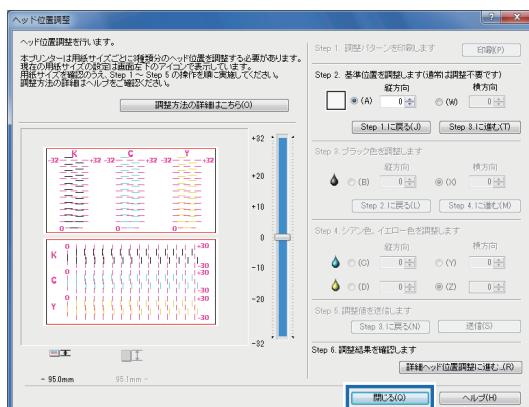
再度、ヘッド位置調整パターンを印刷してヘッド位置が正しく調整されたことを確認します。



印刷された調整パターンを見て、各色の「0」の位置の線がなめらかにつながっている場合は調整完了です。

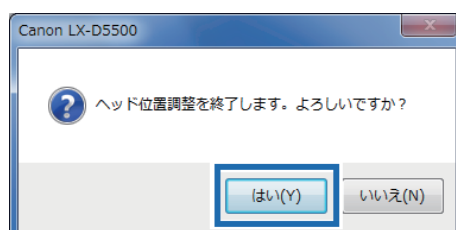
線がずれて見える場合は、再度 Step 1 から調整を行ってください。

14 ヘッド位置調整が終了したら、[閉じる] をクリックします。



確認のメッセージが表示されます。

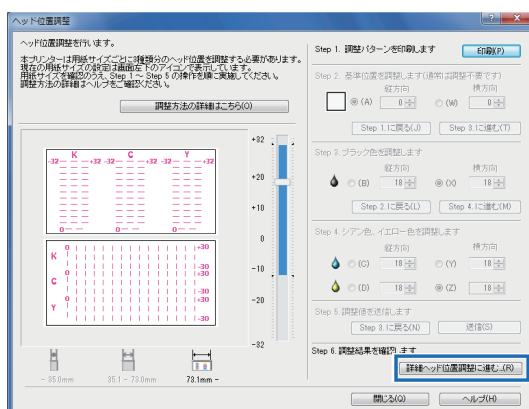
15 [はい] をクリックします。



5-3 詳細なヘッド位置調整を行う

通常の「ヘッド位置調整」を行ったあとに、もっと詳細な調整を行いたいというお客様のための調整手順です。

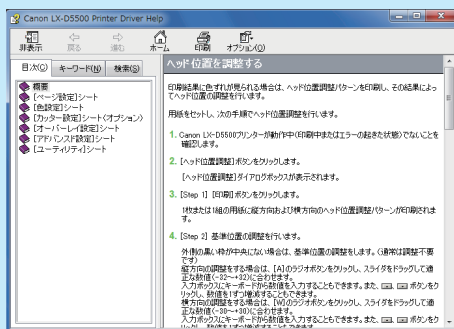
1 「詳細ヘッド位置調整へ進む」をクリックします。



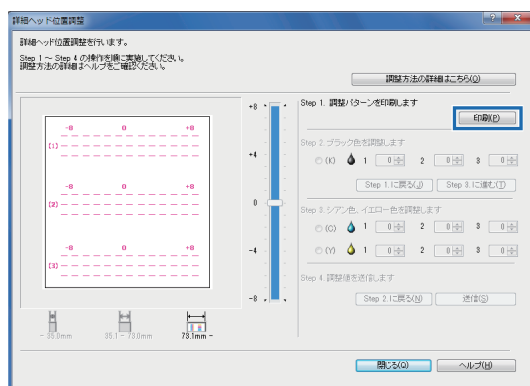
「詳細ヘッド位置調整」ダイアログボックスが表示されます。

メモ

- 「ヘッド位置調整」ダイアログボックスの「調整方法の詳細はこちら」をクリックすると、調整方法に関するヘルプ画面を表示します。

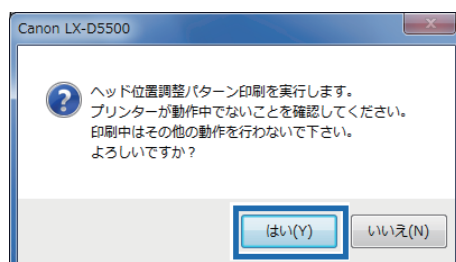


3 プリンターが動作中でないことを確認し、[印刷] をクリックします。

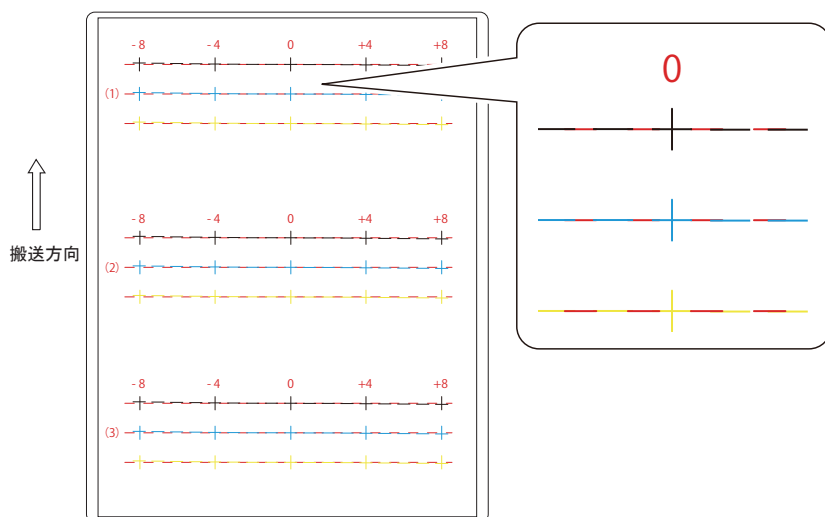


確認のメッセージが表示されます。

4 [はい] をクリックします。

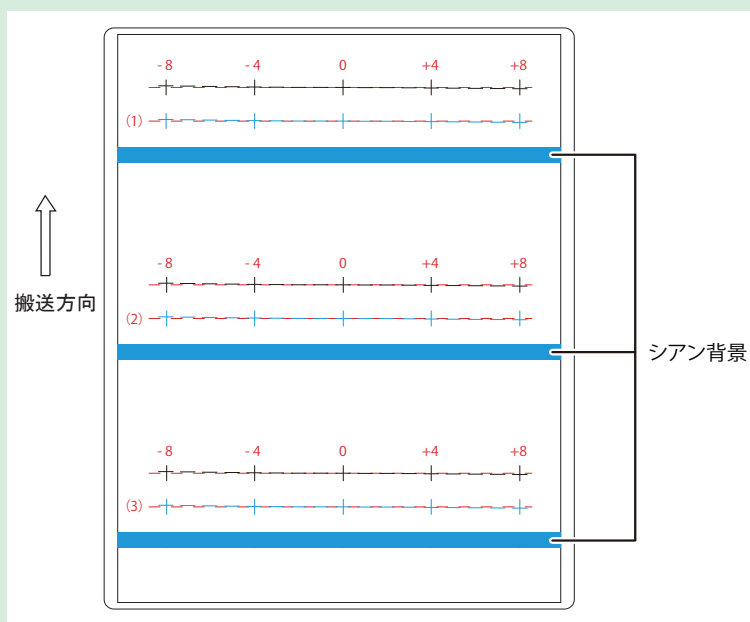


詳細ヘッド位置調整パターンが印刷されます。

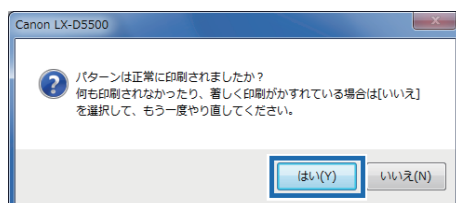


■ LX-P5500（顔料モデル）のとき

イエローのパターンは、調整値を見やすくするために背景をシアン色で印刷します。



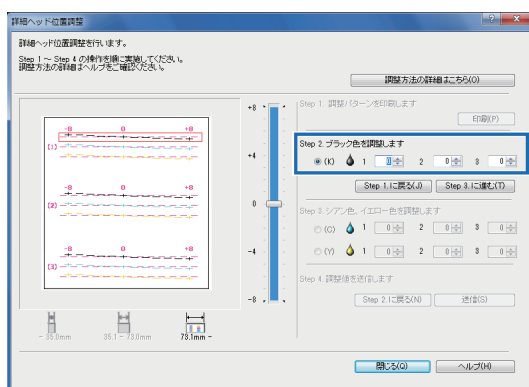
5 調整パターンが正常に印刷されたときは、[はい] をクリックします。



[いいえ] を選ぶと、再度、調整パターンを印刷します。

6 Step 2 ブラック色の調整を行います。

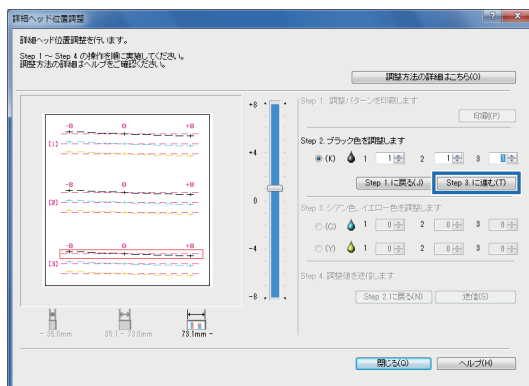
調整パターンの[K]（ブラック）の[1] [2] [3]を確認して、それぞれマゼンタの線と重なっている数値を読み取り、入力します。



メモ

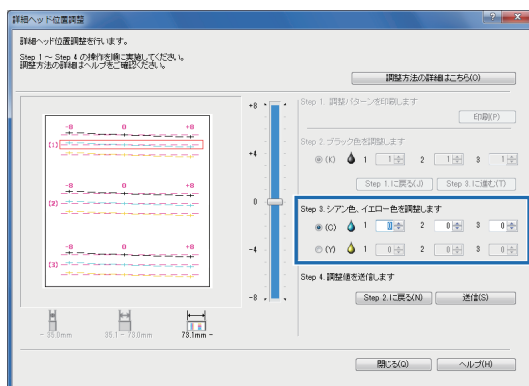
- [1] [2] [3] を選択すると、調整パターンの確認位置が赤枠で示されます。
- ひとつ前の設定を見直したい場合は、「～に戻る」をクリックしてください。

7 数値を入力したら、[Step 3.に進む] をクリックします。



8 Step 3. シアン色、イエロー色の調整を行います。

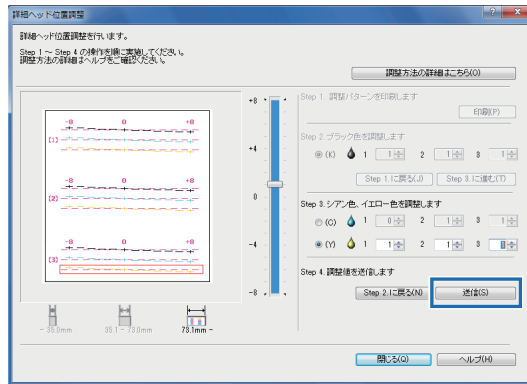
調整パターンの[C] (シアン) の[1] [2] [3] と[Y] の[1] [2] [3] を確認して、それぞれマゼンタの線と重なっている数値を読み取り、入力します。



メモ

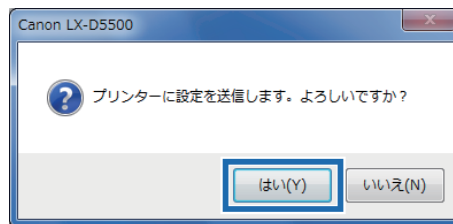
- [C] シアンの [1] [2] [3]、および [Y] イエローの [1] [2] [3] を選択すると、調整パターンの確認位置が赤枠で示されます。
- ひとつ前の設定を変更したい場合は、「～に戻る」をクリックしてください。

9 入力が終わったら、「送信」をクリックします。



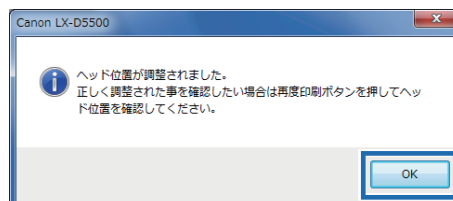
確認のメッセージが表示されます。

10 「はい」をクリックします。



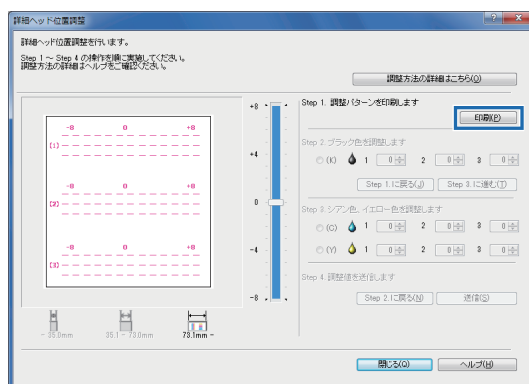
調整値がプリンターへ送信されて、ヘッド位置が調整されます。

11 「OK」をクリックします。



12 「印刷」 をクリックします。

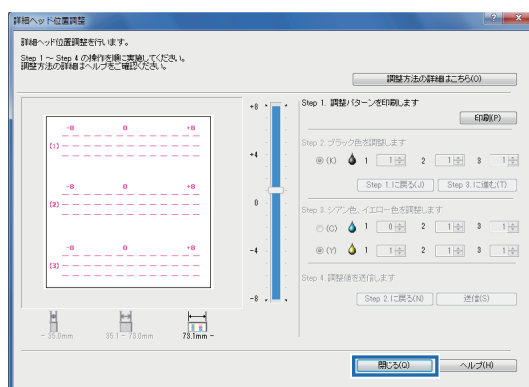
再度、詳細ヘッド位置調整パターンを印刷して、ヘッド位置が正しく調整されたことを確認します。



印刷された調整パターンを見て、各色の「0」の位置の線がなめらかにつながっている場合は調整完了です。

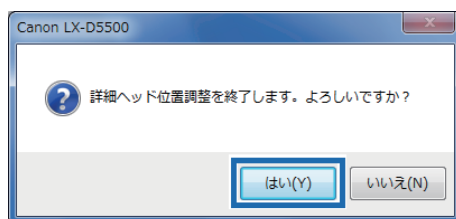
線がずれて見える場合は、再度 Step 1から調整を行ってください。

13 「閉じる」 をクリックします。



確認のメッセージが表示されます。

14 [はい] をクリックします。



5-4 設定値を確認する

本プリンターに設定されている情報を印刷します。「設定値出力」を行うときは、用紙サイズが4×3インチ以上の大きさのカラーラベルプリンター専用紙をお使いください。

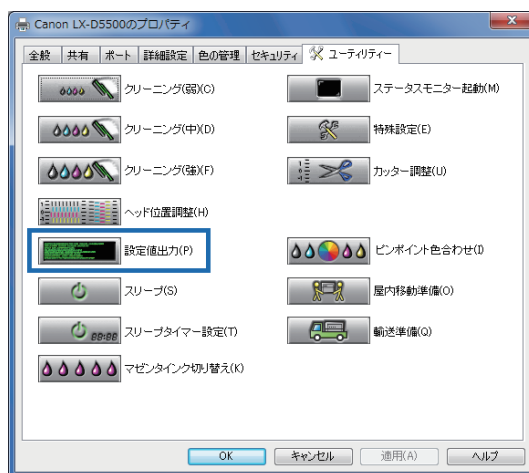
メモ

- 用紙サイズが4×3インチより小さい用紙をご使用の場合、印刷結果が欠けたり、印刷されない場合があります。
- 用紙がセットされていることを確認してください。
- 印刷中やエラーが発生している状態のときは、設定値印刷を行えません。

1 [ユーティリティー] シートを表示します。

➡ 「3-8 [ユーティリティー] シートを利用する (P.112)」

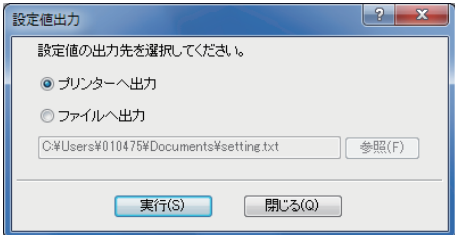
2 [設定値出力] をクリックします。



確認のメッセージが表示されます。

2 [プリンターへ出力] または[ファイルへ出力] のいずれかを選択したあと、[実行] をクリックします。

通常は、[プリンターへ出力] を選択します。



現在プリンターに設定されている情報が印刷されます。

<設定値の見かた>

・LX-D5500

Label Printer LX-D5500		
Printer Serial Number	- XXXXXXX	プリンター本体のシリアル番号
Firmware ROM Version	VerXXXX	プリンターソフトウェアのバージョン
Date and Time(JST)	dd/MM/20XX XX:XX	印刷日時
Printhead Position Adjustment-V (Wide Paper)	K-----X dot C-----X dot M-----X dot Y-----X dot	各色(KCMY)ヘッドの縦レジ調整値
Printhead Position Adjustment-H (Wide Paper)	K-----X dot C-----X dot M-----X dot Y-----X dot	各色(KCMY)ヘッドの横レジ調整値
Printhead Position Adjustment-V (Medium Paper)	K-----X dot C-----X dot M-----X dot Y-----X dot	各色(KCMY)ヘッドの縦レジ調整値
Printhead Position Adjustment-H (Medium Paper)	K-----X dot C-----X dot M-----X dot Y-----X dot	各色(KCMY)ヘッドの横レジ調整値
Printhead Position Adjustment-V (Small Paper)	K-----X dot C-----X dot M-----X dot Y-----X dot	各色(KCMY)ヘッドの縦レジ調整値
Printhead Position Adjustment-H (Small Paper)	K-----X dot C-----X dot M-----X dot Y-----X dot	各色(KCMY)ヘッドの横レジ調整値
Ink Pre-fire on the paper	XX	紙面予備吐モードのON/OFF
AIS Mode	XX	AISモードのON/OFF
Key Tone	XX	キー操作音のON/OFF
Fanfold Mode	XX	ファンフォールド紙モードのON/OFF
Tear Off Mode	XX	Tear Offモード選択
Low Temperature Mode	XX	低温時印刷モードのON/OFF
Prevent Unevenness	XX	濃度ムラ軽減モードのON/OFF
Prevent Paper Rubbing Mode	XX	用紙むすれ軽減モードのON/OFF
Sleep Timer Setting	XX	スリープタイマー設定時間
Power Off Timer Setting	XX	オフタイマー設定時間
Ethernet Information		
Use DHCP	XXX	DHCP設定
Mac Address	XX-XX-XX-XX-XX-XX	マックアドレス設定値
IP Address	XXX.XXX.XXX.XXX	IPアドレス設定値
Subnet Mask	XXX.XXX.XXX.XXX	サブネットマスク設定値
Default Gateway	XXX.XXX.XXX.XXX	デフォルト ゲートウェイ設定値
Ink Level Detection Mode	Enabled	インク残量検知機能のON/OFF
Black Ink Tank	Enabled	
Cyan Ink Tank	Enabled	
Magenta Ink Tank	Enabled	
Yellow Ink Tank	Enabled	

・LX-P5500

Label Printer LX-P5500		
Printer Serial Number	XX XXXX	プリンター本体のシリアル番号
Firmware ROM Version	Ver.XXX.XX	プリンターソフトウェアのバージョン
Date and Time (JST)	dd XXXX/20XX XX:XX	印刷日時
Printhead Position Adjustment-V (Wide Paper)	K.....X dot C.....X dot M.....X dot Y.....X dot	各色(KCMY)ヘッドの縦レジ調整値
Printhead Position Adjustment-H (Wide Paper)	K.....X dot C.....X dot M.....X dot Y.....X dot	各色(KCMY)ヘッドの横レジ調整値
Printhead Position Adjustment-V (Medium Paper)	K.....X dot C.....X dot M.....X dot Y.....X dot	各色(KCMY)ヘッドの縦レジ調整値
Printhead Position Adjustment-H (Medium Paper)	K.....X dot C.....X dot M.....X dot Y.....X dot	各色(KCMY)ヘッドの横レジ調整値
Printhead Position Adjustment-V (Small Paper)	K.....X dot C.....X dot M.....X dot Y.....X dot	各色(KCMY)ヘッドの縦レジ調整値
Printhead Position Adjustment-H (Small Paper)	K.....X dot C.....X dot M.....X dot Y.....X dot	各色(KCMY)ヘッドの横レジ調整値
Ink Pre-fire on the paper	XX	紙面予備吐モードのON/OFF
AIS Mode	XX	AISモードのON/OFF
Key Tone	XX	キー操作音のON/OFF
Fanfold Mode	XX	ファンフォールド紙モードのON/OFF
Tear Off Mode	XX	Tear Offモード選択
Low Temperature Mode	XX	低室温時印刷モードのON/OFF
Prevent Unevenness	XX	濃度ムラ軽減モードのON/OFF
Prevent Paper Rubbing Mode	XX	用紙こすれ軽減モードのON/OFF
Extend Ink Refresh Alarm	XX	インクリフレッシュ警告時期変更のON/OFF
Ink Refresh-Last Date	dd XXXX/20XX JST	インクリフレッシュ最終実施日
Sleep Timer Setting	XX	スリープタイマー設定時間
Power Off Timer Setting	XX	オフタイマー設定時間
Ethernet Information		
Use DHCP	XXX	DHCP設定
Mac Address	XX-XX-XX-XX-XX-XX	マックアドレス設定値
IP Address	XXX.XXX.XXX.XXX	IPアドレス設定値
Subnet Mask	XXX.XXX.XXX.XXX	サブネットマスク設定値
Default Gateway	XXX.XXX.XXX.XXX	デフォルト ゲートウェイ設定値
Ink Level Detection Mode	Enabled	インク残量検知機能のON/OFF
Black Ink Tank	Enabled	
Cyan Ink Tank	Enabled	
Magenta Ink Tank	Enabled	
Yellow Ink Tank	Enabled	

5-5 インクタンクを交換する

インクの残量が少なくなると、ステータスマニターに「XXXXインク残量少」のメッセージが表示されます。印刷は継続できますが、インクがなくなると「XXXXインクなし」のエラーメッセージが表示されて印刷を停止します。

ここでは、インクタンクを交換する方法を説明します。

メモ

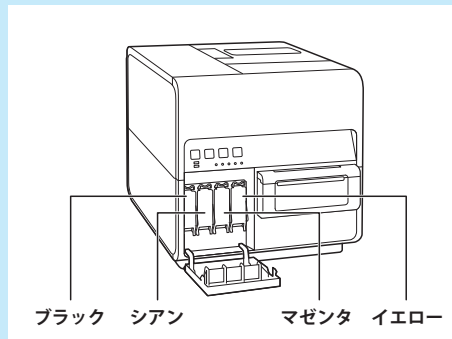
- 「XXXXインク残量少」メッセージが表示されたら、できるだけ早く新しいインクタンクを入手してください。新しいインクタンクの入手方法については、本製品をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにお問い合わせください。

※XXXXは、ブラック、シアン、マゼンタ、イエローです。

- 最適な印刷品質を保つため、インクタンクは本プリンター用のインクタンクを使用してください。インクタンクをご購入の際は、以下のインクタンクの型番が記載されていることをご確認ください。

	LX-D5500 (染料モデル)	LX-P5500 (顔料モデル)
ブラックインクタンク	BJI-P511Bk	BJI-P521Bk
シアンインクタンク	BJI-P511C	BJI-P521C
マゼンタインクタンク	BJI-P512M	BJI-P521M
イエローインクタンク	BJI-P511Y	BJI-P521Y

- 4色のインクタンクの位置は、次のとおりです。



セットする位置が違う場合は、インクタンクを差し込むことができません。無理にセットしないでください。

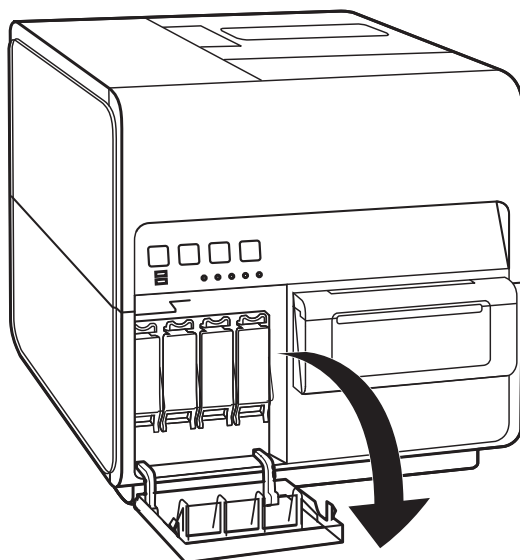
重要

- 本プリンターは、プリントヘッドの品質を維持するためインクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されています。そのため、使用済みインクタンク内に使用できないインクが残ります。
- 良い印刷結果を得るために、インクは開封後6ヶ月以内に使い切ってください。
- インクタンクは、交換するとき以外は抜き差しをしないでください。部材の消耗を早める原因となります。
- インクタンクの交換は速やかに行ってください。また、インクタンクを取り外した状態で長時間放置しないでください。
- インクタンクは、変形するおそれがありますので、高温になる場所に長時間放置しないでください。
- インクタンクは、直射日光の当たらない場所で保管してください。

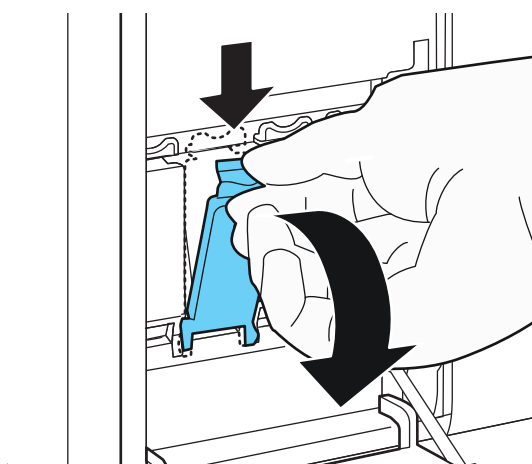
注意

- 安全のために、インクタンクは子供の手が届かないところに保管をしてください。
- 間違えてインクをなめたり飲んだりした場合は、すぐ医師にご相談ください。

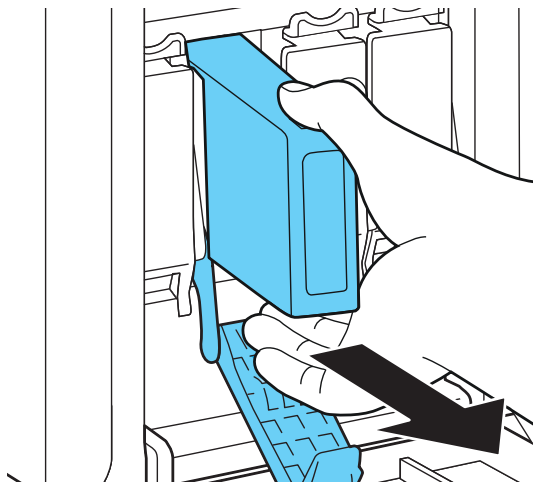
1 インクタンクドアを開きます。



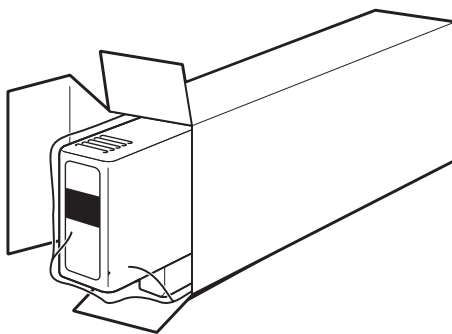
2 インクタンクカバーを開きます。



- 3** 空になったインクタンクを手前にゆっくり引き抜きます。

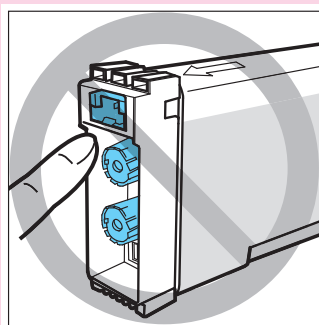


- 4** 新しいインクタンクを取り出します。



重要

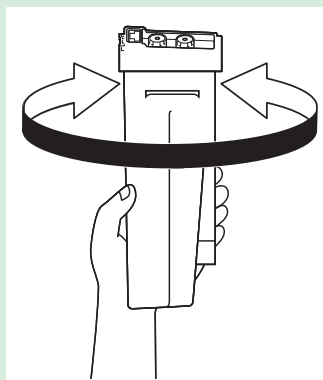
- インク供給部や IC チップが入っている端子部には絶対に触れないでください。周辺の汚損、インクタンクの破損、または印刷不良の原因になります。



- インクタンクを強い力で押さえたり、落としたりしないでください。インクが漏れて衣服や周囲を汚すことがあります。
- **LX-D5500（染料モデル）の場合は、インクタンクを振らないでください。**
インクタンクを振ると、インクタンクを交換した直後に「インクなし」のエラーメッセージが表示される場合があります。その場合は、インクタンクをセットしなおしてください。

■ **LX-P5500（顔料モデル）のとき**

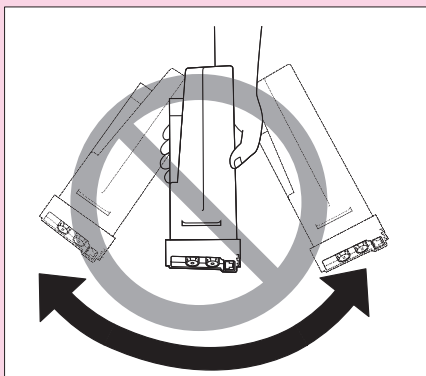
- 顔料インクは成分が沈殿しやすいため、本プリンターに装着する前は、図のようにインク供給口を上にして、ゆっくりと2～3回振ってください。



- 使いかけの顔料インクタンクをセットする場合も、同様に振ってから装着してください。

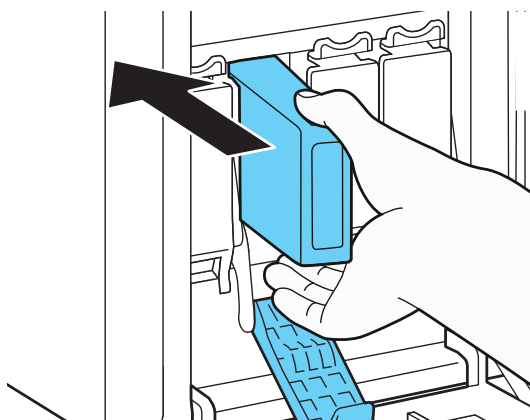
重要

- インク供給口を下に向けて振らないでください。インク供給口からインクが漏れて衣服や周囲を汚すおそれがあります。



5 新しいインクタンクをセットします。

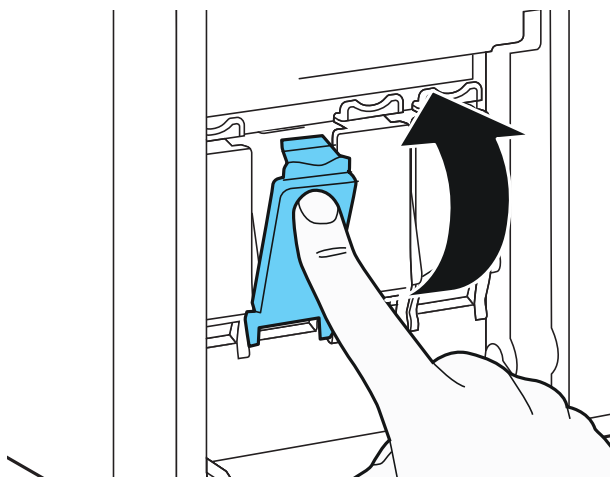
インクタンクを上下間違えないようにして、ゆっくりと奥まで差し込みます。



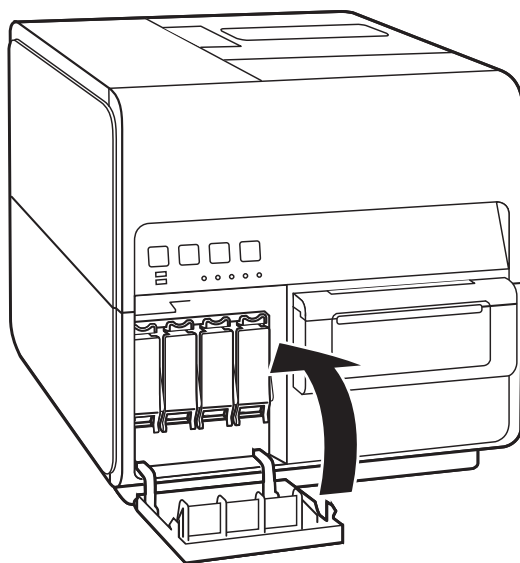
! 注意

- インクタンクの挿入部内には、針部があり危険です。絶対に内部に指を入れしないでください。

6 インクタンクカバーを閉じます。

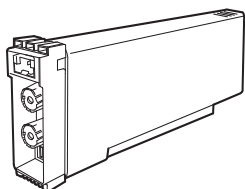


7 インクタンクドアを閉じます。



セット完了です。

5-6 使用済みインクタンク回収のお願い



キャノンでは、資源の再利用のために、使用済みインクタンクの回収を推進しています。この回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。つきましては、“キャノンによる環境保全と資源の有効活用”の取り組みの主旨にご賛同いただける場合には、ご使用済みとなったインクタンクを次のいずれかの方法でご提供いただきますようお願いいたします。

回収窓口へのお持ち込み

キャノンマーケティングジャパンでは、ご販売店の協力の下、全国に回収窓口をご用意しております。

回収専用箱での回収

インクタンクの使用量が多いお客様には、回収専用箱をご用意させていただいております。

回収窓口の検索、および回収専用箱のご注文方法につきましては、下記のキャノンのホームページ上でご案内しています。

使用済みカートリッジ回収のご案内 canon.jp/recycle

なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、使用済みインクタンクをビニール袋などに入れて、地域の条例に従い処分してください。

■ 使用済みカートリッジ回収によるベルマーク運動

キャノンでは、使用済みカートリッジ回収を通じてベルマーク運動に参加しています。

ベルマーク参加校単位で使用済みインクタンクを回収していただき、その回収数量に応じた点数をキャノンより提供するシステムです。

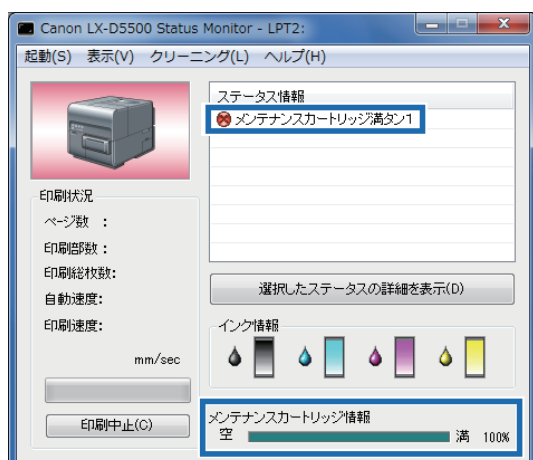
この活動を通じ、環境保全と資源の有効活用、さらに教育支援を行なうものです。

詳細につきましては、下記のキャノンのホームページ上でご案内しています。

環境への取り組み canon.jp/ecology

5-7 メンテナンスカートリッジを交換する

メンテナンスカートリッジが、回収されたインクで満杯になったら、ステータスマニターに「メンテナンスカートリッジ満タン」が表示されて、プリンターが停止します。



ここでは、メンテナンスカートリッジを交換する方法を説明します。

メモ

- メンテナンスカートリッジをご購入の際は、以下のメンテナンスカートリッジの型番が記載されていることをご確認ください。
メンテナンスカートリッジ：型式名 WT-X401

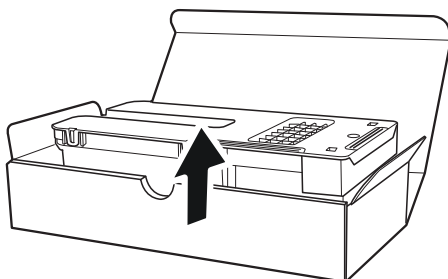
重要

- インクを含んだメンテナンスカートリッジは、落としたり傾けたまま放置しないでください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。
- 交換したメンテナンスカートリッジの上面には、インクが付着しています。メンテナンスカートリッジの取り扱いには十分ご注意ください。インクが衣服などに付くと落ちない場合があります。

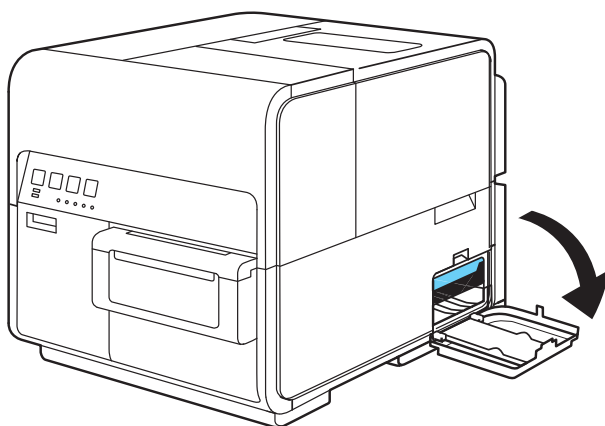
注意

- 安全のために、メンテナンスカートリッジは子供の手が届かないところに保管をしてください。
- 間違えてインクをなめたり飲んだりした場合は、すぐ医師にご相談ください。

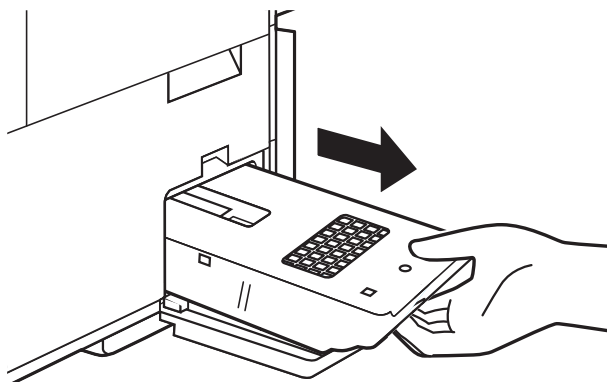
- 1** 梱包箱を開いて、メンテナンスカートリッジとビニール袋を取り出します。



- 2** メンテナンスカートリッジドアを開きます。



- 3** 使用済みのメンテナンスカートリッジを手前にゆっくり引き出します。

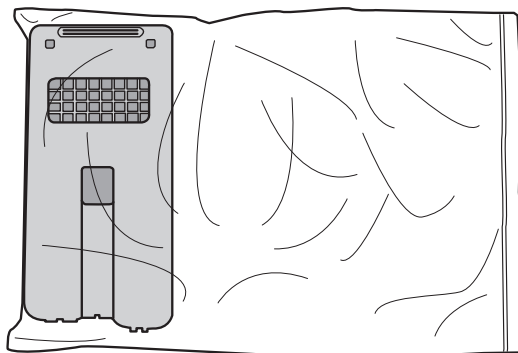


重要

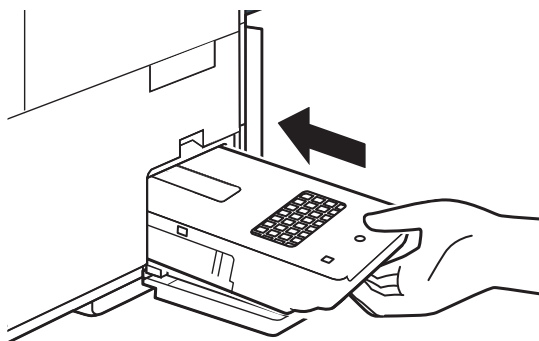
- 満杯になったメンテナンスカートリッジと取り出す際は、傾けたり、落としたりしないように気を付けてください。インクが飛散して、床や衣服などを汚してしまう場合があります。

- 4** 使用済みのメンテナンスカートリッジをビニール袋に入れます。

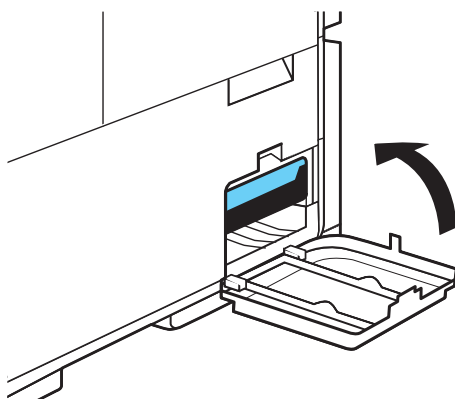
空気を抜きながら、ビニール袋のファスナーをしっかりと閉じてください。



5 新しいメンテナンスカートリッジを挿入します。



6 メンテナンスカートリッジドアを閉じます。



ステータスマニターのエラーが解除されて、印刷が開始されます。

重要

- 使用済みメンテナンスカートリッジの処理方法
 - ・ 企業でお使いの場合
「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）」に従って適切に処理してください。
 - ・ 一般家庭でお使いの場合
お住まいの地域の条例や自治体の指示に従って、適切に廃棄してください。

5-8 プリンターの清掃

用紙の裏面がインクで汚れた場合は、本プリンターに付属しているクリーニングスティックを使って、搬送部に付着したインクを拭き取ってください。

警告

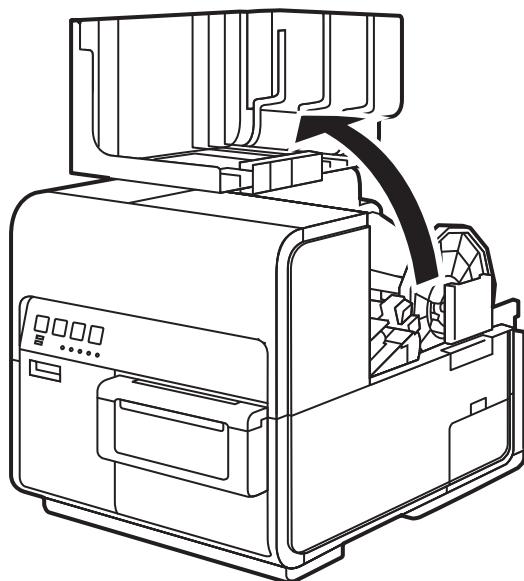
- プリンター外部および内部を清掃するときは、シンナー、ベンジン、アルコールなどの引火性溶剤は使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。

注意

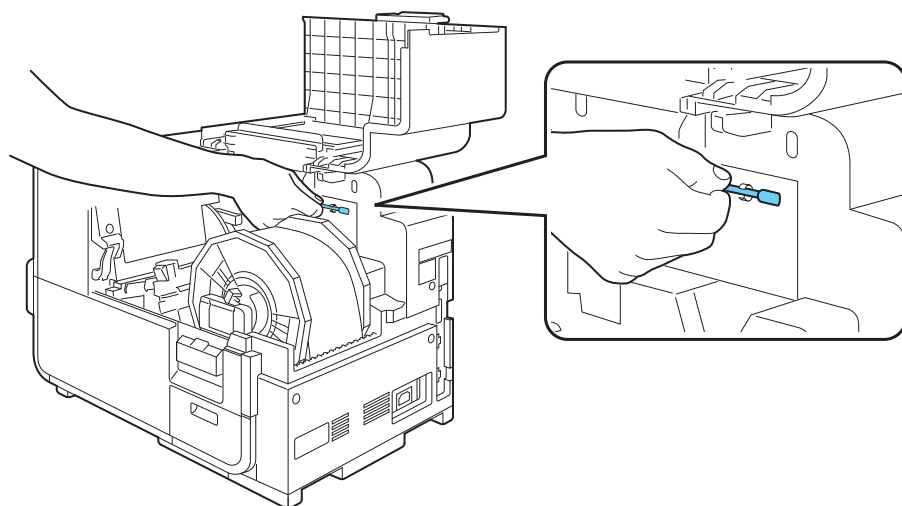
- 清掃する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。誤って動作した場合、けがや故障の原因になることがあります。

- 1 電源オフにして、電源プラグをコンセントから抜きます。

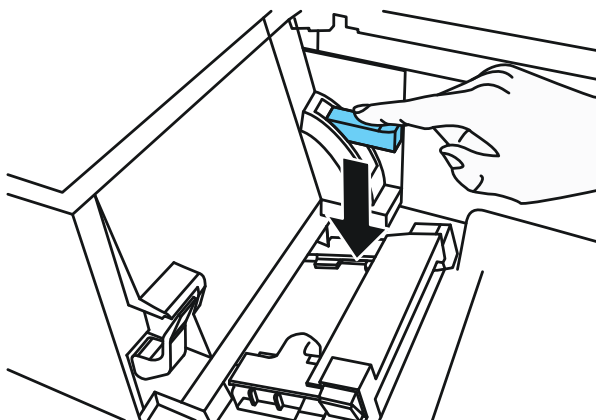
2 ロールカバーを開きます。



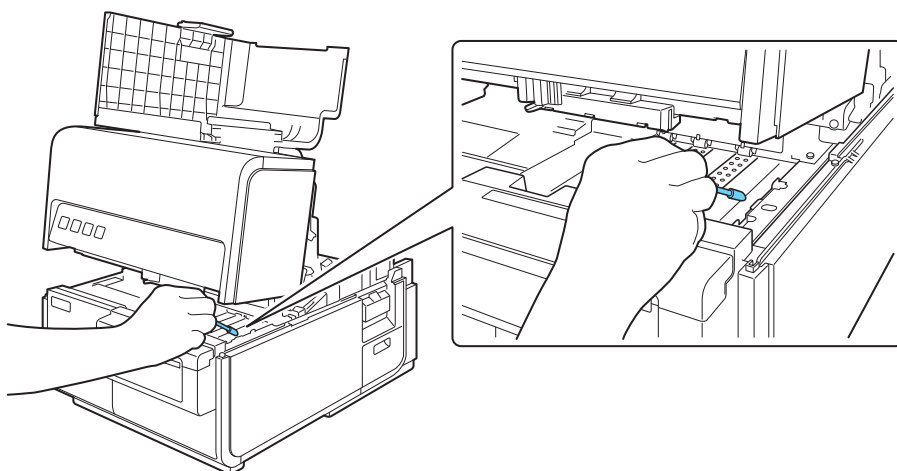
3 付属のクリーニングスティックを取り外します。



- 4** 給紙部奥側の、上ユニットオープンレバーを押し下げて、上ユニットを開きます。



- 5** クリーニングスティックで搬送部に付着したインクを拭き取ります。



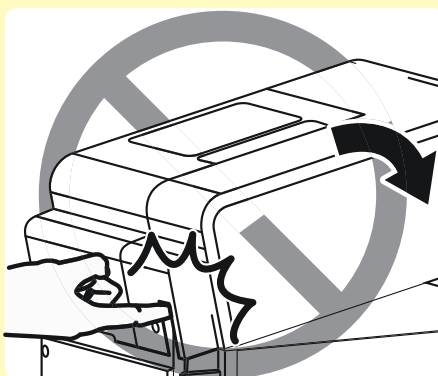
📖 メモ

- ペーパータオルやティッシュペーパーは使用しないでください。切れたかすや紙粉が本体内に入ると、故障の原因となります。

6 上ユニットを閉じます。

! 注意

- 上ユニットを閉じる場合は、背面のインターフェイス部に指などで触れないようにしてください。挟んでけがをするおそれがあります。



5-9 インクリフレッシュを行う（LX-P5500（顔料モデル）のみ）

インクリフレッシュとは、プリントヘッド内およびインク流路内のインクの循環動作を行います。顔料インクは、時間の経過とともにインクが徐々に沈降していきますので、定期的にインクリフレッシュとインクタンクを振る作業が必要となります。

重要

- インクリフレッシュの「警告」または「オペレーターコール」は、インクタンクを装着してからカウントを開始します。
54 日間（または 84 日間）にインクタンクの交換が 1 度もなかった場合は、「警告」または「オペレーターコール」が表示されます。
- インクリフレッシュ中は、その他の動作を行わないでください。
例) インクタンクドア、メンテナンスカートリッジドア、上ユニットの開閉など
- インクリフレッシュ中は、表示画面の「閉じる」 ボタンを押さないでください。インクリフレッシュを始めからやりなおすことになりますので、誤って押すことがないようにご注意ください。
- 「インクリフレッシュ実施時期 1（または 2）」（警告）「インクリフレッシュ実施時期超過 1」（オペレーターコール）が表示されたら、必ずインクリフレッシュを実施してください。
「インクリフレッシュ実施時期超過 2（または 3）」（オペレーターコール）が出たあとにインクリフレッシュを実行する場合は、インクを消費します。
 - ➡ 「インクリフレッシュ（その 1）（P.198）」
 - ➡ 「インクリフレッシュ（その 2）（P.208）」
 - ➡ 「インクリフレッシュ（その 3）（P.212）」
- インクリフレッシュの警告が出るまでは、インクリフレッシュボタンを押さないようにしてください。インクリフレッシュはインクの循環動作を行うため、実行中はプリンターが停止します。

● [特殊設定] の [インクリフレッシュ警告時期変更] が [チェックなし] の場合

➡ 「特殊な設定を行う (P.132)」

エラー種別	警告 1	オペレーターコール 1	オペレーターコール 2
インクタンクを装着してから	55 日目～ 59 日まで (5 日間)	60 日目～ 89 日まで (30 日間)	90 日目～
ステータスモニター表示名	インクリフレッシュ実施時期 1 ➡ 「インクリフレッシュ (その 1) (P.198)」	インクリフレッシュ実施時期超過 1 ➡ 「インクリフレッシュ (その 1) (P.198)」	インクリフレッシュ実施時期超過 2 ➡ 「インクリフレッシュ (その 2) (P.208)」
内容	インクタンクを装着してから 55 日目に表示します。 プリンターは停止しません。 ・この動作は、インクを消費しません。 ・次回は 55 日目に「警告 1」を表示します。	「警告 1」にてインクリフレッシュを実行しなかった場合に表示します。 プリンターは強制停止します。 ・この動作は、インクを消費しません。 ・次回は 55 日目に「警告 1」を表示します。	「警告 1」および「オペレーターコール 1」にてインクリフレッシュを実行しなかった場合に表示します。 プリンターは強制停止します。 ・この動作は、インクを消費します。 ・次回は 55 日目に「警告 1」を表示します。

● [特殊設定] の [インクリフレッシュ警告時期変更] が [チェックあり] の場合

➡ 「特殊な設定を行う (P.132)」

エラー種別	警告 2	オペレーターコール 2
インクタンクを装着してから	85 日目～ 89 日 (5 日間)	90 日～
ステータスモニター表示名	インクリフレッシュ実施時期 2 ➡ 「インクリフレッシュ (その 1) (P.198)」	インクリフレッシュ実施時期超過 2 ➡ 「インクリフレッシュ (その 2) (P.208)」
内容	インクタンクを装着してから 84 日間インクリフレッシュを実行しなかった場合に表示します。 プリンターは停止しません。 ・この動作は、インクを消費しません。 ・次回は 85 日目に「警告 2」を表示します。	「警告 2」にてインクリフレッシュを実行しなかった場合に表示します。 プリンターは強制停止します。 ・この動作は、インクを消費します。 ・次回は 85 日目に「警告 2」を表示します。

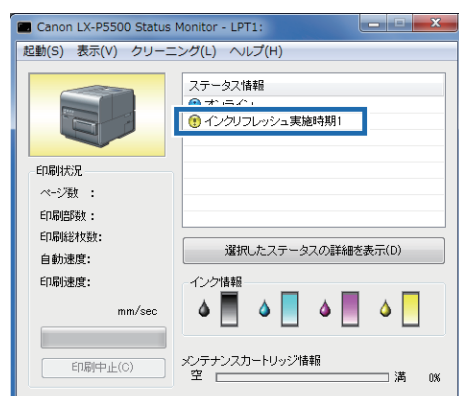
● 最後に印刷を行った日から、60 日間印刷を行わなかった場合

エラー種別	オペレーターコール 3
最後の印刷から	60 日目～
ステータスモニター表示名	インクリフレッシュ実施時期超過 3 ➡ 「インクリフレッシュ (その3) (P.212)」
内容	最後の印刷から 60 日以上 1 度も印刷を行わなかったとき、またはインクリフレッシュを行わなかった場合に表示します。(電源の投入のみは不可) プリンターは強制停止します。 - この動作は、インクを大量に消費します。 インクの沈殿が進行して、インクタンクに戻すことができないため、流路内のインクをすべて排出します。 (この状態を回避するために 2 ヶ月間に 1 度は、印刷を行っていただくことをおすすめします。) - 次回は、プリンター使用中に「警告 1」または「警告 2」が表示されます。

■ インクリフレッシュ (その 1)

ステータスモニターに次の警告メッセージおよびオペレーターコールが表示されたときのインクリフレッシュの操作手順について説明します。

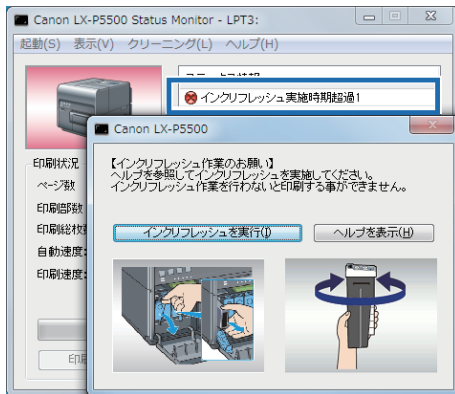
[インクリフレッシュ実施時期 1]



[インクリフレッシュ実施時期 2]



[インクリフレッシュ実施時期超過 1]



メモ

- 「インクリフレッシュ実施時期超過」のエラーメッセージが表示されると、同時に次のような画面がポップアップされます。[インクリフレッシュを実行] をクリックしてください。
また、[ヘルプを表示] をクリックすると、インクリフレッシュの操作手順を確認することができます。



1 表示されているメッセージに合わせて、次のように操作します。

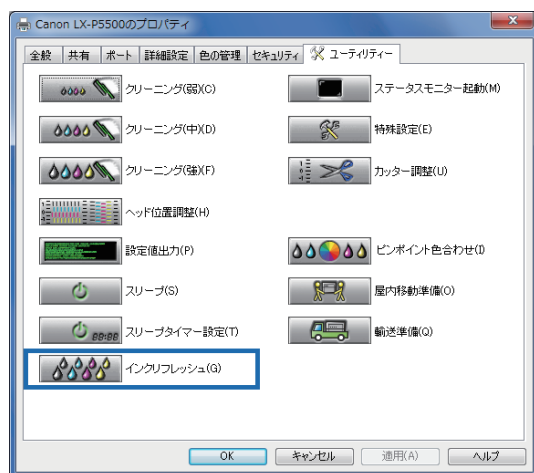
- ・ [インクリフレッシュ実施時期超過 1] が表示されているとき
[インクリフレッシュを実行] をクリックします。



- ・ [インクリフレッシュ実施時期 1] または [インクリフレッシュ実施時期 2] が表示されているとき

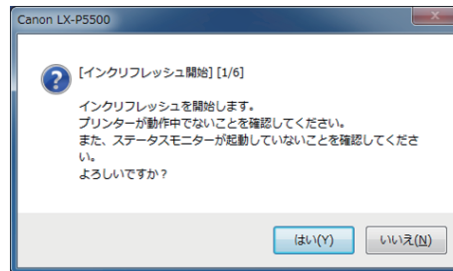
- ① ステータスマニターを閉じます。
- ② [ユーティリティ] シートを表示し、[インクリフレッシュ] をクリックします。

➡ 「3-8 [ユーティリティ] シートを利用する (P.112)」

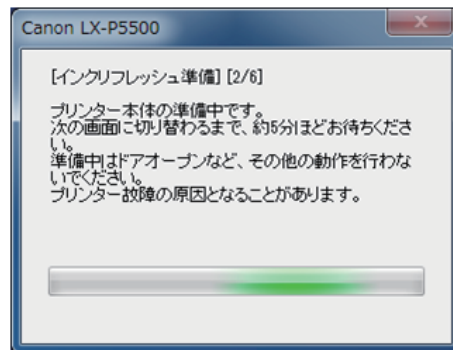


確認のメッセージが表示されます。

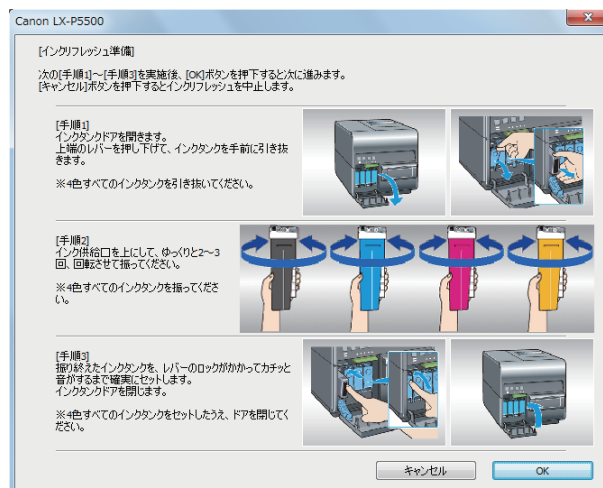
2 [はい] をクリックします。



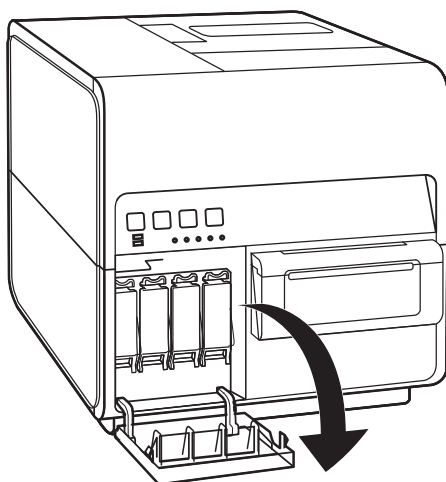
プリンター内のインク流路からインクをインクタンクへ戻します。約5分かかります。



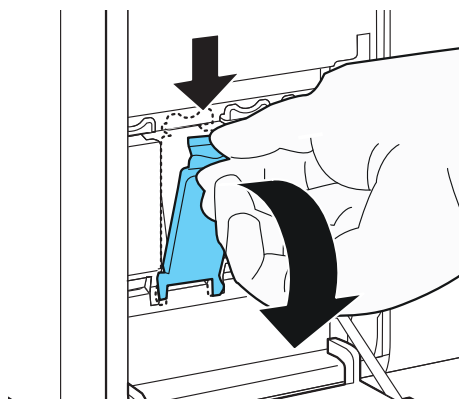
準備が完了すると、次の画面が表示されます。
画面が表示されるまではプリンターを操作しないでください。



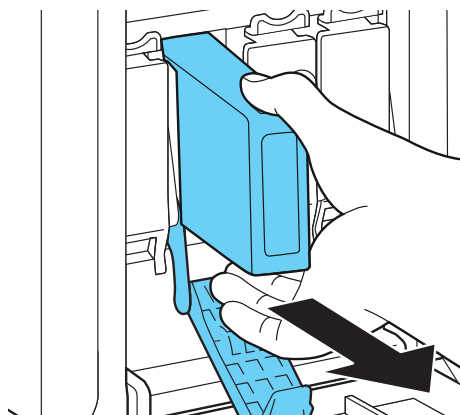
- 3** 表示された画面の手順にしたがって操作します。
インクタンクドアを開きます。



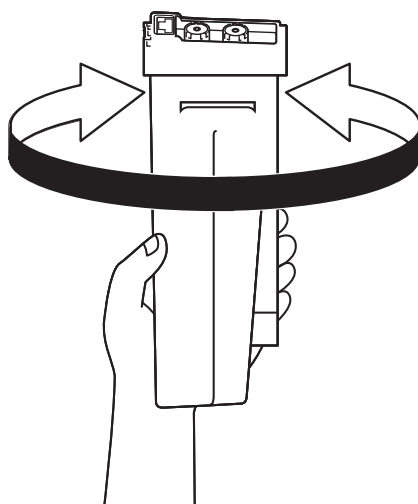
- 4** インクタンクカバーを開きます。



- 5** インクタンクを手前にゆっくり引き抜きます。



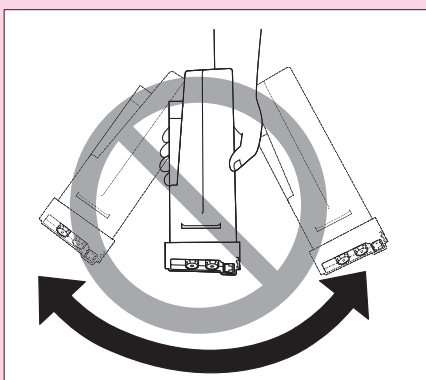
- 6** 図のようにインク供給口を上にして、インクタンクをゆっくりと2～3回振ってください。



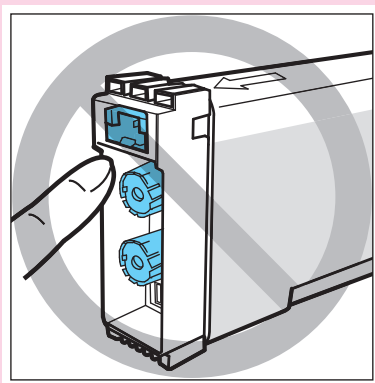
7 手順4～手順6を4色すべてのインクタンクについて行います。

重要

- インクタンクは4色すべての色を確実に振ってください。
- インク供給口からインクが漏れて衣服や周囲を汚すおそれがありますので、インク供給口を下に向けて振らないでください。



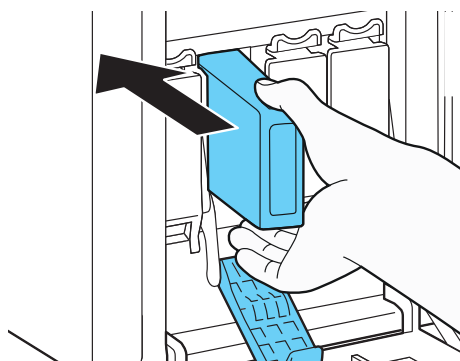
- インク供給部やICチップが入っている端子部には絶対に触れないでください。周辺の汚損、インクタンクの破損、または印刷不良の原因になります。



- インクタンクを強い力で押さえたり、落としたりしないでください。インクが漏れて衣服や周囲を汚すおそれがあります。

8 4色すべてのインクタンクをセットします。

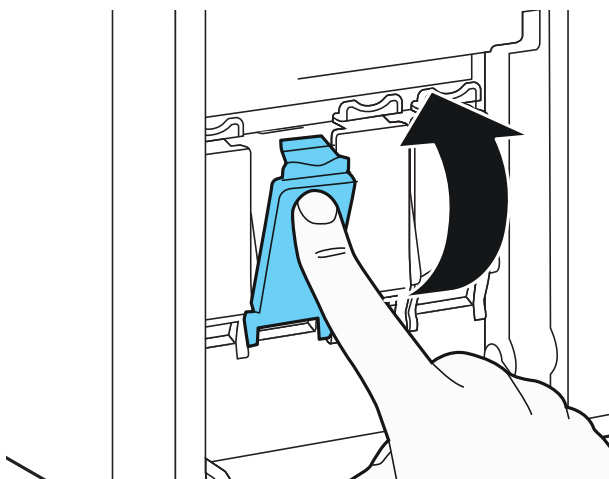
インクタンクを上下間違えないようにして、ゆっくりと奥まで差し込みます。



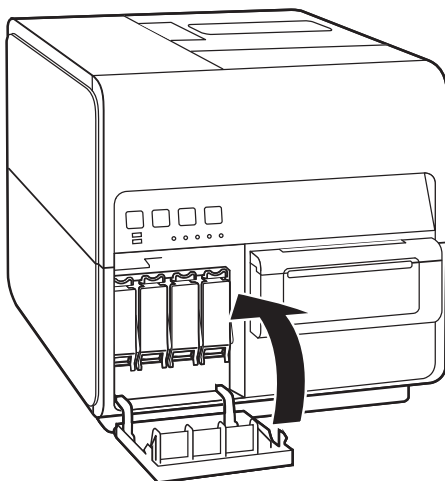
! 注意

- インクタンクの挿入部内には、針部があり危険です。絶対に内部に指を入れたりしないでください。

9 インクタンクカバーを閉じます。



10 各色全てのインクタンクをセットしたら、インクタンクドアを閉じます。



11 [OK] をクリックします。

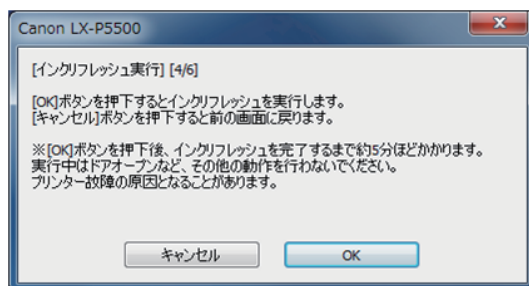


確認のメッセージが表示されます。

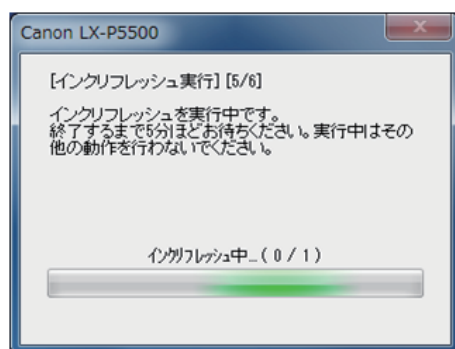
重要

- 動作の途中に「キャンセル」を押さないようにしてください。キャンセルすると、ファーストプリントに時間が掛かります。

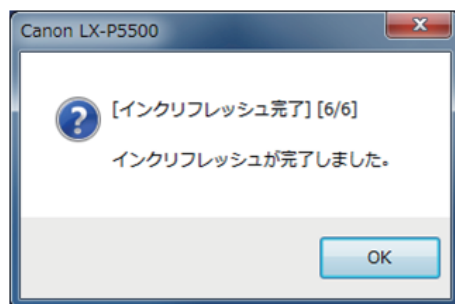
12 [OK] をクリックします。



インクリフレッシュが実行されます。約5分かかります。



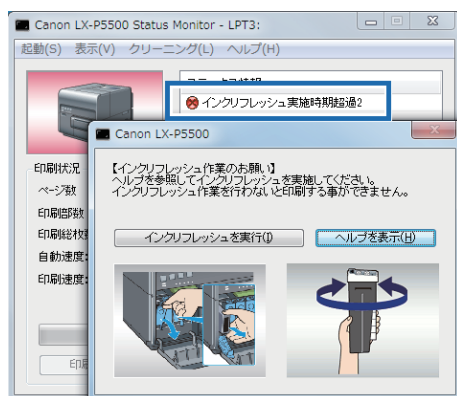
13 [OK] をクリックします。



■ インクリフレッシュ（その2）

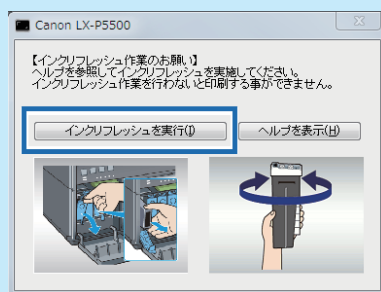
ステータスモニターに「インクリフレッシュ実施時期超過 2」が表示されたときのインクリフレッシュの操作手順について説明します。

「インクリフレッシュ実施時期超過 2」



メモ

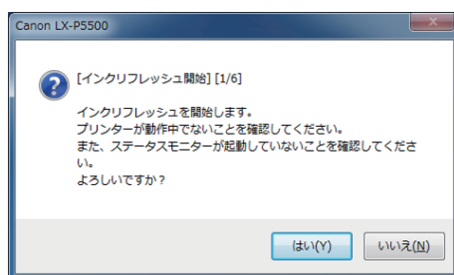
- 「インクリフレッシュ実施時期超過」のエラーメッセージが表示されると、同時に次のような画面がポップアップされます。[インクリフレッシュを実行] をクリックしてください。また、[ヘルプを表示] をクリックすると、インクリフレッシュの操作手順を確認することができます。



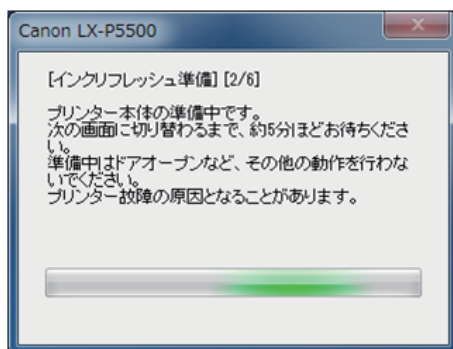
1 「インクリフレッシュを実行」をクリックします。



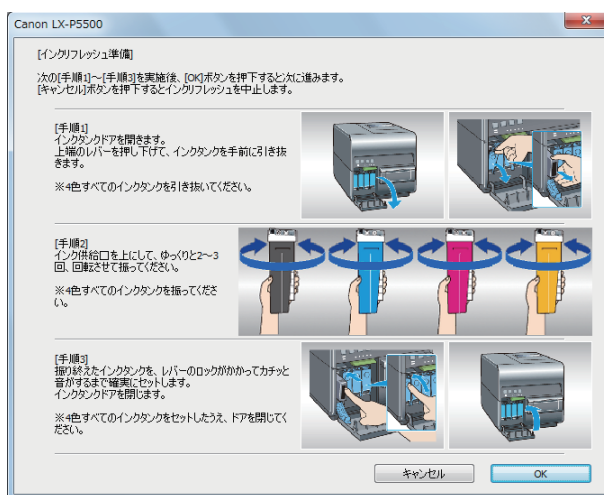
2 「はい」をクリックします。



プリンター内のインク流路からインクをインクタンクへ戻します。約5分かかります。



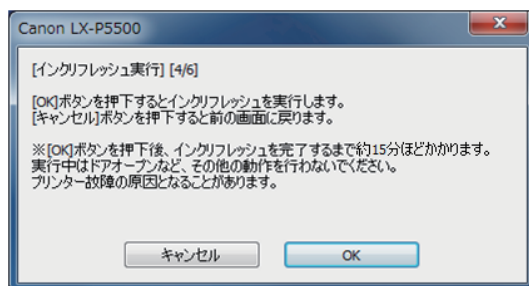
準備が完了すると、次の画面が表示されます。
画面が表示されるまではプリンターを操作しないでください。



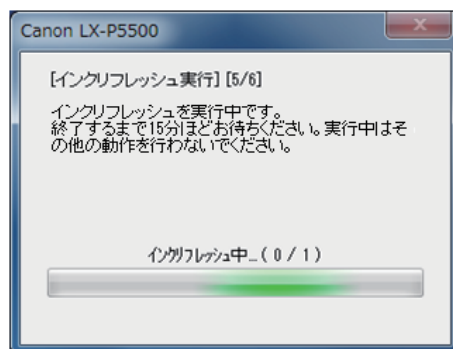
3 「インクリフレッシュ(その1)」の手順3～手順11を行います。

➡ 「インクリフレッシュ(その1) (P.198)」

4 [OK] をクリックします。



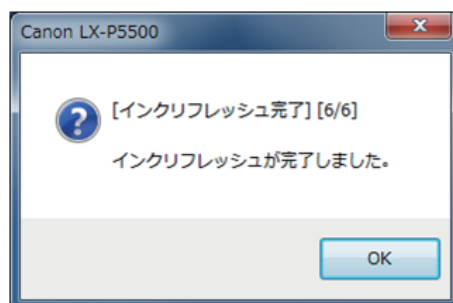
インクリフレッシュが実行されます。約 15分かかります。



重要

- 90 日目までインクリフレッシュを実行していなかった場合は、リフレッシュ動作が約 15 分かかります。

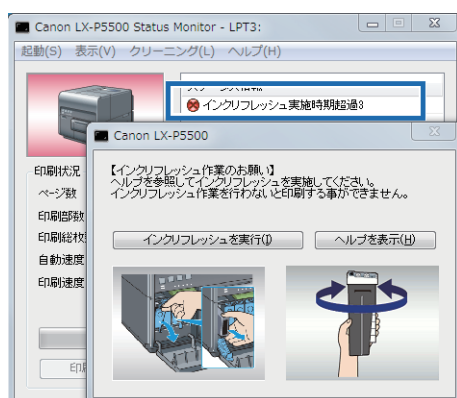
5 [OK] をクリックします。



■ インクリフレッシュ（その3）

ステータスモニターに「インクリフレッシュ実施時期超過 3」が表示されたときのインクリフレッシュの操作手順について説明します。

「インクリフレッシュ実施時期超過 3」



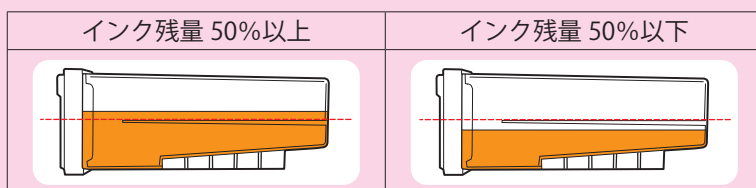
メモ

- 「インクリフレッシュ実施時期超過」のエラーメッセージが表示されると、同時に次のような画面がポップアップされます。[インクリフレッシュを実行] をクリックしてください。また、[ヘルプを表示] をクリックすると、インクリフレッシュの操作手順を確認することができます。

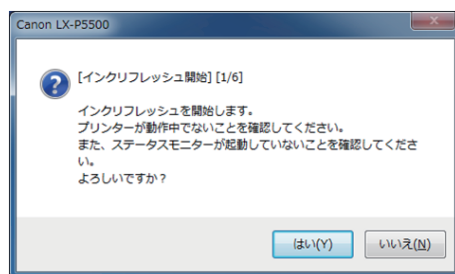


重要

- インクリフレッシュを行うには、インク容量が 50%以上残っている必要があります。(→ P.214)



- インクリフレッシュ動作中にインクがなくなってしまった場合は、インクリフレッシュを始めたからやり直すことになります。

1 「インクリフレッシュを実行」をクリックします。**2** 「はい」をクリックします。

次の画面が表示されます。

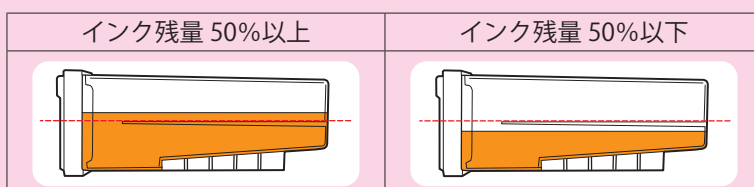


3 「インクリフレッシュ(その1)」の手順3～手順11を行います。

➡ 「インクリフレッシュ(その1) (P.198)」

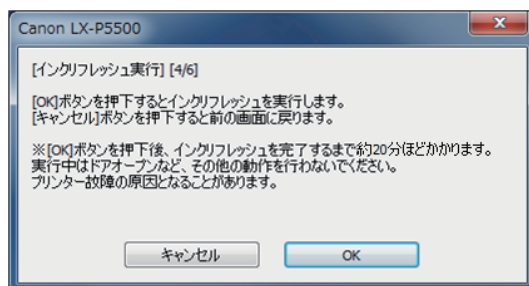
重要

- インクを取り出したときに、インク容量が50%以上残っていることを確認してください。インク容量が50%以下の場合は、新しいインクタンクに交換してください。

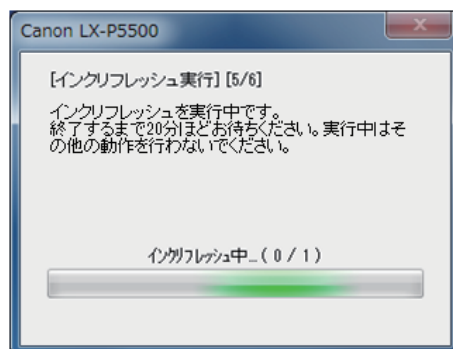


- インクリフレッシュ動作中にインクがなくなってしまった場合は、インクリフレッシュを始めからやり直すことになります。

4 [OK] をクリックします。



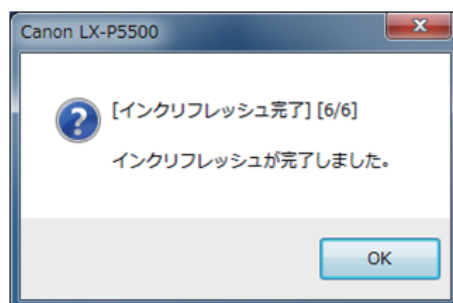
インクリフレッシュが実行されます。約 20 分かかります。



重要

- 最後の印刷から 60 日間印刷を行っていない場合は、リフレッシュ動作が約 20 分かかります。

5 [OK] をクリックします。



5-10 最新のソフトウェアを入手する

最新のソフトウェア（プリンタードライバー、ファームウェア）を入手するには、キヤノンホームページにアクセスしてお使いの機種ソフトウェアをダウンロードしてください。

ソフトウェアのダウンロード canon.jp/download

メモ

- ソフトウェアをインストールするためには、コンピューターがインターネットに接続されている必要があります。
- インターネットの接続に必要なプロバイダーとの契約料・通信費などはお客さまのご負担となります。あらかじめご了承ください。
- ソフトウェアのダウンロードとアップデートの詳細については、キヤノンホームページをご覧ください。

第6章 困ったときは

プリンターが思いどおりに動作しないときや、正しく印刷できないときの対処方法について説明します。下記の対処方法をお試しいただいても、同じメッセージが表示される場合は、本製品をご購入の販売店やサービス店または、お客様相談センターにご連絡ください。

6-1 ステータスマニターにメッセージが表示されたとき

プリンターの操作中や印刷中にトラブルが発生すると、ステータスマニターにメッセージが表示されます。

メモ

- エラーメッセージが表示されると、プリンターは自動的にオフライン状態になります。内容によっては、対処を行っても自動的にオンライン状態にならない場合があります。その場合は、電源キーを押してオンライン状態にしてください。
- 複数のエラーが同時に発生した場合は、ステータスマニターに全てのメッセージが表示されますので、エラー対処を行ってください。

■ オペレーターコールエラー

エラーメッセージ	エラーの内容	対処のしかた
上ユニットオープン	上ユニットが開いています。	上ユニットを閉じてください。
インクタンクドアオープン	インクタンクドアが開いています。	インクタンクドアを閉じてください。
メンテナンスカートリッジドアオープン	メンテナンスカートリッジドアが開いています。	メンテナンスカートリッジドアを閉じてください。
用紙ガイドオープン	用紙ガイドが開いています。	用紙ガイドを閉じてください。
ロールカバーオープン	ロールカバーが開いています。	ロールカバーを閉じてください。
カッターカバーオープン	オートカッターの開閉カバーが開いています。	オートカッターの開閉カバーを閉じてください。

エラーメッセージ	エラーの内容	対処のしかた
用紙なし 1	用紙がありません。	用紙をセットしてください ➡ 「1-4 用紙をセットする (P.17)」 印刷を中止する場合はリセットキーを押してください。 ➡ 「2-2 印刷を中止する (P.40)」
用紙なし 2	用紙が給紙されません。	用紙を再セットしてください。 ➡ 「プリンターにセットする (P.20)」 印刷を中止する場合は、ステータスマニターの [印刷中止] をクリックしてください。 ➡ 「2-2 印刷を中止する (P.40)」
用紙縦サイズ違い 2～4	セットしている用紙の長さが、アプリケーションソフトウェアおよびプリンタードライバーで設定されている用紙サイズと異なります。	用紙が違っていたときは、正しい用紙に交換してください。 ➡ 「プリンターにセットする (P.20)」 アプリケーションソフトウェアおよびプリンタードライバーの設定が異なる場合は、ステータスマニターの [印刷中止] をクリックしてください。 用紙サイズを正しく設定してから再度印刷を行ってください。 ➡ 「2-2 印刷を中止する (P.40)」
ギャップ/マーク長サイズ違い 2～3	セットしている用紙のギャップ/マーク長が、アプリケーションソフトウェアおよびプリンタードライバーで設定されている用紙サイズのギャップ/マーク長と異なります。	用紙が違っていたときは、正しい用紙に交換してください。 ➡ 「プリンターにセットする (P.20)」 アプリケーションソフトウェアおよびプリンタードライバーの設定が異なる場合は、ステータスマニターの [印刷中止] をクリックしてください。 用紙サイズを正しく設定してから再度印刷を行ってください。 ➡ 「2-2 印刷を中止する (P.40)」

エラーメッセージ	エラーの内容	対処のしかた
用紙横サイズ違い	セットしている用紙の幅が、アプリケーションソフトウェアおよびプリンタードライバーで設定されている用紙サイズと異なります。	用紙が違っていた場合や用紙ガイドの位置がずれていた場合は、正しい用紙に交換または用紙ガイドの位置をなおしてください。 ➡ 「プリンターにセットする (P.20)」
		アプリケーションソフトウェアおよびプリンタードライバーの設定が異なる場合は、ステータスモニターの「印刷中止」をクリックしてください。 用紙サイズを正しく設定してから再度印刷を行ってください。 ➡ 「2-2 印刷を中止する (P.40)」
用紙ジャム 1 ～ 26	搬送路、または出入口付近で用紙がつまっています。	用紙を再セットしてください。 ➡ 「プリンターにセットする (P.20)」
		プリンタードライバーおよびファームウェアを最新のバージョンに更新してください。 ➡ 「5-10 最新のソフトウェアを入手する (P.216)」 再度同じエラーが発生した場合は、メッセージの表示内容（XXXX 番）を控えて、本製品をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。
用紙セットミス 1 ～ 5	用紙が正しくセットされていません。	用紙をセットしなおしてください。 ➡ 「プリンターにセットする (P.20)」
XXXX インクなし	XXXX インクがなくなりました。	新しいインクタンクに交換してください。（XXXX は、ブラック、シアン、マゼンタ、イエローです。）
		インクタンクを交換した直後に発生した場合は、インクタンクをセットしなおしてください。

エラーメッセージ	エラーの内容	対処のしかた
XXXXインクタンク セットミス	インクタンクが正しく挿入されていません。	インクタンクをセットしなおしてください。 (XXXX は、ブラック、シアン、マゼンタ、イエローです。)
XXXXインクタンク 異常 1～5	インクタンクが異常です。	新しいインクタンクに交換してください。
マゼンタインクタンク 異常 4	マゼンタインクタンクが認識できません。	(LX-D5500 (染料モデル) のとき) インクタンクの型番を確認して、正しいインクタンクをセットしてください。 本製品のマゼンタインクタンクは次の 2 種類があり、ご使用中の製品に応じて使用できるインクタンクは異なります。 ・BJI-P511M ・BJI-P512M 上記を行っても解決しない場合は、本製品をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。
メンテナンスカートリッジ満タン	メンテナンスカートリッジの回収インクが満杯です。	新しいメンテナンスカートリッジをセットしてください。 ➡ 「5-7 メンテナンスカートリッジを交換する (P.187)」
メンテナンスカートリッジセットミス	メンテナンスカートリッジが正しくセットされていません。	メンテナンスカートリッジをセットしなおしてください。
メンテナンスカートリッジ異常 1～4	メンテナンスカートリッジが異常です。	新しいメンテナンスカートリッジに交換してください。
アップデート失敗 1～4	ファームウェアのアップデートに失敗しました。	再度、アップデートを行ってください。 再度同じエラーが発生した場合は、本製品をご購入の販売店やサービス店または、お客様相談センターにご連絡ください。

エラーメッセージ	エラーの内容	対処のしかた
データ不整合 1～3	コンピューターから異常なデータを受信しました。	ケーブルの接続を確認してから、再度印刷してください。
		LAN 接続の場合は、ネットワークユーティリティからネットワークのタイムアウト値の延長を設定してください。 ➡ 「タイムアウト値を設定する (P.308)」
データ不整合 4	ホストコンピューターから、セットされている用紙形状と異なるデータを受信しました。	プリンタードライバーの用紙形状を確認し、再度実行してください。
		プリンタードライバーおよびファームウェアを最新のバージョンに更新してください。 ➡ 「5-10 最新のソフトウェアを入手する (P.216)」
メモリーフル	オーバーレイ印刷のフォームデータの容量が大きいため、メモリーが足りません。	印刷を中止して、フォームデータを作りなおしてください。 ➡ 「フォームをファイルに印刷する (P.98)」 t
オーバーレイデータ異常	フォームオーバーレイのデータが異常です。	ケーブルの接続を確認し、もう1度実行してください。
XXXXインク残量不明	インク残量が検知できない。	新しいインクタンクに交換してください。一度空になったインクタンクが取り付けられている可能性があります。印刷を続けるには、インク残量検知機能が無効にする必要があります。プリンターのポーズキーを5秒以上押してください。この場合、インクタンクの残量検知が無効になり、無効にしたことを履歴に残します。 (XXXX は、ブラック、シアン、マゼンタ、イエローです。) ➡ 「インク残量検知機能について (P.244)」

エラーメッセージ	エラーの内容	対処のしかた
対応機種以外のプリンターと接続されています	本プリンター以外のプリンターと接続されています。	本プリンターと接続してください。
不明なエラー X X X X 番	不明なオペレーターコールが発生しました。	プリンタードライバーおよびファームウェアを最新のバージョンに更新してください。 ➡ 「5-10 最新のソフトウェアを入手する (P.216)」 再度同じエラーが発生した場合は、メッセージの表示内容 (X X X X 番) を控えて、本製品をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。
プリンターとの双方向通信不可能	コンピューターとプリンターの間で、双方向通信ができません。	プリンターの電源を確認して、オンライン状態またはスリープ状態になっているかを確認してください。または、コンピューターとプリンターを再起動してください。
		LAN 接続の場合は、ネットワークユーティリティからネットワークのタイムアウト値の延長を設定してください。 ➡ 「タイムアウト値を設定する (P.308)」
		プリンターを共有している場合は、Windows タスクマネージャーを起動し、[サービス] シートに「Canon X X X X Status Monitor Service」(X X X X は機種名) が登録されていることを確認します。登録されていない場合は、以下の手順でサービス登録を行ってください。 1. プリンターソフトウェア CD を起動します。 2. [プリンタードライバーをインストールする] をクリックします。 3. [サーバークライアント登録] を選択し、[OK] をクリックします。
		ポートの設定を確認してください。 (→ P. 233)

エラーメッセージ	エラーの内容	対処のしかた
インクリフレッシュ 実施時期超過 1～3	インクリフレッシュの実施時期を超えています。	「インクリフレッシュ」を実施してください。 ➡ 「5-9 インクリフレッシュを行う (LX-P5500 (顔料モデル) のみ) (P.196)」

■ 警告メッセージ

警告メッセージ	警告の内容	対処のしかた
X X X X インク残量少	Bk/C/M/Y の色のインクが残り少なくなっています。	新しいインクタンクをご用意ください。 (XXXX は、ブラック、シアン、マゼンタ、イエローです。)
メンテナンスカートリッジ残量少	メンテナンスカートリッジのインク回収量がもうすぐ満杯になります。	新しいメンテナンスカートリッジをご用意ください。
X X X X ヘッド耐久目安時期	Bk/C/M/Y のプリントヘッドの耐久到達時期に近づきました。	印刷を続けることはできますが、印刷結果がかすれていたり、特定の色が印刷されなかったりするときは、クリーニングを行ってください。 ➡ 「クリーニング(弱、中、強)を行う (P.152)」 状況が改善しない場合は、メッセージの表示内容を控えて、本製品をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。
桶ユニット交換時期	桶ユニットの交換時期になりました。	メッセージの表示内容を控えて、本製品をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。
ブレードクリーナー交換時期	ブレードクリーナーの交換時期になりました。	メッセージの表示内容を控えて、本製品をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。
搬送ユニット交換時期	搬送ユニットの交換時期になりました。	メッセージの表示内容を控えて、本製品をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。
時計の電池がなくなりました	時計 (RTC) の電池交換が必要です。	メッセージの表示内容を控えて、本製品をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。

警告メッセージ	警告の内容	対処のしかた
XXXXインク残量 検知機能解除中	XXXXインクの残量検知機能が無効になっています。	本プリンター用のインクタンクをセットしてください。 (XXXX は、ブラック、シアン、マゼンタ、イエローです。)
印刷速度が最適ではありません。	印刷速度が最適ではありません。	プリンタードライバーの「アドバンスド設定」シートを開き、「印刷速度」を「自動速度」にしてください。
不明な警告 (XXXX番)	不明な警告を取得しました。	プリンタードライバーおよびファームウェアを最新のバージョンに更新してください。 ➡ 「5-10 最新のソフトウェアを入手する (P.216)」 再度同じエラーが発生した場合は、メッセージの表示内容 (XXXX番) を控えて、本製品をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。
インクリフレッシュ実施時期 1 または 2	インクリフレッシュの実施時期がきています。	インクリフレッシュを実施してください。 ➡ 「5-9 インクリフレッシュを行う (LX-P5500 (顔料モデル) のみ) (P.196)」

■ サービスマンコールエラー

エラーメッセージ	エラーの内容	対処のしかた
サービスマンコール エラーXXXX番	復帰不可能なエラーが発生しました。	電源を入れなおしてください。 再度同じエラーが発生した場合は、メッセージの表示内容を控えて、本製品をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。

■ その他のメッセージ

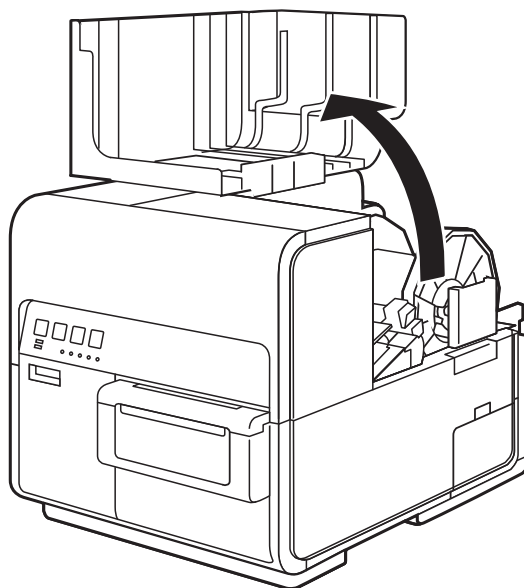
エラーメッセージ	エラーの内容	対処のしかた
クリーニング準備中	プリンターがクリーニング動作の準備中です。	クリーニングが開始されるまで、そのままお待ちください。

6-2 用紙がつまったとき

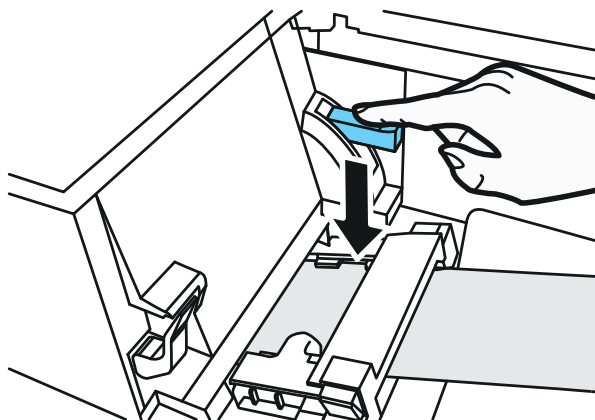
印刷中に紙づまりが発生すると、印刷が中断され、ステータスマニターに「用紙ジャム X」というエラーメッセージが表示されます。

次の手順で、つまった用紙を取り除いてください。

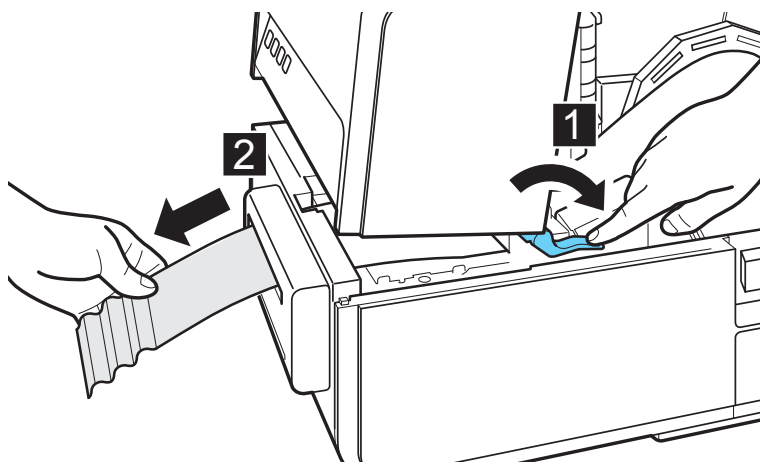
- 1 ロールカバーを開けます。



- 2** 給紙部奥側にある、上ユニットオープンレバーを押し下げて、上ユニットを開きます。



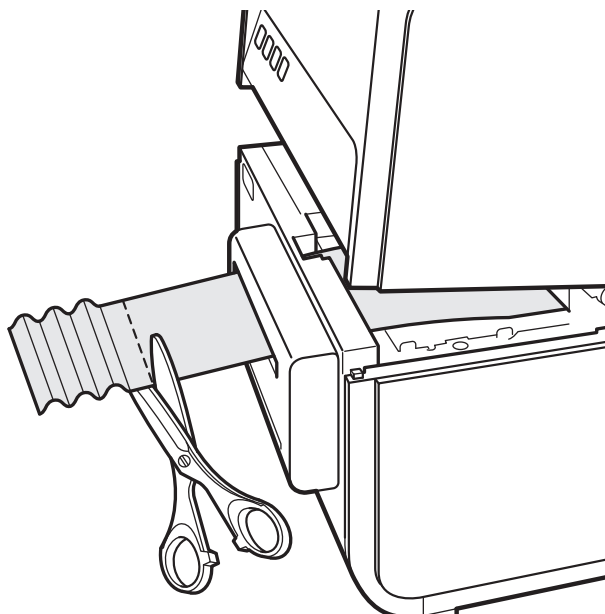
- 3** ピンチローラー圧解除レバーを押しながら搬送路でつまっている用紙を引き出します。



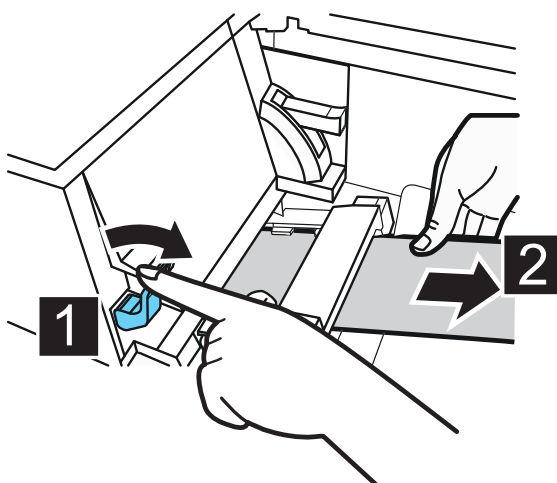
! 注意

- 上ユニットを開けて搬送部から用紙を取り出す場合は、上ユニット内部の拍車に触れないようにしてください。けがや汚れの原因となります。

- 4** 引き出した用紙をきれいにカットします。



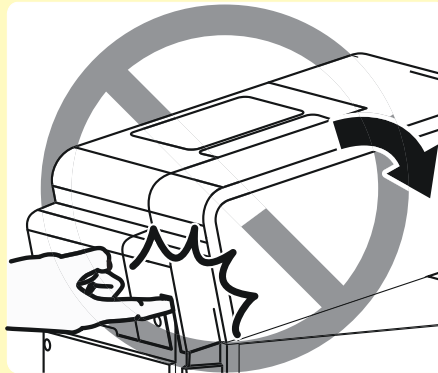
- 5** ピンチローラー圧解除レバーを押しながら、用紙を搬送方向と逆に引き出します。



6 上ユニットを閉じます。

! 注意

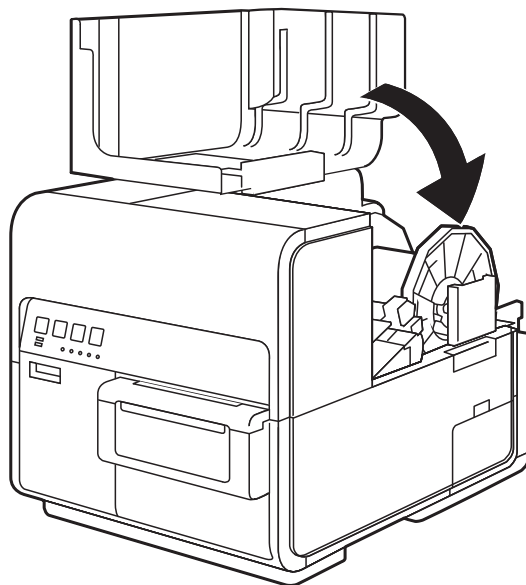
- 上ユニットを閉じる場合は、背面のインターフェイス部に指などで触れないようにしてください。挟んでけがをするおそれがあります。



7 用紙を再度セットします。

➡ 「プリンターにセットする (P.20)」

8 ロールカバーを閉じます。



9 クリーニングが行われて印刷を再開します。

 メモ

- 印刷を中止する場合は、ステータスマニターの「印刷中止」をクリックしてください。

➡ 「2-2 印刷を中止する (P.40)」

6-3 プリンターが思ったとおりに動作しないとき

プリンターが思ったとおりに動かないときは、次のことを確認してください

■ 電源が入らない

確認ポイント	対処のしかた
電源オフ状態になっていませんか	電源キーを押してください。
電源コードが外れていませんか	電源コードをしっかり差し込んでください。
コンセントに電気が来ていますか	コンセントに他の電気製品を接続してみてください。 正常に動作するときはプリンター本体の故障が考えられますので、本製品をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。

■ 印刷が始まらない / 途中で止まる

確認ポイント	対処のしかた
エラーが発生していませんか	ステータスマニターの「ステータス情報」のメッセージをダブルクリックして、表示された対処方法にしたがって操作してください。 ➡ 「6-1 ステータスマニターにメッセージが表示されたとき (P.217)」
コンピューターと接続されていますか	コンピューターとプリンターをインターフェイスケープルで正しく接続してください。
コンピューター側で印刷に使用するプリンターが正しく選択されていますか	[印刷] ダイアログボックスでご使用になられるプリンターを選択してください。
容量の大きな画像などを印刷していませんか	ステータスランプが点滅している場合は、データ処理中です。そのまましばらくお待ちください。
長時間連続して印刷を行っていませんか	印刷を長時間続けると、プリントヘッドの温度が高くなります。ヘッドを保護するため、印刷動作が中断されます。しばらくすると印刷を再開します。

確認ポイント	対処のしかた
テストパターンは印刷されますか	プリンタードライバーの「ユーティリティー」シートからヘッド位置調整パターンの印刷または設定値印刷を行ってみてください。 印刷された場合は、アプリケーションソフトウェアの設定と操作方法、印刷データの内容を確認してください。
コンピューター側でトラブルが発生していませんか	コンピューターを再起動してから印刷してください。 起動したときに印刷ジョブが残っている場合は、削除してください。
コンピューターの休止状態またはスリープ状態の設定が「適用しない」（または「なし」）以外になっていませんか	コンピューターの休止状態およびスリープ状態になる時間を「適用しない」（または「なし」）に設定してください。 コンピューターが休止状態またはスリープ状態から復帰操作したときは、コンピューターから送信したデータが破棄されるようになっています。 コンピューターの休止状態およびスリープ状態の時間は「電源とスリープ」（または「画面とスリープ」）で設定します。。
残量があるインクタンクが装着されているのに、「インクなし」の表示がでていませんか	インクタンクをセットしなおしてください。

確認ポイント	対処のしかた
プリンタードライバーのポートの設定は合っていますか	次の手順でプリンタードライバーのポートの設定を確認してください。 1. タスクバーの [検索] アイコンをクリックし、検索ボックスに「プリンターとスキャナー」と入力します。 2. [プリンターとスキャナー] アイコンをクリックします。 3. 本プリンターをクリックし、[管理] → [プリンターのプロパティ] を選びます。 • Windows 11 のとき 本プリンターをクリックし、[プリンターのプロパティ] を選びます。 プロパティ画面が表示されます。 4. [ポート] タブをクリックし、正しくポートが選ばれているかを確認します。 例 USB 接続の場合：USBnnn (n は数字) ネットワーク接続の場合：CFTnnnnnn@MDL (n はプリンターの Mac アドレスの下 6 桁、MDL はプリンターのモデル名) 設定が誤っているときは、正しく設定しなおしてください。 使用するポートがないときは、プリンタードライバーをアンインストールし、再度インストールしてください。 5. [OK] をクリックします。

確認ポイント	対処のしかた
(ネットワーク環境で接続しているとき) プリンターとコンピューターが同一のネットワーク上に設置されていますか	次の手順で本プリンターとコンピューターが同一のネットワーク上に設置されていることを確認してください。 (IP アドレスの確認) 1. 本プリンターの IP アドレスを確認します。 ネットワークユーティリティを起動します。 ネットワークユーティリティが起動すると、お使いのプリンターが検出され、設定されている IP アドレスが表示されます。 ➡ 「付録-6 ネットワークユーティリティについて (P.297)」 2. コンピューターの IP アドレスを確認します。 1) タスクバーの [検索] アイコンをクリックし、検索ボックスに「cmd」と入力します。 2) 起動したウィンドウ上で「ipconfig/all」と入力します。 3) IP アドレスを確認したあと、画面を閉じます。 IP アドレスを確認した結果、プリンターとコンピューターが同一のネットワーク上に設置されていないときは、プリンターの IP アドレスを変更し、新しいポートを追加する必要があります。次の手順で設定してください。 (プリンターの IP アドレス変更) ネットワークユーティリティを起動して、本プリンターの IP アドレスを変更します。 ➡ 「プリンターの設定を行う (P.299)」

(新しいポートの追加)

1. タスクバーの [検索] アイコンをクリックし、検索ボックスに「プリンターとスキャナー」と入力します。
2. [プリンターとスキャナー] アイコンをクリックします。
3. 本プリンターをクリックし、[管理] → [プリンターのプロパティ] を選びます。
- Windows 11 のとき
本プリンターをクリックし、[プリンターのプロパティ] を選びます。
プロパティ画面が表示されます。
4. [ポート] タブをクリックし、[ポート追加] をクリックします。
5. [PWA Network Port] を選び、[新しいポート...] をクリックします。
[PWA Network Port] ダイアログボックスが表示されます。
6. [プリンター検索] をクリックします。
[プリンター一覧] に本プリンターが表示されます。
本プリンターが表示されないときは、[検索範囲指定] をクリックして IP アドレスを検索してください。
7. [出力先名] に新しいポート名を入力します。
8. [OK] をクリックします。

(ネットワーク環境で接続しているとき)
本プリンターとの通信を許可する設定になっていますか

プリンターが通信で使用するポート番号、プロトコルは以下のようになっています。設定を行う際の参考にしてください。

ポート番号	プロトコル
50000	TCP
50001	TCP/UDP
50002	UDP

■ ステータスマニターが起動しない

確認ポイント	対処のしかた
ステータスマニターの設定は合っていますか	ステータスマニターの設定によっては、印刷したりエラーが発生しないと起動しません。プリンタードライバーの「ユーティリティ」シートを開き、「ステータスマニター起動」をクリックします。ステータスマニターが起動したら、設定を行ってください。 ➡ 「ステータスマニターの起動と表示方法 (P.140)」
プリンターとコンピューターで双方向通信ができていますか	プリンターとコンピューターで双方向通信ができていないと、印刷を開始してもステータスマニターは起動しません。 プリンタードライバーの「プロパティ」を開き、「ポート」シートの「双方向サポートを有効にする」にチェックがされていることを確認してください。 上記の操作を行っても解決しない場合は、プリンタードライバーをアンインストールし、再度インストールしてください。

■ 用紙が正しく給紙されない

確認ポイント	対処のしかた
使用する用紙と特殊設定での設定が合っていますか。	プリンタードライバーの「ユーティリティ」シートを開き、「特殊設定」の「ファンフォールド紙モード」を確認してください。 ・ ロール用紙を使用する場合は、「ファンフォールド紙モード」にチェックをしないでください。 ・ ファンフォールド紙を使用する場合のみ、「ファンフォールド紙モード」にチェックを入れてください。 ➡ 「特殊な設定を行う (P.132)」
使用できない用紙を使用していませんか	カラーラベルプリンター専用紙を使用してください。他の用紙をお使いになりますと紙づまりや故障の原因となります。 ➡ 「用紙の種類を選ぶ (P.68)」

確認ポイント	対処のしかた
用紙の先端が折れたり、カールしていませんか	用紙の先端が折れていたり、カールしていると正しく給紙されないことがあります。また、紙づまりや故障の原因にもなります。
ラベルの糊が劣化して剥れやすくなっていませんか	ラベルが剥れやすくなっている用紙は絶対に使用しないでください。故障の原因となります。
用紙ガイドを用紙の幅に合わせていますか	搬送ガイドを用紙の幅に合わせてセットして、用紙ガイドをカチッと音がするまでセットしてください。 ➡ 「プリンターにセットする (P.20)」
搬送部が汚れていませんか	搬送部が紙粉やインクで汚れていると、紙づまりなどが起こりやすくなります。その場合は搬送部を清掃してください。 ➡ 「5-8 プリンターの清掃 (P.192)」

■ 印刷が止まらない / データが送信されない / ユーティリティーから設定が送れない / ステータスマニターからステータスが認識できない

確認ポイント	対処のしかた
印刷キューウィンドウ（印刷データの順番が登録されるウィンドウ）のデータが残っていませんか	ウィルス対策ソフトウェアの影響により、ネットワーク接続時に印刷およびユーティリティーの設定を行うと、コンピューターとプリンターの間で、データ転送エラーが発生して、印刷キューウィンドウのデータを何度もプリンターへ送信したり、全く送信しなかったりする場合があります。 次の手順で対処してください。 1. プリンターを一時停止します。 2. ステータスマニターから印刷中止する、または印刷キューウィンドウからデータを削除します。 3. コンピューターを再起動します。 また、この現象が発生した場合は、ご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにお問い合わせください。

6-4 思ったとおりの印刷結果にならないとき

プリンターで思ったとおりの印刷結果にならないときは、次のことを確認してください。

■ 印刷面の裏側が汚れる

確認ポイント	対処のしかた
用紙の搬送部がインクで汚れていませんか	搬送部の清掃を行ってください。 ➡ 「5-8 プリンターの清掃 (P.192)」

■ 意味不明の文字や画像が印刷される

確認ポイント	対処のしかた
インターフェースケーブルが外れていませんか	コンピューターとプリンターをインターフェースケーブルで正しく接続してください。
コンピューター側で印刷に使用するプリンターが正しく選択されていますか	[印刷] ダイアログボックスでご使用になられるプリンターを選択してください。
テストパターンは印刷されますか	プリンタードライバーの [ユーティリティ] シートからヘッド位置調整パターンの印刷または設定値印刷を行ってみてください。 印刷された場合は、アプリケーションソフトウェアの設定と操作方法、印刷データの内容を確認してください。 印刷されない場合は、ご購入の販売店やサービス店、お客さま相談センターにご連絡ください。

■ 印刷が遅い

確認ポイント	対処のしかた
アプリケーション側で印刷部数を指定していませんか	印刷部数をアプリケーションソフトウェア側で指定すると、1枚印刷するたびに新たな印刷データを送るために時間がかかる場合があります。この様なアプリケーションソフトウェアを使用する場合は、印刷部数はプリンタードライバー側で指定してください。
印刷速度が低速に設定されていませんか	プリンタードライバーの［アドバンスド設定］シートを開き、［印刷速度］を調整してください。 ➡ 「印刷速度を設定する (P.109)」

■ 印刷品質が悪い

確認ポイント	対処のしかた
印刷結果にすじ状の線が現れる	低温（室温 14 度以下）の環境で本製品をお使いの場合は、プリンタードライバーの［ユーティリティ］シートを開き、［特殊設定］の［低室温時印刷モード］を設定して印刷してください。 ➡ 「特殊な設定を行う (P.132)」
印刷結果に白く抜けているところがある	プリンタードライバーの［ユーティリティ］シートを開き、［クリーニング］を行ってください。プリンターを長期間使用しなかった場合、ノズルがつまる場合があります。 ➡ 「クリーニング（弱、中、強）を行う (P.152)」
印刷結果がかすれている	上記の確認ポイント「印刷結果にすじ状の線が現れる」および「印刷結果に白く抜けているところがある」の対処のしかたを確認してください。

確認ポイント	対処のしかた
印刷結果に色ずれが現れる	プリンタードライバーの「ユーティリティ」シートを開き、「ヘッド位置調整」を行ってください。 ➡ 「5-2 ヘッド位置調整を行う (P.154)」
	低温（室温 14 度以下）の環境で本製品をお使いの場合は、プリンタードライバーの「ユーティリティ」シートを開き、「特殊設定」の「低室温時印刷モード」を設定して印刷してください。 ➡ 「特殊な設定を行う (P.132)」
	プリンタードライバーの「ユーティリティ」シートを開き、「特殊設定」の「ファンフォールド紙モード」を確認してください。 ・ ロール用紙を使用する場合は、「ファンフォールド紙モード」にチェックをしないでください。 ・ ファンフォールド紙を使用する場合は、必ず「ファンフォールド紙モード」にチェックを入れてください。 ➡ 「特殊な設定を行う (P.132)」
中間調の表現が粗い	プリンタードライバーの「色設定」シートを開き、「詳細設定」の「ハーフトーン処理」を「誤差拡散」に設定してください。ただし、「ディザ」の設定と比べてデータの内部処理に時間がかかるため、印刷速度が遅くなる場合があります。 ➡ 「ハーフトーン処理を選ぶ (P.89)」
文字のまわりや、べた塗り部分にムラが現れる 期待通りの色で印刷されない	プリンタードライバーの「ユーティリティ」シートを開き、「クリーニング」を行ってください。 ➡ 「クリーニング（弱、中、強）を行う (P.152)」
	プリンタードライバーの「色設定」シートを開き、「ハーフトーン処理」を「誤差拡散」に設定してください ➡ 「ハーフトーン処理を選ぶ (P.89)」
	プリンタードライバーの「ユーティリティ」シートを開き、「特殊設定」の「濃度ムラ軽減モード」にチェックを入れてください。 ➡ 「特殊な設定を行う (P.132)」

確認ポイント	対処のしかた
全体的にきれいに印刷されない	カラーラベルプリンター専用紙を使用することをおすすめします。 専用紙以外の用紙を使用すると、印刷品位が低下することがあります。また、紙づまりや故障の原因となります。
印刷した用紙が波打っていて、用紙をこすったあとが残る	プリンタードライバーの「ユーティリティ」シートを開き、「特殊設定」の「用紙こすれ軽減モード」を設定してください。 ➡ 「特殊な設定を行う (P.132)」 状況が改善しない場合は、本製品をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。

■ 印刷された色がおかしい

確認ポイント	対処のしかた
印刷された色が画面と違う	プリンタードライバーの「色設定」シートを開き、画質や色に関する設定を行ってください。 ➡ 「3-3 [色設定] シートを利用する (P.75)」 お使いのコンピューターで、[ディスプレイの詳細設定] および [色の管理] が正しく設定されているか確認してください。特にディスプレイの種類やガンマ係数の設定が間違っていると、正しい色がディスプレイに表示されません。
全体的にきれいに印刷されない	カラーラベルプリンター専用紙を使用することをおすすめします。専用紙以外の用紙を使用すると、印刷品位が低下することがあります。また、紙づまりや故障の原因となります。 ➡ 「用紙の種類を選ぶ (P.68)」
画像が明るい / 暗い	プリンタードライバーの「色設定」シートを開き、「色調整」から「写真」、「グラフィック」、「ICM」のいずれかを選択したあと、「詳細設定」ダイアログボックスから明るさ調整またはレベル補正を行ってください。 ➡ 「3-3 [色設定] シートを利用する (P.75)」 ➡ 「3-4 [詳細設定] ダイアログボックスを使用する (P.84)」
画像の濃淡が薄い / 濃い	「詳細設定」ダイアログボックスから濃度調整を行ってください。 ➡ 「濃度を調整する (P.87)」
画像がぼやけている	「詳細設定」ダイアログボックスから「シャープネス」を設定してください。 ➡ 「シャープネスをかける (P.91)」

■ 単色で印刷される

確認ポイント	対処のしかた
印刷設定で単色指定が行われていませんか	プリンタードライバーの「色設定」シートを開き、「単色指定」の設定を確認してください。 ➡ 「単色で印刷する (P.82)」
アプリケーションソフトウェアの設定が単色印刷になっていませんか	アプリケーションソフトウェアによっては単色印刷を設定できる場合があります。コンピューター側でアプリケーションソフトウェアの印刷設定をご確認ください。

■ 画像が欠けて印刷される

確認ポイント	対処のしかた
以下のアプリケーションソフトウェアを使用して横長の用紙を印刷していませんか ・ Microsoft Office PowerPoint ・ Microsoft Office Word	名刺などの横長の用紙に印刷する場合、アプリケーションソフトウェアによっては、原稿の向きを自動的に回転させてしまい、正しく印刷できないことがあります。プリンタードライバーの「ページ設定」シートを開き、「印刷の向き」および「選択した縦横の向きで印刷する」を設定してください。 ➡ 「選択した縦横の向きで印刷する (P.71)」

■ その他

インク残量検知機能について

このプリンターのインクタンクには、印刷中のインク切れやプリンターの故障を防止するためのインク残量検知機能があります。

➡ 「インク情報を見る (P.149)」

インクを補充したインクタンクを使用した場合、インク残量検知機能が正常に機能しなくなり、印刷を停止します。そのため、インクを補充したインクタンクを使用する場合は、インク残量検知機能を無効にする必要があります。

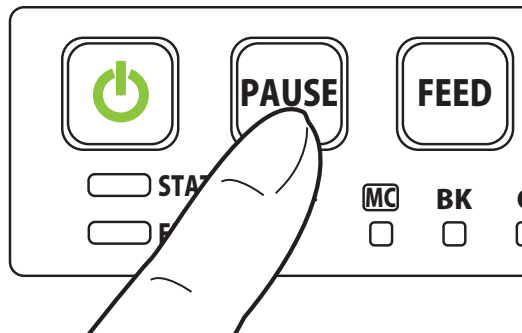
インク残量検知機能を無効にして印刷を行った場合、プリンターに損傷や異常が発生することがあります。インクを補充したことが原因の故障につきましては、キヤノンは責任を負いません。

重要

- インク残量検知機能を無効にして印刷を行った場合、プリンターに損傷、異常が発生する場合があります。
- インク残量検知機能を無効にすると、そのインクタンクに対するインク残量検知機能を回復させることはできません。インク残量検知機能を回復させるには、本プリンター用の新しいインクタンクに交換してください。
- 同じインクタンクを何度も抜き差しすると、インクタンクとプリンターとの接合部に不具合が生じ、インクタンクからインクが漏れてプリンターに損傷を与える場合があります。
- インク残量検知機能を無効にした場合は、プリンターにその履歴を保存します。

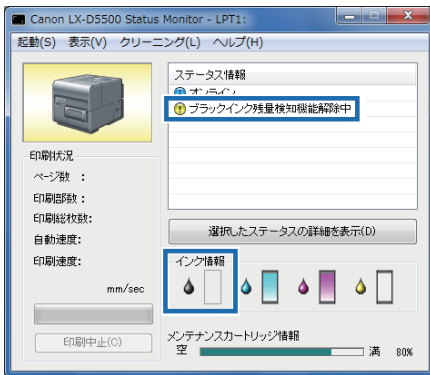
インク残量検知機能を無効にする手順は以下の通りです。

- 1 ポーズキーを 5秒以上押します。



インク残量検知機能は無効になります。

- ・ステータスモニターの表示は、「XXXX インク残量検知機能解除中」になります。(XXXX は、ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー)



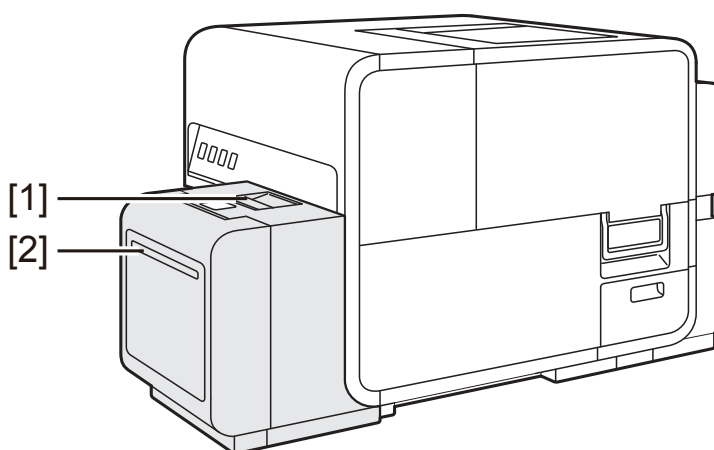
重要

- インク残量検知機能を無効にして印刷を行った場合、プリンターに損傷、異常が発生する場合があります。
- インク残量検知機能を無効にすると、そのインクタンクに対するインク残量検知機能を回復させることはできません。新しいインクタンクに交換してください。

第7章 オートカッター(オプション)

7-1 各部の名称とはたらき

オプションのオートカッターをご購入頂くと、高速で用紙をカットすることができます。
ここではオートカッターの各部の名称や使いかたについて説明します。



[1] 開閉カバー

紙づまりが発生した場合に開けて、つまった用紙を取り除きます。

[2] 排紙口

カットされた用紙が排紙されます。

重要

- オートカッター部は、机等の設置スペースからはみ出さないようにしてください。
- ラベル用紙の糊部分を切ると、カッターに糊が付着し、カッターが切れにくくなるおそれがあります。

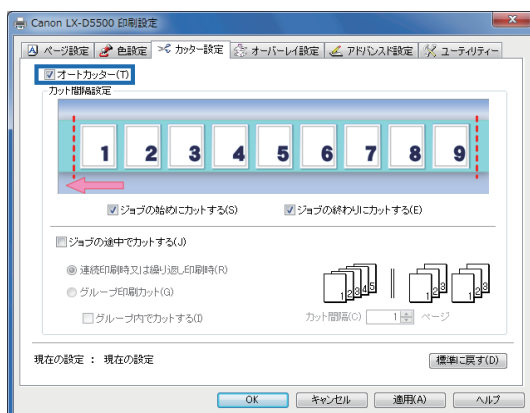
7-2 オートカッターの設定

オートカッターは、プリンタードライバーの印刷設定画面にて設定します。

メモ

- [カッター設定] シートは、オプションのオートカッターを装着した場合のみ使用可能です。
- LabelCreate SE/LabelCreate LITE（オプション）をお使いの場合は、LabelCreate SE/LabelCreate LITE のカッター設定が優先されます。

1 [カッター設定] シートの[オートカッター] にチェックを入れます。



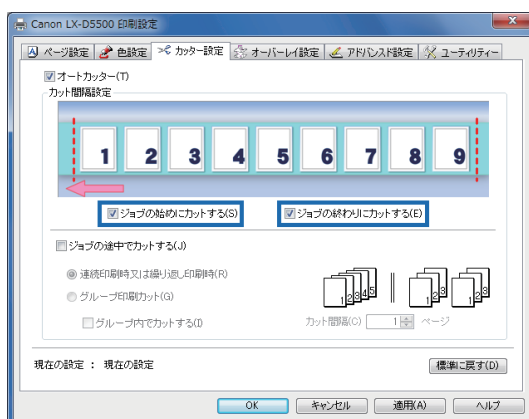
2 オートカッターの[カット間隔]を設定します。

用紙をカットするタイミングや何枚ごとにカットするかの間隔を設定します。
ジョブの始めと終わり部分および、ジョブの途中でのカット方法の設定を行います。

■ ジョブの始めと終わりのカット方法の設定

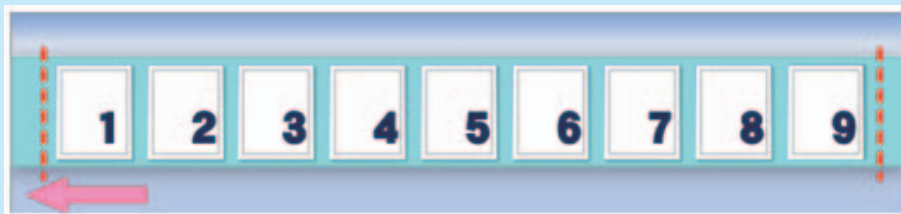
印刷ジョブの先頭でカットする場合に、[ジョブの始めにカットする]のチェックボックスにチェックを入れます。

印刷ジョブの終わりでカットする場合に、[ジョブの終わりにカットする]のチェックボックスにチェックを入れます。



メモ

- [カット位置] のイメージが赤点線でプレビュー表示されます。



■ ジョブの途中でのカット方法の設定

印刷ジョブの途中でカットする場合に、[ジョブの途中でカットする] のチェックボックスにチェックを入れます。



[連続印刷時又は繰り返し印刷時]

連続して印刷する場合や、部単位で繰り返して印刷する場合に選択します。

[カット間隔] で設定したページ数ごとに、部内でカットします。



📖 メモ

- 部ごとにカットする場合は、[カット間隔] は部のページ数の数値に設定してください。
- [ジョブの途中でカットする] の印刷方式の設定と、印刷を行うアプリケーションソフトウェアの印刷方式の設定が異なっていると、正しくカットされません。正しくカットするためには、印刷方式の設定を必ず合わせてください。
- [カット位置] および [カット間隔] の設定は、プレビュー表示されます。
 - ・ カット間隔 1 ページ



- ・ カット間隔 2 ページ



- ・ カット間隔 3 ページ



[グループ印刷]

同じページを複数枚まとめて印刷する場合に選択します。

グループごとにカットを行い、さらに、[グループ内でカットする]のチェックボックスにチェックを入れると、[カット間隔]で設定した枚数ごとに、グループ内でカットします。



📖 メモ

- [カット間隔] で設定した枚数が、グループの枚数より大きい場合は、グループ内でのカットはしません。
- [ジョブの途中でカットする] の印刷方式の設定と、印刷を行うアプリケーションソフトの印刷方式の設定が異なっていると、正しくカットされません。正しくカットするためには、印刷方式の設定を必ず合わせてください。
- [カット位置] およびカット間隔の設定イメージは、プレビュー表示されます。
 - ・ カット間隔 1 ページ



- ・ カット間隔 2 ページ



3 [OK] をクリックします。

カット間隔が設定されます。

📖 メモ

- [カット間隔] の設定を標準に戻す場合は、[標準に戻す] をクリックします。

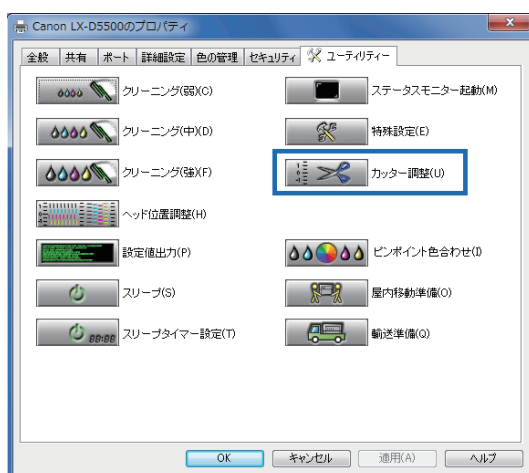
7-3 カット位置の調整を行う

印刷されたラベルをオートカッターで切り離すときのカット位置を調整することができます。

メモ

- ユーティリティーシートの各項目の設定などを行うときは、プリンターの電源が入っていて、コンピューターと接続されている必要があります。

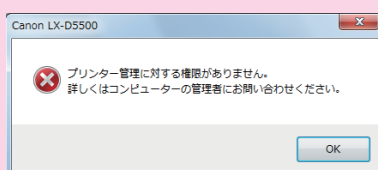
- 1 [ユーティリティー] シートの[カッター調整] をクリックします。



[カッター調整] ダイアログボックスが表示されます。

重要

- 設定には、本プリンターの管理者権限が必要です。(→ P.116)



2 [カット位置] のスライダーをドラッグして、用紙のカット位置を調整します。



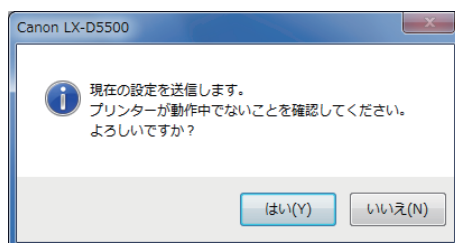
メモ

- 設定できる範囲は、- 10.0 ~ +10.0mm までで、0.5mm 間隔で設定できます。
- カット位置の設定を標準の設定に戻す場合は、[標準に戻す] をクリックします。

3 [送信] をクリックします。

確認のメッセージが表示されます。

4 [はい] をクリックします。



設定をプリンターへ送信します。

5 テスト印刷を行います。

用紙間の中央をカットしていることを確認したあと、実際の印刷を行ってください。

メモ

- 用紙を交換したときは、必ず「カット位置」の調整を行ってください。
- 「ユーティリティー」の「カッター調整」にある「停止位置」は、手動カッターでカットするときの用紙位置についてのみ機能します。オートカッター使用時は機能しません。

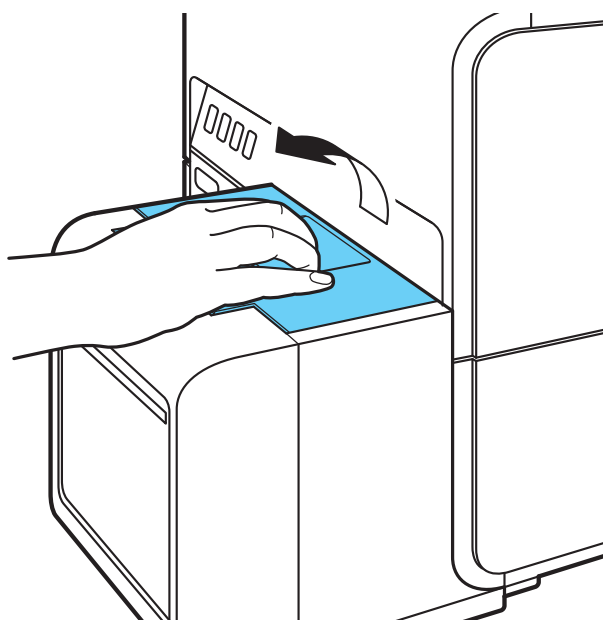
7-4 用紙が詰まったら

オートカッター使用時に紙づまりが発生した場合は、以下の方法で詰まった用紙を取り除いてください。

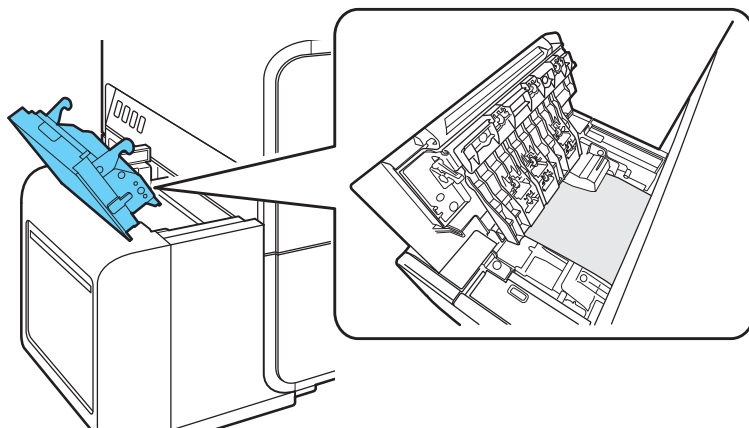
📖 メモ

- 用紙は、カラーラベルプリンター専用紙を使用することをおすすめします。カラーラベルプリンター専用紙以外の用紙を使用すると、にじみやかすれが生じたり、紙づまりの原因となる場合があります。
- また、カールしたり折り目のある用紙を使用すると、紙づまりの原因となります。

1 オートカッター上部の開閉カバーを開けます。



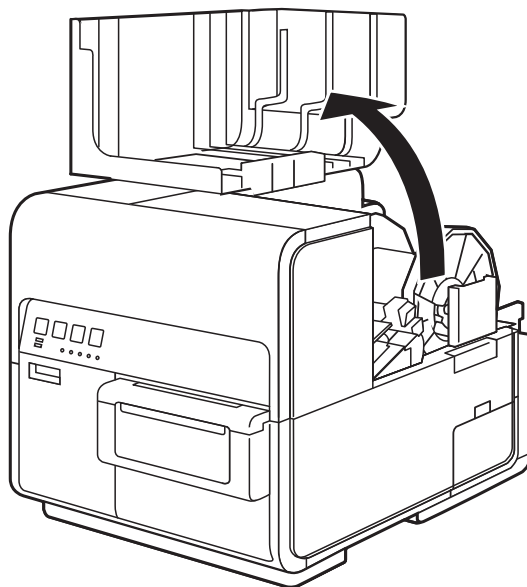
2 オートカッター内部を見て、用紙のつまり状態を確認します。



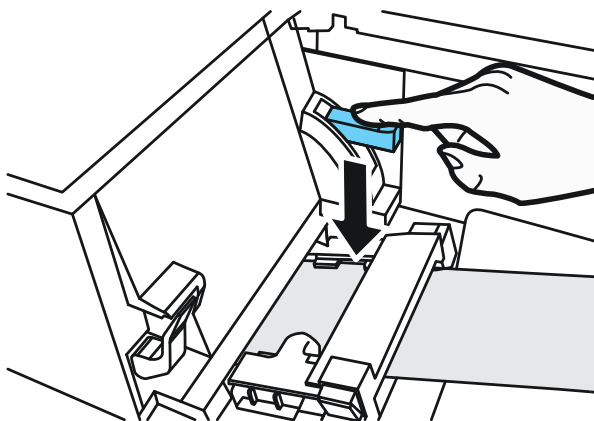
重要

- 内部にラベル等の貼り付きがないか確認を行ってください。ラベルや切りくずがつまっていると正常に動作しませんので、必ず取り除いてください。

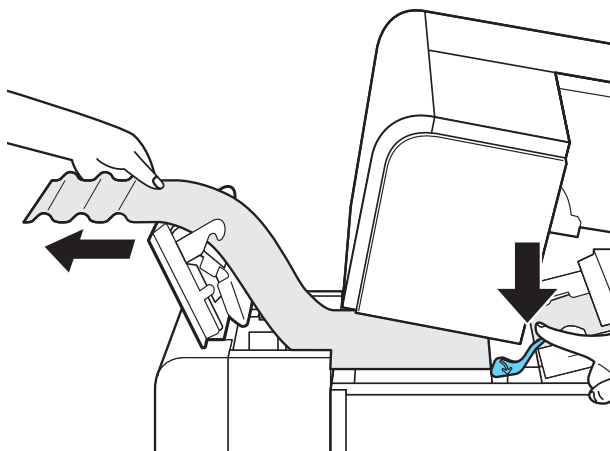
3 ロールカバーを開けます。



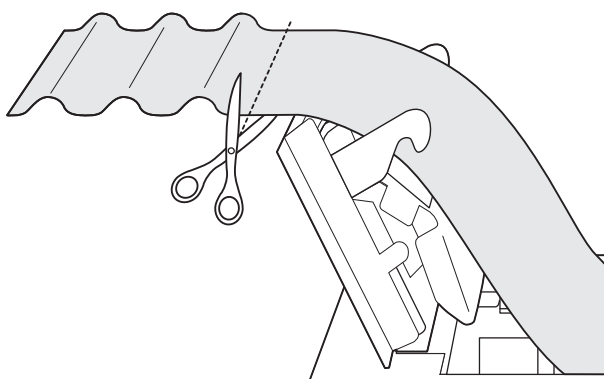
4 給紙部奥側にある、上ユニットオープンレバーを押し下げて、上ユニットを開きます。



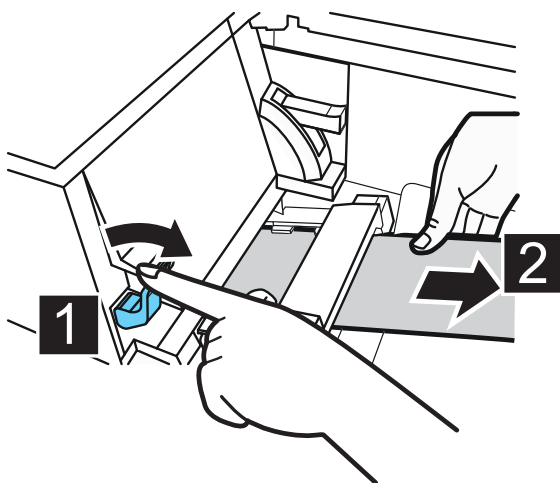
- 5** ピンチローラー圧解除レバーを押しながら、搬送方向に用紙を引き出します。



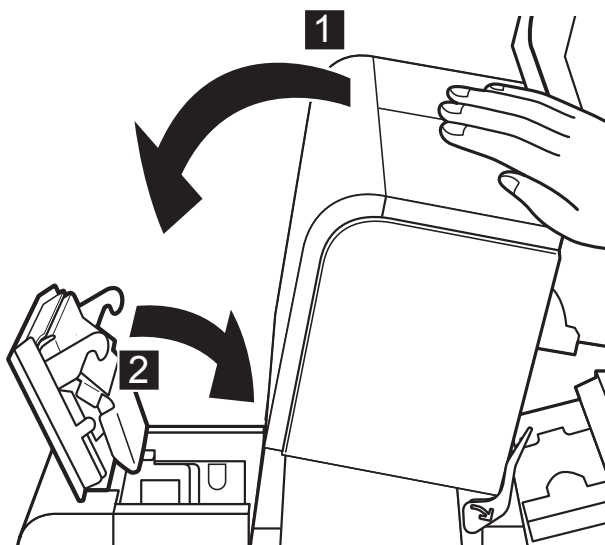
- 6** しわ等になっている部分を切り取ります。



- 7** 先端部分をカットしたら、ピンチローラー圧解除レバーを押しながら、用紙を搬送方向と逆に引き出します。



- 8** 上ユニットとオートカッター開閉カバーを閉じます。



9 用紙を再度セットします。

➡ 「プリンターにセットする (P.20)」

10 ロールカバーを閉じます。

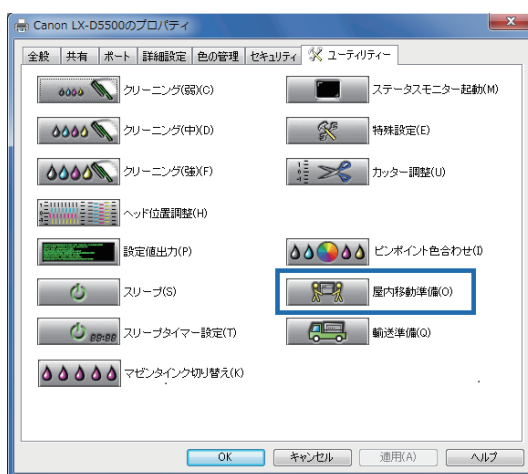
付録

付録 -1 屋内移動について

建物内で本プリンターを移動させるときは、必ず以下の手順に従って移動させてください。

- 1 [ユーティリティ] シートを表示します。
➡ 「3-8 [ユーティリティ] シートを利用する (P.112)」

- 2 [屋内移動準備] をクリックします。



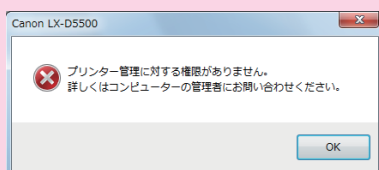
プリンターが輸送を行うための準備を始めます。
完了のメッセージが表示されるまでは、プリンターを操作しないでください。

メモ

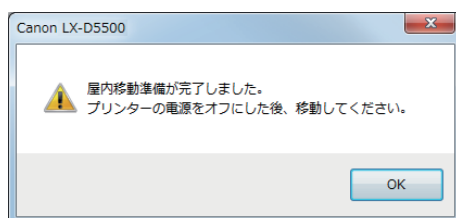
- [屋内移動準備] は移動時に本体内にインクが漏れないように、インク受けからインクを抜き取ります。

重要

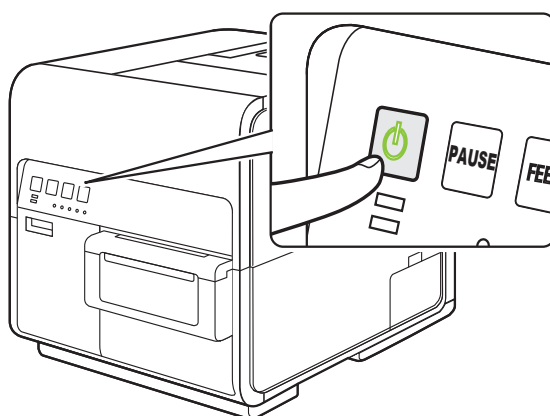
- 設定には、本プリンターの管理者権限が必要です。(→P.116)



- 3 [OK] をクリックします。



- 4 電源キーを長押しして、電源オフにします。

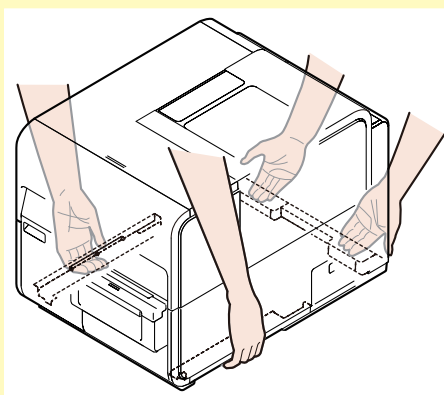


5 プリンターからインターフェースケーブル、電源コードを取り外します。

6 プリンターを移動します。

! 注意

- 本製品は約 24kg です。持ち上げるときは、必ず 2 人で底部（前部と左右）にある取っ手に必ず手をそえて側面側から抱えるように持ち上げてください。無理な体勢で持ち上げようとすると、落下などによるけがの原因になります。



- 本製品は水平を保ったまま静かに移動してください。移動によりインクが本体内にこぼれると、火災・感電・故障の原因となります。

重要

- 上ユニットやインクタンクドア、メンテナンスカートリッジドアが開いた状態で、本製品を移動または輸送しないでください。故障や本体損傷の原因となります。
- 本製品を移動するときは、インクタンクを取り出す必要はありません。移動または輸送する前に取り出してしまうと、インクタンク挿入部の奥の針部からインクが漏れて衣服や周囲を汚すことがあります。

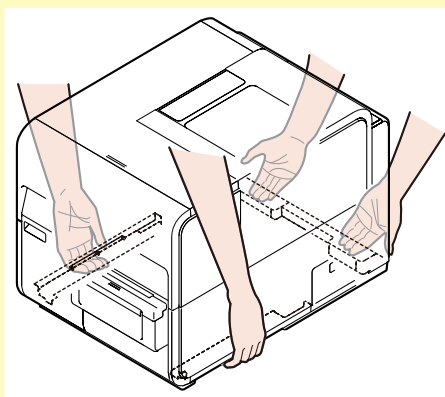
- 7** 移動設置後、電源コードを取り付けます。
- 8** プリンターのコネクタにインターフェースケーブルを接続したあと、コンピューター側に接続します。
- 9** 電源キーを押して、プリンターを起動します。

付録 -2 輸送について

移転や引っ越しなど、長距離の輸送や振動の伴う輸送（航空機、電車および自動車等）を行うときは、必ず以下の手順に従って輸送の準備を行ってください。

！ 注意

- 長距離の輸送や振動の伴う輸送（航空機、電車および自動車等）を行うときは、事前に販売店にご相談ください。必要な処置を行わずに輸送による振動、衝撃などを与えますと、機械に損傷を与え、火災・故障の原因となります。
- 本製品は約 24kg です。持ち上げるときは、必ず 2 人で底部（前部左右と後部）にある取っ手に必ず手をそえてから抱えるように持ち上げてください。無理な体勢で持ち上げようとする、落下などによるけがの原因となります。



- 本製品は水平を保ったまま静かに移動してください。移動によりインクが本体内にこぼれると、火災・感電・故障の原因となります。

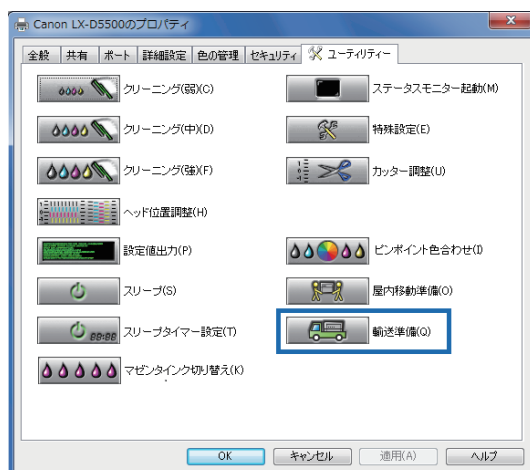
- 1 ステータスマニターに「メンテナンスカートリッジ空き容量少」の警告メッセージが表示されていないことを確認します。

警告メッセージが表示されていたときは、新しいメンテナンスカートリッジに交換してから作業を開始してください。

2 [ユーティリティ] シートを表示します。

➡ 「3-8 [ユーティリティ] シートを利用する (P.112)」

3 [輸送準備] をクリックします。



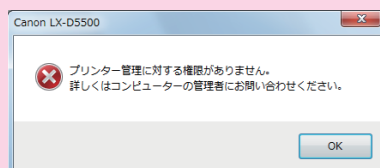
プリンターが輸送を行うための準備を始めます。
動作中はプリンターを操作しないでください。

メモ

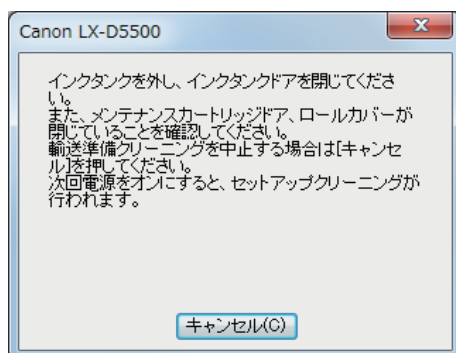
- [輸送準備] はプリンター本体内のインク流路からインクを抜き取ります。

重要

- 設定には、本プリンターの管理者権限が必要です。(→ P.116)

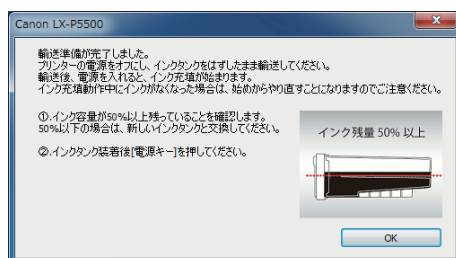


- 4** 次の画面が表示されたら、プリンターからインクタンクをすべて取り出し、インクタンクドアを閉じます。



インクタンクドアを閉じると、輸送準備を再開します。完了のメッセージが表示されるまでは、プリンターを操作しないでください。

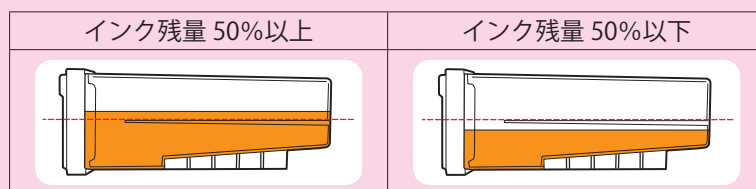
- 5** [OK] をクリックします。



- 6** 販売店またはサービス担当者の指示に従って、緩衝材を間に挟んで正しく梱包して輸送を行ってください。

重要

- 上ユニットやインクタンクドア、メンテナンスカートリッジドアが開いた状態で、本製品を移動または輸送しないでください。故障や本体損傷の原因となります。
- 本製品を輸送するときは、必ず、「輸送準備」モードを実行してから移動を行ってください。「輸送準備」モードの実行を行う前にインクタンクを取り出してしまうと、インクタンク挿入部の奥の針部からインクが漏れて衣服や周囲を汚すことがあります。
- 輸送後に設置を行う場合は、プリンター内にインクを充填しますので、インクタンク内のインク容量が 50%以上あることを確認してください。インク容量が 50%以下の場合は、新しいインクタンクをセットしてください。

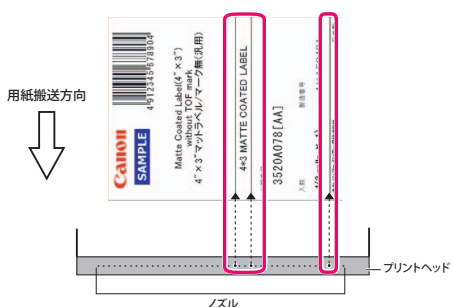


付録 -3 プリントヘッドの上手な使い方

プリントヘッドをより長持ちさせるための使い方を説明します。

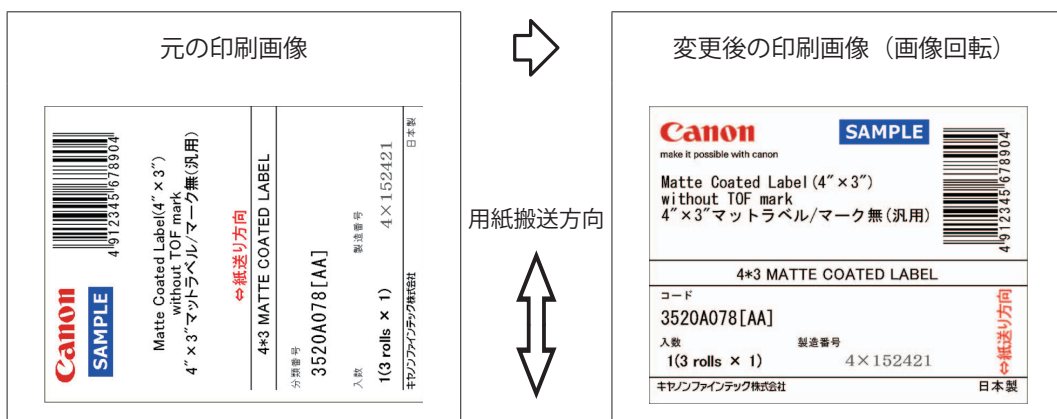
用紙搬送方向と同じ方向の罫線を含んだ画像を連続して印刷する（同じ画像のコピー印刷）と、罫線の印刷に使用するノズルが多用され、消耗が早まります。

特定のノズルの消耗が早まると、プリントヘッドの消耗が早まってしまいます。



このような場合、次のように印刷画像の向きを変更すると、プリントヘッドをより長持ちさせることができます。

【罫線の向きを変える】



元の印刷画像は、用紙搬送方向と同じ方向の罫線を印刷しているのでプリントヘッドの消耗が早くなります。

変更後の画像のように画像全体を回転すると、特定ノズルの多用を避けることができます。

このように用紙搬送方向と同じ方向の罫線をできるだけ減らすと、プリントヘッドを長持ちさせることができます。

付録 -4 プリンタードライバーのアンインストール

コンピューターにインストールしたプリンタードライバーのアンインストールのしかたを説明します。アンインストールをする前に、実行中のアプリケーションをすべて終了し、印刷がすべて終了していることを確認してください。インターフェイスクーブルを抜いてください。

1 インターフェイスクーブルをすべて取り外します。

印刷が行われていないことを確認したあと、プリンターの電源を切ってからインターフェイスクーブルを取り外します。

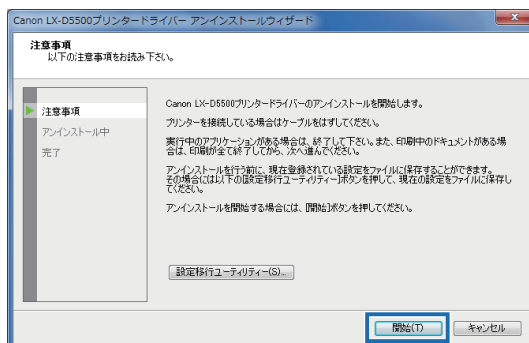
2 [スタート] → [Canon LX -D5500] (または、[Canon LX-P5500]) → [Canon LX -D5500 (または、Canon LX-P5500) ドライバーのアンインストール] を選択します。

• Windows 11 のとき

[スタート] → [すべてのアプリ] → [Canon LX -D5500] (または、[Canon LX-P5500]) → [Canon LX -D5500 (または、Canon LX-P5500) ドライバーのアンインストール] を選択します。

アンインストーラが起動します。

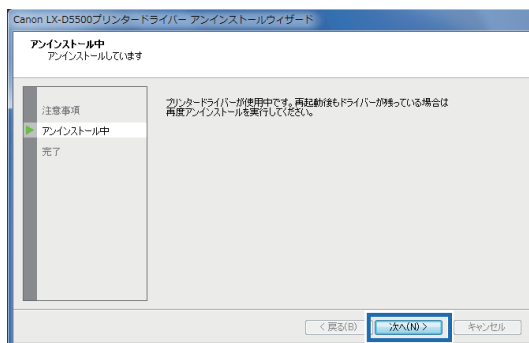
3 「開始」をクリックします。



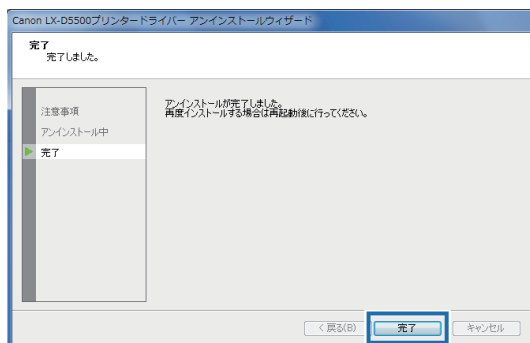
メモ

- [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されることがあります。表示されたときは「はい」をクリックします。
 - プリンタードライバーの設定項目などを保存しておきたいときは、「設定移行ユーティリティ」をクリックして設定内容を保存してください。
- ➡ 「設定内容を保存する（エクスポート）(P.274)」

4 「次へ」をクリックします。



5 [完了] をクリックします。



「システム設定の変更」ダイアログボックスが表示されます。

6 [はい] をクリックして、Windowsを再起動します。

メモ

- [いいえ] を選んだ場合は、再度、プリンタードライバーのインストールを行う前に、必ずコンピューターの再起動を行ってください。

付録 -5 設定内容をインポート / エクスポートする

「設定移行ユーティリティ」を使うと、プリンタードライバーに登録した設定内容を別のプリンタードライバーで読み込む（インポートする）ことや、その設定内容をファイル保存する（エクスポートする）ことができます。

たとえば、プリンターを増設したときやプリンタードライバーのバージョンアップを行ったときに、同じ設定内容を再登録する必要がなく、登録済みの設定を使って印刷できます。

メモ

- インポート / エクスポートできる設定内容は次のとおりです。
 - ・ [ページ設定] シートの [お気に入り] に登録されている印刷設定
 - ・ [ページ設定] シートの [用紙サイズ] に登録されている用紙サイズ
- インポート / エクスポートには次のような制限があります。
 - ・ 対応プリンターは、LX-P5500、LX-D5500、LX 760、および LX 740 となっています。
 - ・ 異なる機種間のインポートは、用紙サイズ情報のみとなっています。

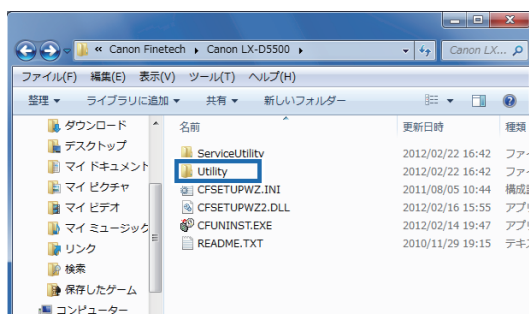
■ 設定内容を保存する（エクスポート）

プリンタードライバーの設定内容をファイルに保存します。

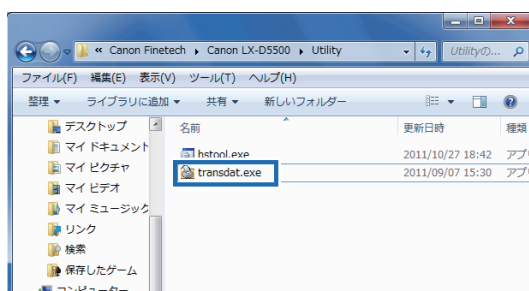
メモ

- インポート / エクスポートできる設定内容は次のとおりです。
 - ・ [ページ設定] シートの [お気に入り] に登録されている印刷設定
 - ・ [ページ設定] シートの [用紙サイズ] に登録されている用紙サイズ
- インポート / エクスポートには次のような制限があります。
 - ・ 対応プリンターは、LX-P5500、LX-D5500、LX 760、および LX 740 となっています。
 - ・ 異なる機種間のインポートは、用紙サイズ情報のみとなっています。

- 1 C: ドライブの「Program Files」 フォルダをダブルクリックします。
- 2 「Canon Finetech」 フォルダをダブルクリックします。
- 3 「Canon LX-D5500」（または、「Canon LX-P5500」）フォルダをダブルクリックします。
- 4 「Utility」 フォルダをダブルクリックします。

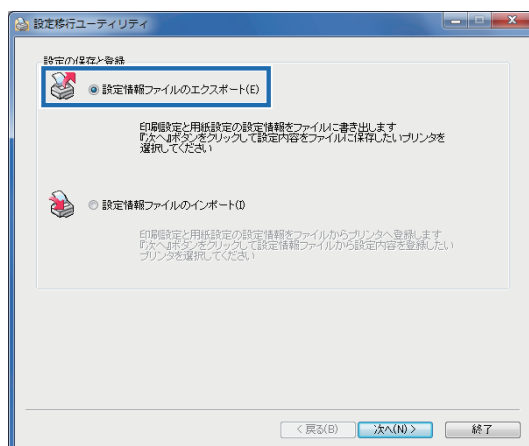


- 5 「transdat.exe」 をダブルクリックします。

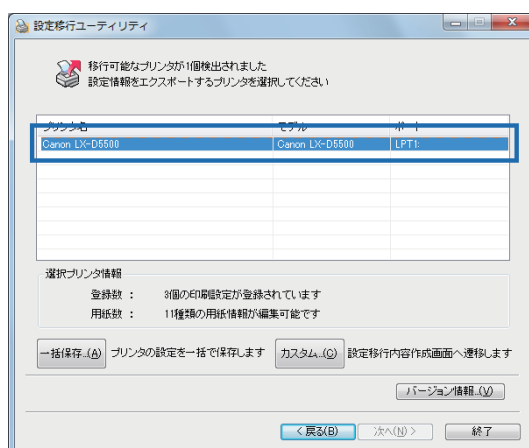


「設定移行ユーティリティ」 が起動します。

6 「設定情報ファイルのエクスポート」を選択し、「次へ」をクリックします。



7 エクスポートを行うプリンター（ドライバー）を一覧から選択します。



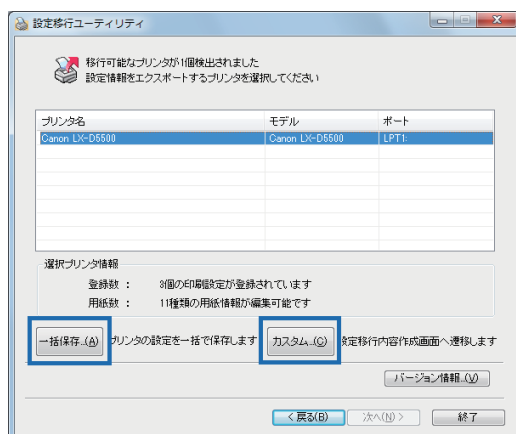
8 [一括保存] または[カスタム] をクリックします。

設定内容をすべてエクスポートするとき：

[一括保存] をクリックし、手順 13 へ進みます。

設定内容を選んでエクスポートするとき：

[カスタム] をクリックし、手順 9 へ進みます。

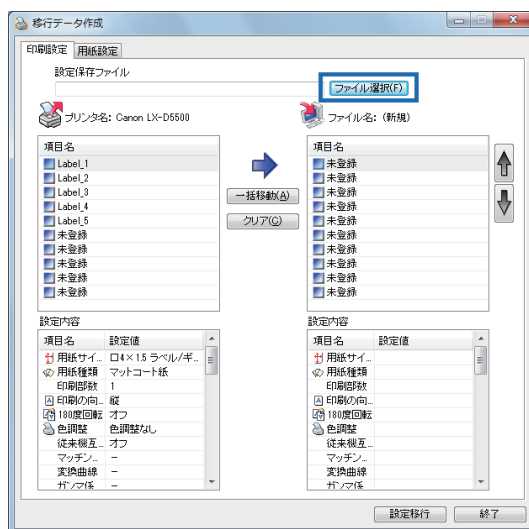


[移行データ作成] ダイアログボックスが表示されます。

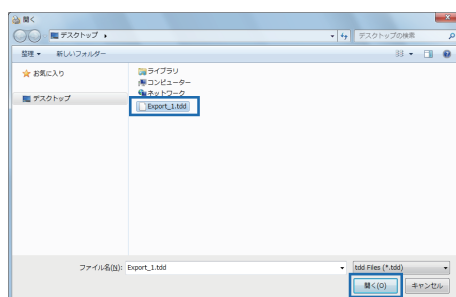
9 それぞれの手順に従って、次のように操作します。

初めてエクスポートするときや新規ファイルを作成するとき：
手順 11 へ進みます。

既存のエクスポートファイルに追加登録するとき：
[ファイル選択] をクリックします。



10 エクスポートファイル(*.tdd) を選択し、[開く] をクリックします。



ダイアログボックスの右側に読み込んだ情報が表示されます。

メモ

- 印刷設定情報は、[移行データ作成] ダイアログボックスの[印刷設定] シートに読み込まれます。
- 用紙設定情報は、[移行データ作成] ダイアログボックスの[用紙設定] シートに読み込まれます。

11 エクスポートする印刷設定を選択し、登録します。

用紙設定のみをエクスポートするときは、手順 12へ進みます。

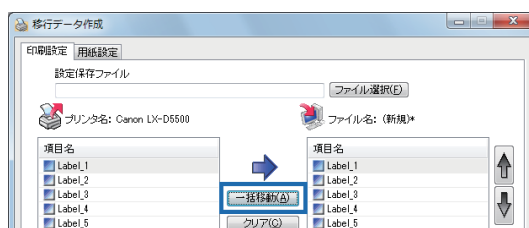
メモ

● [印刷設定] シートについて



- [1] プリンタードライバーの印刷設定情報の表示
[ページ設定] シートの [お気に入り] の一覧が [項目名] に表示されます。選択している項目名の詳細な情報が下段の [設定内容] に表示されます。
- [2] 一括移動ボタン
[1] のすべてを [4] へ登録します。
- [3] クリアボタン
[4] は初期設定に戻ります。
- [4] エクスポートする印刷設定情報の登録
エクスポートする印刷設定が [項目名] に表示されます。選択している項目名の詳細な情報が下段の [設定内容] に表示されます。
- [5] 登録番号の入替えボタン
[4] の項目名の登録場所を上下ボタンで入れ替えます。

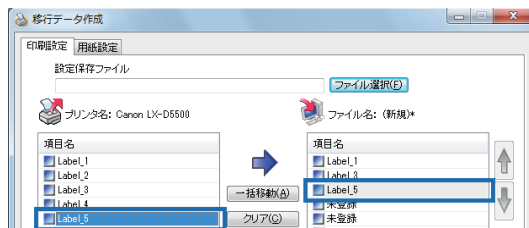
- すべての項目名を登録するとき
「一括移動」をクリックします。



メモ

- 一括移動すると、既存の項目名をすべて上書きします。
既存のファイルに追加登録するときは、項目名を選んで登録してください。

- 項目名を選んで登録したいとき
項目名をドラッグしてドロップすると、1つずつ、最大10個まで登録することができます。



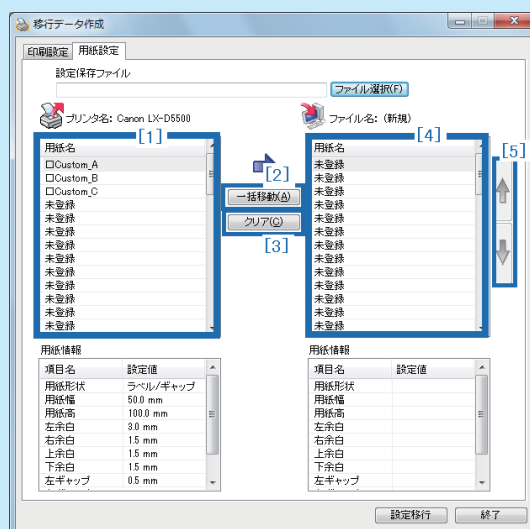
メモ

- 「未登録」の位置でドロップすると、登録項目名の末尾に登録されます。また、登録項目名上でドロップすると、その位置の項目名を上書きします。

12 エクスポートする用紙設定を選択し、登録します。

メモ

● [用紙設定] シートについて



[1] プリンタードライバーの用紙サイズ情報の表示

[ページ設定] シートの [用紙サイズ] の一覧が [用紙名] に表示されます。選択している用紙名の詳細な情報が下段の [用紙情報] に表示されます。
用紙名を選択した状態から、クリックすると用紙名を変更することができます。

[2] 一括移動ボタン

[1] のすべてを [4] へ登録します。

[3] クリアボタン

(4) は初期設定に戻ります。

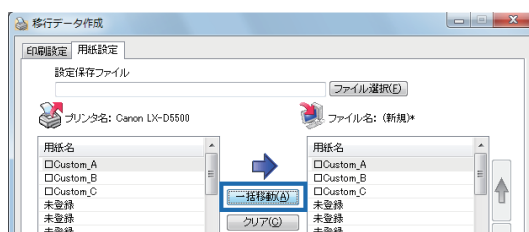
[4] エクスポートする用紙サイズ情報の登録

エクスポートする用紙設定が [用紙名] に表示されます。選択している用紙名の詳細な情報が下段の [用紙情報] に表示されます。

[5] 登録番号の入替えボタン

[4] の用紙名の登録場所を上下ボタンで入れ替えます。

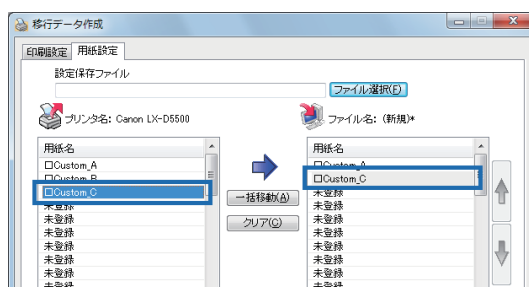
- すべての用紙名を登録するとき
「一括移動」をクリックします。



メモ

- 一括移動すると、既存の用紙名をすべて上書きします。
既存のファイルに追加登録するときは、用紙名を選んで登録してください。

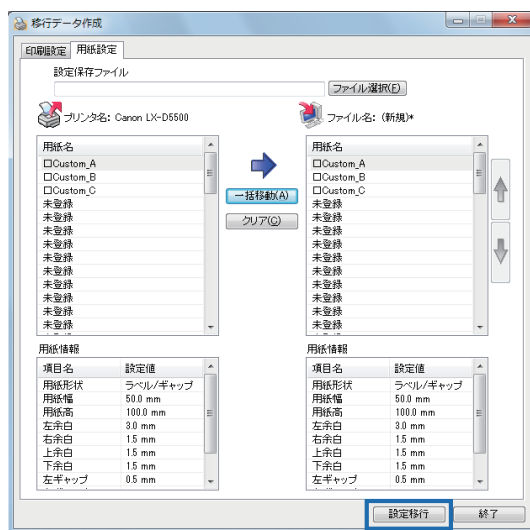
- 用紙名を選んで登録するとき
用紙名をドラッグしてドロップすると、1種類ずつ、最大50種類まで登録することができます。



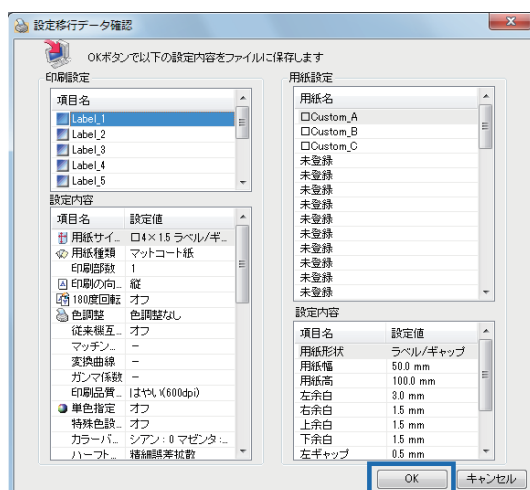
メモ

- 「未登録」の位置でドロップすると、登録用紙名の末尾に登録されます。また、登録用紙名上でドロップすると、その位置の用紙名を上書きします。

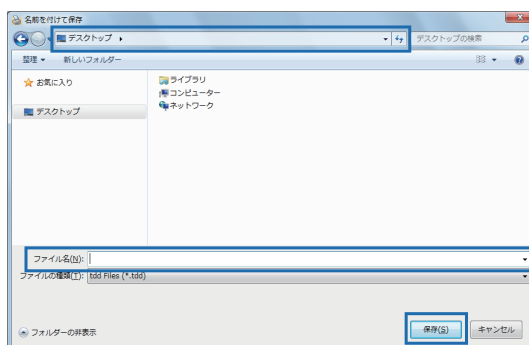
13 「設定移行」をクリックします。



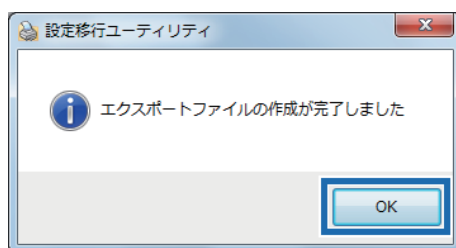
14 表示された内容で保存するときは、[OK] をクリックします。



- 15** ファイルの保存場所、およびファイル名 (*.tdd)を入力し、[保存] をクリックします。

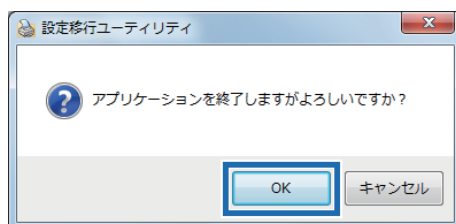


- 16** [OK]をクリックします。



- 17** 設定移行データ作成画面と設定移行ユーティリティ画面の [終了] をクリックします。

- 18** [OK]をクリックします。



■ 設定内容を読み込む（インポート）

プリンタードライバーの設定内容を読み込みます。インポートのしかたには、次の2種類があります。

■ エクスポートファイルから読み込む

プリンタードライバーの設定内容を保存したファイル（エクスポートファイル）から読み込みます。

■ プリンタードライバーから読み込む

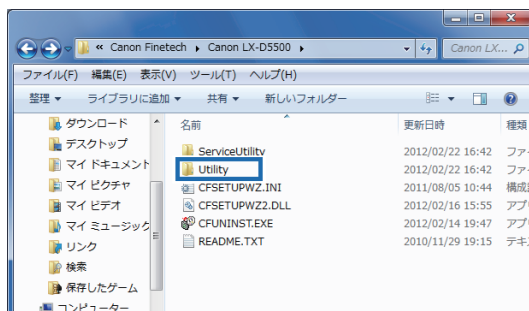
コンピューター内のプリンタードライバーから直接設定内容を読み込みます。

メモ

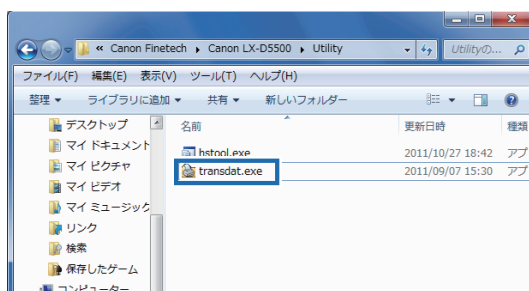
- インポート / エクスポートできる設定内容は次のとおりです。
 - ・ [ページ設定] シートの [お気に入り] に登録されている印刷設定
 - ・ [ページ設定] シートの [用紙サイズ] に登録されている用紙サイズ
- インポート / エクスポートには次のような制限があります。
 - ・ 対応プリンターは、LX-P5500、LX-D5500、LX 760、および LX 740 となっています。
 - ・ 異なる機種間のインポートは、用紙サイズ情報のみとなっています。

- 1 C: ドライブの「Program Files」フォルダーをダブルクリックします。
- 2 「Canon Finetech」フォルダーをダブルクリックします。
- 3 「Canon LX-D5500」（または、「Canon LX-P5500」）フォルダーをダブルクリックします。

4 「Utility」フォルダーをダブルクリックします。

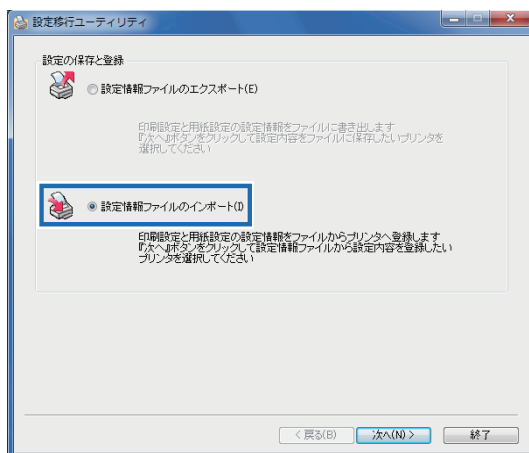


5 「transdat.exe」をダブルクリックします。

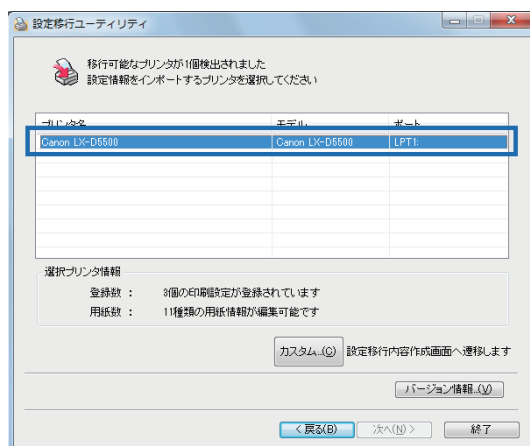


「設定移行ユーティリティ」が起動します。

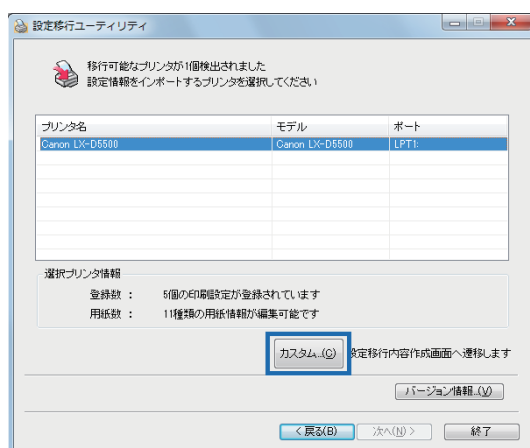
6 「設定情報ファイルのインポート」を選択し、「次へ」をクリックします。



7 インポートを行うプリンター（ドライバー）を一覧から選択します。

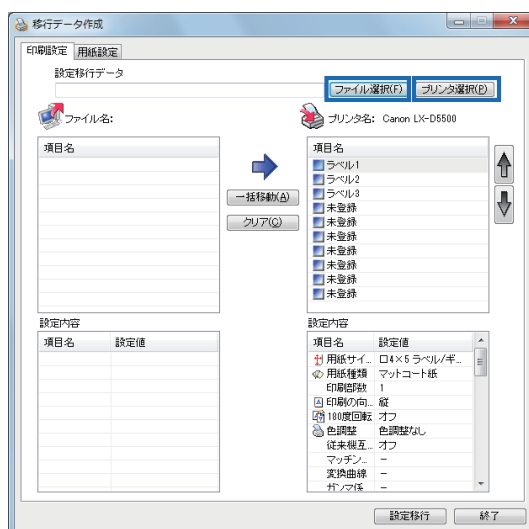


8 [カスタム] をクリックします。



9 [ファイル選択] または[プリンター選択] をクリックします。

- エクスポートファイルから読み込むとき：
[ファイル選択] をクリックします。
- プリンタードライバーから読み込むとき：
[プリンター選択] をクリックします。



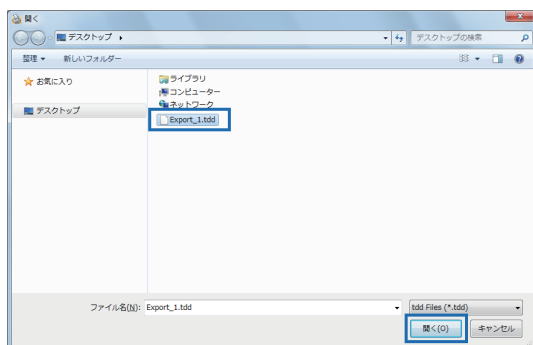
メモ

- このとき、ダイアログボックスの右側に表示される情報は、インポートを行うプリンターに現在保存されている設定内容です。

10 それぞれの手順に従って、次のように操作します。

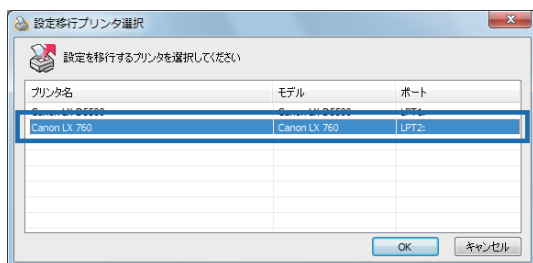
■ エクスポートファイルから読み込むとき：

エクスポートファイル (*.tdd) を選択し、[開く] をクリックします。



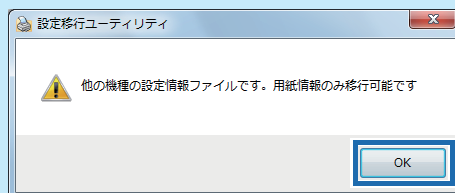
■ プリンタードライバから読み込むとき：

設定移行元のプリンターを選択し、[OK] をクリックします。



メモ

- 他の機種を読み込むと、次のようなメッセージが表示されます。異なる機種間のインポートは、用紙サイズ情報のみとなっています。

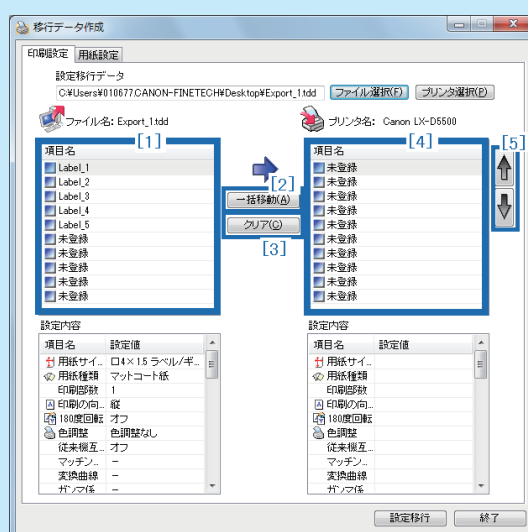


11 読み込んだ印刷設定情報からインポートする印刷設定を選択し、登録します。

用紙設定のみをインポートするときは、手順 12へ進みます。

メモ

● [印刷設定] シートについて



[1] 印刷設定情報の表示

エクスポートファイル、またはプリンタードライバから読み込んだ印刷設定の情報が表示されます。

印刷設定の一覧、または [ページ設定] シートの [お気に入り] の一覧が [項目名] に表示されます。選択している項目名の詳細が下段の [設定情報] に表示されます。

[2] 一括移動ボタン

[1] のすべてを [4] へ登録します。

[3] クリアボタン

[4] は初期設定に戻ります。

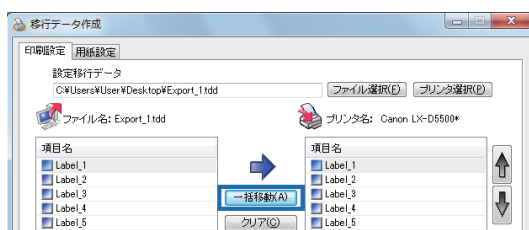
[4] インポートする印刷設定情報の登録

インポートする印刷設定が [項目名] に表示されます。選択している項目名の詳細が下段の [設定情報] に表示されます。

[5] 登録番号の入替えボタン

[4] の項目名の登録場所を上下ボタンで入れ替えます。

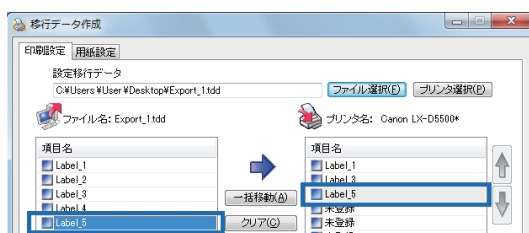
- すべての項目名を登録するとき
「一括移動」をクリックします。



メモ

- 一括移動すると、既存の項目名をすべて上書きします。
インポートを行うプリンターに保存されている印刷設定を残したいときは、項目名を選んで登録してください。

- 項目名を選んで登録するとき
項目名をドラッグしてドロップすると、1つずつ、最大10個まで登録することができます。



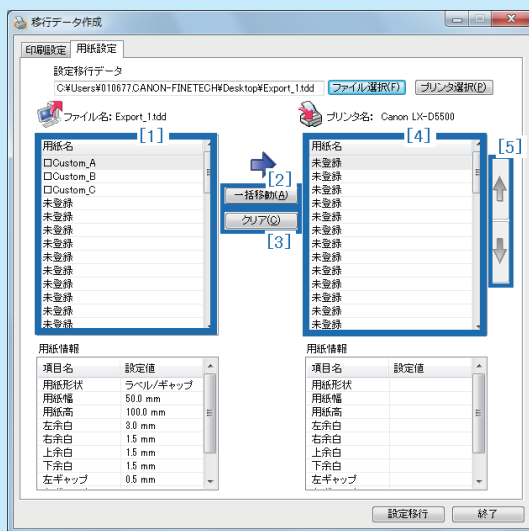
メモ

- 「未登録」の位置でドロップすると、登録項目名の末尾に登録されます。また、登録項目名上でドロップすると、その位置の項目名を上書きします。

12 読み込んだ用紙サイズ情報から、インポートする用紙サイズを選択します。

メモ

● [用紙設定] シートについて



[1] 用紙サイズ情報の表示

エクスポートファイル、またはプリンタドライバから読み込んだ用紙サイズの情報が表示されます。

用紙名の一覧、または[ページ設定]シートの[用紙サイズ]の一覧が[用紙名]に表示されます。選択している用紙名の詳細が下段の[用紙情報]に表示されます。

[2] 一括移動ボタン

[1] のすべてを [4] へ登録します。

[3] クリアボタン

[4] は初期設定に戻ります。

[4] インポートする用紙サイズ情報の登録

インポートする用紙サイズが[用紙名]に表示されます。選択している用紙名の詳細が下段の[用紙情報]に表示されます。

[5] 登録番号の入替えボタン

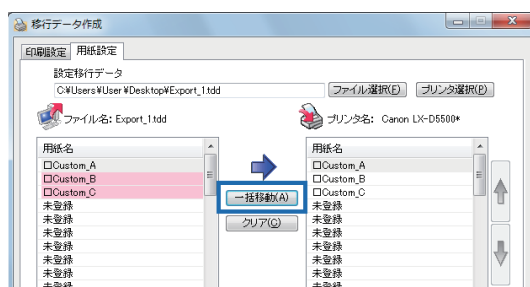
[4] の用紙名の登録場所を上下ボタンで入れ替えます。

メモ

- [1] の用紙名を選択した状態から、クリックすると用紙名を変更することができます。
- [1] と [4] に同じ用紙名があるときは、[1] の用紙名を赤くマーキングします。用紙名を選んで登録する場合、赤くマーキングされた用紙名を [4] に登録することができません。登録を実行したいときは、用紙名を変更してください。
- 他の機種から読み込んだとき、標準用紙サイズを含むすべての用紙サイズが表示されます。赤くマーキングされた用紙サイズは用紙名を変更してください。

■ すべての用紙名を登録するとき

「一括移動」をクリックします。

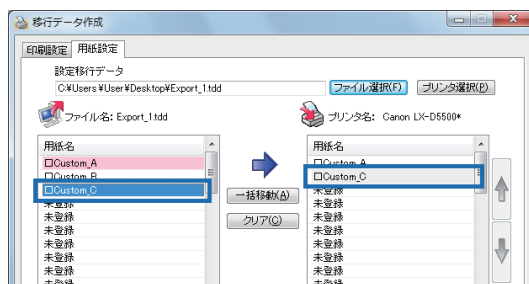


メモ

- 一括移動すると、既存の用紙名をすべて上書きします。
インポートを行うプリンターに保存されている用紙サイズを残したいときは、用紙名を選んで登録してください。
- 他の機種から本プリンターへのインポートを行うときは、一括移動できません。用紙名を選んで登録してください。

■ 用紙名を選んで登録したいとき

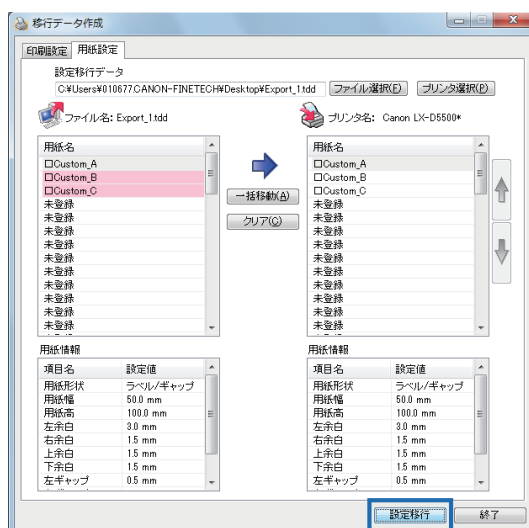
用紙名をドラッグしてドロップすると、1種類ずつ、最大 50 種類まで登録することができます。



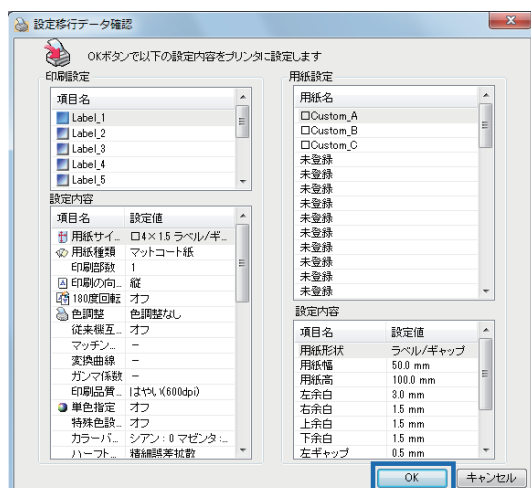
メモ

- 「未登録」の位置でドロップすると、登録用紙名の末尾に登録されます。また、登録用紙名上でドロップすると、その位置の用紙名を上書きします。

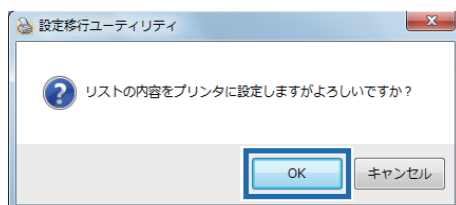
13 「設定移行」をクリックします。



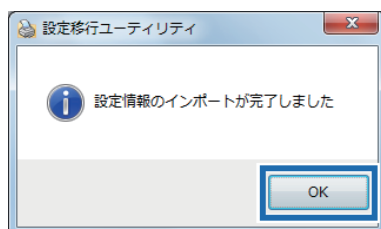
14 表示された内容でインポートするときは、[OK] をクリックします。



15 [OK] をクリックします。

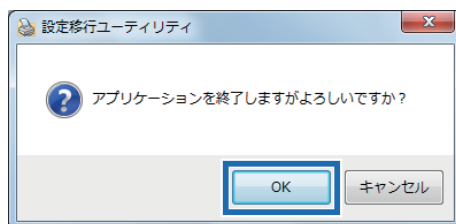


16 [OK] をクリックします。



17 移行データ作成画面と設定移行ユーティリティー画面の[終了] をクリックします。

18 [OK] をクリックします。



付録 -6 ネットワークユーティリティについて

ネットワークユーティリティは、プリンターのネットワーク環境を設定するためのソフトウェアです。

重要

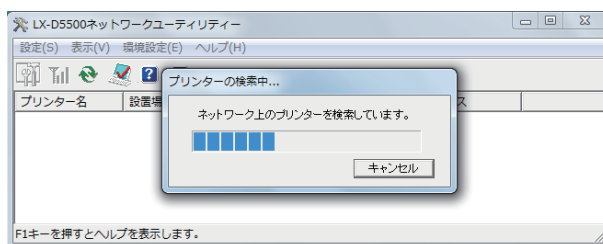
- ネットワークユーティリティは、ネットワーク管理者が設定してください。

1 [スタート] → [Canon LX-D5500 Network IF]（または、[Canon LX-P5500 Network IF]）→ [ユーティリティ] を選択します。

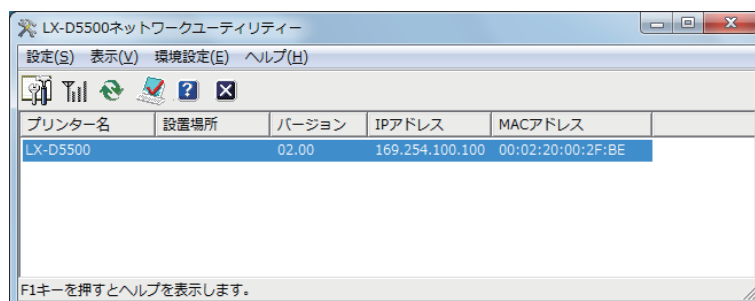
• Windows 11 のとき

[スタート] → [すべてのアプリ] → [Canon LX-D5500 Network IF]（または、[Canon LX-P5500 Network IF]）→ [ユーティリティ] を選択する選択します。

プリンターの検索が実行されます。

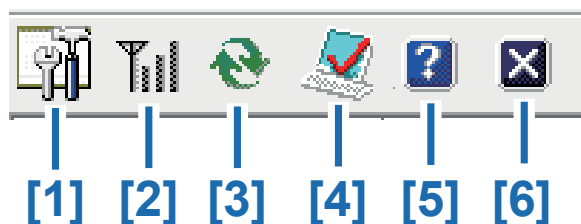


ネットワークユーティリティが起動します。



■ ツールバーから設定する

ツールバーでは、よく使うメニューをボタンで表示しています。



- | | | |
|-----|---------------|---|
| [1] | プリンターの設定 | プリンターのネットワーク設定画面を表示します。
➡ 「プリンターの設定を行う (P.299)」 |
| [2] | プリンターの LAN 状態 | 有線 LAN の通信状態を表示します。
➡ 「プリンターの LAN 状態を確認する (P.302)」 |
| [3] | プリンターの再検索 | プリンターの再検索を行います。 |
| [4] | ユーティリティの環境設定 | ネットワークユーティリティの環境設定を行います。
➡ 「環境設定を行う (P.306)」 |
| [5] | ユーティリティのヘルプ | ヘルプを表示します。
➡ 「ヘルプを表示する (P.309)」 |
| [6] | ユーティリティの終了 | ネットワークユーティリティを終了します。 |

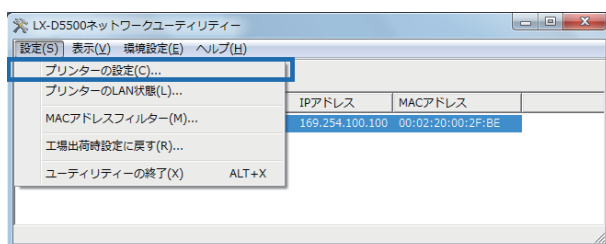
メモ

- ツールバーの表示 / 非表示は、メニューバー [表示] から設定します。

■ プリンターの設定を行う

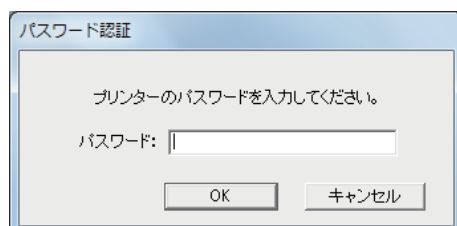
- 1 メニューバーの[設定] から[プリンターの設定] を選択します。

パスワード設定画面が表示されます。



パスワード認証画面が表示されます。

2 パスワードを入力し、[OK] をクリックします。



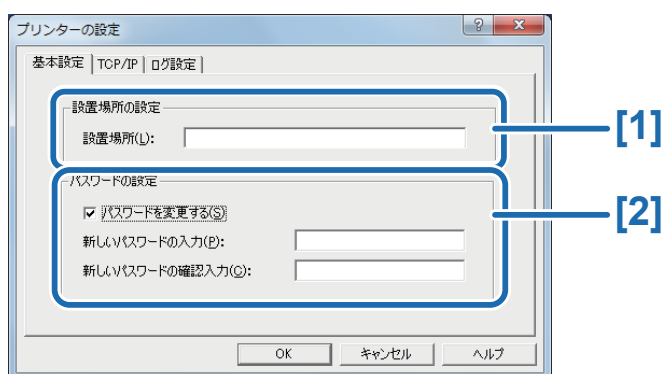
*初期パスワードは、[admin]です。

〔設定〕のプルダウンメニューの〔プリンターの設定〕から〔基本設定〕でパスワードを変更した場合は、その変更したパスワードが有効になります。

プリンター設定画面が表示されます。

3 設定を入力します。

● 基本設定



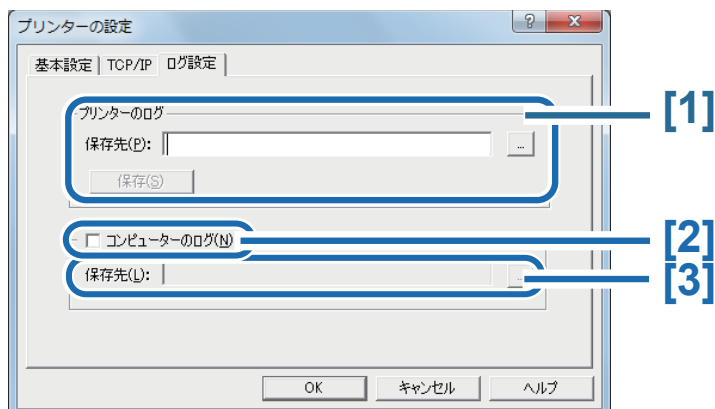
[1]	設置場所の設定	プリンターを設置している場所を入力します。 *入力可能文字数：0～15文字
[2]	パスワードの設定	パスワードの再設定を行います。 *入力可能文字数：0～8文字

● TCP/IP



[1]	IP アドレスを自動的に取得する	IP アドレスを自動的に取得します。
[2]	IP アドレスを指定する	IP アドレスを指定します。 * IP アドレスを DHCP サーバーから取得しない場合に選択します。 または、プリンターに設定されている IP アドレスを変更したい場合に使用します。

● ログ設定



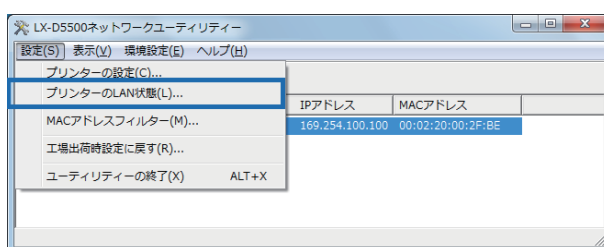
[1]	プリンターのログ	プリンターのログファイルの保存先を入力します。
[2]	コンピューターのログ	ネットワーク通信（プリンターとコンピューターの通信）のログをファイルに出力するときにチェックを入れます。
[3]	保存先	ネットワーク通信（プリンターとコンピューターの通信）のログの保存先を入力します。

- 4** [OK] をクリックします。

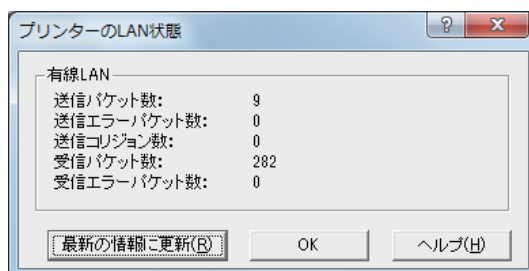
■ プリンターの LAN 状態を確認する

プリンターから取得したネットワークの状態をチェックします。

- 1** メニューバーの[設定] から [プリンターの LAN 状態] をクリックします。



- 2** プリンターから取得したネットワークの状態を表示します。

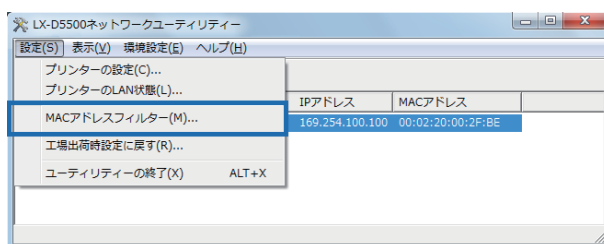


- 3** 確認したあと、[OK] をクリックします。

■ MAC アドレスフィルターを設定する

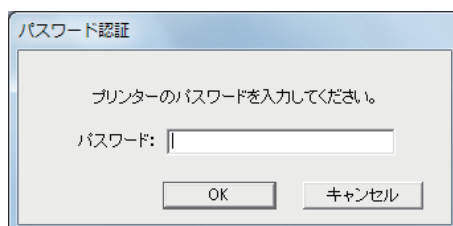
指定した MAC アドレスのコンピューターのみが本プリンターに接続できるように設定します。

1 メニューバーの[設定] から[MACアドレスフィルター] を選択します。



パスワード認証画面が表示されます。

2 パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

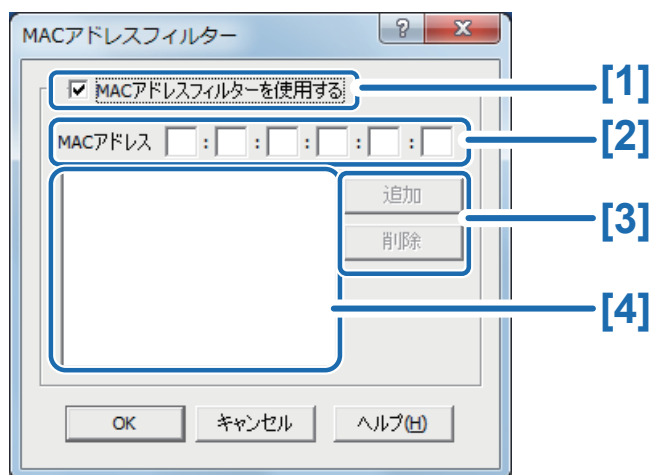


*初期パスワードは、[admin]です。

[設定] のプルダウンメニューの[プリンターの設定] から[基本設定] でパスワードを変更した場合は、その変更したパスワードが有効になります。

[MACアドレスフィルター] 画面が表示されます。

3 設定を入力します。



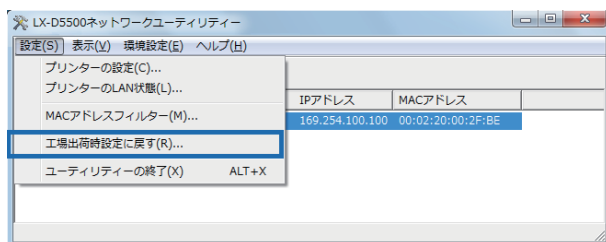
[1]	MAC アドレスフィルターを使用する	MAC アドレスフィルターを使用する場合にチェックを入れます。
[2]	MAC アドレス	MAC アドレスを入力します。
[3]	追加 / 削除	MAC アドレスの追加および削除を行います。
[4]	リスト表示	プリンターに登録されている MAC アドレスのリストを表示します。

4 [OK] をクリックします。

■ ネットワーク設定を初期化する

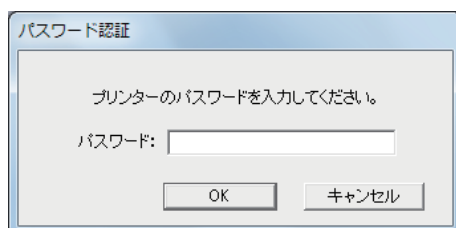
本プリンターのネットワーク設定をすべて初期化します。

- 1 メニューバーの[設定] から[工場出荷時設定に戻す] をクリックします。



パスワード認証画面が表示されます。

- 2 パスワードを入力し、[OK] をクリックします。



*初期パスワードは、[admin]です。

[設定] のプルダウンメニューの[プリンターの設定] から[基本設定] でパスワードを変更した場合は、その変更したパスワードが有効になります。

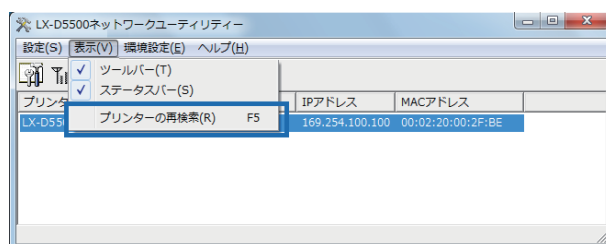
確認のメッセージが表示されます。

- 3 [OK] をクリックします。

■ プリンターの再検索を行う

再度プリンターの検索を行うときに選択します。

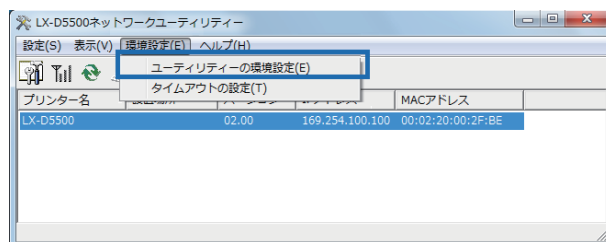
- 1 メニューバー[表示] から[プリンターの再検索] を選択します。



■ 環境設定を行う

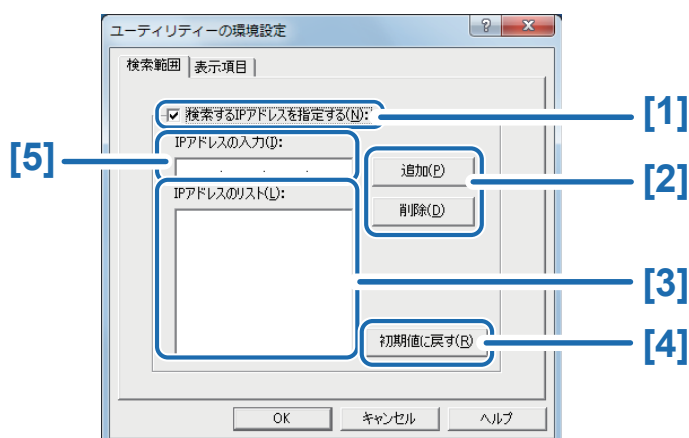
ネットワークユーティリティの動作環境の設定を行います。

- 1 メニューバー[環境設定] から[ユーティリティの環境設定] を選択します。



2 設定を入力します。

● 検索範囲

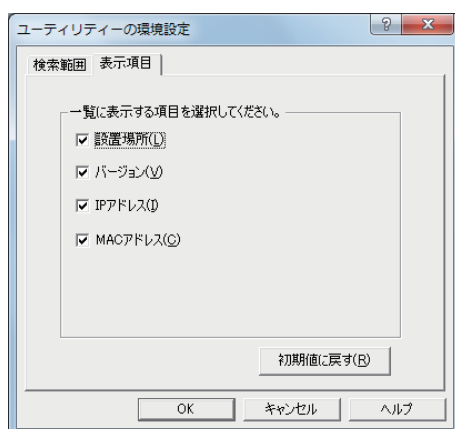


[1]	検索する IP アドレスを指定する	チェックオン：検索する IP アドレスを指定するとき チェックオフ：ネットワーク上のプリンターを検索するとき
[2]	追加 / 削除	IP アドレスを検索リストに追加または削除する。
[3]	IP アドレスのリスト	検索対象の IP アドレスのリストを表示する。
[4]	初期値に戻す	検索範囲の設定を初期値に戻す。
[5]	IP アドレスの入力	検索リストに追加する IP アドレスを指定する。

● 表示項目

起動時に初期表示させるための設定項目を選択します。

* プリンター名は常に表示します。(選択項目なし)



- 3 [OK] をクリックします。

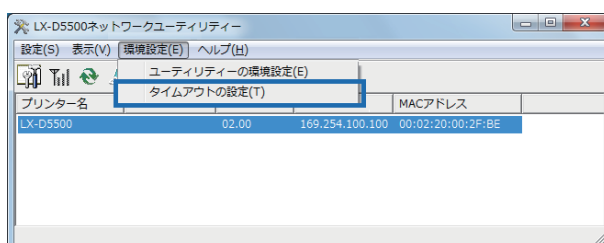
■ タイムアウト値を設定する

印刷データがタイムアウトにより再送されることを回避するために、ネットワークのタイムアウト時間を延長するための設定を行います。

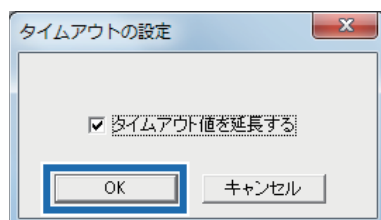
📖 メモ

- 設定はコンピューターごとに行う必要があります。

- 1 メニューバーの[環境設定] から[タイムアウトの設定] をクリックします。



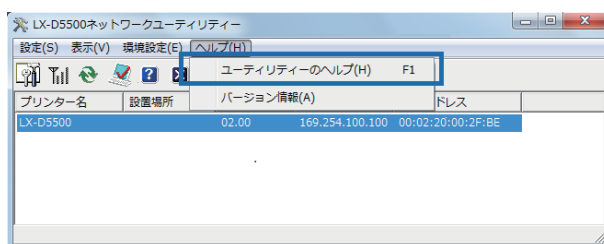
- 2 [タイムアウト値を延長する] にチェックを入れて、[OK] をクリックします。



■ ヘルプを表示する

ネットワークユーティリティのヘルプを表示します。

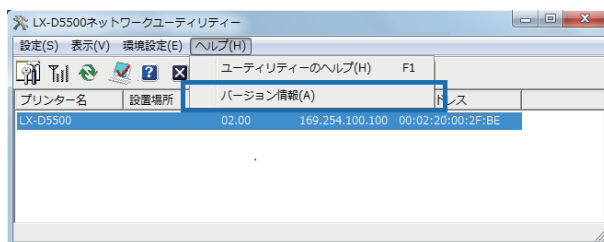
- 1 メニューバーの[ヘルプ] から[ユーティリティのヘルプ] を選択します。



■ バージョン情報を表示する

ネットワークユーティリティのバージョン情報を表示します。

- 1 メニューバーの[ヘルプ] から[バージョン情報] を選択します。



仕様

■ プリンター本体

機種名	LX-D5500（染料モデル）	LX-P5500（顔料モデル）
印刷方式	インクジェット記録方式	
印刷色	フルカラー	
解像度	1200dpi × 1200dpi	
印刷速度	自動速度 マニュアルモード： 200/160/120/100/90/80/70/60/50 mm/ 秒	自動速度 マニュアルモード： 150/120/100/90/80/70/60/50 mm/ 秒
最大印刷領域	幅 106.3mm × 長さ 497mm	
印刷余白 (用紙搬送方向に対して)	前後 1.5mm 左右 2.7mm（セパレータ込み）*1 [拡張時：2.5mm]	
プリントヘッド	各色 5,030 ノズル（有効ノズル数）	
用紙	カラーラベルプリンター専用紙 (マットコート紙、光沢紙、合成紙、 薄紙マットコート紙、白 PET)	カラーラベルプリンター専用紙 (マットコート紙、光沢紙、合成紙、 薄紙マットコート紙)
用紙サイズ	幅 25.4mm ～ 120mm、長さ 6.0mm ～ 500mm	
用紙厚さ	145μm ～ 255μm	
給紙容量	最大巻き外径 200 mm 以内／紙管内径 76.2 mm ± 1.0 mm	
使用インク	染料系インクタンク イエロー（Y）、マゼンタ（M）、 シアン（C）、ブラック（Bk）	顔料系インクタンク イエロー（Y）、マゼンタ（M）、 シアン（C）、ブラック（Bk）
インターフェイス	Hi-Speed USB、1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T	
拡張インターフェイス	RS-232C × 2（外部機器接続用）	
稼動音	約 55 dB（A）以下	
設置環境温度	温度 15℃～30℃、湿度 10%～80%（ただし、結露なきこと）	
電源	AC100V 50/60Hz	

消費電力	動作時：233 W（最大） スリープ時：8 W 以下 オートカッター装着動作時 ：268 W（最大）	動作時：250 W（最大） スリープ時：9 W 以下 オートカッター装着動作時 ：265 W（最大）
本体寸法	幅 386mm × 奥行き 570mm × 高さ 394mm オートカッター装着時 幅 386mm × 奥行き 687mm × 高さ 394mm	
本体質量	約 24.5kg（インクタンクを除く）	

*1：ただし、ラベル紙をご使用される場合は、ラベルの左右端から各 1.5mm 以上の余白が必要です。

■ オートカッター（オプション）

形式	ロータリーカッター	
設置方式	プリンター排紙口にビスで固定	
切断速度	プリンター速度に準ずる	
用紙条件	種類	カラーラベルプリンター専用紙（マットコート紙、光沢紙、合成紙、薄紙マットコート紙、白 PET）
	カットサイズ	幅：25.4mm ～ 120mm
		長さ：38.1mm ～ 500mm
	切断可能厚さ	45μm ～ 255μm
外形寸法	幅 221mm × 奥行き 193mm × 高さ 230mm	
重量	約 4.0kg	
使用環境	温度：15℃～ 30℃ 湿度：10%～ 80%（ただし、結露なきこと）	

索引

数字

180 度回転 70

アルファベット

A

A I S モード 133

E

ERROR ランプ 10

L

LAN コネクタ 6

R

RS232C コネクタ 6

S

STATUS ランプ 10

T

TearOff モード 134

TOF 65

U

USB コネクタ 6

かな

あ

アドバンスド設定 104

アンインストール 271

い

色設定 75

色調整 75

インク警告ランプ 10

インク情報 149

インクタンク 179

インクタンクドア 4

インクリフレッシュ 196

インクリフレッシュ警告時期変更 135

印刷順を決める 108

印刷状況 144

印刷設定 44

印刷速度 105

印刷の向き 49, 69

印刷の向きのプレビュー 48

印刷品質設定 76

印刷部数 49

インフォメーション 147

インポート（設定内容の読み込み） 285

う

上ユニット 4

上ユニットオープンレバー 7

薄紙マットコート紙 19

え

エクスポート（設定内容の保存） 274

エコノミー印刷 93

お

オートカッター 246, 247

オーバーレイ印刷 102

［オーバーレイ］シート 96

お気に入り 48

屋内移動準備 115

オフタイマー 118

オペレーターコールエラー 147, 217

か

開閉カバー 246

カッターカバー 5

カッター調整 115

カラーインク節約 92

き

ギャップ 65

ギャップマーク長	63
く	
クリーニング	152
け	
警告メッセージ	147, 223
こ	
合成紙	19
光沢紙	19
さ	
サービスマンコールエラー	147
し	
紙面予備吐モード	133
手動カッター	5
詳細設定	76
使用済みインクタンク回収	186
白 PET	19
す	
ステータスマニター	138
スリープ	114
スリープ状態	117
スリープタイマー	118
スリープタイマー設定	114
せ	
設定移行ユーティリティ	274
設定値出力	114
設定値を確認	176
設定内容確認	49, 73
セパレーター	65
選択した縦横の向きで印刷する	49, 71
そ	
操作パネル	4

た	
タグ	65
タグ / TOF 無し	63
タグ / マーカー	63
単色指定	76
て	
低室温時印刷モード	135
電源キー	9
電源コネクタ	6
と	
特殊色登録	123
特殊設定	27, 115
の	
濃度ムラ軽減モード	135
は	
排紙口	5
背面給紙口	6
搬送ガイド (左)	7, 22
搬送ガイド (右)	7, 21, 29
ひ	
標準ラベル用紙	60
ピンチローラー圧解除レバー	7, 30, 34
ピンポイント色合わせ	115
ピンポイント色合わせ設定	76
ふ	
ファンフォールド紙	26
ファンフォールド紙モード	27, 50
フィードキー	9
フォームをファイルに印刷する	98
プリンタードライバー	44
プリンターの清掃	192

へ

ヘッド位置調整 114, 154, 168

ほ

ポーズキー 9

ホルダーストッパー 8, 17

ホルダーストッパー解除レバー 8, 18

ま

マットコート紙 19

め

メンテナンス 152

メンテナンスカートリッジ 8, 187

メンテナンスカートリッジ情報 150

メンテナンスカートリッジドア 5

ゆ

ユーザー用紙サイズ 64

ユーザー用紙サイズ設定 49

ユーザー用紙サイズ 設定可能範囲 64

ユーティリティ 112

輸送準備 115

よ

用紙ガイド 7, 21, 33

用紙こすれ軽減モード 135

用紙サイズ 49

用紙サイズのプレビュー 48

用紙種類 49

用紙のエンド処理 32

用紙の種類 68

用紙の停止位置 121

用紙を設定する項目の確認図 66

ら

ラベル / TOF 無し 63

ラベル / ギャップ 63

ラベル / マーカー 63

ろ

ロールカバー 5

ロールホルダー 8, 17

わ

枠線印刷 104

割付印刷 104

Canon キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター
全国共通電話番号 0570-08-0064

受付時間 [平日] 9:00～17:00

(土・日・祝祭日と年末年始、弊社休業日は休ませていただきます)

*上記番号は0570から始まるナビダイヤルを利用しています。

*ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、03-6634-4412 におかけください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6